

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目			
			必修	選択					
人間系	文学論	山内 則史	1	2	3	4	2	30	新聞記者として文芸分野を担当。記者時代の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中の文学を意識させながら授業を展開する。
	演劇論	山内 則史	1	2	3	4	1	15	新聞記者として演劇を担当。取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。
	宗教学	戸松 義晴	1	2	3	4	2	30	ハーバード大学神学校での諸宗教の方々との出会い、全日本仏教会事務総長、日本宗教連盟事務局長として、改正臓器移植法案、尊厳死、安楽死、生殖補助医療などについて宗教者代表として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のところに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。
	死生学-死を通して生を考える-	小野 充一	1	2	3	4	2	30	小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きのびる知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。
総合教育科目 社会系	法学	鮫川 誠司	1	2	3	4	2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。
	日本国憲法	鮫川 誠司	1	2	3	4	2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。
	日本政治経済論	光山 奈保子	1	2	3	4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	マスメディア論	佐藤 伸	1	2	3	4	2	30	授業の合間に、講師が記者として体験したことなどをニュースの裏側に関する話を随時します。
	福祉経済学	光山 奈保子	1	2	3	4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	アジア諸国の経済・社会・文化	村上 大介	1	2	3	4	2	30	基礎知識を身につけるという授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
	国際関係論	村上 大介	1	2	3	4	2	30	基礎知識を身につけるという授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
	世界の経済	光山 奈保子	1	2	3	4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	国際医療福祉論	後藤 純信	1	2	3	4	2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
	社会保障制度論	田中 秀一	2	2	30	新聞社で医療・社会保障分野を担当し、医療・介護現場の実情を取材・研究して記事作成を行うとともに、この分野の問題に関する社説を執筆した。取材や研究を通じた経験や実例を適宜示し、学生の理解がより深められる講義を展開する。			
	ボランティア論	大石 剛史	1	2	3	4	2	30	ボランティアセンター等でのボランティア支援の経験を授業内でフィードバックする。
	ボランティアコーディネート論	大石 剛史	1	2	3	4	2	30	ボランティアセンター等でのボランティア支援の経験を授業内でフィードバックする。
	手話入門	西澤 さつき	1	2	3	4	2	30	地域の手話奉仕員養成講習会講師、手話通訳者の立場、また障害当事者の立場から、厚生労働省策定手話奉仕員養成カリキュラムの一部を授業に取り入れて、医療・介護の現場に役立つ手話を教示していく。
	経済の仕組み	光山 奈保子	1	2	3	4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	経済の歴史	光山 奈保子	1	2	3	4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
自然・情報系	統計学	島田 直樹	2	2	30	産業医は、労働現場において生じる様々な健康問題を解決する際に、必要なデータの収集、解析、解釈などの統計学的手法を用いている。その経験を授業で紹介する。			
	疫学・保健医療統計学	島田 直樹	3	2	30	産業医は、労働現場において生じる様々な健康問題に対して、疫学的手法を用いて、原因の解明および対策の樹立を行っている。その経験を授業で紹介する。			
	生命倫理	阿部 晶子	1	2	3	4	2	30	臨床に携わる医師らが実務経験も加味した講義をオムニバス形式で行う。

	授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目	
				必修	選択			
総合教育科目	英語医療通訳入門1 (Primary)	三浦 美恵子	1 2 3 4		1	30	実際の医療現場で、まさに医療を必要としている外国人患者に対して通訳をした・しているリアルな経験を学生に伝える。便利なツールやAIの進歩がめまぐるしい現在においても、言葉・外国語を使って人と人がコミュニケーションすることは不可欠である。現場の経験を通して感じたコミュニケーションの大切さ、面白さ、難しさ、文化の違い、医療現場で外国人患者をサポートすることの大切さなどを訴える。	
	英語医療通訳入門2 (Basic)	三浦 美恵子	1 2 3 4		1	30	実際の医療現場で、まさに医療を必要としている外国人患者に対して通訳をした・しているリアルな経験を学生に伝える。便利なツールやAIの進歩がめまぐるしい現在においても、言葉・外国語を使って人と人がコミュニケーションすることは不可欠である。現場の経験を通して感じたコミュニケーションの大切さ、面白さ、難しさ、文化の違い、医療現場で外国人患者をサポートすることの大切さなどを訴える。	
	健康科学実践	小林 薫	1 2 3 4		1	30	理学療法士として幅広い対象者に対して健康づくり（一次救命処置、ファーストエイドを含む）を行ってきた。この実務経験から得た知識、経験を集団および個々の体力レベルに応じた運動に活かす。	
専門基礎 / 学部共通	公衆衛生学	島田 直樹	1		2	30	産業医は、産業保健を中心として、公衆衛生学の様々な領域に関する知識を活用して業務を行っている。その経験を授業で紹介する。	
	微生物と病気	相馬 義郎	1 2 3 4		2	30	医師として、長年、腎不全患者のための血液透析に従事してきた。血液透析患者は、慢性的な免疫不全状態にあり、シビアな感染症コントロールの実務経験がある。実務経験に基づき感染症の現状、問題点に関して、分かりやすく解説するとともに、現実的対応について討議する。	
	リハビリテーション概論	瀬田 拓	2		2	30	リハビリテーション科医師としての経験を活かし、実例を示しながら学生の理解がより深まる講義を行う。	
	関連職種連携論	阿部 晶子	2		2	30	現在、臨床に関わっていたり、また第一線で活躍している方が講師となる。臨床の経験を活かした講義を展開する。	
	看護論	林 圭子	1		2	30	看護師・保健師・助産師での実務経験に基づいた講義を展開する。	
	ケアマネジメント論	林 和美	2 3 4		1	15	ケアマネジャー経験から実際の業務や課題を提供する。	
	ケースワーク論	小嶋 章吾	1 2		1	15	医療ソーシャルワーカー、すなわち保健医療分野におけるソーシャルワーカーとしての実務経験をともに、保健医療分野におけるケースワークの展開について講義の中で具体例を提示する。	
	保健医療福祉制度論	金野 充博	1		2	30	読売新聞政治部、解説部記者として、首相官邸、厚生労働省などを担当していた教員による授業。最新のニュースを素材に今日的な問題についても理解を深める。	
	臨床心理学概論	喜多村 真紀	2		2	30	公認心理師、臨床心理士の資格を有し、精神科病院での実務および研究業務に従事している臨床経験を活かして講義を展開する。	
	関連職種連携実習	新井田 孝裕	4		1	45	実習担当教員の実務経験や、現場の実習指導者のアドバイスにより、学生の討議をより活発にしている。	
	専門基礎	ヒューマンズスキル演習	野呂 千鶴子	1		1	30	科目担当をする10人の教員は、すべて豊富な看護職としての実務経験を有している。それを活かし、看護学に初めて接する履修者に対して、自身の経験も随所に取り入れながら、看護の対象となる「人」の理解と「健康」「環境」さらには「生老病死」についても考えられるよう、授業を展開する。
		病態論	福澤 龍二	1		1	30	小児科専門医、病理専門医、細胞診断専門医として大学病院や基幹病院で豊富な臨床経験を活かした講義を展開します。
		老年学	岩本 俊彦	2		1	30	高齢総合診療科の医師としての経験を学生に示しながら老年学的知識を深めるための講義を行う。
		機能障害論Ⅰ（循環器・呼吸器・血液）	入江 浩子	2		1	30	呼吸・循環・血液の専門医としての豊富な臨床経験を生かし各疾患をわかりやすく教授する。
		機能障害論Ⅱ（脳神経・消化器・内分泌）	松本 政人	2		1	30	医学的な講義を担当するのは、臨床にて豊富な経験をもつ専門医である。看護の視点と結びつける講義は、これらの臨床での経験のある看護師が行う。担当講師は、これらの臨床経験を活かした講義を行う。
機能障害論Ⅲ（生殖・泌尿器・運動・免疫）		北原 玉依	2		1	30	担当講師は、各専門科における臨床経験を有し、臨床経験を活かした講義を行う。	
機能障害論Ⅳ（精神・小児・老年関連疾患）		須藤 弘子	2		1	30	専門医としての豊富な臨床経験を活かし各疾患をわかりやすく教授する。	
専門Ⅰ	基礎看護学概論	林 圭子	1		1	15	看護師・保健師の実務における経験を講義に組み込むことで具体的なイメージをつかむことができ、理解が深まる。	
	看護理論	阿久津 滝子	1		1	15	看護師、保健師の実務経験を生かし、看護理論がどのように実践にいかされているのかを講義を通して取り入れている。	
	看護方法論	近藤 邦	1		1	30	担当教員が経験を通して学んだことを事例としてその時々での学習目標に合わせて教材化し、思考の上り下りを助けるように指導する。	
	日常生活援助論Ⅰ（環境と清潔）	林 圭子	1		1	30	病院での実務で経験した出来事を紹介しながら具体と抽象のつながりがわかるような授業展開をする。	
	日常生活援助論Ⅱ（食事と排泄）	阿久津 滝子	1		1	30	あらゆる発達段階の対象の生活援助について実務で経験した出来事を紹介しながら、具体と抽象のつながりがわかるような授業展開をしています。	
	看護技術論Ⅰ（オシメやバイタルサイン）	佐藤 聖一	1		1	30	本科目の指導に関わる教員は、全員臨床で患者に対し看護師として看護を実践している。看護実践に必要な知識と技術、患者への関わり方などが本科目の指導の中で活用される。	
	看護技術論Ⅱ（診察・検査・与薬）	佐藤 聖一	2		1	30	本科目の指導に関わる教員は、全員臨床で患者に対し看護師として看護を実践している。看護実践に必要な知識と技術、患者への関わり方などが本科目の指導の中で活用される。	
	看護コミュニケーション	近藤 邦	2		1	30	教員は臨床における実務経験者であり、多くの患者、家族、多職種専門職とのコミュニケーションを成立させながら職責を果たした経験がある。実際の臨床現場における経験に基づいた演習を実施する。	
	看護管理学	樋本 まゆみ	3		2	30	医療安全管理者としての経験を用いて医療安全管理を展開。認定看護管理者の資格と経験を用いて、看護管理の授業展開をする。鯨川弁護士には、実際の裁判事例を基に、法と倫理の観点から医療裁判事例をもとに弁護士としての見解を講義していただく。	
	基礎看護学実習Ⅰ（看護援助の基本）	近藤 邦	1		1	45	病院での看護師経験、訪問看護ステーション管理者経験、看護教員経験あり。臨床の場で自分の経験を、具体的事例として取り入れている。	
	基礎看護学実習Ⅱ（看護過程の展開）	阿久津 滝子	2		2	90	担当教員は看護実践の経験を活用し、担当患者の回復過程、心身の状態を理解するために必要な知識に対し、学習の仕方、学習ポイントや理解を深めるための指導を行い、患者理解を可能とする知識の学習を促す。次いでその知識の適用方法を示し、患者理解を促し、患者の看護援助を考え準備する機会を整え、患者の安全を担保したうえで実際に受け持った患者に看護実践し体験から学びが得られるよう、教育を行う。	

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
成人看護学概論	入江 浩子	2	1		15	成人期特有の看護師のあり方、実務内容などを経験知から講義する。
成人看護学方法論Ⅰ（急性期看護論）	入江 浩子	2	1		30	担当教員は、成人領域のおもに急性期で豊富な実務経験を有する。周手術期における臨地実習を踏まえ、成人期に代表される疾患を術前から術中・術後を通して患者看護を中心に講義する。また、クリティカル期の看護についても医療機器、特殊性をふまえて講義する。
成人看護学方法論Ⅱ（感染看護論）	森川 奈緒美	3	1		15	より臨床実践に近い状況を想定し、考えさせることを中心に授業を展開する。
成人看護学方法論Ⅲ（慢性期看護論）	金子 順子	2	1		30	臨床経験のなかで経験した事例などを踏まえながら、具体的かつ実践的な看護展開に対する解説を加える。
成人看護学方法論Ⅳ（がん・911対応看護論）	金子 順子	3	1		30	臨床経験のなかで経験した事例などを踏まえながら、具体的かつ実践的な看護展開に対する解説を加える。
成人看護学方法論Ⅴ（技術論）	森川 奈緒美	3	1		30	豊富な実務経験から、実践可能なプランの作成、およびその後の実技演習を、現場で実践可能なレベルまで導く展開とする。
緩和ケア	金子 順子	4	1		15	臨床経験のなかで経験した事例などを踏まえながら、具体的かつ実践的な看護展開に対する解説を加える。
老年看護学概論	松本 明美	2	1		15	看護師、社会福祉士、介護支援専門員等の資格と実務経験を活かし、高齢者看護の社会的基盤である福祉的目標やそれらの経験を授業に盛り込み、より社会の求める高齢者看護の能力向上に努めている。
老年看護学方法論Ⅰ（生活を整える看護）	松本 明美	2	1		30	臨床経験を授業に盛り込み、より実践的な高齢者看護の能力向上につなげるようになっている。
老年看護学方法論Ⅱ（健康選別に伴う看護）	松本 明美	3	1		30	臨床経験を授業に盛り込み、より実践的な高齢者看護の能力向上につなげるようになっている。
老年看護学演習	松本 明美	3	1		15	それぞれの臨床経験をグループワークのファシリテーターとして活用し、より臨床に迫ったシミュレーション教育ができるようになっている。
小児看護学概論	高山 裕子	2	1		15	担当する教員は、実務経験を生かし実践的教育を行う。
小児看護学方法論	須藤 弘子	2	2		30	担当する教員は、実務経験を生かした実践的教育を行う。
小児看護学演習	須藤 弘子	3	1		30	病院での臨床経験等で得た知識や技術を活かした実践的教育を行う。
リプロダクティブヘルス看護学概論	及川 裕子	2	1		15	講義担当者は産科での実務経験を活かし助産師教育を経て、リプロダクティブヘルス看護学での教育を行う。
リプロダクティブヘルス看護学方法論	及川 裕子	2	2		30	科目担当者は産科及び産科混合病棟での実務経験をもとに教授する。
リプロダクティブヘルス看護学演習	北原 玉依	3	1		30	妊産婦と新生児のアセスメントやケアに必要な技術の実際を、視聴覚教材や教員の実験の体験などを用いて説明する。またモデル人形を用いて教員がデモンストレーションを行い、学生も体験する。
精神看護学概論	野呂 千鶴子	2	1		15	講義内容に、臨床現場で出逢った事例と支援の実際を組み込み、理論と実践が結びつくよう教授する。
精神看護学方法論	谷田部 佳代弥	2	2		30	臨床経験を講義等に取り込み、知識と実践の統合が図れるよう分かりやすく教授する。
精神看護学演習	谷田部 佳代弥	3	1		30	臨床事例をとりあげ、知識と実践の統合が図れるよう教授する。
成人看護学急性期実習	入江 浩子	3	3		135	豊富な経験から、受け持ち患者の疾患、治療、看護を結びつけ指導する能力に優れている。実習中の課題についても速やかに対応できる。
成人看護学慢性期実習	入江 浩子	3	3		135	豊富な経験から、受け持ち患者の疾患、治療、看護を結びつけ指導する能力に優れている。実習中の課題についても速やかに対応できる。
老年看護学実習Ⅰ（ふれあい実習）	松本 明美	2	1		45	臨床経験を授業に盛り込み、より実践的な高齢者看護の能力向上につなげるようになっている。
老年看護学実習Ⅱ（病院・施設実習）	松本 明美	3	3		135	臨床経験を授業に盛り込み、より実践的な高齢者看護の能力向上につなげるようになっている。
小児看護学実習	高山 裕子	3	2		90	担当する教員は、学生自ら小児看護について探求できるよう、実務経験を活かし実践的教育を行う。
リプロダクティブヘルス看護学実習	及川 裕子	3	2		90	科目担当者は産科及び産科混合病棟での実務経験をもとに、女性のライフコースが多様化している状況に合わせて教授する。
精神看護学実習	野呂 千鶴子	3	2		90	知識と技術の統合が図れるよう分かりやすく教授する。
在宅看護学概論	荒川 博美	1	1		15	経験に基づく事例等で、在宅看護の実際をよりイメージしやすく、また、幅広い観点からの対象者理解や看護について授業展開を深める。
在宅看護学方法論	荒川 博美	4	2		30	担当教員は、地域で行われている療養者と家族への支援や地域包括ケア等の在宅看護の実務経験を生かして、事例を通して具体的な在宅看護の支援方法を教授する実践的教育を行っている。
在宅看護学演習	落合 佳子	4	1		15	担当教員は、在宅療養者とその家族への看護、多職種連携等の在宅看護の実務経験を基に、より具体的な在宅看護過程や必要な技術等を教授する実践教育を行う。
看護研究	及川 裕子	3	2		30	科目担当者は産科及び産科混合病棟での実務経験をもとに、親の発達や子育て支援に関する研究を行ってきた。リプロダクティブヘルス看護学領域における研究課題を例示しながら講義する。
看護研究ゼミⅠ（ベシク）	落合 佳子	4	1		30	臨床経験および各専門領域の研究経験を活かし、関心のある研究課題について知識を深められるよう、少人数のゼミナール形式で研究指導を行う。
看護研究ゼミⅡ（アドバンス）	落合 佳子	4	1		30	臨床経験および各専門領域の研究経験を活かし、倫理的配慮に基づき看護の発展に役立つ、実施可能な研究計画書が立案できるように個別に研究指導を行う。
実践看護学特論	松本 明美	4	1		45	臨床経験を授業に盛り込み、より実践的な高齢者看護等の能力向上につなげるようになっている。
看護管理学演習	樋本 まゆみ	4	1		30	実際の看護管理者経験により、時代の変遷により、様々な政策変化を経験してきた。学生には、なぜその時代において、政策が提案されてきたのかを遊及的に文献により調べプレゼンテーションを行わせる際に、経験を交えた解説を行う。
国際看護学	高山 裕子	4	1		15	各担当者がそれぞれの経験をもとに講義を行い、グローバル化社会における国際看護や異文化看護の課題へと展開を図る。
家族看護学	北原 玉依	2	1		15	家族看護の実際について、公衆衛生や在宅で教員が実際に体験した事例などを用いて説明する。
看護倫理学	樋本 まゆみ	2	1		15	看護師、認定看護管理者、救急救命士免許を取得しており、倫理的意思決定に必要なプロセスを何度も経験している。それを含め、臨床場面における看護倫理学を展開する。
災害看護学	樋本 まゆみ	4	1		15	看護師として三次救命救急センター勤務11年間勤務し、救命救急士免許を取得し、様々な救命活動と災害看護を実践してきた。実践的には、トリアージ方法、人為的災害と自然災害の違い、実践的に看護師として災害時に必要な知識と行動を重点的に展開する。
医療安全論	樋本 まゆみ	4	1		15	日々看護業務の中で、特に新人看護師としての医療安全における注意点について、現場の経験を授業に盛り込み、医療全体を視野に入れた医療事故の未然防止のあり方を教授する。
在宅看護学実習	荒川 博美	4	2		90	担当教員は、地域で行われている療養者と家族への支援や地域包括ケア等の在宅看護の実務経験を、実習を通して具体的な在宅看護の支援方法やあり方を教授する実践的教育を行っている。
統合実習	松本 明美	3	2		90	各教員のこれまでの経験知を活かし、学生が主体的に実習課題を達成できるように教員はファシリテーターとして関わり、看護実践能力の統合力を養っていく。

専門Ⅱ

専門教育科目

統合分野

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
専門教育科目 公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	松永 洋子	1	1	15	行政保健師としての経験を活かし、公衆衛生看護活動の基礎となる概念・理論・方法・技術等について、事例を提示しながら教授する。
	公衆衛生看護方法論	桑野 美夏子	4	2	30	科目担当責任者教員及び科目担当教員は、地域で暮らす対象への支援の実務経験を通して、具体的な公衆衛生看護における個人・家族・集団の支援方法を教授する実践的教育を行っている。
	対象別保健活動論Ⅰ（発達段階別）	松永 洋子	4	2	30	科目担当責任者教員は、公衆衛生看護分野の行政保健師としての実務経験を生かして、事例を通して具体的な公衆衛生看護の支援方法を教授する実践的教育を行っている。
	対象別保健活動論Ⅱ（障害別）	松永 洋子	4	1	15	科目担当責任者教員は、公衆衛生看護分野の行政保健師としての実務経験を生かして、事例を通して具体的な公衆衛生看護の支援方法を教授する実践的教育を行っている。
	地域診断論	松永 洋子	3	1	30	科目担当責任者教員及び科目担当教員は、地域診断を基に公衆衛生看護活動を展開してきた実務経験を活かし、地域診断の具体的な展開方法を教授する実践的教育を行っている。
	健康教育論	桑野 美夏子	3	2	30	地域で健康教育を実施してきた実務経験を活かし、効果ある健康教育の理論・技術を教授する実践的教育を行っている。
	産業保健論	松永 洋子	2	1	15	保健師経験を活かし、働く世代の健康問題と労働衛生施策、産業看護職（主に保健師）の果たす役割について教授する。
	学校保健論	松永 洋子	2	1	15	科目担当責任者教員は、公衆衛生看護分野の保健師・養護教諭としての実務経験を生かして、事例を通して具体的な公衆衛生看護の支援方法を教授する実践的教育を行っている。
	健康危機管理論	野呂 千鶴子	3	1	15	保健師・看護師 行政保健師として23年の経験。災害時保健活動を阪神・淡路大震災、豪雨災害被災地において実践した。実務経験を盛り込みながら、危機発生時の法的根拠、保健活動の機能・役割をおさえ、具体化できるように演習を交えて、教授する。
	公衆衛生看護管理論	松永 洋子	4	1	15	行政保健師として、管理職も経験しており、さらに現任教育プログラム策定のチームにも参加していたので、その経験を活かし、保健師の人材育成・管理等について、事例を提示しながら教授する。
	公衆衛生看護特論	松永 洋子	4	1	30	担当教員は、公衆衛生看護分野での実務経験を生かして、具体的な公衆衛生看護を教授する実践的教育を行っている。
	公衆衛生看護学実習	松永 洋子	4	4	180	科目担当責任者教員及び科目担当教員は、実際の公衆衛生看護活動に携わった実務経験を生かし、実習を通して具体的な公衆衛生看護の支援方法やあり方を教授する実践的教育を行っている。

卒業要件単位数	124	単位
実務経験のある教員等による授業科目	159	単位

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目			
			必修	選択					
人間系	文学論	山内 則史	1	2	3	4	2	30	新聞記者として文芸分野を担当。記者時代の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中の文学を意識させながら授業を展開する。
	演劇論	山内 則史	1	2	3	4	1	15	新聞記者として演劇を担当。取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。
	宗教学	戸松 義晴	1	2	3	4	2	30	ハーバード大学神学校での諸宗教の方々との出会い、全日本仏教会事務総長、日本宗教連盟事務局長として、改正臓器移植法案、尊厳死、安楽死、生殖補助医療などについて宗教者代表として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のところに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。
	死生学-死を通して生を考える-	小野 充一	1	2	3	4	2	30	小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きのびる知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。
総合教育科目 社会系	法学	鮫川 誠司	1	2	3	4	2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。
	日本国憲法	鮫川 誠司	1	2	3	4	2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。
	日本政治経済論	光山 奈保子	1	2	3	4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	マスメディア論	佐藤 伸	1	2	3	4	2	30	授業の合間に、講師が記者として体験したことなどをニュースの裏側に関する話を随時します。
	福祉経済学	光山 奈保子	1	2	3	4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	アジア諸国の経済・社会・文化	村上 大介	1	2	3	4	2	30	基礎知識を身につけるという授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
	国際関係論	村上 大介	1	2	3	4	2	30	基礎知識を身につけるという授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
	世界の経済	光山 奈保子	1	2	3	4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	国際医療福祉論	後藤 純信	1	2	3	4	2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
	社会保障制度論	田中 秀一	1	2	3	4	2	30	新聞社で医療・社会保障分野を担当し、医療・介護現場の実情を取材・研究して記事作成を行うとともに、この分野の問題に関する社説を執筆した。取材や研究を通じた経験や実例を適宜示し、学生の理解がより深められる講義を展開する。
	ボランティア論	大石 剛史	1	2	3	4	2	30	ボランティアセンター等でのボランティア支援の経験を授業内でフィードバックする。
	ボランティアコーディネート論	大石 剛史	1	2	3	4	2	30	ボランティアセンター等でのボランティア支援の経験を授業内でフィードバックする。
	手話入門	西澤 さつき	1	2	3	4	2	30	地域の手話奉仕員養成講習会講師、手話通訳者の立場、また障害当事者の立場から、厚生労働省策定手話奉仕員養成カリキュラムの一部を授業に取り入れて、医療・介護の現場に役立つ手話を教示していく。
	経済の仕組み	光山 奈保子	1	2	3	4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	経済の歴史	光山 奈保子	1	2	3	4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
自然・情報系	疫学・保健医療統計学	島田 直樹	1	2	3	4	2	30	産業医は、労働現場において生じる様々な健康問題に対して、疫学的手法を用いて、原因の解明および対策の樹立を行っている。その経験を授業で紹介する。
生命倫理	阿部 晶子	1	2	3	4	2	30	臨床に携わる医師らが実務経験も加味した講義をオムニバス形式で行う。	

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目	
				必修	選択			
総合教育科目	外国語系							
	英語医療通訳入門1 (Primary)	三浦 美恵子	1 2 3 4		1	30	実際の医療現場で、まさに医療を必要としている外国人患者に対して通訳をした・しているリアルな経験を学生に伝える。便利なツールやAIの進歩がめまぐるしい現在においても、言葉・外国語を使って人と人がコミュニケーションすることは不可欠である。現場の経験を通して感じたコミュニケーションの大切さ、面白さ、難しさ、文化の違い、医療現場で外国人患者をサポートすることの大切さなどを訴える。	
	英語医療通訳入門2 (Basic)	三浦 美恵子	1 2 3 4		1	30	実際の医療現場で、まさに医療を必要としている外国人患者に対して通訳をした・しているリアルな経験を学生に伝える。便利なツールやAIの進歩がめまぐるしい現在においても、言葉・外国語を使って人と人がコミュニケーションすることは不可欠である。現場の経験を通して感じたコミュニケーションの大切さ、面白さ、難しさ、文化の違い、医療現場で外国人患者をサポートすることの大切さなどを訴える。	
保健体育系	健康科学実践	小林 薫	1 2 3 4		1	30	理学療法士として幅広い対象者に対して健康づくり（一次救命処置、ファーストエイドを含む）を行ってきた。この実務経験から得た知識、経験を集団および個々の体力レベルに応じた運動に活かす。	
専門基礎科目 / 学部共通	公衆衛生学	島田 直樹	1 2 3 4		2	30	産業医は、産業保健を中心として、公衆衛生学の様々な領域に関する知識を活用して業務を行っている。その経験を授業で紹介する。	
	微生物と病気	相馬 義郎	1 2 3 4		2	30	医師として、長年、腎不全患者のための血液透析に従事してきた。血液透析患者は、慢性的な免疫不全状態にあり、シビアな感染症コントロールの実務経験がある。実務経験に基づき感染症の現状、問題点に関して、分かりやすく解説するとともに、現実的対応について討議する。	
	リハビリテーション概論	若江 幸三良	1		2	30	過去30年以上の大学病院での臨床実務経験をもとに、実際の経験症例を提示する。	
	関連職種連携論	阿部 晶子	2		2	30	現在、臨床に関わっていたり、また第一線で活躍している方が講師となる。臨床の経験を活かした講義を展開する。	
	看護論	林 圭子	1		2	30	看護師・保健師・助産師での実務経験に基づいた講義を展開する。	
	ケアマネジメント論	林 和美	2 3 4		1	15	ケアマネジャー経験から実際の業務や課題を提供する。	
	ケースワーク論	小嶋 章吾	1 2 3 4		1	15	医療ソーシャルワーカー、すなわち保健医療分野におけるソーシャルワーカーとしての実務経験をともに、保健医療分野におけるケースワークの展開について講義の中で具体例を提示する。	
	保健医療福祉制度論	金野 充博	1 2 3 4		2	30	読売新聞政治部、解説部記者として、首相官邸、厚生労働省などを担当していた教員による授業。最新のニュースを素材に今日的な問題についても理解を深める。	
	臨床心理学概論	喜多村 真紀	2		2	30	公認心理師、臨床心理士の資格を有し、精神科病院での実務および研究業務に従事している臨床経験を活かして講義を展開する。	
	関連職種連携実習	新井田 孝裕	4		1	45	実習担当教員の実務経験や、現場の実習指導者のアドバイスにより、学生の討議をより活発にしていく。	
	専門教育科目	運動学Ⅰ（基礎）	谷 浩明	1		1	30	理学療法士として効果的な運動あるいはリスクの回避において、運動学の知識は必要不可欠である。そのため、実務経験から得た知識やスキル、日常のありふれた現象の「なぜ？」を講義に活かす。
		運動学Ⅱ（応用）	谷 浩明	1		1	30	理学療法士として効果的な運動あるいはリスクの回避において、運動学の知識は必要不可欠である。そのため、実務経験から得た知識やスキル、日常のありふれた現象の「なぜ？」を講義に活かす。
		運動生理学	小林 薫	1		2	30	理学療法士として効果的な運動あるいはリスクの回避において、運動生理学の知識は必要不可欠である。そのため、実務経験から得た知識やスキル、日常のありふれた現象の「なぜ？」を講義に活かす。
		病理学	福澤 龍二	2		1	30	小児科専門医、病理専門医、細胞診断専門医として大学病院や基幹病院で豊富な臨床経験を活かした講義を展開します。
		臨床医学概論	久保 晃	2		1	30	急性期、回復期、生活期医療施設での計、約20年の臨床経験に基づくコンテンツを授業の一部で展開。
		内科学Ⅰ（基礎）	前田 眞治	2		1	30	授業内容には内科医師として、臨床場面を加味して講義を展開している。講義の中で患者などの実例を示し、より具体的なイメージを持ちやすくしている。
		内科学Ⅱ（臨床）	前田 眞治	2		1	30	授業内容には内科医師として、臨床場面を加味して講義を展開している。講義の中で患者などの実例を示し、より具体的なイメージを持ちやすくしている。
		神経学Ⅰ（基礎）	大塚 美恵子	2		1	30	脳神経内科医師としての経験を活かし、実例を示しながら学生の理解がより深まる講義を行う。
		整形外科学Ⅰ（基礎）	若江 幸三良	2		1	30	過去30年以上の大学病院での臨床実務経験をもとに、実際の経験症例を提示する。
		整形外科学Ⅱ（臨床）	若江 幸三良	2		1	30	過去30年以上の大学病院での臨床実務経験をもとに、実際の経験症例を提示する。
		精神医学Ⅰ（総論・各論）	古城 慶子	2		1	30	病院での精神科実地臨床を踏まえて、症例を呈示しながら、学生の理解が深まる講義を展開している。
		精神医学Ⅱ（各論）	古城 慶子	2		1	30	病院での精神科実地臨床を踏まえて、症例を呈示しながら、学生の理解が深まる講義を展開している。
		運動学実習Ⅰ（基礎）	久保 晃	2		1	45	理学療法士として、運動による身体の運動学的・運動生理学的変化およびパフォーマンス変化を捉えることは必須のスキルである。また、各種の機器操作やそこから得られる情報を正確に理解しなければならない。そのため、実務経験から得た知識やスキル、機器操作のコツなどを実習に活かす。
		運動学実習Ⅱ（応用）	久保 晃	2		1	45	理学療法士として、運動による身体の運動学的・運動生理学的変化およびパフォーマンス変化を捉えることは必須のスキルである。また、各種の機器操作やそこから得られる情報を正確に理解しなければならない。そのため、実務経験から得た知識やスキル、機器操作のコツなどを実習に活かす。
		人間発達学	糸数 昌史	2		1	30	重症心身障害児施設での子どもや両親との関わりの中から得られた経験を基にした内容を含むことができる。
		リハビリテーション医学	前田 眞治	3		1	30	授業内容にはリハビリテーション科医師として、臨床場面を加味して講義を展開している。講義の中で障害者などの実例を示し、より具体的なイメージを持ちやすくしている。
		小児科学	下泉 秀夫	2		1	30	各講師は医師として病院等で診療をしている。診療経験を活かした講義を行う。
老年学		岩本 俊彦	2 3 4		1	30	高齢総合診療科の医師としての経験を学生に示しながら老年学的知識を深めるための講義を行う。	
神経心理学概論		上里 彰仁	2 3 4		2	30	講師は精神科医として医療機関における実務経験がある。臨床経験を活かした講義を展開する。	
外科学		内田 克紀	2 3 4		1	15	医師としての経験や実際の症例などを授業内容に取り入れて講義を展開していく。	

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
ハルバージョン (運動機能)	糸数 昌史	1		1	15	理学療法士として日々臨床業務を行っている。実際に病気を抱えた方や障害のある方に対しての骨や筋肉の触診に関して伝えることができる。
理学療法概論	久保 晃	1		2	30	現場での経験、体験、チーム医療の中での理学療法士の位置づけなどを展開する。
PTスキルⅠ演習 (課題発表・PBL)	久保 晃	1		1	30	病院、高齢者施設、小児施設など幅広い分野での実務経験があり、多くの領域における理学療法の展開について講義およびディスカッションしていく。
PTスキルⅡ演習 (課題学習・口頭試問)	久保 晃	2		1	30	理学療法士として、理学療法評価から問題点を抽出するという一連の過程は必須のスキルである。また、得られた情報を正確に理解しなければならない。そのため、実務経験から得た知識やスキル、コツなどを演習に活かす。
PTスキルⅢ演習 (課題学習)	久保 晃	3		1	30	実務経験から得た知識やスキル、疾患特有の「なぜ？」を講義に活かす。
PTスキルⅣ演習 (口頭試問・OSCE・CBT)	久保 晃	3		2	60	実務経験から得た知識やスキル、疾患特有の「なぜ？」を講義に活かす。
病態運動学	韓 憲受	3		2	30	担当教員は運動器系の障害・疾患を有する患者の運動療法の実務に関わった臨床経験や呼吸・循環の疾患を有する患者の運動療法の実務に関わった臨床経験を有する。担当教員が理学療法士の免許取得後に経験した臨床での実務と関連付けを行いながら講義を進行する。
スポーツ心理学	谷 浩明	1 2 ③ ④		1	15	理学療法の臨床は患者さんに動作を学習してもらう側面がある。スポーツ心理学における教示やフィードバックの知見が、実際の臨床での学習にどのように応用することができるかについて、講義の中に含めている。
スポーツ医科学	久保 晃	1 2 ③ 4		1	15	医療現場、スポーツ現場や試合会場におけるサポートでの経験でえた事例や実践内容を授業内へ反映させ、実践的な知識へと結びつける。また、授業に臨場感を持たせる。
理学療法診断学Ⅰ (基礎)	小野田 公	2		1	30	実務経験より臨床現場で必要になる評価技術を指導し、臨床実習などで自立して評価ができるように学修・演習をしていく。
理学療法診断学Ⅱ (疾患編)	小野田 公	2		1	30	実務経験より臨床現場で必要になる評価技術を指導し、臨床実習などで自立して評価ができるように学修・演習をしていく。
理学療法診断学Ⅲ (神経・画像診断学を含む)	久保 晃	2		1	15	神経系の働きと疾病、障害との関連や具体的な症状など、実務経験を反映させた授業を展開する。
動作分析学	久保 晃	② 3 4		1	15	各期での実務経験を活かし、病院での動作分析(主として歩行、起立の基本動作)や在宅での動作分析の知識と経験を授業へ展開する。
臨床動作分析学	金子 純一郎	2 ③ 4		1	15	理学療法士が実際の動作分析を実施する過程を踏まえた講義を展開する。
運動負荷学	伊藤 晃洋	2 ③ 4		1	15	・専門理学療法士(内部障害)・血管診療技師(血管に関する疾患に対しての診療技術や知識を有する医療従事者に認定される資格)・心電図検定2級(一般循環器医、循環器勤務ベテランメディカルプロフェッショナルレベル)各資格から疾患における基礎知識や運動負荷時の注意点、心電図変化等について授業を展開する。また、内部障害領域における臨床経験を踏まえ、実際の症例の進め方を学習する
理学療法計測法	谷 浩明	② 3 4		1	15	理学療法士の臨床で用いられる評価は、関節可動域、徒手筋力検査をはじめ、測定をそのベースにしている。臨床でばらつきをみせる測定の原因をどのようにクリアしていけばよいかを、臨床の経験に統計的手法をからめながら講義する。
運動療法学総論	小野田 公	2		1	30	実務経験より臨床現場で必要になる運動療法を指導し、臨床実習などで自立して評価ができるように学修・演習をしていく。
癌のリハビリテーション	原 毅	2 ③		1	15	急性期医療施設にてがん患者に対して実務経験のある理学療法士あるいは看護師資格を持つ教員が、実務経験で得た知識や観察するポイント、実践すべき臨床技能を本科目の受講生に教授する。
生活環境学	遠藤 佳章	3		1	30	理学療法士の視点から対象者の生活環境の問題点を理解できるようになるためディスカッションします。
義肢学	井川 達也	3		1	30	急性期病院での経験から、特に切断後の管理や義肢装着早期の症状について講義に含める。
装具学	糸数 昌史	3		1	30	理学療法士として医師と連携して装具の処方および装具を用いたリハビリテーションを実施した経験がある。教科書レベルにとらわれず、臨床でよくみる機会の多い装具や患者像について適宜解説する。
理学療法治療総論	小林 薫	3		1	15	実務経験から得た知識やスキル、疾患特有の「なぜ？」を講義に活かす。
運動系理学療法Ⅰ (基礎)	石坂 正大	3		1	30	理学療法士として効果的な運動療法あるいはリスクの回避において、運動器および運動器疾患に関わる知識は必要不可欠である。そのため、実務経験から得た知識やスキル、疾患特有の「なぜ？」を講義に活かす。
運動系理学療法Ⅱ (応用)	石坂 正大	3		1	30	理学療法士として、背髄損傷、TKAなど患者さんを治療する機会も多く、その実務経験を生かして授業を展開する。対象者のニーズは様々ではなく、患者さんを治療するうえで必要な知識と視点を講義で説明する。
神経系理学療法Ⅰ (脳血管)	金子 純一郎	3		1	30	急性期および回復期における治療プログラムの実施手順を踏まえた講義を展開する。
神経系理学療法Ⅱ (神経筋)	金子 純一郎	3		1	30	神経難病に対する治療プログラムの実施手順を踏まえた講義を展開する。
小児理学療法	糸数 昌史	3		1	30	重症心身障害児施設で働いている経験も時に盛り込みながら講義を行う。
循環器系理学療法	久保 晃	3		1	15	・専門理学療法士(内部障害)・血管診療技師(血管に関する疾患に対しての診療技術や知識を有する医療従事者に認定される資格)・心電図検定2級(一般循環器医、循環器勤務ベテランメディカルプロフェッショナルレベル)各資格から循環器の各疾患に対する基礎知識から理学療法に必要な知識・臨床技術まで講義を行う。また、内部障害領域における臨床経験を踏まえ、実際の症例の進め方を学習する
呼吸器系理学療法	久保 晃	3		1	15	臨床経験による症例・事例を教授内容と関連付けて展開することで、理解が深まる。呼吸器障害特有のリスク管理は、実務経験による事例紹介を豊富に展開する必要がある。
代謝系理学療法	石坂 正大	3		1	15	糖尿病の教育入院を病院で担当し、運動指導や理学療法評価を授業で展開する。また、身近な日常生活に話題を変えた授業展開としている。
急性期理学療法	石坂 正大	2 ③ 4		1	15	急性期だけでなく、回復期への転棟、生活期を見据えた急性に必要なことをまとめます。
理学療法治療学演習Ⅰ (神経筋促進治療学)	小野田 公	2 ③ 4		1	15	実務経験より神経筋促進法で必要な技術を指導し、様々な臨床症状に合わせた治療技術を学修・演習を実施していく。
理学療法治療学演習Ⅴ (マニュアルセラピー徒手)	小野田 公	③ 4		1	15	実務経験よりマニュアルセラピーで必要な技術を指導し、様々な臨床症状に合わせた治療技術を学修・演習を実施していく。
検査実習	久保 晃	2		2	90	理学療法士として、理学療法評価から問題点を抽出するという一連の過程は必須のスキルである。また、得られた情報を正確に理解しなければならない。そのため、実務経験から得た知識やスキル、コツなどを実習に活かす。
評価実習	久保 晃	3		4	180	実務経験から得た知識やスキル、疾患特有の「なぜ？」を実習に活かす。
理学療法国際事情	韓 憲受	1 2 ③ 4		1	15	国際的活動においては相互理解が不可欠である。担当教員による理学療法の国際的活動の経験を活用し、国際的相互理解に必要な方法や尺度の相違を盛り込んで展開する。
呼吸管理	原 毅	2 ③		1	15	急性期医療施設にて呼吸管理が必要となる患者に対して実務経験のある理学療法士あるいは看護師資格を持つ教員が、実務経験で得た知識や観察するポイント、実践すべき臨床技能を本科目の受講生に教授する。

専門教育科目

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
専門 教育科目	老人理学療法学	久保 晃	2 ③ 4		1	15	高齢者の心身機能を理解した上で、高齢者に対しての具体的な理学療法を展開するために必要な知識を提供いたします。
	トレーニング理論	久保 晃	2 ③ 4		1	15	各期での理学療法士の経験から各期に合わせた、具体的なトレーニングメニューの立案を行う。
	精神科理学療法学	奥村 隆彦	2 3 ④		1	15	作業療法士として精神科リハビリテーションに携わった知識・経験から、精神科リハビリテーションの概要および疾病・疾患についての基礎知識と治療的アプローチについて教授する。
	理学療法教育法	谷 浩明	2 ③ 4		1	15	教育現場の経験から、相対的な価値観に基づき、専門教育自体が持つ問題点を把握している。したがって、理学療法の教育というものに特化しすぎない形で展開することを心がけ、受講者自身に今後の専門教育に新しい発想が生まれてくるような構成を試みている。
	PTマネジメント	黒澤 和生	2 ③ 4		1	15	理学療法士としての臨床経験を踏まえ、学生として知っておくべき理学療法士を取り巻く法律、リハ関連の診療報酬の問題、組織管理及びリスク管理等のマネジメント等の基本的事項について講義を展開する。

卒業要件単位数	126	単位
実務経験のある教員等による授業科目	132	単位

※新課程（2020年入学生以降1～2年）94単位
 旧課程（2019年入学生まで3～4年）38単位

授業科目の名称		教員名	配当年次				単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
							必修	選択		
人間系	文学論	山内 則史	1	2	3	4		2	30	新聞記者として文芸分野を担当。記者時代の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中の文学を意識させながら授業を展開する。
	演劇論	山内 則史	1	2	3	4		1	15	新聞記者として演劇を担当。取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。
	宗教学	戸松 義晴	1	2	3	4		2	30	ハーバード大学神学校での諸宗教の方々との出会い、全日本仏教会事務総長、日本宗教連盟事務局長として、改正臓器移植法案、尊厳死、安楽死、生殖補助医療などについて宗教者代表として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のところに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。
	死生学-死を通して生を考える-	小野 充一	1	2	3	4		2	30	小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きのびる知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。
総合教育科目 社会系	法学	鮫川 誠司	1	2	3	4		2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。
	日本国憲法	鮫川 誠司	1	2	3	4		2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。
	日本政治経済論	光山 奈保子	1	2	3	4		2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	マスメディア論	佐藤 伸	1	2	3	4		2	30	授業の合間に、講師が記者として体験したことなどをニュースの裏側に関する話を随時します。
	福祉経済学	光山 奈保子	1	2	3	4		2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	アジア諸国の経済・社会・文化	村上 大介	1	2	3	4		2	30	基礎知識を身につけるという授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
	国際関係論	村上 大介	1	2	3	4		2	30	基礎知識を身につけるという授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
	世界の経済	光山 奈保子	1	2	3	4		2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	国際医療福祉論	後藤 純信	1	2	3	4		2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
	社会保障制度論	田中 秀一	1	2	3	4		2	30	新聞社で医療・社会保障分野を担当し、医療・介護現場の実情を取材・研究して記事作成を行うとともに、この分野の問題に関する社説を執筆した。取材や研究を通じた経験や実例を適宜示し、学生の理解がより深められる講義を展開する。
	ボランティア論	大石 剛史	1	2	3	4		2	30	ボランティアセンター等でのボランティア支援の経験を授業内でフィードバックする。
	ボランティアコーディネート論	大石 剛史	1	2	3	4		2	30	ボランティアセンター等でのボランティア支援の経験を授業内でフィードバックする。
	手話入門	西澤 さつき	1	2	3	4		2	30	地域の手話奉仕員養成講習会講師、手話通訳者の立場、また障害当事者の立場から、厚生労働省策定手話奉仕員養成カリキュラムの一部を授業に取り入れて、医療・介護の現場に役立つ手話を教示していく。
	経済の仕組み	光山 奈保子	1	2	3	4		2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	経済の歴史	光山 奈保子	1	2	3	4		2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	目録・情報系	疫学・保健医療統計学	島田 直樹	1	2	3	4		2	30
	生命倫理	阿部 晶子	1	2	3	4		2	30	臨床に携わる医師らが実務経験も加味した講義をオムニバス形式で行う。

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目	
				必修	選択			
総合教育科目	外国語系							
	英語医療通訳入門1 (Primary)	三浦 美恵子	1 2 3 4	1	1	30	実際の医療現場で、まさに医療を必要としている外国人患者に対して通訳をした・しているリアルな経験を学生に伝える。便利なツールやAIの進歩がめまぐるしい現在においても、言葉・外国語を使って人と人がコミュニケーションすることは不可欠である。現場の経験を通して感じたコミュニケーションの大切さ、面白さ、難しさ、文化の違い、医療現場で外国人患者をサポートすることの大切さなどを訴える。	
	英語医療通訳入門2 (Basic)	三浦 美恵子	1 2 3 4	1	1	30	実際の医療現場で、まさに医療を必要としている外国人患者に対して通訳をした・しているリアルな経験を学生に伝える。便利なツールやAIの進歩がめまぐるしい現在においても、言葉・外国語を使って人と人がコミュニケーションすることは不可欠である。現場の経験を通して感じたコミュニケーションの大切さ、面白さ、難しさ、文化の違い、医療現場で外国人患者をサポートすることの大切さなどを訴える。	
保健体育系	健康科学実践	小林 薫	1 2 3 4	1	1	30	理学療法士として幅広い対象者に対して健康づくり（一次救命処置、ファーストエイドを含む）を行ってきた。この実務経験から得た知識、経験を集団および個々の体力レベルに応じた運動に活かす。	
専門教育科目	学部共通	公衆衛生学	島田 直樹	1 2 3	2	2	30	産業医は、産業保健を中心として、公衆衛生学の様々な領域に関する知識を活用して業務を行っている。その経験を授業で紹介する。
		微生物と病気	相馬 義郎	1 2 3 4	2	2	30	医師として、長年、腎不全患者のための血液透析に従事してきた。血液透析患者は、慢性的な免疫不全状態にあり、シビアな感染症コントロールの実務経験がある。実務経験に基づき感染症の現状、問題点に関して、分かりやすく解説するとともに、現実的対応について討議する。
		リハビリテーション概論	谷口 敬道	1 2 3	2	2	30	発達障害領域、地域支援に関する臨床経験が豊富。作業療法士に必要なリハビリテーションの概論の基礎知識を教授する。
		関連職種連携論	阿部 晶子	2	2	2	30	現在、臨床に関わっていたり、また第一線で活躍している方が講師となる。臨床の経験を活かした講義を展開する。
		看護論	林 圭子	1	2	2	30	看護師・保健師・助産師での実務経験に基づいた講義を展開する。
		ケアマネジメント論	林 和美	2 3 4	1	1	15	ケアマネジャー経験から実際の業務や課題を提供する。
		ケースワーク論	小嶋 章吾	1 2 3 4	1	1	15	医療ソーシャルワーカー、すなわち保健医療分野におけるソーシャルワーカーとしての実務経験をともに、保健医療分野におけるケースワークの展開について講義の中で具体例を提示する。
		保健医療福祉制度論	金野 充博	1 2 3 4	2	2	30	読売新聞政治部、解説部記者として、首相官邸、厚生労働省などを担当していた教員による授業。最新のニュースを素材に今日的な問題についても理解を深める。
		臨床心理学概論	喜多村 真紀	1 2 3	2	2	30	公認心理師、臨床心理士の資格を有し、精神科病院での実務および研究業務に従事している臨床経験を活かして講義を展開する。
		関連職種連携実習	新井田 孝裕	4	1	1	45	実習担当教員の実務経験や、現場の実習指導者のアドバイスにより、学生の討議をより活発にしておく。
	専門基礎	運動学Ⅰ（基礎）	谷口 敬道	1	1	1	30	発達障害領域における臨床経験が豊富。作業療法士に必要な運動学の基礎知識を教授する。
		運動学Ⅱ（応用）	谷口 敬道	1	1	1	30	発達障害領域に関する臨床経験が豊富。作業療法士に必要な運動学の応用知識を教授する。
		運動学実習	平野 大輔	2	1	1	45	作業療法士として発達障害領域の施設・病院に勤務し、実務に携わる。作業療法士に必要な運動学実習の知識・技術を教授する。
		運動生理学	関 優樹	2	1	1	30	神経疾患および内科系疾患への治療（作業療法）経験をもとに患者の運動時、作業時における生理反応、生理機能を把握する技術を習得した。患者の状態像を把握するために必要な基礎知識（生理学、運動学）を教授する。
		病理学	福澤 龍二	2	1	1	30	小児科専門医、病理専門医、細胞診断専門医として大学病院や基幹病院で豊富な臨床経験を活かした講義を展開します。
		内科学	前田 眞治	2	1	1	30	授業内容には内科医師として、臨床場面を加味して講義を展開している。講義の中で患者などの実例を示し、より具体的なイメージを持ちやすくしている。
		神経学Ⅰ（基礎）	加藤 宏之	2	1	1	30	脳神経内科医師としての経験を活かし、実例を示しながら学生の理解がより深まる講義を行う。
		神経学Ⅱ（臨床）	加藤 宏之	2	1	1	30	脳神経内科医師としての経験を活かし、実例を示しながら学生の理解がより深まる講義を行う。
		整形外科学Ⅰ（基礎）	若江 幸三良	2	1	1	30	過去30年以上の大学病院での臨床実務経験をともに、実際の経験症例を提示する。
		整形外科学Ⅱ（臨床）	若江 幸三良	2	1	1	30	過去30年以上の大学病院での臨床実務経験をともに、実際の経験症例を提示する。
		精神医学Ⅰ（基礎）	山本 直樹	2	1	1	30	教員は、精神科専門医として、現在も臨床を行っている。臨床経験を踏まえ、事例などを提示しながら授業を展開する。
		精神医学Ⅱ（臨床）	山本 直樹	3	1	1	30	教員は、精神科専門医として、現在も臨床を行っている。臨床経験を踏まえ、事例などを提示しながら授業を展開する。
		老年学	岩本 俊彦	3	1	1	30	高齢総合診療科の医師としての経験等を学生に示しながら老年学的知識を深めるための講義を行う。
		リハビリテーション医学	前田 眞治	3	1	1	30	授業内容にはリハビリテーション科医師として、臨床場面を加味して講義を展開している。講義の中で障害者などの実例を示し、より具体的なイメージを持ちやすくしている。
		人間発達学	関森 英伸	1	1	1	30	医療機関における実務経験に留まらず、保健・福祉・教育領域での実務経験を活かし、ライフステージに応じた人間の発達を学生に理解してもらうために、臨床現場での具体的な例を挙げながら、大切な視点、知識、保護者や家族の思い等を教授し、臨床実習や臨床に繋がる講義に努める。
		病態生理学	関 優樹	2	1	1	15	神経疾患および内科系疾患への治療（作業療法）を行うために必要となる、患者の症状とその疾患の病理的変化の繋がりを理解する技術を習得した。患者の症状および状態像を把握するために必要な基礎知識（生理学、運動学）を教授する。
		外科学	内田 克紀	2	1	1	15	医師としての経験や実際の症例などを授業内容に取り入れて講義を展開していく。
		脳神経外科学	永井 睦	2	1	1	15	診療経験や実際の症例などを授業内容に取り入れて講義を展開していく。
		神経心理学概論	上里 彰仁	2	1	1	15	講師は精神科医として医療機関における実務経験がある。臨床経験を活かした講義を展開する。
		対人援助論	奥村 隆彦	2 3 4	1	1	15	担当教員の実務経験をともに、対人援助の技能やその理論背景について教授し、対人援助職としてアイデンティティの涵養を促す。

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
作業学概論	奥村 隆彦	1	1		15	担当教員の実務経験をもとに、「人の生活と作業の意味」を伝えて、作業の治療的な有用性について、理論的背景および知識・技能について教授する。
作業工程技術学・基礎論	奥村 隆彦	1	1		30	各担当教員の実務経験をもとに、治療の媒体となる作業活動について学生たちの理解を促す。講義では知識および理論背景を教授し、演習では作業活動の特性について学ばせる。
作業工程技術学・応用論	奥村 隆彦	1	1		30	各担当教員の実務経験をもとに、治療の媒体となる作業活動について学生たちの理解を促す。それぞれの作業活動の特性について学生たちの体験を通じた学びを支援する。
作業分析学Ⅰ（基礎）	平野 大輔	2	1		30	作業療法士として発達障害領域の施設・病院に勤務し、実務に携わる。施設・病院の実務から事例を多く紹介する。
作業分析学Ⅱ（応用）	平野 大輔	2	1		30	作業療法士として発達障害領域の施設・病院に勤務し、実務に携わる。施設・病院の実務から事例を多く紹介する。
作業応用論	高村 直裕	2 3 4	1		30	精神科病院や保健所DC等において作業療法士として実務経験を有しており、その経験を生かして授業において実際に用いた作業活動の導入例等を挙げながら演習を展開する。
研究法概論	平野 大輔	3	1		15	・作業療法士として発達障害領域の施設・病院に勤務し、実務に携わる。施設・病院の実務から事例を多く紹介する。
作業療法評価学各論	陣内 大輔	2	1		30	実務経験を踏まえ、具体的な事例に対する検査・測定を臨床的な視点も含め教授する。
生活機能論	高村 直裕	2	1		30	精神科病院や保健所DC等において作業療法士として実務経験を有しており、その経験を生かし、実際の事例等を用いICFによる障害構造の理解が進むよう講義を展開する。
上肢機能評価法	平野 大輔	2	1		15	作業療法士として発達障害領域の施設、病院に勤務し、実務に携わる。施設・病院の実務から事例を多く紹介する。
日常生活活動評価法	関 優樹	2	1		15	病院業務において、日常生活活動（ADL）の評価である「FIM」および「BI」を活用した経験から、検査方法および留意点を講義で説明できる。
認知機能評価法	小賀野 操	3	1		15	臨床経験に基づいて症例を提示し、認知機能検査の適用について教授する。
作業療法諸理論	高村 直裕	2 3 4	1		15	オムニバス形式で各理論について各領域の病院または施設で理論に基づく実践経験のある教員が実例を用いながら講義を展開する。
コミュニケーション技術論	渡邊 清美	2	1		30	担当教員の小児領域、障害保健福祉領域の経験を元に、実践内容を踏まえた授業を展開する。
内科系疾患作業療法学	関 優樹	3	1		30	身体障害領域の回復期リハビリテーション病院での勤務経験がある。作業療法士に必要な内科系疾患の基礎知識を教授する。
生活技術学Ⅰ（総論）	小賀野 操	2	1		30	作業療法士として身体障害領域の対象者に日常生活活動の評価や支援を行った経験を講義中に紹介したり、リハビリテーションおよび作業療法の支援の考え方を経験した事例を通して教授する。
生活技術学Ⅱ（各論）	小賀野 操	3	1		30	作業療法士として身体障害領域の対象者に日常生活活動の評価や支援を行った経験を講義中に紹介したり、経験した事例で臨床推論に関わるグループディスカッションを行う。
運動器疾患作業療法学	関 優樹	3	1		30	身体障害領域の回復期病院に勤務経験がある。作業療法士に必要な運動器疾患の基礎知識を教授する。
中脳神経疾患作業療法学Ⅰ（総論）	小賀野 操	3	1		30	回復期病院で担当した事例の情報からスクリーニングの考え方を教授するなど臨床での経験を都度紹介しながら講義を展開する。
中脳神経疾患作業療法学Ⅱ（各論）	小賀野 操	3	1		30	回復期病院で脳卒中、神経難病のある対象者に作業療法を提供した事例の経験を教授する。また、関連施設の外部講師（OTR）から実際に作業療法を提供した事例を紹介いただき、作業療法評価計画を立案してOTRの考えと比較検討する機会とするとともに、OTRの臨床推論を学ぶ機会とする。
精神疾患作業療法学Ⅰ（総論）	高村 直裕	3	1		30	精神科病院や障害者総合支援施設等において作業療法士として実務経験を有しており、その経験を生かして授業において実際の事例を挙げながら講義を展開する。各疾患別作業療法については教科書を用いた基本的知識や治療原則を学び、その後教員の実務経験した事例を用いて学ぶ。
精神疾患作業療法学Ⅱ（各論）	奥村 隆彦	3	1		30	各教員の実務経験をもとに、精神科作業療法の対象となる疾患・障害についての作業療法の実践方法について教授する。また、精神障害領域で用いられる他の専門療法についての知識と急性期治療・退院支援・司法領域の作業療法などについても教授する。PBL学習では各教員がファシリテーターとなって学習支援を行う。
小児作業療法学Ⅰ（総論）	関森 英伸	3	1		30	医療機関における実務経験に留まらず、保健・福祉・教育領域での実務経験を活かし、小児領域における作業療法支援について学生に理解してもらうために、臨床現場での具体的な例を挙げながら、大切な視点、知識、保護者や家族の思い等を教授し、臨床実習や臨床に繋がる講義に努める。
小児作業療法学Ⅱ（各論）	渡邊 清美	3	1		30	各疾患に対する作業療法の展開を実践例を紹介しながら、講義する。また、ICT教材を活用したり、障害者の当事者、親を招いて講義してもらうことで、現実的な困り感やニーズ等を聴く機会を設ける。
認知障害作業療法学	小賀野 操	3	1		30	担当教員は、回復期病院で作業療法士として高次脳機能障害のある対象者の生活支援にかかわった経験を有する。講義では都度臨床で支援した事例を紹介するとともに作業療法支援の在り方を伝える。
認知症作業療法特論	陣内 大輔	3	1		15	実務経験を踏まえ、具体的な事例に対する評価方法および非薬物療法について臨床的な視点も含め教授する。
作業療法適用学特論	渡邊 清美	3	1		15	オムニバス形式にて、さまざまな領域で活躍する作業療法士の実践例を教授する。
就学・就労支援論	野崎 智仁	4	1		15	担当教員の医療機関、小児領域、障害保健福祉領域の経験をもとに、授業を展開する。具体的には、それぞれの施設基準に応じて、評価や訓練の実際、連携の取り方など、事例情報をもとにしてシームレスな支援の展開について講義を行う。
職業関連技術学	奥村 隆彦	3	1		30	担当教員の医療機関、障害保健福祉領域での実務経験を元に、授業を展開する。具体的には、それぞれの施設基準における評価や訓練などの実例をもとに、また事例情報などと合わせて講義を行う。
作業療法の諸外国事情	小賀野 操	2 3 4	1		15	担当教員は、海外での臨床経験や短期技術援助の経験を持つ。外部講師はJICA事業への参加経験を有する。担当教員及び外部講師の海外での作業療法経験を講義し、議論を通して学生が海外の作業療法事情について考え、興味を深められるように努める。
地域生活作業療法論	陣内 大輔	4	1		30	・精神科病院および精神科デイケアでの作業療法業務や、市保健センター機能訓練事業訓練業務、県高齢者総合相談センター、介護実習普及センター専門相談員相談業務などの実務経験がある。その実務経験を活かして講義を行う。
地域ケアシステム論	陣内 大輔	3 4	1		15	担当教員の介護福祉領域、小児領域、障害保健福祉領域の経験をもとに、授業を展開する。具体的には、それぞれの施設基準における法制度の適応、また事例への対応など、臨床場面を想定した講義を行う。
生活支援計画論	陣内 大輔	4	1		15	実務経験を踏まえ、臨床現場の事例をもとに具体的な介護保険制度における支援計画立案について教授する。
義肢適用論	野崎 智仁	3	1		15	担当教員の医療機関、障害保健福祉領域での実務経験を元に、授業を展開する。実際の義肢を使用している動画なども用意し、事例性も合わせて講義を行う。
装具・副子適用論	関 優樹	3	1		30	病院勤務経験より装具および副子が必要となる疾患の症状・病態について学生へ説明することができ、作成方法、適応方法を教授できる。

専門
教育科目

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目	
			必修	選択			
専門教育科目 専門	自助具・福祉機器適用論	関 優樹	3	1		30	病院および介護老人保健施設での臨床経験から、対象者の生活機能を代償する自助具の作成方法、在宅復帰に必要な福祉用具の選定および適用の手順、方法を教授できる。
	住環境整備論	野崎 智仁	3	1		15	医療機関、障害保健福祉領域での経験をもとに、授業を展開する。具体的には、それぞれの施設基準に応じた住環境整備の実践内容を、事例情報などを交えて講義を行う。
	バリアフリー論	渡邊 清美	2 3 4		1	15	身近なバリアフリーを実際体験することで、座学で学んだことと関連付け学修する。また、ユニバーサルデザインは様々な場所で活かされている例について、自ら検索し、体感する。
	臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	野崎 智仁	1		1	15	5年以上の臨床現場の実務経験を要する複数教員により、学生の臨床思考が養われるよう、実習ゼミを展開する。
	臨床実習ゼミⅡ（作業療法実践過程）	奥村 隆彦	2		1	15	5年以上の臨床現場の実務経験を要する複数教員により、学生の臨床思考が養われるよう、実習ゼミを展開する。
	臨床実習ゼミⅢ（作業療法計画立案）	小賀野 操	3		1	15	5年以上の臨床現場の実務経験を要する複数教員により、学生の臨床思考が養われるよう、実習ゼミを展開する。
	臨床実習ゼミⅣ（作業療法実践）	関森 英伸	4		1	15	5年以上の臨床現場の実務経験を要する複数教員により、学生の臨床思考が養われるよう、実習ゼミを展開する。
	作業療法倫理・管理	陣内 大輔	4		1	15	作業療法部門の管理運営、倫理問題とその対処、リスク（安全管理）、職能団体の組織と役割、生涯学習などの最新の情報提供が可能である。

卒業要件単位数	126	単位
実務経験のある教員等による授業科目	124	単位

※新課程（2020年入学生以降1～2年）30単位
 旧課程（2019年入学生まで3～4年）94単位

授業科目の名称		教員名	配当年次				単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
							必修	選択		
人間系	文学論	山内 則史	1	2	3	4	2	30	新聞記者として文芸分野を担当。記者時代の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中の文学を意識させながら授業を展開する。	
	演劇論	山内 則史	1	2	3	4	1	15	新聞記者として演劇を担当。取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。	
	宗教学	戸松 義晴	1	2	3	4	2	30	ハーバード大学神学校での諸宗教の方々との出会い、全日本仏教会事務総長、日本宗教連盟事務局長として、改正臓器移植法案、尊厳死、安楽死、生殖補助医療などについて宗教者代表として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のところに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。	
	死生学-死を通して生を考える-	小野 充一	1	2	3	4	2	30	小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きのびる知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。	
総合教育科目 社会系	法学	鮫川 誠司	1	2	3	4	2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。	
	日本国憲法	鮫川 誠司	1	2	3	4	2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。	
	日本政治経済論	光山 奈保子	1	2	3	4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
	マスメディア論	佐藤 伸	1	2	3	4	2	30	授業の合間に、講師が記者として体験したことなどをニュースの裏側に関する話を随時します。	
	福祉経済学	光山 奈保子	1	2	3	4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
	アジア諸国の経済・社会・文化	村上 大介	1	2	3	4	2	30	基礎知識を身につけるという授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。	
	国際関係論	村上 大介	1	2	3	4	2	30	基礎知識を身につけるという授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。	
	世界の経済	光山 奈保子	1	2	3	4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
	国際医療福祉論	後藤 純信	1	2	3	4	2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。	
	社会保障制度論	田中 秀一	1	2	3	4	2	30	新聞社で医療・社会保障分野を担当し、医療・介護現場の実情を取材・研究して記事作成を行うとともに、この分野の問題に関する社説を執筆した。取材や研究を通じた経験や実例を適宜示し、学生の理解がより深められる講義を展開する。	
	ボランティア論	大石 剛史	1	2	3	4	2	30	ボランティアセンター等でのボランティア支援の経験を授業内でフィードバックする。	
	ボランティアコーディネート論	大石 剛史	1	2	3	4	2	30	ボランティアセンター等でのボランティア支援の経験を授業内でフィードバックする。	
	手話入門	西澤 さつき	1	2	3	4	2	30	地域の手話奉仕員養成講習会講師、手話通訳者の立場、また障害当事者の立場から、厚生労働省策定手話奉仕員養成カリキュラムの一部を授業に取り入れて、医療・介護の現場に役立つ手話を教示していく。	
	経済の仕組み	光山 奈保子	1	2	3	4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
	経済の歴史	光山 奈保子	1	2	3	4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
自然・情報系	統計学	島田 直樹	1	2	3	4	2	30	産業医は、労働現場において生じる様々な健康問題を解決する際に、必要なデータの収集、解析、解釈などの統計学的手法を用いている。その経験を授業で紹介する。	
	疫学・保健医療統計学	島田 直樹	1	2	3	4	2	30	産業医は、労働現場において生じる様々な健康問題に対して、疫学的手法を用いて、原因の解明および対策の樹立を行っている。その経験を授業で紹介する。	
	生命倫理	阿部 晶子	1	2	3	4	2	30	臨床に携わる医師らが実務経験も加味した講義をオムニバス形式で行う。	

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目		
				必修	選択				
総合教育科目	外国語系								
	英語医療通訳入門1 (Primary)	三浦 美恵子	1 2 3 4	1	1	30	実際の医療現場で、まさに医療を必要としている外国人患者に対して通訳をした・しているリアルな経験を学生に伝える。便利なツールやAIの進歩がめまぐるしい現在においても、言葉・外国語を使って人と人がコミュニケーションすることは不可欠である。現場の経験を通して感じたコミュニケーションの大切さ、面白さ、難しさ、文化の違い、医療現場で外国人患者をサポートすることの大切さなどを訴える。		
	英語医療通訳入門2 (Basic)	三浦 美恵子	1 2 3 4	1	1	30	実際の医療現場で、まさに医療を必要としている外国人患者に対して通訳をした・しているリアルな経験を学生に伝える。便利なツールやAIの進歩がめまぐるしい現在においても、言葉・外国語を使って人と人がコミュニケーションすることは不可欠である。現場の経験を通して感じたコミュニケーションの大切さ、面白さ、難しさ、文化の違い、医療現場で外国人患者をサポートすることの大切さなどを訴える。		
保健体育系	健康科学実践	小林 薫	1 2 3 4	1	1	30	理学療法士として幅広い対象者に対して健康づくり（一次救命処置、ファーストエイドを含む）を行ってきた。この実務経験から得た知識、経験を集団および個々の体力レベルに応じた運動に活かす。		
専門基礎 / 学部共通	公衆衛生学	島田 直樹	1 2 3 4	2	2	30	産業医は、産業保健を中心として、公衆衛生学の様々な領域に関する知識を活用して業務を行っている。その経験を授業で紹介する。		
	微生物と病気	相馬 義郎	1 2 3 4	2	2	30	医師として、長年、腎不全患者のための血液透析に従事してきた。血液透析患者は、慢性的な免疫不全状態にあり、シビアな感染症コントロールの実務経験がある。実務経験に基づき感染症の現状、問題点に関して、分かりやすく解説するとともに、現実的対応について討議する。		
	リハビリテーション概論	若江 幸三良	1 2	2	2	30	過去30年以上の大学病院での臨床実務経験をもとに、実際の経験症例を提示する。		
	関連職種連携論	阿部 晶子	2	2	2	30	現在、臨床に関わっていたり、また第一線で活躍している方が講師となる。臨床の経験を活かした講義を展開する。		
	看護論	林 圭子	1	2	2	30	看護師・保健師・助産師での実務経験に基づいた講義を展開する。		
	ケアマネジメント論	林 和美	2 3 4	1	1	15	ケアマネジャー経験から実際の業務や課題を提供する。		
	ケースワーク論	小嶋 章吾	1 2 3 4	1	1	15	医療ソーシャルワーカー、すなわち保健医療分野におけるソーシャルワーカーとしての実務経験をもとに、保健医療分野におけるケースワークの展開について講義の中で具体例を提示する。		
	保健医療福祉制度論	金野 充博	1	2	2	30	読売新聞政治部、解説部記者として、首相官邸、厚生労働省などを担当していた教員による授業。最新のニュースを素材に今日的な問題についても理解を深める。		
	関連職種連携実習	新井田 孝裕	4	1	1	45	実習担当教員の実務経験や、現場の実習指導者のアドバイスにより、学生の討議をより活発にしていく。		
	専門基礎	病理学	福澤 龍二	1	1	1	15	小児科専門医、病理専門医、細胞診断専門医として大学病院や基幹病院で豊富な臨床経験を活かした講義を展開します。	
		内科学	前田 眞治	3	1	1	30	授業内容には内科医師として、臨床場面を加味して講義を展開している。講義の中で患者などの事例を示し、より具体的なイメージを持ちやすくしている。	
		精神医学	山本 直樹	3	1	1	30	臨床経験を踏まえ、事例などを提示しながら授業を展開する。	
		リハビリテーション医学	前田 眞治	2	1	1	30	授業内容にはリハビリテーション科医師として、臨床場面を加味して講義を展開している。講義の中で障害者などの事例を示し、より具体的なイメージを持ちやすくしている。	
		小児科学	下泉 秀夫	2	1	1	30	各講師は医師として病院等で診療をしている。その診療経験を活かした講義を行う。	
		耳鼻咽喉科学	岡野 光博	3	1	1	30	大学病院勤務などの実務経験がある。経験を活かし、問題解決学習を含む授業を行う。	
		臨床神経学	手塚 修一	2	1	1	30	神経内科専門医・指導医として、国際医療福祉大学病院などで診療をしている。実務経験を踏まえた臨床神経学について、講義をする。	
		形成外科学	石井 直弘	3	1	1	15	形成外科医師としての臨床経験を踏まえて講義を行う。	
		臨床歯科医学	三田村 治郎	2	1	1	15	歯科医師として、言語療法に関連した顎口腔領域全般の基礎的な知識を教授する。	
		中枢神経機能学	橋本 律夫	2	1	1	30	脳神経内科医師として、臨床経験に基づいた講義を行う。	
		聴覚医学	野口 佳裕	2	1	1	30	耳鼻咽喉科医師として国際医療福祉大学成田病院のほか、国際医療福祉大学病院、言語聴覚センター、国際医療福祉大学三田病院などで診療をしている。実務経験を加味して講義を行う。	
		児童精神医学	山本 直樹	1 ② 3 4	1	1	15	教員は、精神科専門医として、現在も臨床を行っている。臨床経験を踏まえ、事例などを提示しながら授業を展開する。	
		老年学	岩本 俊彦	1 ② 3 4	1	1	30	高齢総合診療科の医師としての経験等を学生に示しながら老年学的知識を深めるための講義を行う。	
		脳神経外科学	永井 睦	1 ② 3 4	1	1	15	各回の担当教員は医師として、病院などで診療をしている。診療経験や実際の症例などを授業内容に取り入れて講義を展開していく。	
		臨床心理学	喜多村 真紀	2	1	1	30	公認心理師、臨床心理士の資格を有し、精神科病院での実務および研究業務に従事している。臨床経験を活かして講義を展開する。	
		生涯発達心理学	相澤 輝美	1	1	1	30	精神科クリニックにおいて、精神障害者や発達障害者等に対するカウンセリング業務を行っている。精神障害や発達障害に関する具体例を挙げ、解説する。	
		神経心理学	橋本 律夫	1	1	1	30	脳神経内科医師として、臨床経験に基づいた講義を行う。	
		聴覚心理学	安 啓一	3	1	1	30	聴覚障害がある学生を対象に音響学・聴覚心理学を教えている。聴覚障害のある者の立場に立って聴覚心理を理解し、授業へ展開する。	
		専門	言語聴覚障害学概論	阿部 晶子	1	1	1	30	各教員は言語聴覚士としての臨床経験を活かして講義する。
			コミュニケーション技能演習	三森 千穂	1	1	1	30	各教員の臨床経験に基づいて、小児から高齢者までのコミュニケーションの特徴や技法について、講義内で指導を行う。
			コミュニケーション障害演習	平田 文	2	1	1	15	担当する教員は、全員が言語聴覚士免許を有し、言語聴覚障害のある対象者の言語聴覚療法の実務経験を有する。言語聴覚士としての臨床経験を踏まえ、言語聴覚障害のある対象者とのコミュニケーションに関する知識、技能の統合を図る。
	言語聴覚障害診断学		阿部 晶子	3	1	1	30	各教員の実務経験を活用し本講義・演習を展開する。	
	失語症・高次脳機能障害学総論Ⅰ		阿部 晶子	2	1	1	30	担当者は、言語聴覚士の免許を有し、失語症・高次脳機能障害をもつ対象者に対する病院での言語聴覚療法の臨床経験を有する。担当者はその実務経験を交え講義を展開する。	
	失語症・高次脳機能障害学総論Ⅱ		阿部 晶子	2	1	1	30	担当者は、言語聴覚士の免許を有し、失語症・高次脳機能障害をもつ対象者に対する病院での言語聴覚療法の臨床経験を有する。担当者は言語聴覚士としての実務経験を交え講義を展開する。	
失語症学Ⅰ（評価・診断）	小森 規代		3	1	1	30	本講義は教員の実務経験に基づき実践的に展開し、実地で活用できる臨床能力および臨床思考力を養う。		
失語症学Ⅱ（治療）	小森 規代		3	1	1	30	本講義は教員の実務経験に基づき実践的に展開し、実地で活用できる臨床能力および臨床思考力を養う。		

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
失語症・高次脳機能障害学演習	小森 規代	3	1		30	担当するすべての教員は、言語聴覚士の免許を有し、失語症・高次脳機能障害をもつ対象者に対する言語聴覚療法の豊富な臨床経験を有する。本講義は教員の実務経験に基づき実践的に展開し、実地で活用できる臨床能力および臨床思考能力を養う。
高次脳機能障害学	阿部 晶子	3	1		30	科目責任者、担当者は、言語聴覚士の免許を有し、病院で高次脳機能障害をもつ対象者の方に対する臨床経験を有する。高次脳機能障害のある対象者に対する臨床経験を交えて講義を展開する。
言語発達障害学総論	畦上 恭彦	2	1		30	担当者は言語聴覚士免許取得者であり、病院等で言語発達障害児の臨床経験を有する。担当者は言語発達障害児の臨床経験を交え講義を展開する。
言語発達障害学各論	畦上 恭彦	2	1		30	担当者は言語聴覚士免許取得者であり、病院等での言語発達障害児の臨床経験を有する。担当者は言語発達障害児への臨床経験を交え講義を展開する。
言語発達障害学Ⅰ(評価・診断)	畦上 恭彦	3	1		30	担当者は言語発達障害児への臨床経験を交え講義を展開する。
言語発達障害学Ⅰ 演習(評価・診断)	佐藤 妙子	3	1		30	担当者は言語発達障害児の臨床における言語聴覚士としての実務経験を交え講義・演習を展開する。
言語発達障害学Ⅱ(指導)	畦上 恭彦	3	1		30	担当者は言語発達障害児への臨床経験を交え講義を展開する。
言語発達障害学Ⅱ 演習(指導)	佐藤 妙子	3	1		30	担当者は言語聴覚士としての言語発達障害児の臨床経験を交え講義・演習を展開する。
聴覚障害学総論	富澤 晃文	2	1		30	付属の言語聴覚センターでの実務経験から臨床ベースに講義を展開している。
聴覚機能評価学	富澤 晃文	2	2		60	付属の言語聴覚センターでの実務経験から臨床ベースに講義を展開している。
聴覚補償論(補聴器・人工内耳など)	富澤 晃文	3	1		30	付属の言語聴覚センターでの実務経験から臨床ベースに講義を展開している。
小児聴覚障害学Ⅰ(評価・診断)	大金 さや香	3	1		30	付属の言語聴覚センターでの実務経験から臨床ベースに講義を展開している。
小児聴覚障害学Ⅱ(指導)	大金 さや香	3	1		30	科目担当責任者、担当者は言語聴覚士免許取得者であり、病院等の実務経験を有し、現在も付属の言語聴覚センターで聴覚障害臨床に従事している。その実務経験を生かした講義を展開している。
成人聴覚障害学(二重障害を含む)	大金 さや香	3	1		30	付属の言語聴覚センターでの実務経験から臨床ベースに講義を展開している。
発声発語障害学総論	前新 直志	2	2		30	十分な臨床経験と専門知識に裏付けられた講義を展開する。
構音障害学Ⅰ(理論)	平田 文	2	1		30	構音障害の臨床経験を踏まえ、言語聴覚士が検査法についてデモンストレーションを行い、実技演習を展開していく。
構音障害学Ⅱ(評価・診断)	平田 文	3	1		30	構音障害の臨床経験を踏まえ、専門的な知識と臨床技術の統合を図りつつ、実際の臨床場面を録画した視聴覚教材などを用いて講義を展開する。
構音障害学演習(治療)	前新 直志	3	1		45	構音障害の臨床経験を踏まえ、専門的知識と臨床技術との統合を図りつつ臨床判断と治療計画および基本的な治療スキルが習得できるよう展開する。
流暢性障害学	前新 直志	2	1		30	吃音・流暢性障害の臨床経験を踏まえ、専門的知識と臨床技術との統合を図りつつ臨床判断と治療・支援計画および基本的な訓練技術が習得できるよう展開する。
音声障害学	平田 文	3	1		30	講義と並行して音声障害の臨床を行なう耳鼻科医師および言語聴覚士が担当し、専門的な知識と豊富な臨床技術を講義する。音声障害の視聴覚教材を用い、耳鼻科医師および言語聴覚士が検査や訓練を講義・実演する
摂食・嚥下障害学Ⅰ(理論・評価診断)	平田 文	3	1		30	嚥下障害に対する豊富な臨床や研究経験を有する認定言語聴覚士(摂食嚥下領域)が講義を行なう。言語聴覚士が講義内で評価や訓練のデモンストレーションを行なう。また、臨床場面のビデオ教材などを用いて講義を行なう。
摂食・嚥下障害学Ⅱ(治療)	平田 文	3	1		30	嚥下障害の臨床経験を踏まえ、専門的知識と臨床技術の統合を図りつつ、治療スキルや臨床判断を習得できるよう展開していく。
言語聴覚障害学研究法	前新 直志	3		2	30	担当者は全員が言語聴覚士の資格を有し、かつ大学院修士以上の学位を有する。各教員の学際的知識と言語聴覚士としての経験を基に指導を展開する。
言語聴覚障害基礎演習	前新 直志	3	1		15	各教員の実務経験を活用し、付属施設での臨床場面に参加しながら本演習を展開する。
言語聴覚療法特論	畦上 恭彦	4	1		15	本科目は4年間のもためである。各教員がこれまでの臨床経験を活かした講義を展開する。
言語聴覚障害学特論(総括)	畦上 恭彦	4	1		15	実務経験を活かした講義を展開する。
卒業研究	前新 直志	4		4	60	各教員の学際的知見や経験を活かした指導を展開する。
臨床実習Ⅰ(基礎)	阿部 晶子	3	2		80	実習指導者は臨床実務経験を活用し直接的な臨床指導を展開する。
臨床実習Ⅱ(総合)	畦上 恭彦	4	10		400	実習指導者は臨床実務経験を活用し直接的な臨床指導を展開する。

専門教育科目

専門

卒業要件単位数	124	単位
実務経験のある教員等による授業科目	132	単位

授業科目の名称		教員名	配当年次				単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
							必修	選択		
人間系	文学論	山内 則史	1	2	3	4	2	30	新聞記者として文芸分野を担当。記者時代の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中の文学を意識させながら授業を展開する。	
	演劇論	山内 則史	1	2	3	4	1	15	新聞記者として演劇を担当。取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。	
	宗教学	戸松 義晴	1	2	3	4	2	30	ハーバード大学神学校での諸宗教の方々との出会い、全日本仏教会事務総長、日本宗教連盟事務局長として、改正臓器移植法案、尊厳死、安楽死、生殖補助医療などについて宗教者代表として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のところに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。	
	死生学-死を通して生を考える-	小野 充一	1	2	3	4	2	30	小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きのびる知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。	
総合教育科目 社会系	法学	鮫川 誠司	1	2	3	4	2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。	
	日本国憲法	鮫川 誠司	1	2	3	4	2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。	
	日本政治経済論	光山 奈保子	1	2	3	4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
	マスメディア論	佐藤 伸	1	2	3	4	2	30	授業の合間に、講師が記者として体験したことなどをニュースの裏側に関する話を随時します。	
	福祉経済学	光山 奈保子	1	2	3	4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
	アジア諸国の経済・社会・文化	村上 大介	1	2	3	4	2	30	基礎知識を身につけるという授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。	
	国際関係論	村上 大介	1	2	3	4	2	30	基礎知識を身につけるという授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。	
	世界の経済	光山 奈保子	1	2	3	4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
	国際医療福祉論	後藤 純信	1	2	3	4	2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。	
	社会保障制度論	田中 秀一	1	2	3	4	2	30	新聞社で医療・社会保障分野を担当し、医療・介護現場の実情を取材・研究して記事作成を行うとともに、この分野の問題に関する社説を執筆した。取材や研究を通じた経験や実例を適宜示し、学生の理解がより深められる講義を展開する。	
	ボランティア論	大石 剛史	1	2	3	4	2	30	ボランティアセンター等でのボランティア支援の経験を授業内でフィードバックする。	
	ボランティアコーディネート論	大石 剛史	1	2	3	4	2	30	ボランティアセンター等でのボランティア支援の経験を授業内でフィードバックする。	
	手話入門	西澤 さつき	1	2	3	4	2	30	地域の手話奉仕員養成講習会講師、手話通訳者の立場、また障害当事者の立場から、厚生労働省策定手話奉仕員養成カリキュラムの一部を授業に取り入れて、医療・介護の現場に役立つ手話を教示していく。	
	経済の仕組み	光山 奈保子	1	2	3	4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
	経済の歴史	光山 奈保子	1	2	3	4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
	自然・情報系	統計学	島田 直樹	1	2	3	4	2	30	産業医は、労働現場において生じる様々な健康問題を解決する際に、必要なデータの収集、解析、解釈などの統計学的手法を用いている。その経験を授業で紹介する。
疫学・保健医療統計学		島田 直樹	1	2	3	4	2	30	産業医は、労働現場において生じる様々な健康問題に対して、疫学的手法を用いて、原因の解明および対策の樹立を行っている。その経験を授業で紹介する。	
生命倫理		阿部 晶子	1	2	3	4	2	30	臨床に携わる医師らが実務経験も加味した講義をオムニバス形式で行う。	

	授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
総合教育科目	英語医療通訳入門1 (Primary)	三浦 美恵子	1 2 3 4	1		30	実際の医療現場で、まさに医療を必要としている外国人患者に対して通訳をした・しているリアルな経験を学生に伝える。便利なツールやAIの進歩がめまぐるしい現在においても、言葉・外国語を使って人と人がコミュニケーションすることは不可欠である。現場の経験を通して感じたコミュニケーションの大切さ、面白さ、難しさ、文化の違い、医療現場で外国人患者をサポートすることの大切さなどを訴える。
	英語医療通訳入門2 (Basic)	三浦 美恵子	1 2 3 4	1		30	実際の医療現場で、まさに医療を必要としている外国人患者に対して通訳をした・しているリアルな経験を学生に伝える。便利なツールやAIの進歩がめまぐるしい現在においても、言葉・外国語を使って人と人がコミュニケーションすることは不可欠である。現場の経験を通して感じたコミュニケーションの大切さ、面白さ、難しさ、文化の違い、医療現場で外国人患者をサポートすることの大切さなどを訴える。
	健康科学実践	小林 薫	1 2 3 4	1		30	理学療法士として幅広い対象者に対して健康づくり（一次救命処置、ファーストエイドを含む）を行ってきた。この実務経験から得た知識、経験を集団および個々の体力レベルに応じた運動に活かす。
専門基礎 / 学部共通	公衆衛生学	島田 直樹	1	2		30	産業医は、産業保健を中心として、公衆衛生学の様々な領域に関する知識を活用して業務を行っている。その経験を授業で紹介する。
	微生物と病気	相馬 義郎	1 2 3 4	2		30	医師として、長年、腎不全患者のための血液透析に従事してきた。血液透析患者は、慢性的な免疫不全状態にあり、シビアな感染症コントロールの実務経験がある。実務経験に基づき感染症の現状、問題点に関して、分かりやすく解説するとともに、現実的対応について討議する。
	リハビリテーション概論	若江 幸三良	1	2		30	過去30年以上の大学病院での臨床実務経験をもとに、実際の経験症例を提示する。
	関連職種連携論	阿部 晶子	2	2		30	現在、臨床に関わっていたり、また第一線で活躍している方が講師となる。臨床の経験を活かした講義を展開する。
	看護論	林 圭子	1	2		30	看護師・保健師・助産師での実務経験に基づいた講義を展開する。
	ケアマネジメント論	林 和美	2	1		15	ケアマネジャー経験から実際の業務や課題を提供する。
	ケースワーク論	小嶋 章吾	1 2	1		15	医療ソーシャルワーカー、すなわち保健医療分野におけるソーシャルワーカーとしての実務経験をもとに、保健医療分野におけるケースワークの展開について講義の中で具体例を提示する。
	保健医療福祉制度論	金野 充博	1 2	2		30	読売新聞政治部、解説記者として、首相官邸、厚生労働省などを担当していた教員による授業。最新のニュースを素材に今日的な問題についても理解を深める。
	臨床心理学概論	喜多村 真紀	2	2		30	公認心理師、臨床心理士の資格を有し、精神科病院での実務および研究業務に従事している臨床経験を活かして講義を展開する。
	関連職種連携実習	新井田 孝裕	4	1		45	実習担当教員の実務経験や、現場の実習指導者のアドバイスにより、学生の討議をより活発にしていける。
	社会福祉学実習	須藤 昌寛	2	1		45	社会福祉士あるいは視能訓練士としてケアワーク・生活相談および眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、医療従事者として対象者と接する上で必要なコミュニケーションについて実践できるように指導を行う。
	人間発達学	関森 英伸	1	1		30	医療機関における実務経験に留まらず、保健・福祉・教育領域での実務経験を活かして、ライフステージに応じた人間の発達を学生に理解してもらうために、臨床現場での具体的な例を挙げながら、大切な視点、知識、保護者や家族の思い等を教授し、臨床実習や臨床に繋がる講義に努める。
	病理学	福澤 龍二	2	1		30	小児科専門医、病理専門医、細胞診断専門医として大学病院や基幹病院で豊富な臨床経験を活かした講義を展開します。
	内科学Ⅰ（基礎）	前田 真治	2	1		30	授業内容には内科医師として、臨床場面を加味して講義を展開している。講義の中で患者などの実例を示し、より具体的なイメージを持ちやすくしている。
	内科学Ⅱ（応用）	前田 真治	2	1		30	授業内容には内科医師として、臨床場面を加味して講義を展開している。講義の中で患者などの実例を示し、より具体的なイメージを持ちやすくしている。
	神経学Ⅰ（基礎）	原 直人	2	1		30	神経眼科医として臨床経験を活かして、視能訓練士として必要な神経学の講義を行う。
	精神衛生	上里 彰仁	2	1		30	講師は精神科医として医療機関における実務経験がある。臨床経験を踏まえ、事例などを提示しながら授業を展開する。
	リハビリテーション医学	前田 真治	2	1		30	授業内容にはリハビリテーション科医師として、臨床場面を加味して講義を展開している。 講義の中で障害者などの実例を示し、より具体的なイメージを持ちやすくしている。
	小児科学	下泉 秀夫	2	1		30	各講師は医師として病院等で診療をしている。診療経験を活かした講義を行う。
	老年学	岩本 俊彦	2	1		30	高齢総合診療科の医師としての経験等を学生に示しながら老年学的知識を深めるための講義を行う。
	神経心理学概論	上里 彰仁	2	2		30	講師は精神科医として医療機関における実務経験がある。臨床経験を活かした講義を展開する。
	外科学	内田 克紀	2	1		15	医師としての経験や実際の症例などを授業内容に取り入れて講義を展開していく。
	保育	室井 朋子	2	1		30	本科目は「実務経験のある教員による授業科目」である。科目担当責任者は、実務経験で得た専門知識の中から、保育に関する基本的知識や基本原理を毎回の授業で提示し、履修者が視能訓練士に必要な保育の知識を理解し習得できるように教授する。
	保育実習	馬立 ゆき子	3	1		45	本科目は「実務経験のある教員による授業科目」である。担当者は、実務経験で得た専門知識や技術を教授し、履修者が視能訓練士として必要な小児の心理に関する知識と接し方の技能を習得できるよう指導する。
	視機能概論Ⅰ（基礎）	鈴木 賢治	1	1		30	眼科医師として眼科診療の実務経験のある教員が、眼科診療に必要な医学的知識の基礎を講義する。 視能訓練士として眼科診療の実務経験のある教員が、視能訓練士の業務の実態と視力に関する専門知識について講義する。
	視機能概論Ⅱ（応用）	鈴木 賢治	1	1		30	眼科医師として眼科診療の実務経験のある教員が、眼科診療に必要な医学的知識の基礎を講義する。 視能訓練士として眼科診療の実務経験のある教員が、視能訓練士の業務の実態と視力検査の具体的な手技について講義する。
	視器解剖病態学Ⅱ（応用）	原 直人	2	2		30	眼科臨床的な観点から眼疾患の発症機序と病態生理学また眼の薬理学について実務経験を活かして講義を行う。
視覚運動生理学	原 直人	2	2		30	各担当教員は実務経験を活かして臨床に必須事項について詳細に説明する。	
生理光学Ⅰ（基礎）	四之宮 佑馬	1	2		30	眼科医師あるいは視能訓練士として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、その実務経験を活かして視能訓練士として必要な光学の基礎知識と理論を理解できるように講義を行う。	
視能訓練学Ⅰ（基礎）	内川 義和	2	2		30	本科目は「実務経験のある教員による授業科目」である。視能訓練士として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、外眼筋の作用と眼球運動、斜視や弱視に関する基本的知識を毎回の授業で提示し、履修者が専門分野の基盤となる知識を理解し習得できるよう教授する。	

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
視覚臨床生理学	岡野 真弓	3	1		30	本科目は「実務経験のある教員による授業科目」である。眼科医師あるいは視能訓練士として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、色覚検査、暗順応検査、電気生理学検査、超音波検査について、原理、検査の流れ、所見の読み方について理解し、実践に活かすことができるよう、症例を提示しながら講義する。
視覚臨床生理学実習	高橋 由嗣	3	1		45	本科目は「実務経験のある教員による授業科目」である。 担当教員は、実務経験で得た専門知識や技術から、電気生理学検査、超音波検査、色覚検査等の視機能検査に係る応用技術と関連知識を教授し、履修者が応用技能を習得できるよう指導を行う。
生理光学Ⅱ（応用）	四之宮 佑馬	2	2		30	眼科医師あるいは視能訓練士として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、視能訓練士として検査を行う上で必要な光学的理論を理解できるように講義を行う。
生理光学Ⅲ（実践）	鈴木 賢治	2	2		30	視能訓練士として眼科診療の実務経験のある教員が、眼科臨床での経験をもとに眼鏡やコンタクトレンズ、眼内レンズなど屈折矯正を中心に専門性の高い講義を展開する。
生理光学実習	四之宮 佑馬	2	1		45	視能訓練士として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、視能訓練士として必要な光学的検査に関する基本的技術と関連知識を教授する。
生理光学Ⅳ（発展）	内川 義和	3	1		15	本科目は「実務経験のある教員による授業科目」である。視能訓練士として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、眼鏡・コンタクトレンズ・眼内レンズによる屈折矯正および光学的視能矯正の実践に必要な発展的知識について教授する。
視能障害学Ⅰ（基礎）	新井田 孝裕	2	2		30	本科目は実務経験のある教員による授業科目である。眼科医師として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、実務経験で得た専門知識の中から、眼科検査結果の診方に加え、症状や所見から疾患を想定する上で必要となる基本的知識や基本原理を教授する。
視能障害学Ⅱ（応用）	原 直人	3	2		30	眼科医、視能訓練士として実務経験を活かして疾病学の講義を行う。
神経眼科学Ⅰ（基礎）	新井田 孝裕	3	2		30	本科目は実務経験のある教員による授業科目である。眼科医師として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、実務経験で得た専門知識の中から、視機能を理解する上で重要な視神経、視路、高次視覚皮質に加え、視覚と密接に関連する眼球運動、輻湊、調節瞳孔系の解剖・病態生理と検査法・検査結果の診方に関する基本的知識や基本原理を毎回の授業で提示し、履修者が専門分野の基盤となる知識を理解し習得できるよう教授する。
神経眼科学実習	鎌田 泰彰	3	1		45	各担当教員は、実務経験で得た専門知識や技術から、視野検査等の視機能検査に係る応用技術と関連知識を教授し、履修者が応用技能を習得できるよう指導を行う。
神経眼科学Ⅱ（応用）	早川 友恵	3	1		15	各担当は実務経験を活かして講義を行う。担当教員は、実務経験で得た専門知識や技術から、神経学的、神経心理学的、画像診断学的側面から、視覚情報処理過程と視覚に関連する大脳皮質の構造と機能について解説する。
視能矯正学Ⅰ（基礎）	新井田 孝裕	2	2		30	本科目は実務経験のある教員による授業科目である。眼科医師として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、実務経験で得た専門知識や技術から、弱視・斜視の領域を扱う視能矯正学の基礎を学ぶ上で必要な視覚系の構造、両眼視のメカニズムとその発達、網膜対応の概念と分類、検査法の基本的知識や基本原理を毎回の授業で教授する。
視能矯正学Ⅱ（応用）	新井田 孝裕	2	2		30	本科目は実務経験のある教員による授業科目である。眼科医師として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、実務経験で得た専門知識や技術から、弱視・斜視の領域を扱う視能矯正学の基礎を学ぶ上で根幹となる外眼筋の解剖・生理、基本的な眼球運動の特性と理論、近見反応における調節と輻湊のメカニズムに関する応用的な専門知識を毎回の授業で教授する。
視能矯正学Ⅲ（発展）	新井田 孝裕	2	2		30	本科目は実務経験のある教員による授業科目である。眼科医師として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、実務経験で得た専門知識や技術から、多様化する視能矯正学の専門知識を毎回の授業で提示し、履修者が自ら問題発見と課題解決に取り組み、専門領域の実務に活かすための発展的学習ができるよう教授する。
視能矯正学実習Ⅰ（基礎）	四之宮 佑馬	2	1		45	視能訓練士として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、実務経験で得た専門知識や技術から、視力、屈折等の視機能検査に係る応用技術と関連知識を教授し、履修者が応用技能を習得できるよう指導を行う。
視能矯正学実習Ⅱ（応用）	高橋 由嗣	3	1		45	担当教員は、実務経験で得た専門知識や技術から、眼位検査、眼球運動検査、両眼視機能検査等の視機能検査に係る応用技術と関連知識を教授し、履修者が応用技能を習得できるよう指導を行う。
視能検査学Ⅰ（基礎）	新井田 孝裕	3	2		30	本科目は実務経験のある教員による授業科目である。眼科医師あるいは視能訓練士として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、実務経験で得た専門知識や技術から、視野検査で必要となる閾値の対数計算や網膜対応検査の原理とその評価法、眼振・眼筋麻痺を含む斜視の病態とその診断法および眼鏡処方の要点を教授する。
視能検査学Ⅱ（応用）	原 直人	3	2		30	実務経験を活かして視覚関連英語論文の内容の把握と知識の必要性を学習させる。
視能検査学実習Ⅰ（基礎）	佐藤 司	3	2		90	視能訓練士として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、実務経験で得た専門知識や技術から、視力、屈折等の視機能検査に係る応用技術と関連知識を教授し、履修者が応用技能を習得できるよう指導を行う。
視能検査学Ⅲ（発展）	原 直人	3	2		30	医師、視能訓練士の立場から実務経験を活かして日常診療に必要な事項を講義する。また視能訓練士としての研究手法と研究活動における倫理と不正行為に関する基本的考え方を学習させる。
視能検査学実習Ⅱ（応用）	鈴木 賢治	4	1		45	視能訓練士として眼科診療の実務経験のある教員が、眼科臨床に必要な手技を試験し、その内容を直接フィードバックする。また、眼科検査の実際についてディスカッション・グループワークを通じて指導する。
視能訓練学Ⅱ（応用）	岡野 真弓	2	2		30	本科目は「実務経験のある教員による授業科目」である。視能訓練士として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、両眼視機能検査、眼球運動検査について、原理、検査の流れ、所見の読み方について理解し、実践に活かすことができるよう、動画や症例を提示しながら講義する。
視能訓練学Ⅲ（実践）	内川 義和	3	2		30	本科目は「実務経験のある教員による授業科目」である。視能訓練士として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、当該分野における問題点や課題を毎回の授業で提示し、履修者が課題解決のための学習ができるよう教授する。
視能訓練学Ⅳ（臨床）	岡野 真弓	3	2		30	本科目は「実務経験のある教員による授業科目」である。視能訓練士として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、視能矯正・訓練の原理、適応、方法と効果判定について理解し、実践に活かすことができるよう、症例を提示しながら講義する。
視能訓練学Ⅴ（発展）	原 直人	4	2		60	各担当は医師、視能訓練士としての実務経験を活かして、視能訓練士に必要な学問的基礎固めと臨床に必要な視機能検査学、病態などの知識を教授する。

専門教育科目
専門

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
専門 教育科目	総合演習Ⅰ	内川 義和	3	1	45	本科目は「実務経験のある教員による授業科目」である。眼科医師あるいは視能訓練士として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、達成すべき技能や解決すべき課題を提示し、調べ学習、スモールグループディスカッション等を通じて、主体的かつ総合的に学習できるよう、ファシリテートする。
	総合演習Ⅱ	内川 義和	3	1	45	本科目は「実務経験のある教員による授業科目」である。視能訓練士として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、達成すべき技能や解決すべき課題を提示し、調べ学習、スモールグループディスカッション、練習、体験学習等を通じて、主体的かつ総合的に学習できるよう、ファシリテートする。
	臨地実習Ⅰ（基本）	鈴木 賢治	3	2	90	眼科医師・視能訓練士として眼科診療の実務経験のある教員が、眼科臨床での経験をともに臨床で求められる知識や技術について指導する。
	臨地実習Ⅱ（応用）	鈴木 賢治	4	12	540	眼科医師・視能訓練士として眼科診療の実務経験のある教員が、眼科臨床での経験をともに臨床で求められる知識や技術について指導する。
	視覚リハビリテーション	市邊 義章	3	1	30	本科目は「実務経験のある教員による授業科目」である。眼科医師あるいは視能訓練士として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、実務経験で得た専門知識の中から、ロービジョン／ロービジョンケアに関する基本的知識を毎回の授業で提示し、履修者が専門分野の基盤となる知識を理解し習得できるよう教授する。
	視覚リハビリテーション	四之宮 佑馬	3	1	45	眼科医師、視能訓練士、社会福祉士、同行援護従業者、盲人歩行指導員として同行援護、眼科診療、福祉に係る実務経験を持つ教員が、実務経験で得た専門知識や技術から基本的技術を関連知識を教授し、履修者が基本的技能が修得できるよう指導を行う。
	卒業研究	新井田 孝裕	4	4	60	本科目は実務経験のある教員による授業科目である。各担当教員は実務経験を活かして演習及び研究指導を行う。

卒業要件単位数	124	単位
実務経験のある教員等による授業科目	151	単位

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目			
			必修	選択					
人間系	文学論	山内 則史	1	2	3	4	2	30	新聞記者として文芸分野を担当。記者時代の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中の文学を意識させながら授業を展開する。
	演劇論	山内 則史	1	2	3	4	1	15	新聞記者として演劇を担当。取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。
	宗教学	戸松 義晴	1	2	3	4	2	30	ハーバード大学神学校での諸宗教の方々との出会い、全日本仏教会事務総長、日本宗教連盟事務局長として、改正臓器移植法案、尊厳死、安楽死、生殖補助医療などについて宗教者代表として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のところに寄り添うということをごさんと共に考えていきます。
	死生学-死を通して生を考える-	小野 充一	1	2	3	4	2	30	小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きのびる知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。
総合教育科目 社会系	法学	鮫川 誠司	1	2	3	4	2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。
	日本国憲法	鮫川 誠司	1	2	3	4	2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。
	日本政治経済論	光山 奈保子	1	2	3	4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	マスメディア論	佐藤 伸	1	2	3	4	2	30	授業の合間に、講師が記者として体験したことなどをニュースの裏側に関する話を随時します。
	福祉経済学	光山 奈保子	1	2	3	4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	アジア諸国の経済・社会・文化	村上 大介	1	2	3	4	2	30	基礎知識を身につけるという授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
	国際関係論	村上 大介	1	2	3	4	2	30	基礎知識を身につけるという授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
	世界の経済	光山 奈保子	1	2	3	4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	国際医療福祉論	後藤 純信	1	2	3	4	2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
	社会保障制度論	田中 秀一	1	2	3	4	2	30	新聞社で医療・社会保障分野を担当し、医療・介護現場の実情を取材・研究して記事作成を行うとともに、この分野の問題に関する社説を執筆した。取材や研究を通じた経験や実例を適宜示し、学生の理解がより深められる講義を展開する。
	ボランティア論	大石 剛史	1	2	3	4	2	30	ボランティアセンター等でのボランティア支援の経験を授業内でフィードバックする。
	ボランティアコーディネート論	大石 剛史	1	2	3	4	2	30	ボランティアセンター等でのボランティア支援の経験を授業内でフィードバックする。
	手話入門	西澤 さつき	1	2	3	4	2	30	地域の手話奉仕員養成講習会講師、手話通訳者の立場、また障害当事者の立場から、厚生労働省策定手話奉仕員養成カリキュラムの一部を授業に取り入れて、医療・介護の現場に役立つ手話を教示していく。
	経済の仕組み	光山 奈保子	1	2	3	4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	経済の歴史	光山 奈保子	1	2	3	4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	自然・情報系	疫学・保健医療統計学	島田 直樹	1	2	3	4	2	30
コンピュータの基礎		内蔵 啓幸	1				2	30	企業にて超音波診断装置の研究開発に32年間従事し、その間各種のコンピュータを用いて、理論解析・数値解析・シミュレーションのためのプログラム開発を行った。コンピュータ内部でどのように計算しているかを学び、PCを有効に活用するための基礎を伝えて行く。
生命倫理		阿部 晶子	1	2	3	4	2	30	臨床に携わる医師らが実務経験も加味した講義をオムニバス形式で行う。

	授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
総合教育科目	英語医療通訳入門1 (Primary)	三浦 美恵子	1 2 3 4		1	30	実際の医療現場で、まさに医療を必要としている外国人患者に対して通訳をした・しているリアルな経験を学生に伝える。便利なツールやAIの進歩がめまぐるしい現在においても、言葉・外国語を使って人と人がコミュニケーションすることは不可欠である。現場の経験を通して感じたコミュニケーションの大切さ、面白さ、難しさ、文化の違い、医療現場で外国人患者をサポートすることの大切さなどを訴える。
	英語医療通訳入門2 (Basic)	三浦 美恵子	1 2 3 4		1	30	実際の医療現場で、まさに医療を必要としている外国人患者に対して通訳をした・しているリアルな経験を学生に伝える。便利なツールやAIの進歩がめまぐるしい現在においても、言葉・外国語を使って人と人がコミュニケーションすることは不可欠である。現場の経験を通して感じたコミュニケーションの大切さ、面白さ、難しさ、文化の違い、医療現場で外国人患者をサポートすることの大切さなどを訴える。
	健康科学実践	小林 薫	1 2 3 4		1	30	理学療法士として幅広い対象者に対して健康づくり（一次救命処置、ファーストエイドを含む）を行ってきた。この実務経験から得た知識、経験を集団および個々の体力レベルに応じた運動に活かす。
専門基礎 / 学部共通	公衆衛生学	島田 直樹	1		2	30	産業医は、産業保健を中心として、公衆衛生学の様々な領域に関する知識を活用して業務を行っている。その経験を授業で紹介する。
	微生物と病気	相馬 義郎	1 2 3 4		2	30	医師として、長年、腎不全患者のための血液透析に従事してきた。血液透析患者は、慢性的な免疫不全状態にあり、シビアな感染症コントロールの実務経験がある。実務経験に基づき感染症の現状、問題点に関して、分かりやすく解説するとともに、現実的対応について討議する。
	リハビリテーション概論	瀬田 拓	1 2 3 4		2	30	リハビリテーション科医師としての経験を活かし、実例を示しながら学生の理解がより深まる講義を行う。
	関連職種連携論	阿部 晶子	2		2	30	現在、臨床に関わっていたり、また第一線で活躍している方が講師となる。臨床の経験を活かした講義を展開する。
	看護論	林 圭子	1		2	30	看護師・保健師・助産師での実務経験に基づいた講義を展開する。
	ケアマネジメント論	林 和美	2 3 4		1	15	ケアマネジャー経験から実際の業務や課題を提供する。
	ケースワーク論	小嶋 章吾	1 2 3 4		1	15	医療ソーシャルワーカー、すなわち保健医療分野におけるソーシャルワーカーとしての実務経験をともに、保健医療分野におけるケースワークの展開について講義の中で具体例を提示する。
	保健医療福祉制度論	金野 充博	1 2 3 4		2	30	読売新聞政治部、解説記者として、首相官邸、厚生労働省などを担当していた教員による授業。最新のニュースを素材に今日的な問題についても理解を深める。
	臨床心理学概論	喜多村 真紀	1 2 3 4		2	30	公認心理師、臨床心理士の資格を有し、精神科病院での実務および研究業務に従事している臨床経験を活かして講義を展開する。
	関連職種連携実習	新井田 孝裕	4		1	45	実習担当教員の実務経験や、現場の実習指導者のアドバイスにより、学生の討議をより活発にしておく。
専門基礎	病理学	福澤 龍二	2		2	30	小児科専門医、病理専門医、細胞診断専門医として大学病院や基幹病院で豊富な臨床経験を活かした講義を展開します。
	看護概論	林 圭子	3		1	15	看護師・保健師・助産師での具体的な経験に基づき、抽象化された事柄をわかりやすく講義する。
専門教育科目	放射線計測学Ⅰ（基礎）	座間 佳男	2		1	30	診療放射線技師、第1種放射線取扱主任者及び医学物理士として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員がその経験を活かし業務内容の詳細を講義する実践的教育を展開する。
	放射線計測学Ⅱ（応用）	座間 佳男	2		1	30	診療放射線技師、第1種放射線取扱主任者及び医学物理士として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員がその経験を活かし業務内容の詳細を講義する実践的教育を展開する。
	放射線計測学実験	座間 佳男	2		1	45	診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員および放射線研究に従事した経験のある教員がその経験を活かし、学内にある装置を用いた実験形式による実践的教育を展開する。
	画像解剖学	大嶽 達	2		1	30	東大病院、山王病院、国際医療福祉大学病院で長年、放射線診断の業務に携わっている臨床経験から、正常画像解剖について放射線技師としてよく覚えてほしいことを教えることができる。
	画像情報学実験	永田 武史	1		1	45	診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員および医療機器の研究開発に従事した経験のある教員がその経験を生かして、学内にある装置を用いた実験形式による実践的教育を実施する。
	医用機器工学実験Ⅰ（一般撮影機器）	茂木 俊一	2		1	45	診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員および医療機器の研究開発に従事した経験のある教員がその経験を生かして、学内にある装置を用いた実験形式による実践的教育を実施する。
	医用機器工学実験Ⅱ（CT、MRI）	丸山 純人	2		1	45	診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員および医療機器の研究開発に従事した経験のある教員がその経験を生かして、学内にある装置を用いた実験形式による実践的教育を実施する。
	医用画像検査学概論	岡野 員人	1		1	30	診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員がその経験を活かし、診療放射線技師が行う画像検査の概要を講義する。
	医用X線検査学Ⅰ（単純撮影）	茂木 俊一	2		1	30	診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員がその経験を活かし業務内容の詳細を講義する実践的教育を展開する。
	医用X線CT検査学	岡野 員人	2		1	15	診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員がその経験を活かし、診療放射線技師が行う画像検査の概要を講義する。
	医用画像学実験Ⅰ（一般撮影・他）	丸山 純人	2		1	45	診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員がその経験を生かして、学内にある装置を用いた実験形式による実践的教育を実施する。
	医用画像学実験Ⅱ（特殊撮影・他）	樋口 清孝	2		1	45	診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員がその経験を生かして、学内にある装置を用いた実験形式による実践的教育を実施する。
	核医学実験	細貝 良行	3		1	45	本授業は、診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員がその経験を生かして、学内にある装置を用いた実験形式による実践的教育を実施する。
	放射線治療学実験	橋本 光康	3		1	45	診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員および医療機器の研究開発に従事した経験のある教員がその経験を生かして、学内にある装置を用いた実験形式による実践的教育を実施する。
	臨床医学Ⅰ（基礎）	大嶽 達	3		1	30	東大病院、山王病院、国際医療福祉大学病院で長年、放射線画像診断に携わってきた経験から放射線技師として覚えてほしい疾患の知識や画像の特徴などを解説できる。
	臨床医学Ⅱ（発展）	大嶽 達	4		1	30	東大病院、山王病院、国際医療福祉大学病院で長年、放射線画像診断に携わっている臨床経験をふまえながら、基礎医学大要科目について放射線技師として覚えるべき知識などを解説する。
	放射線管理学実験	前原 正義	4		1	45	診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員がその経験を生かして、学内にある装置を用いた実験形式による実践的教育を実施する。
画像診断学	大嶽 達	4		1	30	病院での放射線画像診断の実務経験から、日常的にしばしば画像診断の対象となる疾患画像を選択して学生に解説している。	

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
専門 教育科目	臨床実習演習	座間 佳男	3	1		30	診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員がその経験を活かして、学内にある装置を用いた演習形式による実践的教育を展開する。
	医用画像臨床実習	座間 佳男	3	6		270	学外実習では、医療機関にて放射線業務に従事している診療放射線技師により実践的教育が実施される。
	核医学臨床実習	座間 佳男	3	2		90	学外実習では、医療機関にて放射線業務に従事している診療放射線技師により実践的教育が実施される。
	放射線治療臨床実習	座間 佳男	3	2		90	学外実習では、医療機関にて放射線業務に従事している診療放射線技師により実践的教育が実施される。
	放射線学演習Ⅱ（応用）	大嶽 達	4		1	30	放射線科医としての実務経験を基礎医学大要科目の知識へ十分リンクさせている
	放射線学演習Ⅳ（発展）	大嶽 達	4		1	30	東大病院 山王病院 三田病院 国際医療福祉大学病院で放射線科医として臨床経験を積み重ねてきた臨床経験を基礎医学科目の知識へとつなげている

卒業要件単位数	124	単位
実務経験のある教員等による授業科目	97	単位

					必修	選択		社会	精神	介護	診療	マネジメント		
総合教育科目	人間系	文学論	山内 則史	1 2 3 4		2	30						新聞記者として文芸分野を担当。記者時代の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中の文学を意識させながら授業を展開する。	
		演劇論	山内 則史	1 2 3 4		1	15						新聞記者として演劇を担当。取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。	
		人間学	中西 正人	1 2 3 4		2	30			●			高齢者介護の現場における介護職としての実務経験を活かし、適宜事例を示しながら行う。	
		宗教学	戸松 義晴	1 2 3 4		2	30						ハーバード大学神学校での諸宗教の方々との出会い、全日本仏教会事務総長、日本宗教連盟事務局長として、改正臓器移植法案、尊厳死、安楽死、生殖補助医療などについて宗教者代表として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のところに寄り添うということとを皆さんと共に考えていきます。	
		死生学-死を通して生を考える-	小野 充一	1 2 3 4		2	30						小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きのびる知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。	
	社会系	法学	鮫川 誠司	1 2 3 4		2	30						弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。	
		日本国憲法	鮫川 誠司	1 2 3 4		2	30						弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。	
		日本政治経済論	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30						日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
		マスメディア論	佐藤 伸	1 2 3 4		2	30						授業の合間に、講師が記者として体験したことなどをニュースの裏側に関する話を随時します。	
		福祉経済学	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30						日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
		アジア諸国の経済・社会・文化	村上 大介	1 2 3 4		2	30							基礎知識を身につけるという授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
		国際関係論	村上 大介	1 2 3 4		2	30			●				基礎知識を身につけるという授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
		世界の経済	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30							日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		国際医療福祉論	後藤 純信	1 2 3 4		2	30							大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
		社会保障制度論	林 和美	1 2 3 4		2	30			●				・担当教員は、医療・福祉・社会保障の関係関係で専門的業務を担当した経験がある。現場での経験や事例を適宜示し、学生の理解がより深められる講義を展開する。
		ボランティア論	大石 剛史	1 2 3 4		2	30							ボランティアセンター等でのボランティア支援の経験を授業内でフィードバックする。
		ボランティアコーディネート論	大石 剛史	1 2 3 4		2	30							ボランティアセンター等でのボランティア支援の経験を授業内でフィードバックする。
		手話入門	西澤 さつき	1 2 3 4		2	30							地域の手話奉仕員養成講習会講師、手話通訳者の立場、また障害当事者の立場から、厚生労働省策定手話奉仕員養成カリキュラムの一部を授業に取り入れて、医療・介護の現場に役立つ手話を教示していく。

					必修	選択		社会	精神	介護	診療	マネジメント	
総合教育科目	社会系	経済の仕組み	光山 奈保子	1 2 3 4	2	30						日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
		経済の歴史	光山 奈保子	1 2 3 4	2	30						日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニツツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
	自然・情報系	疫学・保健医療統計学	島田 直樹	1 2 3 4	2	30						産業医は、労働現場において生じる様々な健康問題に対して、疫学的手法を用いて、原因の解明および対策の樹立を行っている。その経験を授業で紹介する。	
	生命倫理	田中 秀一	1 2 3 4	2	30				○			取材や研究を通じた経験や実例を適宜示し、学生の理解がより深められる講義を展開する。	
	外国語系	英語医療通訳入門1 (Primary)	三浦 美恵子	1 2 3 4	1	30							実際の医療現場で、まさに医療を必要としている外国人患者に対して通訳をした・しているリアルな経験を学生に伝える。便利なツールやAIの進歩がめまぐるしい現在においても、言葉・外国語を使って人と人がコミュニケーションすることは不可欠である。現場の経験を通して感じたコミュニケーションの大切さ、面白さ、難しさ、文化の違い、医療現場で外国人患者をサポートすることの大切さなどを訴える。
		英語医療通訳入門2 (Basic)	三浦 美恵子	1 2 3 4	1	30							実際の医療現場で、まさに医療を必要としている外国人患者に対して通訳をした・しているリアルな経験を学生に伝える。便利なツールやAIの進歩がめまぐるしい現在においても、言葉・外国語を使って人と人がコミュニケーションすることは不可欠である。現場の経験を通して感じたコミュニケーションの大切さ、面白さ、難しさ、文化の違い、医療現場で外国人患者をサポートすることの大切さなどを訴える。
	保健体育系	健康科学実践	小林 薫	1 2 3 4	1	30							理学療法士として幅広い対象者に対して健康づくり（一次救命処置、ファーストエイドを含む）を行ってきた。この実務経験から得た知識、経験を集団および個々の体力レベルに応じた運動に活かす。
	専門基礎/学部共通	公衆衛生学	島田 直樹	1 2 3 4	2	30							産業医は、産業保健を中心として、公衆衛生学の様々な領域に関する知識を活用して業務を行っている。その経験を授業で紹介する。
		微生物と病気	相馬 義郎	1 2 3 4	2	30							医師として、長年、腎不全患者のための血液透析に従事してきた。血液透析患者は、慢性的な免疫不全状態にあり、シビアな感染症コントロールの実務経験がある。実務経験に基づき感染症の現状、問題点に関して、分かりやすく解説するとともに、現実的対応について討議する。
		リハビリテーション概論	瀬田 拓	1 2 3 4	2	30							リハビリテーション科医師としての経験を活かし、実例を示しながら学生の理解がより深まる講義を行う。
関連職種連携論		阿部 晶子	2	2	30	○	○	○	○	○		現在、臨床に関わっていたり、また第一線で活躍している方が講師となる。臨床の経験を活かした講義を展開する。	
看護論		林 圭子	1	2	30							看護師・保健師・助産師での実務経験に基づいた講義を展開する。	
ケアマネジメント論		林 和美	1 2 3 4	1	15							ケアマネジャー経験から実際の業務や課題を提供する。	
ケースワーク論		小嶋 章吾	1 2 3 4	1	15							医療ソーシャルワーカー、すなわち保健医療分野におけるソーシャルワーカーとしての実務経験をもとに、保健医療分野におけるケースワークの展開について講義の中で具体例を提示する。	
保健医療福祉制度論		金野 充博	1 2 3 4	2	30							読売新聞政治部、解説部記者として、首相官邸、厚生労働省などを担当していた教員による授業。最新のニュースを素材に今日的な問題についても理解を深める。	
臨床心理学概論		喜多村 真紀	1 2 3 4	2	30							公認心理師、臨床心理士の資格を有し、精神科病院での実務および研究業務に従事している臨床経験を活かして講義を展開する。	
関連職種連携実習		新井田 孝裕	4	1	45							実習担当教員の実務経験や、現場の実習指導者のアドバイスにより、学生の討議をより活発にしていく。	

				必修	選択		社会	精神	介護	診療	マネジメント		
専門 教育 科目	こころとからだのしくみⅠ（身体）	高橋泰／洲鎌秀永	1 2		2	30			○	○	○	・教員が培った医師としての経験を生かした内容も講義中に扱う。特に、医師がポイントとしている臨床診断や診療記録への適切な記載内容を紹介する。 ・医師である講義者自身が経験・担当した症例を交えるなど、実務経験を加味しテキストの内容を超えた授業展開とする。	
	こころとからだのしくみⅡ（精神）	洲鎌 秀永	1 2		2	30	-	-	○	-	-	医師である講義者自身が経験・担当した症例を交えるなど、実務経験を加味しテキストの内容を超えた授業展開とする。	
	医学概論	熊野 恵城	1		2	30	○	○				医師である講義者自身が経験・担当した症例を交えるなど、実務経験を加味しテキストの内容を超えた授業展開とする。	
	医療概論	高橋 泰	1		2	30				○	○	教員が培った医師としての経験を生かした内容も講義中に扱う。特に、チーム医療の中で必ず理解すべき疾患や治療方法を紹介し、将来、医療現場で活躍することに資する授業展開とする。	
	社会福祉の原理と政策	林 和美	1 2		4	60	○	○	○			社会福祉士としての専門機関における実務経験あり、相談事例から具体的に学ぶ。	
	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	山口 佳子	1		2	30	○	○				社会福祉士として専門機関における実務経験有り。保健福祉の現場における相談職としての実践経験を活かし、適宜事例を示しながら行う。	
	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	山口 佳子	1		2	30	○					社会福祉士として専門機関における実務経験有り。保健福祉の現場における相談職としての実践経験を活かし、適宜事例を示しながら行う。	
	介護の基本Ⅰ（介護福祉士の職務・職業倫理等）	中西 正人	1 2		4	60	-	-	○	-	-	高齢者介護の現場における介護職としての実務経験を活かし、適宜事例を示しながら行う。	
	生活支援技術Ⅰ（生活支援）	武田 真理子	1 2		2	30	-	-	○	-	-	特別養護老人ホームでの介護福祉士としての経験を活かし、本人主体の生活が継続できるよう根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を修得に結び付ける。	
	人間関係とチームケア	小川 京子	1 2		2	30	-	-	○	-	-	看護教員としての経験を生かし着地点などを指導する。	
	医療管理総論	山本 康弘	1		2	30				○	○	官民2つの経営主体による医療機関の医事業務・診療情報管理業務の実務経験を有する。実務経験に基づく事例を提示しながら講義を行う。	
	臨床医学総論	高橋 泰	1		2	30					○	○	本講義では、医師としての臨床経験にもとづく事例紹介を行う。特に、医療現場で働くうえで必要となる基礎知識を理解できるよう、ケーススタディやグループワークも取り入れ講義を展開する。
	こころとからだのしくみⅢ（生活支援）	小川 京子	2		4	60	-	-	○	-	-	看護教員としての経験を生かし指導する。	
	コミュニケーション技術	中西 正人	2		4	60	-	-	○	-	-	高齢者介護の現場における介護職としての実務経験を活かし、適宜事例を示しながら行う。	
	介護の基本Ⅱ（自立に向けた介護等）	中西 正人	2		4	60	-	-	○	-	-	高齢者介護の現場における介護職としての実務経験を活かし、適宜事例を示しながら行う。	
	介護過程Ⅰ（介護過程の意義・展開）	畠山 博之	2		4	60	-	-	○	-	-	在宅・施設を問わずプランニング作成の経験から、支援するための根拠となる介護過程とケアマネジメント、ケアプランの相違を明確にして授業を展開する。	
	障害の理解	小川 京子	2		4	60	-	-	○	-	-	看護教員としての経験を生かし指導する。	
	生活支援技術Ⅱ（身支度・移動の介護）	畠山 博之	2		4	60	-	-	○	-	-	施設、在宅、病院における支援の経験から、基本的手技とその時々に応じた応用展開の理論的繋がりを考察する。	
	生活支援技術Ⅲ（入浴・排泄・食事の介護）	武田 真理子	2		4	60	-	-	○	-	-	特別養護老人ホームでの介護福祉士としての経験を活かし、本人主体の生活が継続できるよう根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を修得に結び付ける。	
	生活支援技術Ⅳ（住環境・家事）	武田 真理子	2		4	60	-	-	○	-	-	特別養護老人ホームでの介護福祉士としての経験を活かし、本人主体の生活が継続できるよう根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を修得に結び付ける。	
	生活支援技術Ⅴ（睡眠・終末期の介護）	新井 祥子	2		2	30	-	-	○	-	-	高齢者介護施設での看護、介護経験から教授する	
	医療的ケア論Ⅰ	新井 祥子	2		1	15	-	-	○	-	-	高齢者介護施設での看護経験から医療的ケアが医療職との連携に基づき、安全で適切なケアができるよう教授する。	
	介護実習Ⅰ（多様な施設における実習）	中西正人／新井祥子／武田真理子／小川京子	2 3		2	90	-	-	○	-	-	各教員介護福祉士や看護師としての実務経験がある。これら実務経験を活かし、本人主体の生活が継続できるよう根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術の修得に結び付ける。	
	介護総合演習Ⅰ（基礎）	中西正人／新井祥子／武田真理子／小川京子	2 3		2	60	-	-	○	-	-	各教員介護福祉士や看護師としての実務経験がある。これら実務経験を活かし、本人主体の生活が継続できるよう根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術の修得に結び付ける。	
	医療福祉関連法規	坂本 真史	2		2	30					○	弁護士としての実務経験を踏まえて、実際の裁判や事件についても紹介する。	
	医療管理各論Ⅰ（病院管理）	坂本 幸平	2		2	30				○		教員の実務経験を生かした事例紹介やグループワークを講義中に行う。	
医療管理各論Ⅱ（医療保険・介護保険制度）	坂本 幸平	2		2	30				○		教員の実務経験を生かした事例紹介やグループワークを講義中に行う。		
医療管理各論Ⅲ（医療安全・医療の質管理）	山本 康弘	2		2	30				○		官民2つの経営主体による医療機関の医事業務・診療情報管理業務の実務経験を有する。実務経験に基づく事例を提示しながら講義を行う。		

				必修	選択		社会	精神	介護	診療	マネジメント		
専門 教育 科目	臨床医学各論A(新生物と消化器・泌尿器系)	上里 彰仁	1 2		2	30					○	医師である講義者自身が経験・担当した症例を交えるなど、実務経験を加味しテキストの内容を超えた授業展開とする。	
	臨床医学各論B(精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系)	上里 彰仁	1 2		2	30					○	医師である講義者自身が経験・担当した症例を交えるなど、実務経験を加味しテキストの内容を超えた授業展開とする。	
	臨床医学各論C(感染症と血液・代謝・内分泌等)	上里 彰仁	2 3		2	30					○	医師である講義者自身が経験・担当した症例を交えるなど、実務経験を加味しテキストの内容を超えた授業展開とする。	
	臨床医学各論D(循環器・呼吸器と周産期系)	上里 彰仁	2 3		2	30					○	医師である講義者自身が経験・担当した症例を交えるなど、実務経験を加味しテキストの内容を超えた授業展開とする。	
	診療報酬請求論Ⅰ(初級)	渡辺 元三	2		2	30	-	-	-		○	実務経験は、医事課長25年間、資材課長2年間です。各事例問題の算定根拠をゆっくりと明確に点数早見表等を使って説明します。	
	簿記論Ⅱ(商業簿記)	柴田 英樹	2 3		2	30							会計監査の実務で培った知識と経験を活かし、「生きた会计学」の習得を目指す。
	簿記論Ⅲ(工業簿記)	柴田 英樹	2 3		2	30							会計監査の実務で培った知識と経験を活かし、「生きた会计学」の習得を目指す。
	認知症の理解	小川 京子	2		4	60	-	-	○	-	-		・介護老人保健施設での看護・介護の経験をもとに事例紹介等を行う。施設の相談員、介護支援専門員の経験から事例より認知症高齢者の家族支援を考える。 ・看護教員としての経験を生かし着眼点などを指導する。
	発達と老化の理解	岩本 俊彦	2		4	60	-	-	○	-	-		・高齢総合診療科の医師としての経験等を学生に示しながら老年学的知識を深めるための講義を行う。 ・高齢者介護施設での看護・介護経験から特に高齢者の理解について教授する。
	障害者援助論	松永 千恵子	2 3 4		2	30							担当教員は社会福祉士の資格を持ち、障害者支援施設で生活支援員の仕事の実務経験がある。実務経験によって、実際の障害者福祉の現状を授業の中で説明し、より身近な障害者福祉を学生に提供できる。
	カウンセリング論	須藤 昌寛	2 3 4		2	30							カウンセリングの諸理論について、公認心理士や社会福祉士等の実務経験を基に、実際の相談場面を意識しながら説明していく。
	薬学概論	熊野 恵城	2 3 4		2	30							医師である講義者自身が経験・担当した症例を交えるなど、実務経験を加味し教科書の内容を超えた授業展開とする。
	医療福祉管理会計論	山本 康弘	2 3 4		2	30					○		官民2つの経営主体による医療機関運営の実務経験を有する(会計課・医事課等において経営計画・予算計画等に関する業務に従事)。実務経験に基づく事例を提示しながら講義を行う。
	経営戦略論	中田 健吾	3 4		2	30					○		実務での具体的な事例を提示しながら、基本的概念をより実践的に実務的に習得できるようにする。このために、社会調査分野で実務にあたる外部客員スピーカーによる講義を適宜、実施する。
	介護の基本Ⅲ(リスクマネジメント・連携等)	中西 正人	3		4	60	-	-	○	-	-		高齢者介護の現場における介護職としての実務経験を活かし、適宜事例を示しながら行う。
	介護過程Ⅱ(介護過程の実践的展開)	畠山 博之	3		4	60	-	-	○	-	-		施設、在宅におけるプランニング作成の経験から、ケアマネジメント、ケアプラン、介護過程の相違点を明確にして「介護過程とは何か」明確にできる授業を展開する。
	介護過程Ⅲ(介護過程とチームアプローチ)	畠山 博之	3		2	30	-	-	○	-	-		施設、在宅での支援プランニング作成の経験から、職種間連携の必要性及び重要性和介護過程の関連性を主とした授業を展開する
	生活支援技術Ⅵ(形態別に応じた介護)	畠山 博之	3		4	60	-	-	○	-	-		施設、在宅、病院における介護や相談の経験から、基本的な手技から障害形態別に応じた手技への変換ポイントとなる部分を授業で展開する。
	医療的ケア論Ⅱ	小川 京子	3		2	30	-	-	○	-	-		看護教員としての経験を生かし指導する。
	医療的ケア論Ⅲ	新井 祥子	3		2	30	-	-	○	-	-		・高齢者施設での看護経験をもとに医療的ケアについて説明する。 ・看護教員としての経験を生かし指導する。
医療的ケア論Ⅳ(演習)	小川 京子	3		1	30	-	-	○	-	-		・高齢者の介護施設での看護師経験及び、介護福祉士の実務研修指導看護師としての経験をもち、安全で適切な医療的ケアの実施を指導する。 ・病院での看護師経験と医療的ケア教員としての経験をもち、安全で適切な医療的ケアの実施を指導する。	
介護実習Ⅱ(ケアプラン作成)	中西正人／新井祥子／武田真理子／小川京子／畠山博之	3		4	180	-	-	○	-	-		・特別養護老人ホームでの介護福祉士としての経験を活かし、本人主体の生活が継続できるよう根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を修得に結び付ける。 ・老人保健施設での経験を活かし、本人主体の生活が継続できるよう根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を修得に結び付ける。 ・看護教員としての経験を生かし指導する。 等	
介護実習Ⅲ(ケアプラン実施)	中西正人／新井祥子／武田真理子／小川京子／畠山博之	3		4	180	-	-	○	-	-		・特別養護老人ホームでの介護福祉士としての経験を活かし、本人主体の生活が継続できるよう根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を修得に結び付ける。 ・医療・福祉の連携の具体性を中心に、共通する専門用語の理解、介護福祉士が実施できる医行為の範囲の理解と観察項目の医療職への報告・連絡、介護福祉士の法的基準と倫理について深く考えることができる展開とした。 ・看護教員としての経験を生かし指導する。 等	

					必修	選択		社会	精神	介護	診療	マネジメント	
専門 教育 科目	診療情報管理Ⅰ（法令・諸規則）	高橋 幸恵	3	2	30						○	本講義は診療情報管理士として必要な知識である法令、諸規則を学ぶ。教員が病院勤務で担当していた診療記録の開示や管理方法のルールについて経験を生かした内容も講義中に扱う。	
	診療情報管理Ⅱ（診療情報管理士の実務）	高橋 幸恵	3	2	30						○	本講義は診療情報管理士がどのような実務を行うか基礎から応用まで学ぶ講義である。教員も診療情報管理士として病院に勤務していた経験があり、チーム医療の一員としての診療情報管理士の役割について、培った経験を生かした内容も講義中に扱う。	
	診療情報管理Ⅲ（DPC・医師事務作業補助・がん登録）	高橋 幸恵	3	2	30						○	本講義は診療情報管理士が実務に携わることが多い、DPC、医師事務作業補助者、がん登録について学ぶ。専門要素が高い科目であるため、教員が病院に勤務し業務に携わった経験を生かし、実際に診療情報管理士が取り扱うデータ等も扱いながら講義を行う。	
	診療報酬請求演習	渡辺 元三	3	1	30	-	-	-				実務経験は医事課長25年間、資材課長2年間です。各事例問題の算定根拠をゆっくりと明確に点数早見表等を使って説明します。	
	診療報酬請求論Ⅱ（中級）	渡辺 元三	2	2	30	-	-	-			○	職務歴は、医事課長25年間と資材課長2年間です。各事例問題の算定根拠をゆっくりと簡易に点数早見表等を使って説明します。	
	診療報酬請求論Ⅲ（上級）	渡辺 元三	3	2	30	-	-	-				実務経験は医事課長25年間、資材課長2年間です。各事例問題の算定根拠をゆっくりと明確に点数早見表等を使って説明します。	
	病院原価計算概論	山本 康弘	3	2	30						○	官民2つの経営主体における医療機関運営の実務経験を有する（診療情報管理士の資格取得。医事課等において病院経営戦略に関する業務に従事。病院原価計算手法を活用したコスト分析の実務経験を有する）。担当教員の実務経験を基にした教材を講義で活用し、実践的な事例紹介を織り交ぜながら授業を展開する。	
	簿記演習Ⅱ（応用）	柴田 英樹	2 3	2	60	-	-	-				会計監査の実務で培った知識と経験を活かし、「生きた会計学」の習得を目指す。	
	医療ソーシャルワーク論	小嶋 章吾	3 4	2	30							医療ソーシャルワーカーとしての実践事例を講義で取り上げながら解説する。	
	経営分析論	中田 健吾	3 4	2	30						○	実務での具体的な事例を提示しながら、基本的概念をより実践的に実務的に習得できるようにする。このために、社会調査分野で実務にあたる外部客員スピーカーによる講義を適宜、実施する。	
	国際統計分類Ⅰ（国際疾病分類）	滝澤 雅美	3	2	30						○	国際統計分類（ICD）が用いられている人口動態統計や患者調査、診断群分類包括支払制度（DPC/PDPS）等について、実際の活用例を提示しながら、講義を行う。特にDPC/PDPSにおけるICDの利用においては、担当教員の実務経験を元に例題を用いながら講義を行う。	
	国際統計分類Ⅱ（分類コードの実際）	滝澤 雅美	3	2	30						○	担当教員は、病院での実務経験が5年以上あり、診療情報管理士（診療情報管理士指導者）の資格を有している。ICD-10の各章の特徴について医療機関で頻出する病名を例題に取り上げながら講義を行う。	
	国際統計分類Ⅰ特別講義（基礎）	滝澤 雅美	3	2	30							担当教員は、病院での実務経験が5年以上あり、診療情報管理士（診療情報管理士指導者）の資格を有している。医療現場で勤務する際に必要となるコーディングの基礎知識（ガイドライン）、新生物分類の注意事項を例題を用いながら講義を行う。また、主傷病名や原因因の選択についても同様に行う。	
	国際統計分類Ⅱ特別講義（応用）	滝澤 雅美	3	2	30							医療機関で作成されている退院時要約の例題を用いて講義を行う。	
	診療情報管理演習Ⅰ（基礎）	高橋 泰	3 4	1	30	-	-	-				教員が培った医師としての経験を生かした内容も講義中に扱う。医療現場で扱う主要な疾患を網羅的に学習し、暗記に頼らない本質的な疾患への理解を深められるよう、事例紹介を適宜行い講義を展開する。	
	診療情報管理演習Ⅲ（分類法）	滝澤 雅美	3 4	1	30	-	-	-				講義では担当教員の実務経験をもとに例題を用いながら講義を行う。	
医療ソーシャルワーク実習	小嶋 章吾	4	4	180						-	-	医療ソーシャルワーカーとしての実務経験を生かした実習指導を行う。	
医療福祉実習	須藤昌寛／松永千恵子／大石剛史／松江暁子／中山和幸	4	2	90							-	-	・地域福祉実践に携わってきた経験から、地域福祉の専門的知見を用いてアドバイスする。 ・現場での相談援助、事務の経験をふまえ、事前・事後学習においてソーシャルワークの視点からの助言を適宜行う。 ・高齢者施設の相談員、介護支援専門員等の経験を基に、高齢者福祉における相談面接について具体的に説明していく。等

					必修	選択		社会	精神	介護	診療	マネジメント
専門 教育科目	権利擁護と成年後見制度	小林 雅彦	3 4	2	30	○	○					元職の厚生労働省地域福祉専門官時代に成年後見制度の制度設計、日常生活自立支援事業の制度設計に関わっていた経験を生かし、制度の一般的説明にとどまらず、各制度がどのような社会的背景や政策的意図のもとで誕生したかも説明し、制度の理解に資することとする。
	公的扶助論	松江 暁子	3 4	2	30	○	○					貧困・低所得による生活課題は、児童であれ高齢であれ、また障害の有無にかかわらず関係してくる。相談援助の実務を担うために貧困・低所得の人々への対応がなぜ必要なのかを事例をふまえて理解を深めるようにし、貧困・低所得に対応するための制度政策、支援の実際について、実務経験や生活保護の現場とのかかわりを織り交ぜながら、わかりやすく講義を行う。
	更生保護制度	島谷 綾郁	3 4	1	15	○						矯正施設内での社会福祉士・精神保健福祉士としての勤務経験、刑務所外の施設・機関（保護観察所や更生保護施設、福祉施設など）との連携などといった実務経験をいかし、司法領域において、どのような立場で、どのように福祉支援を考えていくのかについてを紹介していく。
	社会調査論	須藤 昌寛	3 4	2	30	○						社会福祉士としての経験を基に、調査の具体的方法や、調査面接の留意点等について具体例を用いながら説明していく。
	社会福祉運営管理論	小林 雅彦	3 4	2	30	○						前職において社会福祉施設経営者の協議会において、経営管理に関わる共通課題や個別の運営課題に対応していた経験を生かし、運営管理論の一般的理解にとどまらず、具体的な現場での応用や展開についても教示する。
	就労支援サービス論	松永 千恵子	3 4	1	15	○						担当教員は社会福祉士の資格を持ち、障害者支援施設で生活支援員の仕事の実務経験がある。実務経験によって、実際の障害者福祉の現状を授業の中で説明し、より身近な障害者福祉を学生に提供できる。
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開（専門）	木村 潤	3 4	4	60			○				精神科病院から地域への移行支援や、地域生活の支援、就労支援、社会参加への支援、また障害のある方を支援する地域の協議会運営など精神保健福祉士の実践に即したソーシャルワークの援助技術を指導する。授業においては、現場の状況や実際の事例など取り入れながら、説明を行う。
	精神保健福祉に関する制度とサービス	渡辺 修宏	3 4	4	60			○				ソーシャルワーカーとして専門機関における実務経験、およびNGO、NPO等における臨床経験から、授業内容にかかわる臨床事例を随時紹介致します。
	精神障害者の生活支援システム	山本 由紀	3 4	2	30			○				精神保健福祉士としての実践事例や実践経験を講義で取り上げながら解説する。
	相談援助演習Ⅱ（応用）	須藤昌寛／山口佳子／松永千恵子／大石剛史／松江暁子／中山和幸／小嶋章吾	3 4	2	60	○						・児童福祉施設において、社会的養護を必要とする児童に対する心理的ケアや相談援助、さらに、児童の家族への支援、関係機関との連携等の臨床実践を経験した。それらの実務経験を踏まえ、ソーシャルワークの視点・知識・技術について、各授業の内容に照らし合わせて伝えていく。 ・高齢者施設の相談員、介護支援専門員等の経験を基に、高齢者福祉における相談面接について具体的に説明していく。等
	相談援助演習Ⅲ（展開）	須藤昌寛／山口佳子／松永千恵子／大石剛史／松江暁子／中山和幸／小嶋章吾	3 4	1	30	▲						・ボランティアセンター等での相談援助経験を授業の中で活用する。 ・社会福祉士としての実務経験を踏まえ実習場面のふりかえり等を行うことにより、相談援助の価値・知識・技術と実践を結びつけて理解することを促す。等
	相談援助実習	須藤昌寛／山口佳子／松永千恵子／大石剛史／松江暁子／中山和幸／林和美	3 4	4	180	▲						・自治体、社会福祉協議会の地域福祉施策実践のアドバイザー等の経験から、実習に向けた学習に対して助言・指導を行う。 ・現場における事務、相談援助の経験やこれまでの現場の人々とのかかわりを踏まえ、適宜助言を行う。等
	福祉行財政と福祉計画	大石 剛史	3 4	2	30	○	○					地域福祉計画策定に関わった経験を授業にフィードバックする。
	保健医療制度論	小嶋 章吾	3 4	2	30	○	○					社会福祉士（医療ソーシャルワーカー）としての実践事例を講義で取り上げながら解説する。
医療ソーシャルワーク演習	小嶋 章吾	4	2	60							医療ソーシャルワーカーとしての実践事例を講義で取り上げながら解説する。	
精神保健福祉援助演習（専門）	山本由紀／渡辺修宏／木村潤	4	2	60			▲				精神保健福祉センター等での精神保健福祉に係る相談援助業務の経験を持つ。臨床での経験をもとに、実践に即したソーシャルワークの援助技術を指導する。	
精神保健福祉援助実習	山本由紀／木村潤	4	6	270			▲				地域生活支援センター等での精神保健福祉に係る相談援助業務の経験を持つ。臨床での経験をもとに、実践に即したソーシャルワークの援助技術を指導する。	

卒業要件単位数	124または130	単位
実務経験のある教員等による授業科目	329	単位

※新課程（2021年入学生）94単位
旧課程（2020年入学生まで2～4年）235単位

	授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目						
				必修	選択								
総合教育科目	人間系	文学論	山内 則史	1	2	3	4	5	6	2	30	新聞記者として文芸分野を担当。記者時代の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中の文学を意識させながら授業を展開する。	
		演劇論	山内 則史	1	2	3	4	5	6	1	15	新聞記者として演劇を担当。取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。	
		宗教学	戸松 義晴	1	2	3	4	5	6	2	30	ハーバード大学神学校での諸宗教の方々との出会い、全日本仏教会事務総長、日本宗教連盟事務局長として、改正臓器移植法案、尊厳死、安楽死、生殖補助医療などについて宗教者代表として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のこころに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。	
		死生学-死を通して生を考える-	小野 充一	1	2	3	4	5	6	2	30	小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きのびる知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。	
	社会系	法学	鮫川 誠司	1							2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。
		日本国憲法	鮫川 誠司	1	2	3	4	5	6	2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。	
		日本政治経済論	光山 奈保子	1	2	3	4	5	6	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
		マスメディア論	佐藤 伸	1	2	3	4	5	6	2	30	授業の合間に、講師が記者として体験したことなどをニュースの裏側に関する話を随時します。	
		福祉経済学	光山 奈保子	1	2	3	4	5	6	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
		アジア諸国の経済・社会・文化	村上 大介	1	2	3	4	5	6	2	30	基礎知識を身につけるという授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。	
		国際関係論	村上 大介	1	2	3	4	5	6	2	30	基礎知識を身につけるという授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。	
		世界の経済	光山 奈保子	1	2	3	4	5	6	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
		国際医療福祉論	後藤 純信	1	2	3	4	5	6	2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。	
		社会保障制度論	田中 秀一	1	2	3	4	5	6	2	30	新聞社で医療・社会保障分野を担当し、医療・介護現場の実情を取材・研究して記事作成を行うとともに、この分野の問題に関する社説を執筆した。取材や研究を通じた経験や実例を適宜示し、学生の理解がより深められる講義を展開する	
		ボランティア論	大石 剛史	1	2	3	4	5	6	2	30	ボランティアセンター等でのボランティア支援の経験を授業内でフィードバックする。	
		ボランティアコーディネート論	大石 剛史	1	2	3	4	5	6	2	30	ボランティアセンター等でのボランティア支援の経験を授業内でフィードバックする。	
		手話入門	西澤 さつき	1	2	3	4	5	6	2	30	地域の手話奉仕員養成講習会講師、手話通訳者の立場、また障害当事者の立場から、厚生労働省策定手話奉仕員養成カリキュラムの一部を授業に取り入れて、医療・介護の現場に役立つ手話を教示していく。	

	授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目						
				必修	選択								
総合教育科目	社会系	経済の仕組み	光山 奈保子	1	2	3	4	5	6	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
		経済の歴史	光山 奈保子	1	2	3	4	5	6	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
	自然・情報系	統計学	島田 直樹	1							2	30	産業医は、労働現場において生じる様々な健康問題を解決する際に、必要なデータの収集、解析、解釈などの統計学的手法を用いている。その経験を授業で紹介する。
		疫学・保健医療統計学	島田 直樹	1	2	3	4	5	6	2	30	産業医は、労働現場において生じる様々な健康問題に対して、疫学的手法を用いて、原因の解明および対策の樹立を行っている。その経験を授業で紹介する。	
		化学	猪股 浩平	1						2	30	授業担当者は企業において有用な医薬品候補化合物のデザインおよびその精密合成に従事した経験を有している。実務経験を踏まえ、薬学に必要な化学の基礎的内容について、必須項目を中心に教授する。	
		生命倫理	阿部 晶子	1						2	30	臨床に携わる医師らが実務経験も加味した講義をオムニバス形式で行う。	
	外国語系	英語医療通訳入門1 (Primary)	三浦 美恵子	1	2	3	4	5	6	1	30	実際の医療現場で、まさに医療を必要としている外国人患者に対して通訳をした・しているリアルな経験を学生に伝える。便利なツールやAIの進歩がめまぐるしい現在においても、言葉・外国語を使って人と人がコミュニケーションすることは不可欠である。現場の経験を通して感じたコミュニケーションの大切さ、面白さ、難しさ、文化の違い、医療現場で外国人患者をサポートすることの大切さなどを訴える。	
		英語医療通訳入門2 (Basic)	三浦 美恵子	1	2	3	4	5	6	1	30	実際の医療現場で、まさに医療を必要としている外国人患者に対して通訳をした・しているリアルな経験を学生に伝える。便利なツールやAIの進歩がめまぐるしい現在においても、言葉・外国語を使って人と人がコミュニケーションすることは不可欠である。現場の経験を通して感じたコミュニケーションの大切さ、面白さ、難しさ、文化の違い、医療現場で外国人患者をサポートすることの大切さなどを訴える。	
	保健体育系	健康科学実践	小林 薫	1	2	3	4	5	6	1	30	理学療法士として幅広い対象者に対して健康づくり（一次救命処置、ファーストエイドを含む）を行ってきた。この実務経験から得た知識、経験を集団および個々の体力レベルに応じた運動に活かす。	
	専門基礎 / 学部共通	微生物と病気	相馬 義郎	1	2	3	4	5	6	2	30	医師として、長年、腎不全患者のための血液透析に従事してきた。血液透析患者は、慢性的な免疫不全状態にあり、シビアな感染症コントロールの実務経験がある。実務経験に基づき感染症の現状、問題点に関して、分かりやすく解説するとともに、現実的対応について討議する。	
		リハビリテーション概論	瀬田 拓	1	2	3	4	5	6	2	30	リハビリテーション科医師としての経験を活かし、実例を示しながら学生の理解がより深まる講義を行う。	
		関連職種連携論	阿部 晶子	2						2	30	現在、臨床に関わっていたり、また第一線で活躍している方が講師となる。臨床の経験を活かし講義を展開する。	
		看護論	林 圭子	1						2	30	看護師・保健師・助産師での実務経験に基づいた講義を展開する。	
		ケアマネジメント論	林 和美	2	3	4	5	6		1	15	ケアマネジャー経験から実際の業務や課題を提供する。	
ケースワーク論		小嶋 章吾	1	2	3	4	5	6	1	15	医療ソーシャルワーカー、すなわち保健医療分野におけるソーシャルワーカーとしての実務経験をもとに、保健医療分野におけるケースワークの展開について講義の中で具体例を提示する。		
保健医療福祉制度論		金野 充博	1	2	3	4	5	6	2	30	読売新聞政治部、解説部記者として、首相官邸、厚生労働省などを担当していた教員による授業。最新のニュースを素材に今日的な問題についても理解を深める。		
臨床心理学概論		喜多村 真紀	1						2	30	公認心理師、臨床心理士の資格を有し、精神科病院での実務および研究業務に従事している臨床経験を活かして講義を展開する。		
関連職種連携実習		新井田 孝裕					5			1	45	実習担当教員の実務経験や、現場の実習指導者のアドバイスにより、学生の討議をより活発にしていく。	

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
有機化学Ⅲ（芳香族化合物）	猪股 浩平	2	2		30	授業担当者は企業において有用な医薬品候補化合物のデザインおよびその精密合成に従事した経験を有している。実務経験を踏まえ、薬学に必要な有機化学の基礎的内容について、必須項目を中心に教授する。
分析化学Ⅰ（溶液中の化学平衡と滴定法）	加藤 芳徳	1	2		30	担当教員は衛生検査技師の資格を有する。食品残留農薬、食品残留抗菌薬および食品中ダイオキシン類の分析経験から、分析法バリデーションおよび各種分析手法に関する基礎的知識および応用例について、講義に展開する。
臨床薬学Ⅰ（調剤の基礎）	前澤 佳代子	3	2		30	薬剤師として実際に経験した事例を交え、講義・演習を実施する。
臨床薬学Ⅱ（調剤の実践）	倉本 敬二	4	2		30	病院薬剤師としての実務経験で得られた体験を通して、今学んでいる知識等がどのように実臨床で活用されるのかについて伝えるよう努めている。また、教材に使用するシナリオも自身が経験した症例を匿名化し活用している。
臨床薬学Ⅲ（チーム医療・地域医療の実践その前に）	倉本 敬二	4 5	1		15	病院薬剤師としての実務経験で得られた体験を通して、今学んでいる知識等がどのように実臨床で活用されるのかについて伝えるよう努めている。
医薬品情報学Ⅰ（医薬品情報の取集と活用）	前澤 佳代子	3	2		30	薬剤師会の医薬品情報業務に従事、また国立大学病院の病院薬剤師として医薬品情報管理業務に従事していた経験がある。実際に経験した事例等を交え、講義・演習を実施する。
医薬品情報学Ⅱ（EBMと臨床研究）	永倉 透記		6	1	15	医薬品研究開発過程における医薬品情報取得および活用、上市を目指した臨床試験計画等の経験を講義に活用する。医薬品開発において生じる危険性がある臨床試験のバイアスや利益相反等にも触れる。
医療関係法規	坂本 真史	4	2		30	薬剤師や弁護士としての実務経験を踏まえ、医療現場における実例についても紹介する。
漢方医学Ⅱ（漢方の応用）	毛塚 重行	4	1		15	薬局にて漢方相談・漢方薬販売を行っており、時に病院で処方された漢方薬についての相談を受けることもある。また過去に中国の中医薬大学において2年間の留学経験があり、その間多数の臨床見学の機会を得た。日々、理論と実践結果の検証を行うことを継続している。教科書に基づく理論の説明だけでなく、実践の中から得られた理論への理解と、漢方薬を使用する際の要点や注意点を紹介し、学生の理解に資するものとした。
OTC医薬品概論	加藤 芳徳	3	2		30	担当教員はいずれも臨床現場（薬局・病院）での実務経験があり、OTC医薬品の販売の経験を活かし、講義とともに、問題解決型学習および体験学習を実施する。
医療系薬学実習Ⅱ（調剤の実践と服薬指導）	倉本 敬二	4	1		45	病院薬剤師としての実務経験で得られた体験を通して、今学んでいる知識等がどのように実臨床で活用されるのかについて伝えるよう努めている。
病院・薬局事前実習Ⅱ（実務実習に必要な基本的技能）	倉本 敬二	4	2		90	病院薬剤師としての実務経験で得られた体験を通して、今学んでいる知識・技能・態度等がどのように実臨床で活用されるのかについて伝えるよう努めている。
病院・薬局実務実習Ⅰ（主に病院での実習）	倉本 敬二	5 6	10		450	病院薬剤師としての実務経験で得られた体験を通して、今学んでいる知識等がどのように実臨床で活用されるのかについて伝えるよう努めている。

専門教育科目

卒業要件単位数	190	単位
実務経験のある教員等による授業科目	93	単位

	授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
人間系	文学論	山内 則史	1 2 3 4		2	30	記者時代の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中の文学を意識させながら授業を展開する。
	演劇論	山内 則史	1 2 3 4		1	15	取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。
	パフォーマンス表現論	高山 昇	1		2	30	国語教育の経験を活かし、コミュニケーションに対する苦手意識の克服や、相手に分かりやすく伝えるコミュニケーション能力の育成を目的とした授業を行う。また、理論的な講義とともに、様々なアクティブ・ラーニングを取り入れた演習形式で学生を指導する。
	心理学	橋本 和典	1 2 3 4		2	30	臨床心理士として対応した事例（研究公表許可を得たもの）や臨床経験をを用いて解説する。
	コミュニケーション概論	亀山 晶子	1 2 3 4		2	30	企業現場でのコミュニケーション研修やストレスマネジメント研修作成の実施経験を有する。培った経験をもとに、講義を行う。
	教育学	鶴田 利郎	1 2 3 4		2	30	実際に教育現場で用いていた教材や資料などを積極的に活用しながら、理論と実践をバランスよく学べるように授業を進めます。
社会系	法学	鮫川 誠司	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。
	法と道徳・倫理	鮫川 誠司	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。
	医療関連法規	鮫川 誠司	1		2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。
	社会保障制度論	金野 充博	1 2 3 4		2	30	最新のニュースを素材に今日的な問題についても理解を深める。
	経済の仕組み	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	経済の歴史	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	世界の経済	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	アジア諸国の経済・社会・文化	村上 大介	1 2 3 4		2	30	基礎知識を身につけるとい授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
	マスメディア論	村上 大介	1 2 3 4		2	30	基礎知識を身につけるとい授業目標に加え、長年の取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
	国際関係論	村上 大介	1 2 3 4		2	30	基礎知識を身につけるとい授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
	国際医療福祉論	後藤 純信	1 2 3 4		2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術と海外留学経験に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
	ボランティア論	大石 剛史	1 2 3 4		2	30	ボランティアセンター等での支援経験を授業内で活用する（対面授業）
	ボランティアコーディネート論	林 和美	1 2 3 4		2	30	社会福祉協議会におけるボランティア活動推進業務経験を生かした講義。 さらに自身のボランティア活動経験からの課題などを生かした講義を展開する。
	手話入門	谷 千春	1 2 3 4		2	30	手話通訳実践現場での事例を講義内で紹介したい。
自然・情報系	疫学（NS）	二瓶 映美	1		2	30	学問としてだけでなく、実践的な使い方など、実務経験に基づいて解説します。
	化学	小林 崇平	1 2 3 4		2	30	これまでの分析化学の実施者としての経験に加え、分析の基本から最新技術の情報まで幅広く講義する。
	生物学	湯澤 聡	1 2 3 4		2	30	大学院や医学系研究所での生命科学・基礎医学に関する研究経験をもとに「生物学」の講義を行う。
総合系	大学入門講座Ⅱ（展開）	西田 裕介	1 2 3 4		1	15	学習者個々がめざす目標を自ら明確にし、それに向かって進むことへの動機づけを確かなものとするために、本学の教育理念の理解を手掛かりに、各自が進むべき道を見つけることを支援する。この過程において、適宜、授業担当者の臨床及び教育経験を活かした具体的な示唆を提供する。
	郷土論	山本 秀也	1 2 3 4		1	15	異なる分野で活躍した人々の知見や考察は、書物だけでは得られない新たな視点を与えてくれる。予備知識の少ない分野、あるいは自己と異なる見解であっても、招致した講師の講話を十分に理解し、検討することが知的エネルギーの源泉となる。
	食と人間	新出 真理	1 2 3 4		1	15	現場において経験した患者さまの誤解しがちな栄養・食生活の理解について、紹介しながら、正しい理解や適切な説明方法を教授する。
外国語系	英語C A L L 1（Primary）	Eric Austin Duckworth	1		1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する。
	英語C A L L 2（Basic）（NS1）	Eric Austin Duckworth	1		1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する。
	英語講読3（Intermediate）	Eric Austin Duckworth	2 3 4		1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する。
	英語講読4（Advanced）	Eric Austin Duckworth	2 3 4		1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する。
	英語会話2（Basic）	Eric Austin Duckworth	2 3 4		1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する。

	授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
総合教育科目	外国語系	上級英語会話1 (発展)	押味 貴之	1 2 3 4	1	30	参加する学生が将来医療者として「英語で医療コミュニケーションができる」ことが実践できるような授業を展開する。
		上級英語会話2 (総合)	押味 貴之	1 2 3 4	1	30	参加する学生が将来医療者として「英語で医療コミュニケーションができる」ことが実践できるような授業を展開する。
		韓国語入門 (会話含む)	李 宣定	1 2 3 4	1	30	様々な分野における通訳業務を通して得た情報、知識、文化を授業に展開する。
		韓国語基礎 (会話含む)	李 宣定	1 2 3 4	1	30	様々な分野における通訳業務を通して得た情報、知識、文化を授業に展開する。
		スペイン語入門 (会話含む)	Maria Cristina Lopez Garcia	1 2 3 4	1	30	コミュニケーションアプローチ法を用いて、クラスでスペイン語圏の国の文化を伝えていきます。
		スペイン語基礎 (会話含む)	Maria Cristina Lopez Garcia	1 2 3 4	1	30	コミュニケーションアプローチ法を用いて、クラスでスペイン語圏の国の文化を伝えていきます。
		タイ語入門 (会話含む)	平田 晶子	1 2 3 4	1	30	法務省入国管理局においてタイ語・ラオス語通訳を14年間担当している。通訳・翻訳業務を通じて得たタイの文化・語学知識を授業に展開していく。
		タイ語基礎 (会話含む)	平田 晶子	1 2 3 4	1	30	法務省入国管理局においてタイ語・ラオス語通訳を14年間担当している。通訳・翻訳業務を通じて得たタイの文化・語学知識を授業に展開していく。
		ベトナム語入門 (会話含む)	小川 有子	1 2 3 4	1	30	通訳や研究、現地業務を通じて得たベトナムの社会・文化や語学に関する知見を用いつつ授業を展開する。
ベトナム語基礎 (会話含む)	小川 有子	1 2 3 4	1	30	通訳や研究、現地業務を通じて得たベトナムの社会・文化や語学に関する知見を用いつつ授業を展開する。		
専門基礎科目 (キャンパス共通)	公衆衛生学	鈴木 知子	1	2	30	これまでの公衆衛生学の授業および、公衆衛生学研究の経験を活かした講義を展開する。	
	救急医学	志賀 隆	1 2 3 4	1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。	
	感染と免疫	長沢 光章	1	2	30	臨床検査実務経験があり、認定臨床微生物検査技師・ICMT認定取得講師が担当し、その経験を活かし授業を展開する。	
	リハビリテーション概論	河野 眞	1 2 3 4	2	30	リハビリテーション分野の実務経験に基づく授業を展開する。	
	ケースワーク論	山本 由紀	2 3 4	1	15	臨床現場での経験から、実践に即したソーシャルワークを解説する。	
	保健医療福祉制度論	金野 充博	1	2	30	最新のニュースを素材に今日的な問題についても理解を深める。	
	社会福祉学	山本 由紀	1 2 3 4	2	30	ソーシャルワーカーとしての実践事例や実践経験を講義で取り上げながら解説する。	
	福祉支援工学概論	石井 清志	1 2 3 4	2	30	これまでの介護、福祉領域での業務経験等をふまえて講義を展開する。	
	関連職種連携ワーク	西田 裕介	3	1	30	臨床現場における自職種の役割と多職種との関わり、連携を実務経験に基づき展開する。	
	エビデンスベースドプラクティス (研究と文献)	根本 友見	2 3 4	1	15	これまでの研究活動を踏まえた授業を展開する	
	キャリアデザインⅡ (発展)	保田 江美	3 4	1	15	実務で得た経験と自身の研究から得られた知見を融合し、授業を展開する	
	疾病・治療学Ⅱ (急性期・臓器別疾患)	武田 彩子	3	1	30	各講師の実務経験に沿って、事例なども用い、イメージしやすく授業を展開する	
	疾病・治療学Ⅳ (終末期・緩和医療)	熊田 奈津紀	3	1	30	講義では臨床の事例を取り入れて説明を行う。	
	薬の作用と機序	池田 賢二	3	1	30	多職種連携時に生じる注意点など経験的事例解説も展開する	
	先端医療とヘルスケアテクノロジー	吉岡 留美	3 4	1	15	担当する授業科目に関連した実務経験を有している者が、その実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的教育を行う。	
専門教育科目 (学部設置)	キャリアデザイン	保田 江美	1	1	15	実務で得た経験と自身の研究から得られた知見を融合し、授業を展開する	
	人間と栄養	神田 裕子	1	1	30	大学等の教育機関や病院、大学保健センターにおける管理栄養士としての臨床実務経験を授業へ反映させる。	
	薬理学	池田 賢二	2	2	30	多職種連携時に生じる注意点など経験的事例解説も展開する	
	人間発達学	安田 恵美子	1	1	15	実務経験に基づいた各ライフステージの人々とその家族への支援やその方法を授業内で展開する。	
	遺伝と医療	西垣 昌和	1	1	15	講義内容に関連した、臨床でのエピソードを紹介する。	
	保健事業戦略とマネジメント	中川 陽子	4	1	15	実務経験をともに地方公共団体の保健事業の事例検討を展開する	
	看護キャリア創造学Ⅱ (キャリアの創造と挑戦)	天野 敏江	3 4	1	15	病院や地域における臨床経験をともに、看護キャリアの創造についての幅広い視点を提供する。	
	小児看護学Ⅰ (講義)	安田 恵美子	3	2	30	実務経験に基づいた様々な発達段階にある子どもと家族に対する支援を授業内で展開する	
	小児看護学Ⅱ (演習)	安田 恵美子	3	1	30	実務経験に基づいた様々な発達段階にある子どもと家族に対する援助技術をエビデンスを踏まえて展開する。	
	小児ケア実践	安田 恵美子	3	1	45	様々な発達段階、病状にある子どもと家族の理解とニーズのとらえ方など、実務経験ならびにエビデンスに基づいて実習指導を行う。	
	急性期看護学Ⅰ (講義)	武田 彩子	3	2	30	臨床経験を基に、テキストの内容を具体的な事例などに置き換えてわかりやすく教授する。	
	急性期看護学Ⅱ (演習)	武田 彩子	3	1	30	臨床経験を基に、テキストの内容を具体的な事例などに置き換えてわかりやすく教授する。	
	急性期ケア実践	武田 彩子	3	3	135	臨床経験を基に、臨地実習指導者と協同し、受け持ち患者へのケアのあり方、原理原則とそれに基づく応用方法などを指導する	
	慢性期看護学Ⅰ (講義)	平野 道枝	3	2	30	臨床現場で求められる知識・看護師の役割などを臨床での実務経験に基づき授業を展開する	
	慢性期看護学Ⅱ (演習)	吉岡 留美	3	1	30	担当する授業科目に関連した実務経験を有している者が、その実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的教育を行う。	
慢性期ケア実践	吉岡 留美	3	3	135	担当する授業科目に関連した実務経験を有している者が、その実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的教育を行う。		
終末期看護学Ⅰ (講義)	熊田 奈津紀	3	1	15	講義では臨床の事例を取り入れて説明を行う。		
終末期看護学Ⅱ (演習)	熊田 奈津紀	3	1	30	講義では臨床の事例を取り入れて説明を行う。		
終末期ケア実践	熊田 奈津紀	4	2	90	実習では臨床の経験をともにアドバイスを行う。		
老年看護学Ⅰ (講義)	謝 海棠	3	2	30	講義内容に関連した、臨床現場でのエピソードを紹介する。		
老年看護学Ⅱ (演習)	謝 海棠	3	1	30	実際の臨床現場でおこなわれている工夫等を紹介する		
老年ケア実践	謝 海棠	3	3	135	臨地実習では、臨床での実務経験を踏まえ、具体的かつ分かりやすい説明を行う。		

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
精神看護学Ⅰ（講義）	岡田 佳詠	3	2		30	精神看護領域の実務経験に基づく授業展開を行う。
精神看護学Ⅱ（演習）	根本 友見	3	1		30	精神看護の実務経験を活かした授業を展開する。
精神ケア実践	天野 敏江	3	2		90	実務経験における病院、地域における多様な患者の看護経験を生かして、患者の背景や病態の幅広い理解、看護過程を展開する際の視点や方向性などを示していく。
国際看護研修（途上国）	岡田 佳詠	3 4		2	90	実務経験に基づき途上国における健康課題・国際的な保健医療活動に関して、授業内で教授する
災害・健康危機管理論	吉岡 留美	4	1		15	担当する授業科目に関連した実務経験を有している者が、その実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的教育を行う。
公衆衛生看護学活動Ⅰ（行政保健）	長澤 ゆかり	4		2	30	それぞれの教員の実務経験を授業に反映させる
公衆衛生看護学実践Ⅰ（行政保健）	中川 陽子	4		4	180	それぞれの教員の実務経験を実習指導に反映させる。
公衆衛生看護学実践Ⅱ（産業保健）	二瓶 映美	4		1	45	それぞれの教員の実務経験を実習指導に反映させる。
在宅看護実践	陳 俊霞	3	2		90	各回のテーマに関連した訪問看護の具体例や場面を適宜授業内で提示する。
プロジェクトⅡa（応用）	岡田 佳詠	3		1	15	各専門領域の実務経験に基づくディスカッション
プロジェクトⅡb（発展）	岡田 佳詠	3		1	15	各専門領域の実務経験に基づくディスカッション
プロジェクトⅢ（展開）	岡田 佳詠	4		1	15	各専門領域の実務経験に基づくディスカッション
看護統合実践	新道 由記子					各教員の専門領域における看護実践指導を実施。
海外看護研修	岡田 佳詠	4		2	90	海外研修経験に基づく助言や支援
行動科学とモチベーション	中尾 睦宏	1 2		1	15	病院・クリニックでの診療や会社での産業医など、臨床経験を活かした講義を展開する。
看護学概論	保田 江美	1		2	30	臨床現場での経験を活かし、抽象的な概念を分かりやすく理解できるように実際の事例を示す。
看護理論	保田 江美	1		1	15	臨床現場で遭遇した事象と看護理論との関係性を伝えながらグループワークを支援する。
基礎看護学方法論Ⅰ（看護コミュニケーション）	保田 江美	1		1	15	臨床現場での経験を活かし、講義で学んだことを臨床の現場で活かす方法についてともに考える
基礎看護学方法論Ⅱ（看護過程）	保田 江美	2		2	30	理論や概念をどのように臨床現場の事象と結びつけるのかを実践事例から教授する。
基礎看護学演習Ⅰ（日常生活援助技術）	保田 江美	1		2	60	この科目は、学修者一人ひとりが確実に日常生活援助技術の提供ができることをめざしているため、科目担当者の実務経験を活かした具体的な授業を展開していく。
基礎看護学演習Ⅱ（医療支援技術）	古山 陽一	2		1	30	この科目では、科目担当者の実務経験を活かした具体的な授業を展開していく。
基礎看護学演習Ⅲ（フィジカルアセスメント）	保田 江美	2		1	30	臨床での事象を元にしたリアリティのある演習事例を使用し、臨床の対象者に行ってきたフィジカルイグザミネーション技法・アセスメント方法を教授する。
基礎看護学実習Ⅰ（入門）	保田 江美	1		1	45	臨床現場での経験を活かし、前期に修得した知識、技術と実習場での看護実践をつなぎ合わせる支援をおこなう。
基礎看護学実習Ⅱ（基礎）	保田 江美	2		2	90	臨床現場で実際におこなってきた学修した知識、技術を駆使し、看護実践をおこなう方法や意義をわかりやすく伝える。患者、家族、看護師、医師、コメディカル等とのコミュニケーションを取り方を実践的に育んでいく。
看護情報リテラシー	古山 陽一	1		1	15	この科目は、学修者一人ひとりが確実にパソコン操作ができることをめざしているため、科目担当者の実務経験を活かした具体的な授業を展開していく。
リプロダクティブヘルス看護学方法論	新道 由記子	2		2	30	実務経験に基づいた事象の説明を取り入れ、イメージ化を促進する。
リプロダクティブヘルス看護学実習Ⅰ	新道 由記子	2		1	45	ライフステージ発達援助実践Ⅰ（母性）のマタニティサイクル実習では産科病棟・外来を実習フィールドとし、NICU実習ではNICU/GCUを実習フィールドとしている。また、地域育児支援実習では、親子が揃って集う「ひろば活動」を実習フィールドとしているため、臨床の就業経験を生かして実習指導を行う。
小児看護学概論	安田 恵美子	2		1	15	理論および研究と各実務経験に基づいた子どもと家族の特徴や健康課題について授業展開する。
成人看護学概論	平野 道枝	2		1	15	実務経験をもとに、テキストの内容を具体的な事例などに置き換えてわかりやすく教授する
成人看護学実習Ⅰ（健康管理支援実習）	熊田 奈津紀	2		1	45	臨地実習では、臨床での実務経験を踏まえ、具体的、かつ分かりやすく指導を行う。
老年看護学概論	謝 海棠	2		1	15	講義内容に関連した、臨床現場でのエピソードを紹介する
老年看護学実習Ⅰ（施設実習）	謝 海棠	2		1	45	臨地実習では、臨床での実務経験を踏まえ、具体的かつ分かりやすい説明を行う。
精神看護学概論	岡田 佳詠	2		1	15	精神看護領域の実務経験に基づく授業展開を行う。
公衆衛生看護学概論	細谷 幸子	2	2		30	それぞれの教員の実務経験を授業に反映させる
産業・学校保健	二瓶 映美	2		2	30	各担当教員の実務経験を授業に反映
公衆衛生看護学活動方法論Ⅰ	長澤 ゆかり	2		2	30	それぞれの教員の実務経験を授業に反映させる
公衆衛生看護学活動対象論Ⅰ（母子・成人・高齢者保健）	中川 陽子	2		2	30	それぞれの教員の実務経験を授業に反映させる。
在宅看護学概論	陳 俊霞	2		1	15	各回のテーマに関連した訪問看護の具体例や場面を適宜授業内で提示する。

専門教育科目

卒業要件単位数	124	単位
実務経験のある教員等による授業科目	173	単位

	授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
人間系	文学論	山内 則史	1 2 3 4		2	30	記者時代の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中の文学を意識させながら授業を展開する。
	演劇論	山内 則史	1 2 3 4		1	15	取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。
	パフォーマンス表現論	高山 昇	1 2 3 4		2	30	国語教育の経験を活かし、コミュニケーションに対する苦手意識の克服や、相手に分かりやすく伝えるコミュニケーション能力の育成を目的とした授業を行う。また、理論的な講義とともに、様々なアクティブ・ラーニングを取り入れた演習形式で学生を指導する。
	心理学	橋本 和典	1 2 3 4		2	30	臨床心理士として対応した事例（研究公表許可を得たもの）や臨床経験をを用いて解説する。
	コミュニケーション概論	亀山 晶子	1 2 3 4		2	30	企業現場でのコミュニケーション研修やストレスマネジメント研修作成の実施経験を有する。培った経験をもとに、講義を行う。
	教育学	鶴田 利郎	1 2 3 4		2	30	実際に教育現場で用いていた教材や資料などを積極的に活用しながら、理論と実践をバランスよく学べるように授業を進めます。
社会系	法学	鮫川 誠司	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。
	法と道徳・倫理	鮫川 誠司	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。
	医療関連法規	鮫川 誠司	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。
	社会保障制度論	金野 充博	1 2 3 4		2	30	最新のニュースを素材に今日的な問題についても理解を深める。
	経済の仕組み	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	経済の歴史	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	世界の経済	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	アジア諸国の経済・社会・文化	村上 大介	1 2 3 4		2	30	基礎知識を身につけるとい授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
	マスメディア論	村上 大介	1 2 3 4		2	30	基礎知識を身につけるとい授業目標に加え、長年の取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
	国際関係論	村上 大介	1 2 3 4		2	30	基礎知識を身につけるとい授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
	国際医療福祉論	後藤 純信	1 2 3 4		2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術と海外留学経験に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
	ボランティア論	大石 剛史	1 2 3 4		2	30	ボランティアセンター等での支援経験を授業内で活用する（対面授業）
	ボランティアコーディネーター論	林 和美	1 2 3 4		2	30	社会福祉協議会におけるボランティア活動推進業務経験を生かした講義。 さらに自身のボランティア活動経験からの課題などを生かした講義を展開する。
	手話入門	谷 千春	1 2 3 4		2	30	手話通訳実践現場での事例を講義内で紹介したい。
自然・情報系	統計学	稲垣 誠一	1 2 3 4		2	30	統計学について、学問としてだけでなく、実践的な使い方など、実務経験に基づいて解説します。
	疫学・保健医療統計学	鈴木 知子	1 2 3 4		2	30	疫学・保健医療統計学について、学問としてだけでなく、実践的な使い方など、実務経験に基づいて解説します。
	化学	小林 崇平	1 2 3 4		2	30	これまでの分析化学の実施者としての経験を加え、分析の基本から最新技術の情報まで幅広く講義する。
	生物学	湯澤 聡	1 2 3 4		2	30	大学院や医学系研究所での生命科学・基礎医学に関する研究経験をもとに「生物学」の講義を行う。
総合系	大学入門講座Ⅱ（展開）	西田 裕介	1 2 3 4		1	15	学習者個々がめざす目標を自ら明確にし、それに向かって進むことへの動機づけを確かなものとするために、本学の教育理念の理解を手掛かりに、各自が進むべき道を見つけることを支援する。この過程において、適宜、授業担当者の臨床及び教育経験を活かした具体的な示唆を提供する。
	郷土論	山本 秀也	1 2 3 4		1	15	異なる分野で活躍した人々の知見や考察は、書物だけでは得られない新たな視点を与えてくれる。予備知識の少ない分野、あるいは自己と異なる見解であっても、招致した講師の講話を十分に理解し、検討することが知的エネルギーの源泉となる。
	食と人間	新出 真理	1 2 3 4		1	15	現場において経験した患者さまの誤解しがちな栄養・食生活の理解について、紹介しながら、正しい理解や適切な説明方法を教授する。
外国語系	英語講読3 (Intermediate)	Eric Austin Duckworth	2 3 4		1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する。
	英語講読4 (Advanced)	Eric Austin Duckworth	2 3 4		1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する。
	英語会話2 (Basic)	Eric Austin Duckworth	2 3 4		1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する。
	上級英語会話1 (発展)	押味 貴之	1 2 3 4		1	30	参加する学生が将来医療者として「英語で医療コミュニケーションができる」ことが実践できるような授業を展開する。
	上級英語会話2 (総合)	押味 貴之	1 2 3 4		1	30	参加する学生が将来医療者として「英語で医療コミュニケーションができる」ことが実践できるような授業を展開する。

	授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
総合教育科目	外国語系	韓国語入門(会話含む)	李 宣定	1 2 3 4	1	30	様々な分野における通訳業務を通して得た情報、知識、文化を授業に展開する。
		韓国語基礎(会話含む)	李 宣定	1 2 3 4	1	30	様々な分野における通訳業務を通して得た情報、知識、文化を授業に展開する。
		スペイン語入門(会話含む)	Maria Cristina Lopez Garcia	1 2 3 4	1	30	コミュニケーションアプローチ法を用いて、クラスでスペイン語圏の国の文化を伝えていきます。
		スペイン語基礎(会話含む)	Maria Cristina Lopez Garcia	1 2 3 4	1	30	コミュニケーションアプローチ法を用いて、クラスでスペイン語圏の国の文化を伝えていきます。
		タイ語入門(会話含む)	平田 晶子	1 2 3 4	1	30	法務省入国管理局においてタイ語・ラオス語通訳を14年間担当している。通訳・翻訳業務を通じて得たタイの文化・語学知識を授業に展開していく。
		タイ語基礎(会話含む)	平田 晶子	1 2 3 4	1	30	法務省入国管理局においてタイ語・ラオス語通訳を14年間担当している。通訳・翻訳業務を通じて得たタイの文化・語学知識を授業に展開していく。
		ベトナム語入門(会話含む)	小川 有子	1 2 3 4	1	30	通訳や研究、現地業務を通じて得たベトナムの社会・文化や語学に関する知見を用いつつ授業を展開する。
		ベトナム語基礎(会話含む)	小川 有子	1 2 3 4	1	30	通訳や研究、現地業務を通じて得たベトナムの社会・文化や語学に関する知見を用いつつ授業を展開する。
専門教育科目	専門基礎科目(学部共通)	公衆衛生学	鈴木 知子	1 2	2	30	これまでの公衆衛生学の授業および、公衆衛生学研究の経験を活かした講義を展開する。
		救急医学	志賀 隆	2 3	1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
		感染と免疫	長沢 光章	1 2	2	30	臨床検査実務経験があり、認定臨床微生物検査技師・ICMT認定取得講師が担当し、その経験を活かし授業を展開する。
		リハビリテーション概論	西田 裕介	1	2	30	リハビリテーション専門職としての臨床経験に基づく講義を展開する。
		ケースワーク論	山本 由紀	1 2	1	15	臨床現場での経験から、実践に即したソーシャルワークを解説する。
		保健医療福祉制度論	金野 充博	1 2	2	30	最新のニュースを素材に今日的な問題についても理解を深める。
		社会福祉学	山本 由紀	1 2	2	30	ソーシャルワーカーとしての実践事例や実践経験を講義で取り上げながら解説する。
		福祉支援工学概論	石井 清志	1 2	2	30	これまでの介護、福祉領域での業務経験等をふまえて講義を展開する。
		関連職種連携ワーク	西田 裕介	3	1	30	臨床現場における自職種の役割と多職種との関わり、連携を実務経験に基づき展開する。
		エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)	石井 秀明	2 3	1	15	研究において文献の収集と吟味は不可欠であり、学生自身が実際にエビデンスの収集を授業内にて行う
		災害保健学	町田 和	1 2 3	1	15	研究で得た知識である災害の基礎から、支援活動の実際の話や経験をj通じて学んだことをディスカッションしながら講義で伝えていく。
		予防保健学	石井 秀明	1 2 3	1	15	臨床経験で得た知識や体験を講義にて共有する
		国際医療保健学	河野 眞	1 2 3 4	1	15	国際協力の実務経験に基づく授業を展開する。
		リハビリテーション医学	角田 亘	3	1	30	実際の臨床経験を活かした授業を行う。
		生理学Ⅰ(植物性機能)	上田 浩平	1	1	30	これまでの研究・臨床経験を活かした授業を展開する。
		生理学Ⅱ(動物性機能)	岡本 秀彦	1	1	30	これまでの研究・臨床経験を活かした授業を展開する。
		生理学実習	岡本 秀彦	1	1	45	これまでの研究・臨床経験を活かした授業を展開する。
		運動学Ⅰ(基礎)	西田 裕介	1	1	30	これまでの実務経験における基本的な知識および最新のトピックスが理解できるようにファシリテートする。
		運動学Ⅱ(応用)	石井 秀明	1	1	30	運動学実習や動作分析へと発展していくための基本的な知識を学ぶ
		運動生理学	西田 裕介	1	1	30	臨床にて経験した症例の、医学的情報や生理学的指標を実際の講義において活用する。 また、実際の症例の運動時の循環応答、呼吸応答、換気応答を提示し、アクティブラーニングを展開する。
		病理学(P1)	福澤 龍二	2	1	30	これまでの臨床経験を活かした講義を展開する。
		臨床医学概論	松本 哲哉	2	1	30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
		内科学Ⅰ(基礎)	野田 光彦	2	1	30	これまでの臨床経験を活かした講義を展開する。
		内科学Ⅱ(臨床)	野田 光彦	2	1	30	これまでの臨床経験を活かした講義を展開する。
		神経学Ⅰ(基礎)	後藤 順	2	1	30	臨床経験を活かした講義を展開する。
		神経学Ⅱ(臨床)	後藤 順	2	1	30	臨床経験を活かした講義を展開する。
		整形外科Ⅰ(基礎)	石井 賢	2	1	30	臨床経験を活かした講義を展開する。
		整形外科Ⅱ(臨床)	石井 賢	2	1	30	臨床経験を活かした講義を展開する。
		精神医学Ⅰ(総論・各論)	半田 聡	2	1	30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
		精神医学Ⅱ(各論)	半田 聡	2 3	1	30	臨床経験を活かした講義を展開する。
		運動学特論	櫻井 陽子	2	2	60	臨床経験で得た知識や体験を適宜演習場面に共有する。
		人間発達学	富田 浩	2	1	30	科目全体において、学生が知識を習得することに寄与する。
		リハビリテーション医学	角田 亘	2	1	30	実際の臨床経験を活かした授業を行う。
		小児科学	中江 淳	2	1	30	これまでの臨床経験および基礎研究を活かした講義を展開する。
老年学	浦野 友彦	2 3	1	30	臨床経験を活かした講義を展開する。		
神経心理学概論	後藤 順	2 3	2	30	臨床経験を活かして授業を行う。		
臨床薬理学概論	池田 賢二	2	1	15	多職種連携時に生じる注意点など経験的事例解説も展開する		
スポーツ傷害学	田村 暁大	2 3	1	15	実務経験を基に選択した代表的なスポーツ傷害を選択し、スポーツ動作と障害発生の関連性など臨床に即した講義を展開する		
外科学	吉田 雅博	2 3	1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。		
栄養学	新出 真理	2 3	1	15	現場において経験した患者さまの誤解しがちな栄養・食生活の理解について、紹介しながら、正しい理解や適切な説明方法を教授する。		
国際医療保健学演習	河野 眞	2 3 4	1	15	国際協力の実務経験に基づく授業を展開する。		
専門科目	病態運動学	富田 浩	3	2	30	実務経験に基づき、習得すべき事項の選択と理解すべき事項をすることができ、また、それらと実際の疾患との関係について解説ができる	
	PTスキルⅢ演習(障害理解)	石井 秀明	3	1	30	理学療法士としての勤務経験を活かし、評価実習に行くために必要な知識・技術・態度の水準を設定する	
	PTスキルⅣ演習(専門知識の確認)	櫻井 陽子	3	2	60	本講義は理学療法の実践力を養うことを目標としている。担当教員の経験や知識、専門性を基盤とし、理学療法を行うのに必要な思考過程を教示するとともに、多角的な視点から患者の評価や治療が行えるよう、実践的な講義を行う。	
	理学療法診断学Ⅴ(画像・臨床検査値)	鶴澤 寛伸	3	2	30	臨床経験で得た知識や体験を講義にて共有する	
	理学療法治療学総論	齋藤 正美	3	1	30	実務経験をもとに症例・事例を提示する。	

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
グローバルメディカルコミュニケーションⅠ（基礎）	鶴澤 寛伸	3	1	15	15	教員の留学経験・臨床経験を基に、リハビリテーションの場で実際によく用いられる語、フレーズを学ぶ。
グローバルメディカルコミュニケーションⅡ（応用）	牧原 由紀子	3 4	1	15	15	教員の留学経験・臨床経験を基に、リハビリテーションの場で実際によく用いられる語、フレーズを学ぶ。
運動系理学療法Ⅰ（評価）	鶴澤 寛伸	3	1	30	30	運動器疾患の模擬症例等を通じて、理学療法評価の考え方を臨床での経験をもとに進めていく
運動系理学療法Ⅱ（治療）	鶴澤 寛伸	3	1	30	30	これまでの実務経験における基本的な知識に基づいた、理学療法の展開および最新のトピックスが理解できるようにファシリテートする。
神経系理学療法Ⅰ（評価）	牧原 由紀子	3	1	30	30	神経系理学療法における教員の実務経験ならびにエビデンスを用いながら講義を展開する。
神経系理学療法Ⅱ（治療）	町田 和	3	1	30	30	脳血管障害や神経難病の患者イメージは難しいが、実際に経験した話を具体的にしながら、イメージ作り、疾患特性の把握、リスク管理の大切さ、治療の実施まで総合的に学修できるように実技も含めながら講義を行っていく。
高次脳機能障害学	青木 章乃	3	1	15	15	外傷や疾病といった原因による病態の違い、急性期あるいは慢性期などの症状に即した評価・アプローチの方法について臨床で培った経験を共有する。
代謝系理学療法	石田 武希	3	1	15	15	附属病院やこれまで経験した症例をもとに事例を作成し、症例検討の材料とする。
循環理学療法	竹内 真太	3	1	15	15	大学病院で循環器疾患患者の理学療法を行った経験を活かし、循環器疾患患者に対する理学療法士の関わり方などについて教示する
呼吸理学療法	石田 武希	3	1	15	15	臨床経験をもとにした事例を症例検討として活用する。実務経験をもとにした実技指導を行う。
ベッドサイド理学療法	竹内 真太	3	1	15	15	大学病院で理学療法士として勤務した経験を活かし、集中治療室にいる超急性期患者に対する理学療法士の関わり方などについて教示する
癌のリハビリテーション	竹内 真太	3 4	1	15	15	多様ながん患者に対する理学療法の経験を活かし、がん患者の様々なステージに対応した理学療法士の関わり方について教示する
装具学	青木 章乃	3	1	30	30	年齢や病態に応じた装具の考え方や用い方について、福祉制度も踏まえて臨床経験で培ったノウハウを共有する。
義肢学	青木 章乃	3	1	30	30	原因疾患や活動性などの違いによる義肢のパーツ選択、さらに義肢を上手く活用するためのアプローチ方法など、経験を活かした授業を展開し知識・技術を共有していく。
生活技術学	櫻井 陽子	3	1	30	30	多くの疾患に対し理学療法を実施した経験を活かし、臨床に即した模擬患者を設定する。臨床場面で行われるリスク管理を実践するための思考過程を教示する
生活環境学	齋藤 正美	3	1	30	30	生活環境への理学療法アプローチの事例提示や実務経験等の講義を通じて授業を展開していく。
地域理学療法演習（在宅・地域）	齋藤 正美	3	1	30	30	急性期～生活期、終末期まで各リハの時期における実務経験を活かし、地域における理学療法士の役割や課題にも触れ、授業を展開していく。
小児理学療法	富田 浩	3	1	30	30	科目全体にわたり、小児を対象とする理学療法の基礎知識・基礎技術を学生が習得することに寄与する。
理学療法治療学特論Ⅰ（神経系治療手技）	富田 浩	3	2	30	30	科目全体にわたり、成人および小児を対象とした理学療法の基礎技術とその応用を学生が習得することに寄与する。
理学療法治療学特論Ⅱ（運動器系治療手技）	田村 暁大	3 4	2	30	30	自身の臨床経験における最も効果的で実践的な運動器疾患への治療法を学生に説明する。また、実技を通して授業を展開し、一般的な運動器疾患患者への運動療法スキルの習得を目指す。
先端トレーニング理論	石田 武希	3	1	15	15	多様な疾患に対する理学療法治療とその効果検証についての経験を活かし、学術論文や機器の使用法の紹介を行い、各疾患に対する運動療法の適応メカニズムについて教示する。
先端基礎理学療法	鶴澤 寛伸	3 4	1	15	15	上記経験を活かして、学生が理解・臨床応用しやすいよう授業内容を工夫する。
先端運動系理学療法	田村 暁大	3 4	1	15	15	自身の研究から得られた最新の知見を含む運動器疾患における高いエビデンスを学生に提供する。さらに、学生自身で高いエビデンスを有する最新知見を習得し、他者と情報共有することをサポートしていく。
先端神経系理学療法	牧原 由紀子	3 4	1	15	15	神経系理学療法におけるエビデンスを用いて講義を展開する。
先端内部障害系理学療法	竹内 真太	3 4	1	15	15	実務経験にて蓄積した症例の情報、また、学術論文を授業の教材として活用する。
先端スポーツリハビリテーション	田村 暁大	3 4	1	15	15	自身の研究から得られた最新の知見を含むスポーツ障害における高いエビデンスを学生に提供する。実際に実践されている高いエビデンスのスポーツリハビリテーションをフィールドワークを通して習得していくことをサポートしていく。
スポーツ理学療法	青木 章乃	3	1	15	15	実務経験を基にした症例を提示し、スポーツ復帰に着目した理学療法、アスレチックリハビリテーションが遂行できるグループワークとプレゼンテーション学習をファシリテートする。
テーピング治療学	青木 章乃	3 4	1	15	15	現場におけるテーピングの実際を実演し、基本的な技術習得をはかるべく講義を展開する。
クリニカルリーズニングⅠ（基本的疾患）	西田 裕介	3 4	2	30	30	理学療法士としての臨床経験に基づく講義を展開する。
クリニカルリーズニングⅡ（応用的疾患）	石田 武希	3 4	2	30	30	実際の患者を題材とした問題解決型学修を実施する。理学療法士の仮説検証過程における臨床推論を、科学的根拠と経験則を融合させて展開する。
予防理学療法	石井 秀明	3 4	1	15	15	自身の予防分野での理学療法の経験を活かし、学生に予防分野での理学療法的重要性を説明していく。さらに、予防理学療法が実践できることを目指して授業を展開していく。
運動心理学	牧原 由紀子	3 4	1	15	15	運動心理学の分野におけるエビデンスを用いて講義を展開する。
教育・管理系理学療法	町田 和	3	1	15	15	インタラクティブティーチング受講や大学での教育経験から得た教育技術について教授を行い、学生の講義実践への展開を行う。
産科理学療法	牧原 由紀子	3 4	1	15	15	実務経験から得た知識、エビデンスを用いて授業を展開する。
精神科理学療法	石井 秀明	3 4	1	15	15	心理・精神疾患患者への理学療法の経験を踏まえ、理学療法の進め方や患者対応などについて説明していく。

専門教育科目

専門科目

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
ヘルスプロモーション論	櫻井 陽子	3 4	1		15	理学療法の専門性を生かした視点から、ヘルスプロモーションの理解や社会への関わりについての思考過程を教示する
障害者スポーツ概論	鵜澤 寛伸	3 4	1		15	上記経験を活かし、トップレベルから地域活動レベルまで幅広く対応できるよう授業を展開する。
産業理学療法	青木 章乃	3 4	1		15	臨床場面における医療スタッフの身体的・精神的な問題について、実際に経験したケースを紹介しアプローチ方法などの情報を共有する。
災害リハビリテーション学	町田 和	3 4	1		15	災害後の支援活動の実際の話や経験を通して学んだこと、研修で得た知識やそこから開発していった福祉避難所運営ゲームなどを体験しながら、講義を通して学生に伝えていく。
理学療法特論Ⅰ（基礎）	牧原 由紀子	4	2		30	臨床現場と養成校で得た知識や体験を講義にて共有する
理学療法特論Ⅱ（応用）	田村 暁大	4	2		30	それぞれの教員の専門分野による講義を展開する
評価実習	齋藤 正美	3	4		180	臨床での学生指導の経験を活かし、実習に臨む前に必要な技術・知識を身につけられるような試験の設定や、実習中に学生が多くの経験を積める実習形態の構築、実習後に成果の確認できる試験や振り返りの時間の設定を行い、実習中に得た知識・技術をしっかり身につけられる内容に設定した。
総合臨床実習	田村 暁大	4	12		540	理学療法士としての臨床経験に基づく科目を展開する。
卒業研究Ⅰ（研究計画の立案）	西田 裕介	3 4	2		90	理学療法士としての研究実践に基づく講義を展開する。
卒業研究Ⅱ（研究の実践）	西田 裕介	4	2		90	研究から得た知識や体験を研究指導時に共有する
理学療法概論	西田 裕介	1	2		30	理学療法士としての臨床経験に基づく講義を展開する。
機能解剖学	牧原 由紀子	2	1		30	実際に理学療法の臨床で対象となる疾患を提示し、筋機能障害を示しながら講義を展開する。
物理療法Ⅰ（理論）	山口 将希	1	1		30	実際の使用経験を踏まえて原理や必要性等を必要に応じて症例等を交えて進めていく
物理療法Ⅱ（実践）	鵜澤 寛伸	2	1		30	上記経験を踏まえて授業を展開する。
PTスキルⅠ演習（キャリアデザイン）	田村 暁大	1	1		30	理学療法士としての臨床・研究・教育の実務経験から、学生のキャリア生成のサポートを行っていく。また、理学療法士としての職域の広さなど、学生に有益な情報を提供していく。
PTスキルⅡ演習（検査・測定）	町田 和	2	1		30	検査実習と連動しており、臨床的な検査方法の実践を学んでいく
理学療法評価学	西田 裕介	2	2		30	理学療法士としての臨床経験に基づく講義を展開する。
理学療法診断学Ⅰ（基礎）	櫻井 陽子	2	1		30	理学療法士としての勤務経験を活かし、必要な知識・技術を設定し、教示する
理学療法診断学Ⅱ（神経診断学）	齋藤 正美	2	1		30	神経系理学療法における実務経験に基づき、講義・実技を展開する。
理学療法診断学Ⅲ（神経・画像評価学を含む）	竹内 真太	2	1		30	多様な疾患に対する理学療法の経験を活かし、神経系疾患、運動器系疾患、内部障害系疾患の評価に必要な臨床検査と治療薬について教示する
スポーツバイオメカニクス	青木 章乃	2	1		15	スポーツ動作におけるバイオメカニクスの情報や自身の研究に基づいた最新の知見を学生に提供する。
動作分析学	田村 暁大	2	1		15	臨床経験で得た知識や体験を講義にて共有する
運動処方理論	竹内 真太	2	1		15	大学病院で理学療法士として心臓リハビリテーションに従事した経験を活かし、心肺運動負荷試験中の身体の生理応答と、運動処方の方の方法について教示する
メディカルイングリッシュボキャブラリー	青木 章乃	2	1		15	本邦ならびに米国の理学療法臨床業務において頻りに用いられる基礎医療単語を抜粋した単語リストや、短文を用いた演習を実施する。
運動系理学療法Ⅰ（評価）	鵜澤 寛伸	2	1		30	運動器疾患の模擬症例等を通じて、理学療法評価の考え方を臨床での経験をともに進めていく
神経系理学療法Ⅰ（評価）	牧原 由紀子	2	1		30	神経系理学療法における教員の実務経験ならびにエビデンスを用いながら講義を展開する。
内科系理学療法Ⅰ（評価）	竹内 真太	2	1		30	大学病院で内科系疾患患者の理学療法を行った経験を活かし、内科系疾患患者に対する理学療法士の関わり方などについて教示する
基礎実習	青木 章乃	1	1		45	これまでの臨床教育の経験や、厚労省指定の最新の指導要項に沿った臨床実習計画を行っている。
地域リハビリテーション実習（訪問・通所）	櫻井 陽子	2	1		45	理学療法士としての臨床経験や学生指導の経験を活かし、実習中に多くの体験や知識を身につけられるような内容・時間配分に設定した
検査実習	町田 和	2	2		90	実習協力施設における情意領域の指導にあたり、実例を提示して教育する。 認知領域および精神運動領域に関しては、実習指導者に対しどのような質問をすれば臨床現場における臨床推論を学習できるか、臨床実習指導者の観点から概説する。

専門教育科目

専門科目

卒業要件単位数	126	単位
実務経験のある教員等による授業科目	210	単位

	授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
人間系	文学論	山内 則史	1 2 3 4		2	30	記者時代の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中の文学を意識させながら授業を展開する。
	演劇論	山内 則史	1 2 3 4		1	15	取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。
	パフォーマンス表現論	高山 昇	1 2 3 4		2	30	国語教育の経験を活かし、コミュニケーションに対する苦手意識の克服や、相手に分かりやすく伝えるコミュニケーション能力の育成を目的とした授業を行う。また、理論的な講義とともに、様々なアクティブ・ラーニングを取り入れた演習形式で学生を指導する。
	心理学	橋本 和典	1 2 3 4		2	30	臨床心理士として対応した事例（研究公表許可を得たもの）や臨床経験をを用いて解説する。
	コミュニケーション概論	亀山 晶子	1 2 3 4		2	30	企業現場でのコミュニケーション研修やストレスマネジメント研修作成の実施経験を有する。培った経験をもとに、講義を行う。
	教育学	鶴田 利郎	1 2 3 4		2	30	実際に教育現場で用いていた教材や資料などを積極的に活用しながら、理論と実践をバランスよく学べるように授業を進めます。
社会系	法学	鮫川 誠司	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。
	法と道徳・倫理	鮫川 誠司	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。
	医療関連法規	鮫川 誠司	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。
	社会保障制度論	金野 充博	1 2 3 4		2	30	最新のニュースを素材に今日的な問題についても理解を深める。
	経済の仕組み	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	経済の歴史	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	世界の経済	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	アジア諸国の経済・社会・文化	村上 大介	1 2 3 4		2	30	基礎知識を身につけるとい授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
	マスメディア論	村上 大介	1 2 3 4		2	30	基礎知識を身につけるとい授業目標に加え、長年の取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
	国際関係論	村上 大介	1 2 3 4		2	30	基礎知識を身につけるとい授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
	国際医療福祉論	後藤 純信	1 2 3 4		2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術と海外留学経験に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
	ボランティア論	大石 剛史	1 2 3 4		2	30	ボランティアセンター等での支援経験を授業内で活用する（対面授業）
	ボランティアコーディネート論	林 和美	1 2 3 4		2	30	社会福祉協議会におけるボランティア活動推進業務経験を生かした講義。 さらに自身のボランティア活動経験からの課題などを生かした講義を展開する。
	手話入門	谷 千春	1 2 3 4		2	30	手話通訳実践現場での事例を講義内で紹介したい。
自然・情報系	統計学	稲垣 誠一	1 2 3 4		2	30	統計学について、学問としてだけでなく、実践的な使い方など、実務経験に基づいて解説します。
	疫学・保健医療統計学	鈴木 知子	1 2 3 4		2	30	疫学・保健医療統計学について、学問としてだけでなく、実践的な使い方など、実務経験に基づいて解説します。
	化学	小林 崇平	1 2 3 4		2	30	これまでの分析化学の実施者としての経験を加え、分析の基本から最新技術の情報まで幅広く講義する。
	生物学	湯澤 聡	1 2 3 4		2	30	大学院や医学系研究所での生命科学・基礎医学に関する研究経験をもとに「生物学」の講義を行う。
総合系	大学入門講座Ⅱ（展開）	西田 裕介	1 2 3 4		1	15	学習者個々がめざす目標を自ら明確にし、それに向かって進むことへの動機づけを確かなものとするために、本学の教育理念の理解を手掛かりに、各自が進むべき道を見つけることを支援する。この過程において、適宜、授業担当者の臨床及び教育経験を活かした具体的な示唆を提供する。
	郷土論	山本 秀也	1 2 3 4		1	15	異なる分野で活躍した人々の知見や考察は、書物だけでは得られない新たな視点を与えてくれる。予備知識の少ない分野、あるいは自己と異なる見解であっても、招致した講師の講話を十分に理解し、検討することが知的エネルギーの源泉となる。
	食と人間	新出 真理	1 2 3 4		1	15	現場において経験した患者さまの誤解しがちな栄養・食生活の理解について、紹介しながら、正しい理解や適切な説明方法を教授する。
外国語系	英語講読3 (Intermediate)	Eric Austin Duckworth	2 3 4		1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する。
	英語講読4 (Advanced)	Eric Austin Duckworth	2 3 4		1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する。
	英語会話2 (Basic)	Eric Austin Duckworth	2 3 4		1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する。
	上級英語会話1 (発展)	押味 貴之	1 2 3 4		1	30	参加する学生が将来医療者として「英語で医療コミュニケーションができる」ことが実践できるような授業を展開する。
	上級英語会話2 (総合)	押味 貴之	1 2 3 4		1	30	参加する学生が将来医療者として「英語で医療コミュニケーションができる」ことが実践できるような授業を展開する。

	授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
総合教育科目	外国語系	韓国語入門（会話含む）	李 宣定	1 2 3 4	1	30	様々な分野における通訳業務を通して得た情報、知識、文化を授業に展開する。
		韓国語基礎（会話含む）	李 宣定	1 2 3 4	1	30	様々な分野における通訳業務を通して得た情報、知識、文化を授業に展開する。
		スペイン語入門（会話含む）	Maria Cristina Lopez Garcia	1 2 3 4	1	30	コミュニケーションアプローチ法を用いて、クラスでスペイン語圏の国の文化を伝えていきます。
		スペイン語基礎（会話含む）	Maria Cristina Lopez Garcia	1 2 3 4	1	30	コミュニケーションアプローチ法を用いて、クラスでスペイン語圏の国の文化を伝えていきます。
		タイ語入門（会話含む）	平田 晶子	1 2 3 4	1	30	法務省入国管理局においてタイ語・ラオス語通訳を14年間担当している。通訳・翻訳業務を通じて得たタイの文化・語学知識を授業に展開していく。
		タイ語基礎（会話含む）	平田 晶子	1 2 3 4	1	30	法務省入国管理局においてタイ語・ラオス語通訳を14年間担当している。通訳・翻訳業務を通じて得たタイの文化・語学知識を授業に展開していく。
		ベトナム語入門（会話含む）	小川 有子	1 2 3 4	1	30	通訳や研究、現地業務を通じて得たベトナムの社会・文化や語学に関する知見を用いつつ授業を展開する。
		ベトナム語基礎（会話含む）	小川 有子	1 2 3 4	1	30	通訳や研究、現地業務を通じて得たベトナムの社会・文化や語学に関する知見を用いつつ授業を展開する。
専門教育科目	専門基礎科目（学部共通）	公衆衛生学	鈴木 知子	1	2	30	これまでの公衆衛生学の授業および、公衆衛生学研究の経験を活かした講義を展開する。
		救急医学	志賀 隆	2 3	1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
		感染と免疫	長沢 光章	1 2	2	30	臨床検査実務経験があり、認定臨床微生物検査技師・ICMT認定取得講師が担当し、その経験を活かし授業を展開する。
		リハビリテーション概論	河野 眞	1	2	30	リハビリテーション分野の実務経験に基づく授業を展開する。
		ケースワーク論	山本 由紀	1 2	1	15	臨床現場での経験から、実践に即したソーシャルワークを解説する。
		保健医療福祉制度論	金野 充博	3 4	2	30	最新のニュースを素材に今日的な問題についても理解を深める。
		社会福祉学	山本 由紀	1 2	2	30	ソーシャルワーカーとしての実践事例や実践経験を講義で取り上げながら解説する。
		福祉支援工学概論	石井 清志	1 2	2	30	これまでの介護、福祉領域での業務経験等をふまえて講義を展開する。
		関連職種連携ワーク	西田 裕介	3	1	30	臨床現場における自職種の役割と多職種との関わり、連携を実務経験に基づき展開する。
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	笥 智裕	2 3	1	15	担当教員が持つ臨床および論文執筆経験により、学術論文の検索、読み方、書き方を教授する。
	専門基礎科目	災害保健学	町田 和	1 2	1	15	研修で得た知識である災害の基礎から、支援活動の実際の話や経験をを通して学んだことをディスカッションしながら講義で伝えていく。
		予防保健学	石井 秀明	1 2	1	15	臨床経験で得た知識や体験を講義にて共有する
		国際医療保健学	河野 眞	1 2	1	15	国際協力の実務経験に基づく授業を展開する。
		精神医学Ⅱ（臨床）	半田 聡	3	1	30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
		老年学	浦野 友彦	3	1	30	臨床経験を活かした講義を展開する。
		リハビリテーション医学	角田 亘	3	1	30	実際の臨床経験を活かした授業を行う。
		生理学Ⅰ（植物性機能）	上田 浩平	1	1	30	これまでの研究・臨床経験を活かした授業を展開する。
		生理学Ⅱ（動物性機能）	岡本 秀彦	1	1	30	これまでの研究・臨床経験を活かした授業を展開する。
		生理学実習	岡本 秀彦	1	1	45	これまでの研究・臨床経験を活かした授業を展開する。
		運動学Ⅰ（基礎）	五味 幸寛	1	1	30	運動学と作業療法との関わり、知識の活用について教授します。
		運動学Ⅱ（応用）	五味 幸寛	1	1	30	運動学と作業療法との関わり、知識の活用について教授します。
		運動学実習	五味 幸寛	2	1	45	運動学と作業療法との関わり、知識の活用について教授します。
		病理学	福澤 龍二	2	1	30	これまでの臨床経験を活かした講義を展開する。
		内科学	野田 光彦	2	1	30	これまでの臨床経験を活かした講義を展開する。
		神経学Ⅰ（基礎）	後藤 順	2	1	30	臨床経験を活かした講義を展開する。
		神経学Ⅱ（臨床）	後藤 順	2	1	30	臨床経験を活かした講義を展開する。
		整形外科Ⅰ（基礎）	石井 賢	2	1	30	臨床経験を活かした講義を展開する。
		整形外科Ⅱ（臨床）	石井 賢	2	1	30	臨床経験を活かした講義を展開する。
		精神医学Ⅰ（基礎）	半田 聡	2	1	30	臨床経験を活かした講義をする。
		精神医学Ⅱ（臨床）	半田 聡	2	1	30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
		小児科学	中江 淳	2	1	30	これまでの臨床経験および基礎研究を活かした講義を展開する。
		老年学	浦野 友彦	2	1	30	臨床経験を活かした講義を展開する。
リハビリテーション医学	角田 亘	2	1	30	実際の臨床経験を活かした授業を行う。		
病態生理学	笥 智裕	2 3	1	15	担当教員のもつ臨床経験から、各疾患の症状、病態生理について教授する。		
臨床薬理学概論	池田 賢二	2	1	15	多職種連携時に生じる注意点など経験的事例解説も展開する		
栄養学	新出 真理	2 3	1	15	現場において経験した患者さまの誤解しがちな栄養・食生活の理解について、紹介しながら、正しい理解や適切な説明方法を教授する。		
外科学	吉田 雅博	2 3	1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。		
脳神経外科学	河島 雅到	2 3	1	15	これまでの臨床経験を活かした授業を展開する。		
神経心理学概論	後藤 順	2 3	1	15	臨床経験を活かした授業を行う。		
対人援助論	河野 眞	1 2	1	15	臨床の実務の中での体験を講義の中に織り交ぜて紹介する。		
国際医療保健学演習	河野 眞	2 3 4	1	15	国際協力の実務経験に基づく授業を展開する。		

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
作業工程技術学・応用論	小野 和美	3	1		30	本授業での学びが、多様な作業療法臨床においてどのように応用されるのかを説明しながら、授業を進行する。
研究法概論	山口 佳小里	3	1		15	研究に関する実務経験に基づく授業を展開する。
作業療法倫理・管理	澁井 実	4	1		15	作業療法の実務経験に基づく授業を展開する。
内科系疾患作業療法学	圓 純一郎	3	1		30	実務経験に基づいて内科系疾患を有する対象者に対する作業療法を教授する。
運動器疾患作業療法学	圓 純一郎	3	1		30	実務経験に基づいて運動器疾患を有する対象者に対する作業療法を教授する。
中枢神経疾患作業療法学Ⅰ（総論）	五味 幸寛	3	1		30	各疾患の病態と作業療法について実務経験をもとに教授します。
中枢神経疾患作業療法学Ⅱ（各論）	五味 幸寛	3	1		30	脳血管障害の作業療法実践過程について担当教員の実務経験をもとに教授します。
精神疾患作業療法学Ⅰ（総論）	澁井 実	3	1		30	実務経験をもとに各疾患における作業療法の評価、治療、指導、援助について教授する。
精神疾患作業療法学Ⅱ（各論）	堀田 英樹	3	1		30	実務経験をもとに精神疾患作業療法について教授する。
小児作業療法学Ⅰ（総論）	河野 眞	3	1		30	作業療法の実務経験に基づく授業を展開する。
小児作業療法学Ⅱ（各論）	河野 眞	3	1		30	作業療法の実務経験に基づく授業を展開する。
老年作業療法学	小野 和美	3	1		30	老年期の作業療法における基本に加え、症例やご家族へのサービス提供時の留意点や多職種協働の実際を教授する。
認知障害作業療法学	五味 幸寛	3	1		30	認知障害の評価と支援の方法について実務経験をもとに教授します。
作業療法諸理論	寛 智裕	4	1		15	担当教員が持つ臨床経験から、実際の作業療法場面において使用される各理論について教授する。
作業療法応用学概論	河野 眞	3	1		15	各担当教員が臨床での実務経験を授業の中で適宜紹介する。
就学・就労支援論	河野 眞	3	1		15	作業療法の実務経験に基づく授業を展開する。
生活技術学Ⅱ（各論）	小野 和美	3	1		30	作業療法における生活技術の実務経験に基づく授業を展開する。
職業関連技術学	堀田 英樹	3	1		30	実務経験をもとに職業関連技術について教授する。
地域生活作業療法論	河野 眞	3	1		30	地域における作業療法の実務経験に基づく授業を展開する。
災害リハビリテーション学	町田 和	3 4	1		15	災害後の支援活動の実際の話や経験を通して学んだこと、研修で得た知識やそこから開発していった福祉避難所運営ゲームなどを体験しながら、講義を通して学生に伝えていく。
認知症作業療法特論	堀田 英樹	3 4	1		15	実務経験をもとに認知症作業療法の実践を教授する。
地域生活支援論	河野 眞	3 4	1		15	地域における作業療法の実務経験に基づく授業を展開する。
障害代償学概論	河野 眞	3	1		15	作業療法の実務経験に基づく授業を展開する。
住環境整備論	石井 清志	3	1		15	住環境整備についての基本的な知識技術に加え、臨床場面での留意点や多職種協働の内容を含め、授業を進行する。
装具・副子適用論	圓 純一郎	3	1		30	実務経験をもとに装具・副子の適用と副子の製作技術を教授する。
自助具・福祉機器適用論	石井 清志	3	1		30	自助具・福祉用具についての一般的な知識に加え、臨床場面で多く求められる導入時の留意点や多職種連携を内容を含め、授業を進行する。
臨床実習ゼミⅢ（作業療法計画立案）	河野 眞	3 4	1		15	作業療法の実務経験に基づく授業を展開する。
臨床実習ゼミⅣ（作業療法実践）	河野 眞	4	1		15	作業療法の実務経験に基づく授業を展開する。
作業療法概論	河野 眞	1	1		15	具体的な臨床での実務に基づく経験を授業内で適宜例示する。
作業学概論	小野 和美	1	1		15	多様な作業療法臨床場面において、作業がどのように活用されるのかを教授する。
作業工程技術学・基礎論	小野 和美	1	1		30	本授業での学びが、多様な作業療法臨床においてどのように活用されるのかを説明しながら、授業を進行する。
作業分析学Ⅰ（基礎）	五味 幸寛	1	1		30	作業療法における作業分析の実務経験に基づく授業を展開する。
作業分析学Ⅱ（応用）	五味 幸寛	2	1		30	作業療法における作業分析の実務経験に基づく授業を展開する。
作業応用論	堀田 英樹	2 3	1		30	本授業での学びが、多様な作業療法臨床においてどのように活用されるのかを説明しながら、授業を進行する。
作業療法評価学概論	河野 眞	2	1		15	担当教員が臨床の実務で経験した事例を授業の課題として取り入れ、実際の臨床での考えの道筋を具体的に伝える。
作業療法評価学各論	小野 和美	2	1		30	作業療法評価全般に関し基礎的な知識や技術を習得することに加え、臨床場面で多く実施されている評価法や評価実施時の留意点など、臨床における活用方法についても教授する。
作業療法評価学演習	澁井 実	2	1		30	実務経験をもとに作業療法評価について教授する。
基礎運動機能評価法	圓 純一郎	2	1		30	運動機能評価の目的と方法について実務経験をもとに教授する。
生活機能論	澁井 実	2	1		15	作業療法における生活機能論に関する実務経験に基づく授業を展開する。
上肢機能評価法	寛 智裕	2 3	1		15	担当教員の臨床経験から、上肢機能評価について教授する。
日常生活活動評価法	外池 翔太郎	2 3	1		15	作業療法の実務経験に基づく授業を展開する。
高次脳機能評価法	五味 幸寛	2 3	1		15	高次脳機能評価の進め方や各種検査の目的と方法について実務経験をもちに教授します。
作業療法適用学概論	河野 眞	2	1		15	作業療法の実務経験に基づく授業を展開する。
生活技術学Ⅰ	小野 和美	2	1		30	作業療法における生活技術の実務経験に基づく授業を展開する。

専門教育科目

専門科目

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
専門 教育 科目	専門 科目	リハビリテーション英語Ⅰ（基礎）	石井 清志	2 3	1	15	海外での業務経験をふまえて、講義を展開する。
		リハビリテーション英語Ⅱ（応用）	石井 清志	2 3	1	15	海外での実務経験に基づいて、講義等を展開する。
		バリアフリー論	外池 翔太郎	2 3	1	15	実務経験をふまえて講義を展開する。
		臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	河野 真	1 2	1	15	作業療法の実務経験に基づく授業を展開する。
		臨床実習ゼミⅡ（作業療法実践過程）	河野 真	2 3	1	15	作業療法の実務経験に基づく授業を展開する。

卒業要件単位数	126	単位
実務経験のある教員等による授業科目	159	単位

	授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
人間系	文学論	山内 則史	1 2 3 4		2	30	記者時代の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中の文学を意識させながら授業を展開する。
	演劇論	山内 則史	1 2 3 4		1	15	取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。
	パフォーマンス表現論	高山 昇	1 2 3 4		2	30	国語教育の経験を活かし、コミュニケーションに対する苦手意識の克服や、相手に分かりやすく伝えるコミュニケーション能力の育成を目的とした授業を行う。また、理論的な講義とともに、様々なアクティブ・ラーニングを取り入れた演習形式で学生を指導する。
	心理学	橋本 和典	1 2 3 4		2	30	臨床心理士として対応した事例（研究公表許可を得たもの）や臨床経験をを用いて解説する。
	コミュニケーション概論	亀山 晶子	1 2 3 4		2	30	企業現場でのコミュニケーション研修やストレスマネジメント研修作成の実施経験を有する。培った経験をもとに、講義を行う。
	教育学	鶴田 利郎	1 2 3 4		2	30	実際に教育現場で用いていた教材や資料などを積極的に活用しながら、理論と実践をバランスよく学べるように授業を進めます。
社会系	法学	鮫川 誠司	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。
	法と道徳・倫理	鮫川 誠司	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。
	医療関連法規	鮫川 誠司	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。
	社会保障制度論	金野 充博	1 2 3 4		2	30	最新のニュースを素材に今日的な問題についても理解を深める。
	経済の仕組み	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	経済の歴史	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	世界の経済	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	アジア諸国の経済・社会・文化	村上 大介	1 2 3 4		2	30	基礎知識を身につけるとい授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
	マスメディア論	村上 大介	1 2 3 4		2	30	基礎知識を身につけるとい授業目標に加え、長年の取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
	国際関係論	村上 大介	1 2 3 4		2	30	基礎知識を身につけるとい授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
	国際医療福祉論	後藤 純信	1 2 3 4		2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術と海外留学経験に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
	ボランティア論	大石 剛史	1 2 3 4		2	30	ボランティアセンター等での支援経験を授業内で活用する（対面授業）
	ボランティアコーディネイト論	林 和美	1 2 3 4		2	30	社会福祉協議会におけるボランティア活動推進業務経験を生かした講義。[さらに自身のボランティア活動経験からの課題などを生かした講義を展開する。
	手話入門	谷 千春	1 2 3 4		2	30	手話通訳実践現場での事例を講義内で紹介したい。
自然・情報系	統計学	稲垣 誠一	1		2	30	統計学について、学問としてだけでなく、実践的な使い方など、実務経験に基づいて解説します。
	疫学・保健医療統計学	鈴木 知子	1 2 3 4		2	30	疫学・保健医療統計学について、学問としてだけでなく、実践的な使い方など、実務経験に基づいて解説します。
	化学	小林 崇平	1 2 3 4		2	30	これまでの分析化学の実施者としての経験を加え、分析の基本から最新技術の情報まで幅広く講義する。
	生物学	湯澤 聡	1 2 3 4		2	30	大学院や医学系研究所での生命科学・基礎医学に関する研究経験をもとに「生物学」の講義を行う。
総合系	大学入門講座Ⅱ（展開）	西田 裕介	1 2 3 4		1	15	学習者個々がめざす目標を自ら明確にし、それに向かって進むことへの動機づけを確かなものとするために、本学の教育理念の理解を手掛かりに、各自が進むべき道を見つけることを支援する。この過程において、適宜、授業担当者の臨床及び教育経験を活かした具体的な示唆を提供する。
	郷土論	山本 秀也	1 2 3 4		1	15	異なる分野で活躍した人々の知見や考察は、書物だけでは得られない新たな視点を与えてくれる。予備知識の少ない分野、あるいは自己と異なる見解であっても、招致した講師の講話を十分に理解し、検討することが知的エネルギーの源泉となる。
	食と人間	新出 真理	1 2 3 4		1	15	現場において経験した患者さまの誤解しがちな栄養・食生活の理解について、紹介しながら、正しい理解や適切な説明方法を教授する。
外国語系	英語CALL1 (Primary)	Eric Austin Duckworth	1		1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する。
	英語CALL2 (Basic)	Eric Austin Duckworth	1		1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する。
	英語講読3 (Intermediate)	Eric Austin Duckworth	2 3 4		1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する。
	英語講読4 (Advanced)	Eric Austin Duckworth	2 3 4		1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する。

	授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
総合教育科目	外国語系	英語会話2 (Basic)	Eric Austin Duckworth	2 3 4	1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する。
		上級英語会話1 (発展)	押味 貴之	1 2 3 4	1	30	参加する学生が将来医療者として「英語で医療コミュニケーションができる」ことが実践できるような授業を展開する。
		上級英語会話2 (総合)	押味 貴之	1 2 3 4	1	30	参加する学生が将来医療者として「英語で医療コミュニケーションができる」ことが実践できるような授業を展開する。
		韓国語入門 (会話含む)	李 宣定	1 2 3 4	1	30	様々な分野における通訳業務を通して得た情報、知識、文化を授業に展開する。
		韓国語基礎 (会話含む)	李 宣定	1 2 3 4	1	30	様々な分野における通訳業務を通して得た情報、知識、文化を授業に展開する。
		スペイン語入門 (会話含む)	Maria Cristina Lopez Garcia	1 2 3 4	1	30	コミュニケーションアプローチ法を用いて、クラスでスペイン語圏の国の文化を伝えていきます。
		スペイン語基礎 (会話含む)	Maria Cristina Lopez Garcia	1 2 3 4	1	30	コミュニケーションアプローチ法を用いて、クラスでスペイン語圏の国の文化を伝えていきます。
		タイ語入門 (会話含む)	平田 晶子	1 2 3 4	1	30	法務省入国管理局においてタイ語・ラオス語通訳を14年間担当している。通訳・翻訳業務を通じて得たタイの文化・語学知識を授業に展開していく。
		タイ語基礎 (会話含む)	平田 晶子	1 2 3 4	1	30	法務省入国管理局においてタイ語・ラオス語通訳を14年間担当している。通訳・翻訳業務を通じて得たタイの文化・語学知識を授業に展開していく。
		ベトナム語入門 (会話含む)	小川 有子	1 2 3 4	1	30	通訳や研究、現地業務を通じて得たベトナムの社会・文化や語学に関する知見を用いつつ授業を展開する。
ベトナム語基礎 (会話含む)	小川 有子	1 2 3 4	1	30	通訳や研究、現地業務を通じて得たベトナムの社会・文化や語学に関する知見を用いつつ授業を展開する。		
専門基礎科目 (学部共通)	公衆衛生学	鈴木 知子	1 2	2	30	これまでの公衆衛生学の授業および、公衆衛生学研究の経験を活かした講義を展開する。	
	救急医学	志賀 隆	2 3	1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。	
	感染と免疫	長沢 光章	1 2	2	30	臨床検査実務経験があり、認定臨床微生物検査技師・ICMT認定取得講師が担当し、その経験を活かし授業を展開する。	
	リハビリテーション概論	河野 眞	1	2	30	リハビリテーション分野の実務経験に基づく授業を展開する。	
	ケースワーク論	山本 由紀	1 2	1	15	臨床現場での経験から、実践に即したソーシャルワークを解説する。	
	保健医療福祉制度論	金野 充博	1	2	30	最新のニュースを素材に今日的な問題についても理解を深める。	
	社会福祉学	山本 由紀	1 2	2	30	ソーシャルワーカーとしての実践事例や実践経験を講義で取り上げながら解説する。	
	福祉支援工学概論	石井 清志	1 2	2	30	これまでの介護、福祉領域での業務経験等をふまえて講義を展開する。	
	関連職種連携ワーク	西田 裕介	3	1	30	臨床現場における自職種の役割と多職種との関わり、連携を実務経験に基づき展開する。	
	災害保健学	町田 和	1 2 3	1	15	研修で得た知識である災害の基礎から、支援活動の実際の話や経験をを通して学んだことをディスカッションしながら講義で伝えていく。	
	予防保健学	石井 秀明	1 2 3	1	15	臨床経験で得た知識や体験を講義にて共有する	
	教職教養	鶴田 利郎	2 3	1	30	実際に教育現場で用いていた教材や資料などを積極的に活用しながら、理論と実践をバランスよく学べるように授業を進めます。	
	国際医療保健学	河野 眞	1 2 3	1	15	国際協力の実務経験に基づく授業を展開する。	
	心理測定法演習	坂井 剛	3	1	30	心理検査の実施・判定方法の解説、データ収集・分析方法の解説	
	聴覚心理学	中市 健志	3	1	30	聴覚の専門としての臨床経験から授業へ展開する。	
	生理学	中江 淳	1	2	30	これまでの研究・臨床経験を活かした授業を展開する。	
	病理学	片山 博徳	1	1	15	現場で必要とされる知識、技術、および、先端技術を教授する	
	医学概論	小野木 雄三	1	1	15	臨床経験を活かした講義を展開する。	
	内科学	野田 光彦	1	1	30	これまでの臨床経験を活かした講義を展開する。	
	精神医学	半田 聡	2	1	30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。	
リハビリテーション医学	角田 亘	2	1	30	実際の臨床経験を活かした授業を行う。		
専門基礎科目	小児科学	中江 淳	2	1	30	これまでの臨床経験および基礎研究を活かした講義を展開する。	
	耳鼻咽喉科学	岡本 秀彦	2	1	30	これまでの研究・臨床経験を活かした授業を展開する。	
	臨床神経学	村井 弘之	2	1	30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。	
	形成外科学	松崎 恭一	2	1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。	
	口腔外科学	石崎 憲	2	1	15	授業内容には口腔外科医師として、臨床場面を加味して講義を展開している。	
	中枢神経機能学	岡本 秀彦	1	1	30	これまでの研究・臨床経験を活かした講義を展開する。	
	聴覚医学	岩崎 聡	1	1	30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。	
	老年学	浦野 友彦	1 2	1	15	臨床経験を活かした講義を展開する。	
	遺伝学	山口 良考	1 2	1	15	疾患の成り立ちを、遺伝子・ゲノムレベルで解説し、イメージングを大事にした講義を行っています。「遺伝子」という言葉が浸透して、病気と遺伝子について聞かれることも多くなってきています。このようなことから、遺伝的な問題もつ人や健康人における遺伝子の意味など、遺伝学的なアドバイスやより良い精神的ケアが実践できるよう、遺伝学の専門的知識を身につけたメディカルスタッフの育成を目指しています。	
	脳神経外科学	河島 雅到	1 2	1	15	これまでの臨床経験を活かした授業を展開する。	
	臨床心理学	橋本 和典	2	1	30	臨床心理士として対応した事例 (研究公表許可を得たもの) について解説する。	
	生涯発達心理学	中村 友一	1	1	30	臨床業務での経験を踏まえた、年代区分ごとの心理的な特徴やその発達課題の説明解説、発達障害の理解とその支援に関する説明解説	
	神経心理学	大石 斐子	2	1	30	神経心理学的障害について、実務経験に基づいて包括的かつ具体的に講義する。	
	認知心理学	野添 健太	1	1	30	実験の簡単なデモンストレーションを作成し、授業内容を体験的に理解できる様に努める。	
	心理測定法 I (基礎) (隔週)	坂井 剛	2	1	30	心理検査の実施・判定方法の解説、データ収集・分析方法の解説	
国際医療保健学演習	河野 眞	2 3 4	1	15	国際協力の実務経験に基づく授業を展開する。		

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
言語聴覚障害診断学	菅野 倫子	3	1		30	言語聴覚士としての臨床機関における実務経験からの具体例や考察を講義内容の具体例として実践的な内容を例示して展開する。
言語聴覚障害基礎演習	大石 斐子	3	1		15	各回、実務経験を有する教員の経験に基づき展開する。
小児聴覚障害学Ⅰ（評価・診断）	小淵 千絵	3	1		30	聴覚障害の臨床経験を踏まえ、専門的な知識と臨床技術との統合を図りつつ、言語聴覚評価についての臨床的な判断ができ、かつその後の支援について計画できるよう授業を展開する。
小児聴覚障害学Ⅱ（指導）	小淵 千絵	3	1		30	聴覚障害の臨床経験を踏まえ、専門的な知識と臨床技術との統合を図りつつ、言語聴覚評価に基づいてその後の支援を計画、実践できるよう授業を展開する。
構音障害学Ⅱ（評価・診断）	阿志賀 大和	3	1		30	臨床上の経験を補足説明として、講義の中で述べる。
構音障害学演習（治療）	阿志賀 大和	3	1		45	臨床上の経験を補足説明として、講義の中で述べる。
臨床実習Ⅰ（基礎）	小淵 千絵	3	2		80	病院などでの実務経験をともに、事前事後学修での指導、臨床実習中の支援を行う。
臨床実習Ⅱ（総合）	阿志賀 大和	4	10		400	病院などでの実務経験をともに、臨床実習前・中・後の支援、指導を行う。
災害リハビリテーション学	町田 和	3 4		1	15	災害後の支援活動の実際の話や経験を通して学んだこと、研修で得た知識やそこから開発していった福祉避難所運営ゲームなどを体験しながら、講義を通して学生に伝えていく。
聴覚障害学総論	山本 弥生	2	1		30	聴覚障害の臨床経験を踏まえ、専門的な知識と臨床技術との統合を図りつつ、聴覚検査の結果の解釈について臨床的な判断ができ、かつその後の支援について計画できるよう授業を展開する。
聴覚機能評価学	山本 弥生	2	2		60	聴覚障害の臨床経験を踏まえ、専門的な知識と臨床技術との統合を図りつつ、聴覚検査の結果の解釈について臨床的な判断ができ、かつその後の支援について計画できるよう授業を展開する。
英語で学ぶ言語聴覚療法の基礎	大石 斐子	1 2		1	15	国内および海外での研究・教育・交流活動の経験に基づき、将来活躍する言語聴覚士に必要な英語の技能について触れる。
コミュニケーション技能実習	大石 斐子	1	1		30	臨床現場における実務経験に基づき、言語聴覚士に必要とされるコミュニケーション技能に関する講義および演習を展開する。

卒業要件単位数	126	単位
実務経験のある教員等による授業科目	133	単位

	授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
人間系	文学論	山内 則史	1 2 3 4		2	30	記者時代の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中の文学を意識させながら授業を展開する。
	演劇論	山内 則史	1 2 3 4		1	15	取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。
	パフォーマンス表現論	高山 昇	1 2 3 4		2	30	国語教育の経験を活かし、コミュニケーションに対する苦手意識の克服や、相手に分かりやすく伝えるコミュニケーション能力の育成を目的とした授業を行う。また、理論的な講義とともに、様々なアクティブ・ラーニングを取り入れた演習形式で学生を指導する。
	心理学	橋本 和典	1 2 3 4		2	30	臨床心理士として対応した事例（研究公表許可を得たもの）や臨床経験をを用いて解説する。
	コミュニケーション概論	亀山 晶子	1 2 3 4		2	30	企業現場でのコミュニケーション研修やストレスマネジメント研修作成の実施経験を有する。培った経験をもとに、講義を行う。
	教育学	鶴田 利郎	1 2 3 4		2	30	実際に教育現場で用いていた教材や資料などを積極的に活用しながら、理論と実践をバランスよく学べるように授業を進めます。
社会系	法学	鮫川 誠司	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。
	法と道徳・倫理	鮫川 誠司	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。
	医療関連法規	鮫川 誠司	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。
	社会保障制度論	金野 充博	1 2 3 4		2	30	最新のニュースを素材に今日的な問題についても理解を深める。
	経済の仕組み	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	経済の歴史	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	世界の経済	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	アジア諸国の経済・社会・文化	村上 大介	1 2 3 4		2	30	基礎知識を身につけるとい授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
	マスメディア論	村上 大介	1 2 3 4		2	30	基礎知識を身につけるとい授業目標に加え、長年の取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
	国際関係論	村上 大介	1 2 3 4		2	30	基礎知識を身につけるとい授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
	国際医療福祉論	後藤 純信	1 2 3 4		2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術と海外留学経験に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
	ボランティア論	大石 剛史	1 2 3 4		2	30	ボランティアセンター等での支援経験を授業内で活用する（対面授業）
	ボランティアコーディネーター論	林 和美	1 2 3 4		2	30	社会福祉協議会におけるボランティア活動推進業務経験を生かした講義。さらに自身のボランティア活動経験からの課題などを生かした講義を展開する。
	手話入門	谷 千春	1 2 3 4		2	30	手話通訳実践現場での事例を講義内で紹介したい。
自然・情報系	統計学	稲垣 誠一	1 2 3 4		2	30	統計学について、学問としてだけでなく、実践的な使い方など、実務経験に基づいて解説します。
	疫学・保健医療統計学	鈴木 知子	1 2 3 4		2	30	疫学・保健医療統計学について、学問としてだけでなく、実践的な使い方など、実務経験に基づいて解説します。
	化学	小林 崇平	1 2 3 4	2		30	これまでの分析化学の実施者としての経験を加え、分析の基本から最新技術の情報まで幅広く講義する。
	生物学	湯澤 聡	1 2 3 4		2	30	大学院や医学系研究所での生命科学・基礎医学に関する研究経験をもとに「生物学」の講義を行う。
総合系	大学入門講座Ⅱ（展開）	西田 裕介	1 2 3 4		1	15	学習者個々がめざす目標を自ら明確にし、それに向かって進むことへの動機づけを確かなものとするために、本学の教育理念の理解を手掛かりに、各自が進むべき道を見つけることを支援する。この過程において、適宜、授業担当者の臨床及び教育経験を活かした具体的な示唆を提供する。
	郷土論	山本 秀也	1 2 3 4		1	15	異なる分野で活躍した人々の知見や考察は、書物だけでは得られない新たな視点を与えてくれる。予備知識の少ない分野、あるいは自己と異なる見解であっても、招致した講師の講話を十分に理解し、検討することが知的エネルギーの源泉となる。
	食と人間	新出 真理	1 2 3 4		1	15	現場において経験した患者さまの誤解しがちな栄養・食生活の理解について、紹介しながら、正しい理解や適切な説明方法を教授する。
外国語系	英語C A L L 1 (Primary)	Eric Austin Duckworth	1		1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する。
	英語C A L L 2 (Basic)	Eric Austin Duckworth	1		1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する。
	英語講読3 (Intermediate)	Eric Austin Duckworth	2 3 4		1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する。
	英語講読4 (Advanced)	Eric Austin Duckworth	2 3 4		1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する。

	授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
総合教育科目	外国語系	英語会話2 (Basic)	Eric Austin Duckworth	2 3 4	1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する。
		上級英語会話1 (発展)	押味 貴之	1 2 3 4	1	30	参加する学生が将来医療者として「英語で医療コミュニケーションができる」ことが実践できるような授業を展開する。
		上級英語会話2 (総合)	押味 貴之	1 2 3 4	1	30	参加する学生が将来医療者として「英語で医療コミュニケーションができる」ことが実践できるような授業を展開する。
		韓国語入門 (会話含む)	李 宣定	1 2 3 4	1	30	様々な分野における通訳業務を通して得た情報、知識、文化を授業に展開する。
		韓国語基礎 (会話含む)	李 宣定	1 2 3 4	1	30	様々な分野における通訳業務を通して得た情報、知識、文化を授業に展開する。
		スペイン語入門 (会話含む)	Maria Cristina Lopez Garcia	1 2 3 4	1	30	コミュニケーションアプローチ法を用いて、クラスでスペイン語圏の国の文化を伝えていきます。
		スペイン語基礎 (会話含む)	Maria Cristina Lopez Garcia	1 2 3 4	1	30	コミュニケーションアプローチ法を用いて、クラスでスペイン語圏の国の文化を伝えていきます。
		タイ語入門 (会話含む)	平田 晶子	1 2 3 4	1	30	法務省入国管理局においてタイ語・ラオス語通訳を14年間担当している。通訳・翻訳業務を通じて得たタイの文化・語学知識を授業に展開していく。
		タイ語基礎 (会話含む)	平田 晶子	1 2 3 4	1	30	法務省入国管理局においてタイ語・ラオス語通訳を14年間担当している。通訳・翻訳業務を通じて得たタイの文化・語学知識を授業に展開していく。
		ベトナム語入門 (会話含む)	小川 有子	1 2 3 4	1	30	通訳や研究、現地業務を通じて得たベトナムの社会・文化や語学に関する知見を用いつつ授業を展開する。
ベトナム語基礎 (会話含む)	小川 有子	1 2 3 4	1	30	通訳や研究、現地業務を通じて得たベトナムの社会・文化や語学に関する知見を用いつつ授業を展開する。		
専門基礎科目 (学部共通)	公衆衛生学	鈴木 知子	2	1	30	これまでの公衆衛生学の授業および、公衆衛生学研究の経験を活かした講義を展開する。	
	救急医学	志賀 隆	1 2	1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。	
	感染と免疫	長沢 光章	1 2	2	30	臨床検査実務経験があり、認定臨床微生物検査技師・ICMT認定取得講師が担当し、その経験を活かし授業を展開する。	
	リハビリテーション概論	河野 真	1 2	2	30	リハビリテーション分野の実務経験に基づく授業を展開する。	
	ケースワーク論	山本 由紀	1 2	1	15	臨床現場での経験から、実践に即したソーシャルワークを解説する。	
	保健医療福祉制度論	金野 充博	1	2	30	最新のニュースを素材に今日的な問題についても理解を深める。	
	社会福祉学	山本 由紀	1 2	2	30	ソーシャルワーカーとしての実践事例や実践経験を講義で取り上げながら解説する。	
	福祉支援工学概論	石井 清志	1 2	2	30	これまでの介護、福祉領域での業務経験等をふまえて講義を展開する。	
	関連職種連携ワーク	西田 裕介	3	1	30	臨床現場における自職種の役割と多職種との関わり、連携を実務経験に基づき展開する。	
	災害保健学	町田 和	1 2	1	15	研修で得た知識である災害の基礎から、支援活動の実際の話や経験をを通して学んだことをディスカッションしながら講義で伝えていく。	
	予防保健学	石井 秀明	1 2	1	15	臨床経験で得た知識や体験を講義にて共有する	
	生理学	中江 淳	1	1	30	これまでの研究・臨床経験を活かした授業を展開する。	
	病理学	片山 博徳	1	2	30	現場で必要とされる知識、技術、および、先端技術を教授する	
	臨床医学概論	松本 哲哉	2	1	30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。	
	内科学	野田 光彦	1	1	30	これまでの臨床経験を活かした講義を展開する。	
	臨床神経学	岡本 秀彦	1 2 3	1	30	これまでの研究・臨床経験を活かした講義を展開する。	
	リハビリテーション医学	角田 亘	1 2 3	1	30	実際の臨床経験を活かした授業を行う。	
	小児科学	中江 淳	1 2 3	1	30	これまでの臨床経験および基礎研究を活かした講義を展開する。	
	老年学	浦野 友彦	1 2 3	1	30	臨床経験を活かした講義を展開する。	
薬理学	池田 賢二	1	1	15	多職種連携時に生じる注意点など経験的事例解説も展開する		
栄養学	新出 真理	1 2 3	1	15	現場において経験した患者さまの誤解しがちな栄養・食生活の理解について、紹介しながら、正しい理解や適切な説明方法を教授する。		
専門基礎科目	遺伝学	山口 良考	1	1	15	疾患の成り立ちを、遺伝子・ゲノムレベルで解説し、イメージングを大事にした講義を行っています。「遺伝子」という言葉が浸透して、病氣と遺伝子について聞かれることも多くなってきています。このようなことから、遺伝的な問題もつ人や健康人における遺伝子の意味など、遺伝学的なアドバイスやより良い精神的ケアが実践できるよう、遺伝学の専門的知識を身につけたメディカルスタッフの育成を目指しています。	
	微生物学	橋本 優佑	1	2	30	実務経験を基に、臨床微生物検査領域で必要となる知識を織り交ぜながら講義を実施する。また、微生物の基本となる学問であるため、わかりやすい講義になるように取り組む。感染症学（特に社会的に問題となっている感染症）についても随時盛り込んでいく。	
	分析化学	小林 崇平	1	2	30	臨床化学検査における実践的な技術や知識について理解を深める。	
	生化学	河野 弥季	1	2	30	臨床検査の実践に必要な生化学的知識を学習させる。	
	生化学実習	清宮 正徳	1	1	45	臨床化学検査における実践的な技術や知識について理解を深める。	
	医用工学・情報概論	佐藤 正一	1	2	30	授業への展開 現場で必要とされる知識、技術、および、先端技術を教授する	
	医用工学・情報実習	佐藤 正一	1	1	45	授業への展開 現場で必要とされる知識、技術、および、先端技術を教授する	

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
病理検査学実習Ⅰ（基礎）	片山 博徳	3	1		45	現場で必要とされる知識、技術、および、先端技術を教授する
病理検査学実習Ⅱ（応用）	片山 博徳	3	1		45	現場で必要とされる知識、技術、および、先端技術を教授する
血液検査学実習Ⅰ（基礎）	木村 明佐子	3	1		45	大学病院検査部の血液検査部門において臨床検査技師としての実務経験を持つ教員が、実際の臨床現場で必要とされる知識や技術について、経験談を交えながら明確に解説し進めていく。
血液検査学実習Ⅱ（応用）	木村 明佐子	3	1		45	大学病院検査部の血液検査部門において臨床検査技師としての実務経験を持つ教員が、実際の臨床現場で必要とされる知識や技術について、経験談を交えながら明確に解説し進めていく。
臨床化学検査学実習Ⅰ（基礎）	清宮 正徳	3	1		45	臨床化学検査における実践的な技術や知識について理解を深める。
臨床化学検査学実習Ⅱ（応用）	清宮 正徳	3	1		45	臨床化学検査における実践的な技術や知識について理解を深める。
微生物検査学実習Ⅰ（基礎）	長沢 光章	3	1		45	病院検査室での経験を実習内容に含める。
微生物検査学実習Ⅱ（応用）	長沢 光章	3	1		45	微生物検査実務経験を実習内容に含める。
免疫検査学実習Ⅱ（応用）	竹内 啓晃	3	1		45	主に感染症から診た免疫学（検査学）の重要性を实地診療（検査診断・疾患病態の理解）を意識した授業内容に展開する。
生理検査学実習Ⅱ（応用）	伊藤 記彦	3	1		45	これまでの実務経験を活かして、授業・実習を展開する。
超音波検査学	伊藤 記彦	3	2		30	これまでの実務経験を活かして、授業・実習を展開する。
超音波検査学実習	伊藤 記彦	3	1		45	これまでの実務経験を活かして、授業・実習を展開する。
精度管理学	佐藤 正一	3	1		15	臨床化学・免疫検査における精度保証に関する認定制度があり、その中で指導する立場となっていることから、具体的な内容に踏み込んで講義を進める。
検査情報システム学	佐藤 正一	3	1		15	電子カルテシステムの立ち上げを2回経験しているので、その際に必要な最小限の知識を授業の中で紹介していく。
臨床診断学	下澤 達雄	3	1		15	これまでの臨床経験を活かした講義を展開する。
臨床検査技術開発論	清宮 正徳	3	4	1	15	臨床検査技師の実務経験を授業に反映する。
先端臨床検査学	清宮 正徳	3	4	1	15	実務経験を生かして講義を展開する。
臨床検査統計学	佐藤 正一	3	1		30	臨床統計学の講義を医師や臨床検査技師に対して行っており、この経験を基に講義を進める
医療安全管理学	長沢 光章	4	1		15	臨床検査実務経験を活かして授業を展開する。
病理組織学演習	片山 博徳	2	2		30	現場で必要とされる知識、技術、および、先端技術を教授する
病理検査学	片山 博徳	2	2		30	現場で必要とされる知識、技術、および、先端技術を教授する
血液検査学Ⅰ（総論）	木村 明佐子	2	2		30	大学病院検査部の血液検査部門において臨床検査技師としての実務経験を持つ教員が、実際の臨床現場で必要とされる知識や技術について、経験談を交えながら明確に解説し進めていく。
血液検査学Ⅱ（各論）	木村 明佐子	2	2		30	大学病院検査部の血液検査部門において臨床検査技師としての実務経験を持つ教員が、実際の臨床現場で必要とされる知識や技術について、経験談を交えながら明確に解説し進めていく。
臨床化学検査学Ⅰ（総論）	清宮 正徳	2	2		30	臨床化学検査における実践的な技術や知識について理解を深める。
臨床化学検査学Ⅱ（各論）	清宮 正徳	2	2		30	臨床化学検査における実践的な技術や知識について理解を深める。
遺伝子検査学	山口 良考	1	2		30	疾患の成り立ちを、遺伝子・ゲノムレベルで解説し、イメージングを大事にした講義を行っています。「遺伝子」という言葉が浸透して、病氣と遺伝子について聞かれることも多くなってきています。このようなことから、遺伝的な問題もつ人や健康人における遺伝子の意味など、遺伝学的なアドバイスやより良い精神的ケアが実践できるよう、遺伝学の専門的知識を身につけたコメディカルスタッフの育成を目指しています。
遺伝子検査学実習	山口 良考	2	1		45	疾患の成り立ちを、遺伝子・ゲノムレベルで解説し、イメージングを大事にした講義を行っています。「遺伝子」という言葉が浸透して、病氣と遺伝子について聞かれることも多くなってきています。このようなことから、遺伝的な問題もつ人や健康人における遺伝子の意味など、遺伝学的なアドバイスやより良い精神的ケアが実践できるよう、遺伝学の専門的知識を身につけたコメディカルスタッフの育成を目指しています。
分子生物学	山口 良考	1 2 3		1	15	分子生物学的手法で遺伝子やゲノムなどの分子を人為的に操作する技術は、医療に限らず生命科学の様々な分野で用いられています。次世代シーケンサーの発展により、今まで困難であったがんや生活習慣病、精神疾患など、様々な疾患関連遺伝子が明らかになってきています。分子生物学を用いた検査項目は、個別化医療にむけた個人の体質や薬剤感受性などを調べられ、予防医学の一面も兼ね揃えています。
放射性同位元素検査技術学	上田 克彦	1	1		15	検査実務経験についてほとんどの授業内容に関連しており、展開する。
微生物検査学Ⅰ（総論）	長沢 光章	2	2		30	臨床経験を踏まえ、講義の中で伝えていく。
微生物検査学Ⅱ（各論）	長沢 光章	2	2		30	微生物検査業務を講義の中でも含める
医動物検査学実習	橋本 優佑	2	1		45	臨床における寄生虫の重要性について織り交ぜながら実習を行う。
免疫検査学Ⅰ（総論）	竹内 啓晃	2	2		30	主に感染症から診た免疫学（検査学）の重要性を实地診療（検査診断・疾患病態の理解）を意識した授業内容に展開する。
免疫検査学Ⅱ（各論）	竹内 啓晃	2	2		30	主に感染症から診た免疫学（検査学）の重要性を实地診療（検査診断・疾患病態の理解）を意識した授業内容に展開する。
免疫検査学実習Ⅰ（基礎）	竹内 啓晃	2	1		45	主に感染症から診た免疫学（検査学）の重要性を实地診療（検査診断・疾患病態の理解）を意識した授業内容に展開する。
生理検査学Ⅰ（総論）	伊藤 記彦	1	2		30	これまでの実務経験を活かして、授業・実習を展開する。
生理検査学実習Ⅰ（基礎）	伊藤 記彦	2	1		45	これまでの実務経験を活かして、授業・実習を展開する。

専門教育科目

専門科目

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
専門 教育科目	専門 科目	臨床検査管理総論	竹内 啓晃	1	2	30	大学病院（検査部）・医学部（臨床検査医学教室）の教員として感染症を中心に診療および研究・教育に従事し、院内感染対策委員(ICD)としての経験も踏まえて、院内における検査部の現状（重要性、在り方、位置づけ、取り巻く環境とパラダイムシフト等）を意識した授業内容に展開する。
		検査機器・医用機器学総論	佐藤 正一	2	2	30	長年の業務経験と様々な機器を扱ってきた経験を活かし、細かな点についても触れながら、実際の現場で役立つ知識を身につけられるように進める。
		科学実習基礎	木村 明佐子	1	1	45	大学病院検査部において臨床検査技師としての実務経験を持つ教員が、実習や実技を適切に進めていくために必要な知識や技術について明確に解説し進めていく。
		医療安全管理学	長沢 光章	2	1	15	臨床検査実務経験を活かして授業を展開する。
		国際医療保健学演習	片山 博徳	1		1	15

卒業要件単位数	124	単位
実務経験のある教員等による授業科目	160	単位

	授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
人間系	文学論	山内 則史	1 2 3 4		2	30	記者時代の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中の文学を意識させながら授業を展開する。
	演劇論	山内 則史	1 2 3 4		1	15	取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。
	パフォーマンス表現論	高山 昇	1 2 3 4		2	30	国語教育の経験を活かし、コミュニケーションに対する苦手意識の克服や、相手に分かりやすく伝えるコミュニケーション能力の育成を目的とした授業を行う。また、理論的な講義とともに、様々なアクティブ・ラーニングを取り入れた演習形式で学生を指導する。
	心理学	橋本 和典	1 2 3 4		2	30	臨床心理士として対応した事例（研究公表許可を得たもの）や臨床経験をを用いて解説する。
	コミュニケーション概論	亀山 晶子	1 2 3 4		2	30	企業現場でのコミュニケーション研修やストレスマネジメント研修作成の実施経験を有する。培った経験をもとに、講義を行う。
	教育学	鶴田 利郎	1 2 3 4		2	30	実際に教育現場で用いていた教材や資料などを積極的に活用しながら、理論と実践をバランスよく学べるように授業を進めます。
社会系	法学	鮫川 誠司	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。
	法と道徳・倫理	鮫川 誠司	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。
	医療関連法規	鮫川 誠司	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験も踏まえ、適宜、実際にあった裁判や事件についても紹介する。
	社会保障制度論	金野 充博	1 2 3 4		2	30	最新のニュースを素材に今日的な問題についても理解を深める。
	経済の仕組み	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	経済の歴史	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	世界の経済	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	アジア諸国の経済・社会・文化	村上 大介	1 2 3 4		2	30	基礎知識を身につけるとい授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
	マスメディア論	村上 大介	1 2 3 4		2	30	基礎知識を身につけるとい授業目標に加え、長年の取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
	国際関係論	村上 大介	1 2 3 4		2	30	基礎知識を身につけるとい授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
	国際医療福祉論	後藤 純信	1 2 3 4		2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術と海外留学経験に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
	ボランティア論	大石 剛史	1 2 3 4		2	30	ボランティアセンター等での支援経験を授業内で活用する（対面授業）
	ボランティアコーディネート論	林 和美	1 2 3 4		2	30	社会福祉協議会におけるボランティア活動推進業務経験を生かした講義。[さらに自身のボランティア活動経験からの課題などを生かした講義を展開する。
	手話入門	谷 千春	1 2 3 4		2	30	手話通訳実践現場での事例を講義内で紹介したい。
自然・情報系	統計学	稲垣 誠一	2		2	30	統計学について、学問としてだけでなく、実践的な使い方など、実務経験に基づいて解説します。
	疫学・保健医療統計学	鈴木 知子	1 2 3 4		2	30	疫学・保健医療統計学について、学問としてだけでなく、実践的な使い方など、実務経験に基づいて解説します。
	化学	小林 崇平	1 2 3 4		2	30	これまでの分析化学の実施者としての経験を加え、分析の基本から最新技術の情報まで幅広く講義する。
	生物学	湯澤 聡	1 2 3 4		2	30	大学院や医学系研究所での生命科学・基礎医学に関する研究経験をもとに「生物学」の講義を行う。
総合系	大学入門講座Ⅱ（展開）	西田 裕介	1 2 3 4		1	15	学習者個々がめざす目標を自ら明確にし、それに向かって進むことへの動機づけを確かなものとするために、本学の教育理念の理解を手掛かりに、各自が進むべき道を見つけることを支援する。この過程において、適宜、授業担当者の臨床及び教育経験を活かした具体的な示唆を提供する。
	郷土論	山本 秀也	1 2 3 4		1	15	異なる分野で活躍した人々の知見や考察は、書物だけでは得られない新たな視点を与えてくれる。予備知識の少ない分野、あるいは自己と異なる見解であっても、招致した講師の講話を十分に理解し、検討することが知的エネルギーの源泉となる。
	食と人間	新出 真理	1 2 3 4		1	15	現場において経験した患者さまの誤解しがちな栄養・食生活の理解について、紹介しながら、正しい理解や適切な説明方法を教授する。
外国語系	英語講読3 (Intermediate)	Eric Austin Duckworth	2 3 4		1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する。
	英語講読4 (Advanced)	Eric Austin Duckworth	2 3 4		1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する。
	英語会話2 (Basic)	Eric Austin Duckworth	1 2 3 4		1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する。
	上級英語会話1 (発展)	押味 貴之	1 2 3 4		1	30	参加する学生が将来医療者として「英語で医療コミュニケーションができる」ことが実践できるような授業を展開する。
	上級英語会話2 (総合)	押味 貴之	1 2 3 4		1	30	参加する学生が将来医療者として「英語で医療コミュニケーションができる」ことが実践できるような授業を展開する。

	授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
総合教育科目	外国語系	韓国語入門(会話含む)	李 宣定	1 2 3 4	1	30	様々な分野における通訳業務を通して得た情報、知識、文化を授業に展開する。
		韓国語基礎(会話含む)	李 宣定	1 2 3 4	1	30	様々な分野における通訳業務を通して得た情報、知識、文化を授業に展開する。
		スペイン語入門(会話含む)	Maria Cristina Lopez Garcia	1 2 3 4	1	30	コミュニケーションアプローチ法を用いて、クラスでスペイン語圏の国の文化を伝えていきます。
		スペイン語基礎(会話含む)	Maria Cristina Lopez Garcia	1 2 3 4	1	30	コミュニケーションアプローチ法を用いて、クラスでスペイン語圏の国の文化を伝えていきます。
		タイ語入門(会話含む)	平田 晶子	1 2 3 4	1	30	法務省入国管理局においてタイ語・ラオス語通訳を14年間担当している。通訳・翻訳業務を通じて得たタイの文化・語学知識を授業に展開していく。
		タイ語基礎(会話含む)	平田 晶子	1 2 3 4	1	30	法務省入国管理局においてタイ語・ラオス語通訳を14年間担当している。通訳・翻訳業務を通じて得たタイの文化・語学知識を授業に展開していく。
		ベトナム語入門(会話含む)	小川 有子	1 2 3 4	1	30	通訳や研究、現地業務を通じて得たベトナムの社会・文化や語学に関する知見を用いつつ授業を展開する。
							通訳や研究、現地業務を通じて得たベトナムの社会・文化や語学に関する知見を用いつつ授業を展開する。
専門基礎科目(学部共通)	救急医学	志賀 隆	2	1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。	
	感染と免疫	長沢 光章	2 3 4	2	30	臨床検査実務経験があり、認定臨床微生物検査技師・ICMT認定取得講師が担当し、その経験を活かして授業を展開する。	
	リハビリテーション概論	河野 真	1 2 3 4	2	30	リハビリテーション分野の実務経験に基づく授業を展開する。	
	ケースワーク論	山本 由紀	1 2 3 4	1	15	臨床現場での経験から、実践に即したソーシャルワークを解説する。	
	保健医療福祉制度論	金野 充博	1 2 3 4	2	30	最新のニュースを素材に今日的な問題についても理解を深める。	
	社会福祉学	山本 由紀	1 2 3 4	2	30	ソーシャルワーカーとしての実践事例や実践経験を講義で取り上げながら解説する。	
	福祉支援工学概論	石井 清志	1 2 3 4	2	30	これまでの介護、福祉領域での業務経験をふまえて講義を展開する。	
	関連職種連携ワーク	西田 裕介	3	1	30	臨床現場における自職種の役割と多職種との関わり、連携を実務経験に基づき展開する。	
	災害保健学	町田 和	2 3 4	1	15	研修で得た知識である災害の基礎から、支援活動の実際の話や経験をを通して学んだことをディスカッションしながら講義で伝えていく。	
	予防保健学	石井 秀明	2 3 4	1	15	臨床経験で得た知識や体験を講義にて共有する	
	解剖学Ⅰ(運動器系・循環器系・内臓系)	小阪 淳	1	1	30	解剖学を専門とする教員が、最新の動向なども交えながら授業を展開していく。	
	解剖学Ⅱ(内臓系・神経系・感覚器系)	小阪 淳	1	1	30	解剖学を専門とする教員が、最新の動向なども交えながら授業を展開していく。	
	生理学	笠原 英子	1	2	30	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する。	
病理学	福澤 龍二	2	2	30	これまでの臨床経験を活かした講義を展開する。		
病態生理学	野田 光彦	2	1	15	これまでの臨床経験を活かした講義を展開する。		
医学概論	小野木 雄三	1	2	30	臨床経験を活かした講義を展開する。		
専門教育科目	放射線計測学	伊藤 照生	2	1	30	医療機関において放射線計測業務に従事し、また、研究機関における放射線管理実務の経験を活かした授業を展開する。	
	放射線計測学実験	伊藤 照生	2	1	30	医療機関や放射線研究施設における放射線計測経験のある教員が、その経験を活かして、学内にある装置を用いた実験形式による実践的教育を展開する。	
	画像解剖学	吉岡 直紀	2	2	30	放射線科医師としての臨床経験から、画像解剖について放射線技師として必須の内容を指導できる。	
	画像情報学Ⅰ(感光理論・処理)	市川 重司	1	2	30	診療放射線技師の実務経験を活かし、臨床画像なども多く取り入れた講義の実施。	
	画像情報学Ⅱ(画質評価)	上田 克彦	2	2	30	診療放射線技師の実務経験にて実際に用いた画像システムの使用経験例及び研究経験を授業に取り入れる。	
	画像情報学実験	市川 重司	1	1	45	医療施設での経験を踏まえ、将来、臨床現場でも通ずる実験指導を行う。	
	医用工学	梶沢 宏之	1	1	30	画像診断機器と医用工学の関連を実務経験に基づき解説する	
	医用工学演習	梶沢 宏之	2	1	30	電気電子工学の研究開発に従事した経験を活かし、実践的な実験、演習をおこなう。	
	コンピュータ演習Ⅰ(データ処理)	梶沢 宏之	2	1	30	上記経験を活かし、画像診断に役立つ情報処理技術の講義、実習を行う	
	コンピュータ演習Ⅱ(プログラミング)	梶沢 宏之	2	1	30	上記経験を活かし、画像診断に役立つ情報処理技術の講義、実習を行う	
	医用X線機器工学	市川 重司	1	2	30	診療放射線技師の実務経験を活かし、臨床画像なども多く取り入れた講義の実施。	
	診療放射線概論	上田 克彦	1	1	15	長年の診療放射線技師としての臨床経験から取り扱った過去の装置や現在の診療放射線技師の扱う機器の使用経験を含めて放射線医学の歴史の一端を講義する。(上田) 診療放射線技師として医療機関での業務経験を活かし、社会人マナー、患者接遇、医療コミュニケーションなどより実践的な講義を行う(市川)	
	医用画像検査学概論(後半)	長谷川 浩章	1	1	15	診療放射線技師の実務経験を生かして授業を展開する。	
	医用X線検査学Ⅰ(単純撮影)	市川 重司	2	1	30	診療放射線技師の実務経験を活かし、臨床画像なども多く取り入れた講義の実施。	
	医用X線検査学Ⅱ(造影撮影)	市川 重司	2	1	30	診療放射線技師の実務経験を活かし、臨床画像なども多く取り入れた講義の実施。	
	医用X線CT検査学	長谷川 浩章	2	2	30	診療放射線技師の実務経験を生かして授業を展開する。	
	MRI検査学	梶沢 宏之	2	2	30	基礎技術開発および臨床応用の経験を活かし、MRI検査について技術および臨床の双方を詳しく解説する	
	医用超音波検査学	伊藤 記彦	2	2	30	これまでの実務経験を活かして、授業・実習を展開する。	
	医用画像学実験Ⅰ(一般撮影・他)	長谷川 浩章	2	2	90	診療放射線技師の実務経験または放射線研究に従事した経験を生かして授業を展開する。	
	医用画像学実験Ⅱ(特殊撮影・他)	上田 克彦	2	2	90	医療機器開発経験のある教員及び診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員がその経験を?かして、学内にある装置を?いた実験形式による実践的教育を実施する	

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
専門 教育 科目	専門 科目	核医学 I (基礎)	伊藤 照生	2	2	30	単に教科書をトレースするだけではなく、臨床での経験を生かした現場目線の授業を展開する。
		放射線治療学 I (物理・技術)	伊藤 照生	2	2	30	がん治療の臨床現場における実務経験を活かした授業を展開する。
		放射線管理学	伊藤 照生	2	2	30	単に教科書をトレースするだけではなく、臨床での経験を生かした現場目線の授業を展開する。

卒業要件単位数	128	単位
実務経験のある教員等による授業科目	122	単位

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
総合教育科目	全地球的な課題	国際医療保健学Ⅰ（入門）	池田 俊也	1	1	15	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する。
	専門教育科目	医療入門・正常解剖演習	小阪 淳	1 2	1		30
基礎医学総論Ⅳ（生理学）		岡本 秀彦	1	2		30	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する。
基礎医学総論Ⅵ（組織学）		小阪 淳	1	1		15	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する。
基礎医学総論Ⅶ（組織学演習）		小阪 淳	1	1		30	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する。
基礎医学総論Ⅷ（病理学）		潮見 隆之	1	1		15	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する。
基礎医学総論Ⅸ（病理学演習）		潮見 隆之	1	1		30	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する。
発生・出産		田中 宏一	1	2		30	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する。
器官別統合講義Ⅰ（循環器系）		河村 朗夫	1	5		75	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する。
器官別統合講義Ⅱ（呼吸器系）		津島 健司	1	5		75	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する。
器官別統合講義Ⅲ（消化器系）		海老沼 浩利	2	5		75	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する。
器官別統合講義Ⅳ（内分泌代謝系）		竹本 稔	2	4		60	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する。
器官別統合講義Ⅴ（腎泌尿器系）		齋田 直輝	2	3		45	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する。
器官別統合講義Ⅵ（運動器・皮膚・膠原病）		廣瀬 晃一	2	4		60	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する。
器官別統合講義Ⅶ（脳神経・精神系）		村井 弘之	2	6		90	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する。
器官別統合講義Ⅷ（感覚器系）		臼井 智彦	2	3		45	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する。
器官別統合講義Ⅸ（血液系）		中世古 知昭	2	3		45	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する。
正常人体解剖実習		小阪 淳	2	3		135	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する。
感染症		松本 哲哉	1	3		45	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する。
腫瘍と臨床（放射線治療・緩和）		樋口 肇	2	3		45	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する。
救急と集中治療		志賀 隆	2	1		15	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する。
老年医学		浦野 友彦	2	1		15	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する。
社会医学Ⅰ（医療管理学）		池田 俊也	3	1		15	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する。
社会医学Ⅲ（法医学）		矢島 大介	3	1		15	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する。
社会医学Ⅳ（臨床疫学・EBM）		桜井 亮太	3	1		15	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する。
社会医学Ⅴ（演習）		和田 耕治	3	2		60	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する。
総合臨床医学		河村 朗夫	3	11		165	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する。
臨床診断入門		桜井 亮太	3	14		420	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する。
症候と臨床推論（小グループケーススタディ演習）		矢野 晴美	3	9		270	医師としての臨床経験をともに、各症候につき、重要な病態生理や高頻度疾患を中心に、分かりやすく教授する

卒業要件単位数	256	単位
実務経験のある教員等による授業科目	98	単位

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目	
				必修	選択			
総合教育科目	人間系	心理学概論	オムニバス	1	2	30	臨床心理士や精神科医として培った経験を生かした内容も講義中に扱う。	
		コミュニケーション概論	山川 誠司	1	2	30	臨床心理士、公認心理師として培った実際的な知見を講義の中に織り込んでいく。	
		宗教学	戸松 義晴	1 2 3 4	2	30	ハーバード大学神学校での諸宗教の方々との出会い、全日本仏教会事務総長、日本宗教連盟事務局長として、改正臓器移植法案、尊厳死、安楽死、生殖補助医療などについて宗教者代表として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のところに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。	
		教育学	鶴田 利郎	1 2 3 4	2	30	実際に教育現場で用いていた教材や資料などを積極的に活用しながら、理論と実践をバランスよく学べるように授業を進めます。	
		死生学	戸松 義晴	1 2 3 4	2	30	全日本仏教会事務総長、日本宗教連盟事務局長で培った経験を生かした内容も講義中に扱う。	
	社会系科目	法学	坂本 真史	1	2	30	弁護士としての実務経験を踏まえ、実際の裁判や事件についても紹介する。	
		国際医療福祉論	オムニバス	1 2 3 4	2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術と海外留学経験に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。	
		ボランティア論	大石 剛史	1 2 3 4	2	30	ボランティアセンター等での支援経験を授業内で活用する（対面授業）	
		経済学	光山 奈保子	1 2 3 4	2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。	
	自然・情報系	生命倫理	戸松 義晴	1 2 3 4	2	30	全日本仏教会事務総長、日本宗教連盟事務局長としての経験で培った経験を生かした内容も講義中に扱う。	
	総合系科目	メディカルマナー入門	別府 美知子	1 2 3 4	2	30	国際線客室乗務員時代に身に着けた日本式おもてなしのマナー、世界のマナー・プロトコールの実体験を、グローバルな医療現場での接客、社会人に必要なビジネスマナーを身につけるべく、講義・演習・ディスカッション等に活かしている。	
	外国語系科目	英語会話 I (Primary)	McLaughlin Matthew James	1	1	30	オーストラリア（豪州）出身、教育以外に医療系、一般ビジネス系翻訳・通訳の経験等の経験を活かして、英語の専門用語の習得も促進させる。	
		英語会話 II (Basic)	McLaughlin Matthew James	1 2 3 4	1	30	オーストラリア（豪州）出身、教育以外に医療系、一般ビジネス系翻訳・通訳の経験等の経験を活かして、英語の専門用語の習得も促進させる。	
	専門教育科目	専門基礎／学部共通	関連職種連携論	オムニバス	2	2	30	全ての教員が、それぞれの職種における実務経験と、他の職種と連携した経験を授業で扱う。
			関連職種連携実習	オムニバス	4	1	45	実習担当教員の実務経験や、現場の実習指導者のアドバイスにより、学生の討議をより活発にしてい
			保健医療福祉制度論	丸木 一成	1 2 3 4	2	30	元新聞記者の経験を活かし、新聞記事を使ってわかりやすい説明を心がけている。
			災害医療論	石井 美恵子	1 2 3 4	2	30	実務経験について他の学生と共有し、経験の意味づけに展開することができる。
		専門基礎	臨床心理学概論	浦川 加代子	2	2	30	臨床心理士・公認心理師として培った経験も講義中に扱い事例について触れながら講義を行う。
			感情・人格心理学	小堀 修	3	2	30	抑うつ感情や不安感情の生起と維持、パーソナリティ障害の診断と治療について、臨床心理士としての実務経験に基づいた講義をする。
神経・生理心理学			武田 英孝	3	2	30	日常の臨床において患者の診療に30年以上従事している。医学部の学生や卒後研修医、看護師等に医学教育を同様に行っている。医療経験と医学としての実学に基づいた授業を行う。	
人体の構造と機能及び疾病			高橋 泰	1	2	30	臨床医としての実務経験のある教員が培った経験を生かした内容も講義中に扱う。	
精神疾患とその治療			和田 秀樹	3	2	30	精神科医としての30年以上の臨床経験に基づき、守秘義務に配慮しながら、ときに症例を使ってわかりやすくする。	
心身医学			村上 正人	3	2	30	40年以上の大学病院、一般病院における内科、心療内科の臨床経験、心理専門家との協働の実績。医療の各領域における臨床心理学・医療心理学の役割と貢献について論じる。	
社会・集団・家族心理学I（社会・集団）			亀山 晶子	3	2	30	社会や集団適応に関する心理教育実践に携わった経験で培った知識を活かした講義を行う。	
心理学統計法I（単変量解析講義）			中田 光紀	1	2	30	日本の厚生労働省ならびに米国の健康福祉省の技官としての実務経験を生かした講義を行う。	
心理学統計法II（多変量解析講義）			中田 光紀	2	2	30	日本の厚生労働省ならびに米国の健康福祉省の技官としての実務経験を生かした講義を行う。	
心理学統計法III（単変量解析演習）	中田 光紀	1	1	30	日本の厚生労働省ならびに米国の健康福祉省の技官としての実務経験を生かした講義を行う。			
心理学統計法IV（多変量解析演習）	中田 光紀	2	1	30	日本の厚生労働省ならびに米国の健康福祉省の技官としての実務経験を生かした講義を行う。			

	授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
専門基礎	発達心理学Ⅰ(胎児期から青年期)	橋本 和典	2	2		30	臨床心理士としての臨床経験を用いて、発達・成熟について解説する。
	発達心理学Ⅱ(成人期から高齢期)	和田 秀樹	2	2		30	精神科医としての臨床経験から得た知識や経験を共有する。
	心理学研究法Ⅰ(量的研究法)	中田 光紀	1	2		30	日本の厚生労働省ならびに米国の健康福祉省の技官としての実務経験を生かした講義を行う。
	心理学研究法Ⅱ(質的研究法)	小野寺 敦志	2	2		30	認知症介護研究・研修東京センターにて研究業務として、担当する研究手法を用いた研究を行ってきた経験を生かした内容も講義中に扱う。
	障害者・障害児心理学	杉原 素子	2	2		30	医療・教育・福祉分野において、発達障害・情緒障害・高次脳機能障害等を含む障害児・者の支援に関わる業務を経験している。障害児・者を取りまく様々な課題と支援について、実際のケース例を交えながら実践的な講義をおこなう。
	教育・学校心理学	佐藤 篤司	2	2		30	適応指導教室スクールカウンセラー、臨床心理士、公認心理師の臨床経験を踏まえた内容も講義にて扱う。
	心理学入門演習	オムニバス	1	2		60	臨床心理士として培った経験を生かした内容も講義中に扱う。
	心理学初級演習	オムニバス	2	2		60	心理専門職として培った経験を授業の中で必要に応じて扱う。
専門教育科目	公認心理師の職責	小野寺 敦志	3	2		30	病院臨床の経験があり、現在も不定期で活動している。本学の赤坂心理相談室で心理援助活動を行っており、講義の中で、経験を踏まえた具体例を提示する。
	心理学的支援法	白井 明美	3	2		30	医療、福祉、教育、司法(被害者支援)に関する分野での臨床心理士・公認心理師としての臨床経験を有する。実務経験での臨床実践に関して倫理的配慮、学術的視点、具体的支援の様態について授業内で言及する。
	心理学中級演習	中田 光紀	3	2		60	日本の厚生労働省ならびに米国の健康福祉省の技官としての実務経験を生かした講義を行う。
	心理学上級演習	中田 光紀	4	2		60	日本の厚生労働省ならびに米国の健康福祉省の技官としての実務経験を生かした講義を行う。
	心理的アセスメントⅠ(講義)	佐藤 篤司	2	2		30	臨床心理士、公認心理師としての臨床経験を踏まえた内容も講義にて扱う。
	心理的アセスメントⅡ(演習)	オムニバス	3	2		60	臨床心理士、公認心理師としての臨床経験を踏まえた内容も講義にて扱う。
	心理演習Ⅰ(人間理解)	白井 明美	3	1		30	実務経験での臨床実践に関して倫理的配慮、学術的視点、具体的支援の様態について授業内で言及する。
	心理演習Ⅱ(ロールプレイング)	橋本 和典	3	1		30	臨床心理士としての臨床経験を紹介し、現場の臨床感覚を活かして授業を進める。
	心理演習Ⅲ(事例検討)	佐藤 篤司	4	1		30	臨床心理士としての実務経験における臨床実践に関して倫理的配慮、学術的視点、具体的支援の様態について授業内で言及する。
	社会・集団・家族心理学Ⅱ(家族)	亀山 晶子	3	2		30	家族関係に関する心理教育実践に携わった経験に基づいた内容を講義内でも紹介する。
	家族援助技法講義	亀口 憲治	3	2		30	家族心理士・家族相談士資格認定機構理事長として、家族心理問題に取り組んできた実務経験を生かした講義を行う。
	家族援助技法演習Ⅰ(基礎)	亀口 憲治	3	1		30	家族心理士・家族相談士資格認定機構理事長として、家族心理問題に取り組んできた実務経験を生かした演習を行う。
	家族援助技法演習Ⅱ(応用)	亀山 晶子	4	1		30	家族関係に関する心理教育実践に携わった経験に基づいた内容を講義内でも紹介する。
	福祉心理学	オムニバス	4	2		30	担当教員がそれぞれ、高齢者福祉、女性や子どもの福祉、障害者への福祉に関する臨床、研究業務に関する経験を有している。現場での現状、課題について講義内で学生へ教授する。
	環境心理学	中田 光紀	4	2		30	日本の厚生労働省ならびに米国の健康福祉省の技官としての実務経験を生かした講義を行う。
	健康・医療心理学	小堀 修	2	2		30	臨床心理士として培った経験を生かした内容も講義中に扱う。
	精神保健学	平島 奈津子	3	2		30	長年、精神科医として病院や企業などで精神保健に関わっており、精神保健活動の実際と課題を概説し、タイムリーなテーマに関する小グループ討議やプレゼンテーションなどによって学びを深めます。
	産業・組織心理学	亀山 晶子	4	2		30	EAP機関において社会人のメンタルヘルス対策に従事した経験をふまえ、講義を行う。
	司法・犯罪心理学	小島 秀吾	3	2		30	200件以上の刑事精神鑑定経験、約20年に及び性加害者の再犯予防治療経験があり、精神鑑定例や臨床事例に基づいて加工した架空事例を用いながら、実際の、実践的な知識、技法を理解する。
	心理実習Ⅰ(基礎)	白井 明美	2	1		45	心理臨床現場での豊富な実務経験を有しており、心理支援業務で培った経験を生かした内容も講義中に扱う。
心理実習Ⅱ(福祉領域)	小野寺 敦志	2	1		45	臨床心理士として培った経験を生かした内容も講義中に扱う。	
心理実習Ⅲ(保健・医療領域)	小島 秀吾	3	1		45	精神科医、臨床心理士、公認心理師としての当該領域の経験を豊富に有しており、現場での留意すべき事項等を臨床経験をともに教授する。	
心理実習Ⅳ(保育・教育領域)	袴田 優子	3	1		45	心理専門職としての現場経験に基づき、心理臨床活動の実際と課題を概説し、保育・教育領域での心理臨床の理解を深める。	
心理実習Ⅴ(産業・司法領域)	山川 誠司	3	1		45	産業・司法領域での心理臨床活動の実際と課題を概説し、産業領域での心理臨床の理解を深める。	

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
専門 教育 科目	専門 科目	家族関係論演習	亀山 晶子	4	1	30	家族関係に関する心理教育実践の経験で培った知識をもとに、講義を行う。
		家族発達論	亀山 晶子	3	2	30	家族関係に関する心理教育実践の経験で培った知識をもとに、講義を行う。
		関係行政論	オムニバス	3	2	30	臨床心理士や精神科医が実務経験に基づいた具体例を講義の際に提示し、理解を深める一助とする
		メンタルヘルスチェック制度演習	亀山 晶子	3	1	30	EAPサービスを行う企業におけるストレスチェック項目の作成、ストレスチェックの集団分析、結果のフィードバックなど、現場での経験や実情も踏まえながら企業内での実践の現状と課題について紹介する。
		メンタルヘルス支援演習	オムニバス	4	1	30	教育・産業現場でのストレスマネジメント研修作成や日本の厚生労働省ならびに米国の健康福祉省の技官など、各担当教員が培った経験を生かした内容を講義中に扱う。

卒業要件単位数	124	単位
実務経験のある教員等による授業科目	112	単位

	授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目	
				必修	選択			
総合教育科目	人間系	心理学概論	オムニバス	1	2	30	臨床心理士や精神科医として培った経験を生かした内容も講義中に扱う。	
		コミュニケーション概論	山川 誠司	1	2	30	臨床心理士、公認心理師として培った実際的な知見を講義の中に織り込んでいく。	
		宗教学	戸松 義晴	1 2 3 4	2	30	ハーバード大学神学校での諸宗教の方々との出会い、全日本仏教会事務総長、日本宗教連盟事務局長として、改正臓器移植法案、尊厳死、安楽死、生殖補助医療などについて宗教者代表として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のところに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。	
		教育学	鶴田 利郎	1 2 3 4	2	30	実際に教育現場で用いていた教材や資料などを積極的に活用しながら、理論と実践をバランスよく学べるように授業を進めます。	
		死生学	戸松 義晴	1 2 3 4	2	30	全日本仏教会事務総長、日本宗教連盟事務局長で培った経験を生かした内容も講義中に扱う。	
	社会系科目	法学	坂本 真史	1	2	30	弁護士としての実務経験を踏まえ、実際の裁判や事件についても紹介する。	
		国際医療福祉論	オムニバス	1 2 3 4	2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術と海外留学経験に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。	
		ボランティア論	大石 剛史	1 2 3 4	2	30	ボランティアセンター等での支援経験を授業内で活用する（対面授業）	
		経済学	光山 奈保子	1 2 3 4	2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。	
	自然・情報系	生命倫理	戸松 義晴	1 2 3 4	2	30	全日本仏教会事務総長、日本宗教連盟事務局長としての経験で培った経験を生かした内容も講義中に扱う。	
	総合系科目	メディカルマナー入門	別府 美知子	1 2 3 4	2	30	国際線客室乗務員時代に身に着けた日本式おもてなしのマナー、世界のマナー・プロトコールの実体験を、グローバルな医療現場での接客、社会人に必要なビジネスマナーを身につけるべく、講義・演習・ディスカッション等に活かしている。	
	外国語系科目	英語会話 I (Primary)	McLaughlin Matthew James	1	1	30	オーストラリア（豪州）出身、教育以外に医療系、一般ビジネス系翻訳・通訳の経験等の経験を活かして、英語の専門用語の習得も促進させる。	
		英語会話 II (Basic)	McLaughlin Matthew James	1 2 3 4	1	30	オーストラリア（豪州）出身、教育以外に医療系、一般ビジネス系翻訳・通訳の経験等の経験を活かして、英語の専門用語の習得も促進させる。	
	専門教育科目	専門基礎／学部共通	関連職種連携論	オムニバス	2	2	30	全ての教員が、それぞれの職種における実務経験と、他の職種と連携した経験を授業で扱う。
			関連職種連携実習	オムニバス	4	1	45	実習担当教員の実務経験や、現場の実習指導者のアドバイスにより、学生の討議をより活発にしていける。
保健医療福祉制度論			丸木 一成	1 2 3 4	2	30	元新聞記者の経験を活かし、新聞記事を使ってわかりやすい説明を心がけている。	
災害医療論			石井 美恵子	1 2 3 4	2	30	実務経験について他の学生と共有し、経験の意味づけに展開することができる。	
専門基礎		医療概論	高橋 泰	1	2	30	医師としての実務経験を生かした内容も講義中に扱う。	
		経営学	羽田 明浩	1	2	30	元銀行員として実務経験を踏まえた講義を行う。	
		医療管理総論	山本 康弘	1	2	30	官民2つの経営主体による医療機関の医事業務・診療情報管理業務の実務経験に基づく事例を提示しながら講義を行う。	
		医療福祉関連法規	鮫川 誠司	2	2	30	弁護士としての裁判実務、法律事務一般	
		医療マネジメント論I (外部環境分析)	石田 円	2	2	30	診療情報管理士、医療情報技師、看護師資格を基礎とした病院の経営補佐の実務でも役立つデータ、視点、具体例を交えた取り組みを紹介する。	
専門科目		人体構造・機能論	高橋 泰	1	2	30	本講義は、臨床医としての実務経験のある教員が、培った経験を生かした内容も講義中に扱う。	
		臨床医学総論	篠浦 丞	1	2	30	実務経験（臨床医）に基づき、実践的・具体的な知識を講義中に扱う。	
		経営学演習	羽田 明浩	1	1	30	元銀行員のが実務を踏まえた解説を行い、経営学検定（初級）試験受験対策として授業を進める。基本的に過去問題の確認と解説を行う予定である。	
		現代保健医療福祉事情	丸木 一成	1	2	30	元新聞記者としての経験を活かし、新聞記事を使ったわかりやすい説明を心がけている。	
		医学・医療用語	篠浦 丞	1	2	30	医師としての実務経験を生かし、基本的な医学・医療用語を理解・説明でき業務で使用できるレベルで習得することを目標とする。	

	授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
専門教育科目	臨床医学各論A (新生物と消化器・泌尿器系)	篠浦 丞	1		2	30	医師としての実務経験を生かし、具体的には、サマリーをはじめとする診療記録を理解し、これを適切な病歴診断名につなげるために必要な、疾患の特徴、症状・所見、診断法、治療法に関する知識を習得することが目標となる。
	臨床医学各論B (精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系)	篠浦 丞	1		2	30	医師としての実務経験を生かし、具体的には、サマリーをはじめとする診療記録を理解し、これを適切な病歴診断名につなげるために必要な、疾患の特徴、症状・所見、診断法、治療法に関する知識を習得することが目標となる。
	臨床医学各論C (感染症と血液・代謝・内分泌等)	篠浦 丞	2		2	30	医師としての実務経験を生かし、具体的には、サマリーをはじめとする診療記録を理解し、これを適切な病歴診断名につなげるために必要な、疾患の特徴、症状・所見、診断法、治療法に関する知識を習得することが目標となる。
	臨床医学各論D (循環器・呼吸器と周産期系)	篠浦 丞	2		2	30	医師としての実務経験を生かし、具体的には、サマリーをはじめとする診療記録を理解し、これを適切な病歴診断名につなげるために必要な、疾患の特徴、症状・所見、診断法、治療法に関する知識を習得することが目標となる。
	データ処理Ⅰ(初級)	高橋 泰	1		2	30	人工知能(AI)やビジネスインテリジェンス(BI)などのツールを利用してデータ処理に取り組んでみるとともに、臨床医としての実務経験のある教員が培った経験を生かし医療データの取扱いに必要な個人情報保護の考え方や、システム、統計ソフト、ビッグデータの基礎などの基本を学びます。
	データ処理Ⅱ(中級)	石川 ベンジャミン光一	3		2	30	国立研究開発法人における病院情報システムの整備と医療データ分析研究への従事。病院情報システムのデータベース設計や医療データ解析に関する知見を反映した授業を実施する。
	データ処理Ⅲ(上級)	石川 ベンジャミン光一	3		2	30	国立研究開発法人における病院情報システムの整備と医療データ分析研究への従事。病院情報システムのデータベース設計や医療データ解析に関する知見を反映した授業を実施する。
	ゼミナールⅡ(基礎)	石川 ベンジャミン光一	2		2	60	特定機能病院を核とするナショナルセンターでの、病院データに基づく業務改善など、実務として携わった診療圏分析、業務分析等の事例に基づく授業を展開する。
	診療報酬請求論Ⅰ(初級)	渡辺 元三	2		2	30	実務経験は、医事課長25年間、資材課長2年間です。各事例問題の算定根拠をゆっくりと明確に点数早見表等を使って説明します。
	診療報酬請求論Ⅱ(中級)	渡辺 元三	2		2	30	実務経験は医事課長25年間、資材課長25年間です。各事例問題の算定根拠をゆっくりと明確に点数早見表等を使って説明します。
	診療報酬請求論Ⅲ(上級)	渡辺 元三	3		2	30	実務経験は医事課長25年間、資材課長2年間です。各事例問題の算定根拠をゆっくりと明確に点数早見表等を使って説明します。
	介護報酬請求論	高橋 泰	2		2	30	臨床医としての実務経験に基づいた授業を展開する。
	医療管理各論Ⅰ(病院管理)	篠浦 丞	2		2	30	医師としての実務経験を生かし、本講座では「病院管理」を経営管理と医療管理の二つの側面からとらえ、学んでいく。
	医療管理各論Ⅱ (医療保険・介護保険制度)	石川 ベンジャミン光一	2		2	30	厚生労働省保健医療専門審査員として、また共催DPC検討WG作業班の班長としての経験と知識に基づいて診療報酬制度についての講義を行う。
	医療管理各論Ⅲ (医療安全・医療の質管理)	後藤 清貴	2		2	30	厚生労働省保健医療専門審査員として、また共催DPC検討WG作業班の班長としての経験と知識に基づいて診療報酬制度についての講義を行う。
	医療マネジメント論Ⅱ(内部環境分析)	篠浦 丞	2		2	30	医師としての実務経験を生かし、内部環境分析ツールを手がかりとして、医療機関とその成員のマネジメントに関する基本的な方法を学ぶ。
	医療マネジメント論Ⅲ(パブリック・ヘルス)	桑原 直行	3		2	30	医師(診療所管理者)としての経験に基づき、実践的・具体的な知識を講義中に扱う。
	医療マネジメント論Ⅳ(リスクマネジメント)	桑原 直行	3		2	30	医師(診療所管理者)としての経験に基づき、実践的・具体的な知識を講義中に扱う。
	人的資源管理論	羽田 明浩	2		2	30	元銀行員として実務経験を踏まえた講義を行い、実務における人的資源管理の実践についての講義を行う。具体的には、組織における職員採用、人材配置、人事評価、職員能力開発、就業規則などの知識を吸収し、将来の就職活動に際し、就職先の選択他に役立つ授業を行う予定である。
	診療情報管理Ⅰ(法令・諸規則)	後藤 清貴	2		2	30	厚生労働省保健医療専門審査員として、また共催DPC検討WG作業班の班長としての経験と知識に基づいて診療報酬制度についての講義を行う。
	診療情報管理Ⅱ (診療情報管理士の実務)	後藤 清貴	3		2	30	厚生労働省保健医療専門審査員として、また共催DPC検討WG作業班の班長としての経験と知識に基づいて診療報酬制度についての講義を行う。
	診療情報管理Ⅲ (DPC・医師事務作業補助者等の実務)	藪下 千恵美	3		2	30	国立病院機構関連病院の実務経験および診療情報管理士指導者の資格を有している。ケーススタディでは、診療情報管理士業務事例を用いてグループディスカッションを通じて考察し、診療情報管理業務に関わる諸問題について知識や理解を深める。

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
国際統計分類Ⅰ(基礎)	藪下 千恵美	2		2	30	国立病院機構関連病院の実務経験および診療情報管理士指導者の資格を有している。診療情報管理の実務経験を活かし、国際統計分類に基づいて情報がどのように活用されているのかについて講義を行う。
国際統計分類Ⅱ(応用)	藪下 千恵美	3		2	30	国立病院機構関連病院の実務経験および診療情報管理士指導者の資格を有している。実務的な診療情報管理士業務事例を用い、診療情報管理業務に関わる諸問題について知識や理解を深める。
国際統計分類特別講義Ⅰ(基礎)	藪下 千恵美	2		2	30	国立病院機構関連病院の実務経験および診療情報管理士指導者の資格を有している。実務経験を活かした講義・演習を行う。
国際統計分類特別講義Ⅱ(応用)	藪下 千恵美	3		2	30	国立病院機構関連病院の実務経験および診療情報管理士指導者の資格を有している。実務経験に基づき、退院時要約からの確な情報を読み取り、正しいコーディングにいたるまでを講義と演習で展開する。
薬学概論	中村 裕義	2		2	30	現職の病院薬剤師として、調剤や臨床業務の経験を活かした講義を展開する。
経営戦略論	羽田 明浩	3		2	30	銀行員としての実務経験を踏まえた講義を行う。
経営組織論	羽田 明浩	3		2	30	銀行員としての実務経験を踏まえた講義を行う。
経営分析論	羽田 明浩	3		2	30	銀行員としての実務経験を踏まえた講義を行う。
マーケティング論	中田 健吾	3	2		30	経営戦略・マーケティング戦略・PRコミュニケーションのコンサルタントとして活動するほか、企業のマーケティング担当、などの経験に基づき、具体的な事例を提示しながら、基本的概念をより実践的に実務的に習得できるようにする。
マーケティング・リサーチ	中田 健吾	3		2	30	経営戦略・マーケティング戦略・PRコミュニケーションのコンサルタントとして活動するほか、企業のマーケティング担当、などの経験に基づき、具体的な事例を提示しながら、基本的概念をより実践的に実務的に習得できるようにする。
地域医療計画論	田中 秀一	3		2	30	読売新聞社で医療・社会保障取材を担当し、「医療改革提言」などの報道に携わった経験を生かした内容も講義中に扱う。
医療福祉マーケティング論	中田 健吾	3	2		30	経営戦略・マーケティング戦略・PRコミュニケーションのコンサルタントとして活動するほか、企業のマーケティング担当、などの経験に基づき、具体的な事例を提示しながら、基本的概念をより実践的に実務的に習得できるようにする。
診療情報管理演習Ⅰ(基礎科目)	高橋 泰	3		1	45	臨床の実務経験を活かした内容も講義中に扱う。
診療情報管理演習Ⅱ(専門科目A)	石田 円	3	1		45	診療情報管理士、医療情報技師、看護師資格を基礎とした病院の経営補佐の経験に基づき、正答の導出に結びつく具体例、資料の提示を行う。
診療情報管理演習Ⅲ(専門科目B)	石田 円	3	1		45	診療情報管理士、医療情報技師、看護師資格を基礎とした病院の経営補佐の経験に基づき、正答の導出に結びつく具体例、資料の提示を行う。
診療情報管理演習Ⅳ(専門科目C)	藪下 千恵美	3	1		45	診療情報管理士、医療情報技師、看護師資格を基礎とした病院の経営補佐の経験に基づき、正答の導出に結びつく具体例、資料の提示を行う。
介護制度論	島崎 謙治	3		2	30	厚生労働省保険局保険課長、国立社会保障・人口問題研究所副所長として、保健医療介護政策の形成等に関与した実務者としての経験から、問題認識や課題解決のアプローチについて具体例を挙げ解説する。
ケア・マネジメント論	小平 めぐみ	3		2	30	介護福祉士・居宅介護支援事業所介護支援専門員の経験を踏まえて講義する
保健医療制度論	桑原 直行	3		2	30	医師(診療所管理者)としての経験に基づき、実践的・具体的な知識を講義中に扱う。

専門教育科目

専門科目

卒業要件単位数	124	単位
実務経験のある教員等による授業科目	128	単位

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目	
				必修	選択			
人間系	文学論	山内 則史	1 2 3 4		2	30	記者時代の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中の文学を意識させながら授業を展開する。	
	演劇論	山内 則史	1 2 3 4		1	15	取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。	
	心理学	戸澤 有為子	1 2 3 4		2	30	臨床心理士・公認心理師の臨床経験を活かした講義を展開する。	
	人間学	古城 慶子	1 2 3 4		2	30	病院などの診療を踏まえて講義している。	
	宗教学	戸松 義晴	1 2 3 4		2	30	ハーバード大学神学校での諸宗教の方々との出会い、全日本仏教会事務総長、日本宗教連盟事務局局長として、改正臓器移植法案、尊厳死、安楽死、生殖補助医療などについて宗教者代表として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のところに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。	
	教育学	鶴田 利郎	1 2 3 4		2	30	実際に教育現場で用いていた教材や資料などを積極的に活用しながら、理論と実践をバランスよく学べるように授業を進めます。	
	死生学-死を通して生を考える	小野 充一	1 2 3 4		2	30	小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きのびる知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。	
総合教育科目	社会系	法学	坂本 真史	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験を踏まえ、実際の裁判や事例についても紹介する。
		法と道徳・倫理	坂本 真史	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験を踏まえ、実際の裁判や事例についても紹介する。
	マスメディア論	村上 大介	1 2 3 4		2	30	新聞などを活用した具体的なマスメディア論、ジャーナリズム論を展開できる。	
	経済学基礎Ⅰ（経済原論）	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
	経済学基礎Ⅱ（日本経済論）	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
	国際医療福祉論	後藤 純信	1 2 3 4		2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。	
	組織運営管理論	羽田 明浩	1 2 3 4		2	30	銀行員としての実務で培った知識等の解説	
	社会保障制度論	金野 充博	1 2 3 4		2	30	最新のニュースを素材に今日的な問題についても理解を深める。	
	ボランティア論	大石 剛史	1 2 3 4		2	30	ボランティアセンター等での支援経験を授業内で活用する（対面授業）	
	医療関連法規	坂本 真史	1		2	30	弁護士としての実務経験を踏まえて、実際の裁判や事件についても紹介する。	
自然・情報系	生命倫理	田中 秀一	1 2 3 4		2	30	取材や研究を通じた経験や実例を適宜示し、学生の理解がより深められる講義を展開する。	
	総合系	黒澤 和生	1		1	15	それぞれ実務経験を活かした講義や演習を展開する。	
外国語系	総合講義	森田 正治	1 2 3		1	15	様々な理学療法専門分野に携わった経験を活かし、時勢を達観されてきた各界の著名な講師と調整を図り、授業を展開する。	
	ドイツ語初級1（基礎）	中橋 誠	1 2 3 4		1	30	教科書として展開	
	ドイツ語初級2（応用）	中橋 誠	1 2 3 4		1	30	教科書として展開	
	中国語初級1（基礎）	林 怡州	1 2 3 4		1	30	実務経験のある教員が通訳案内士としての視点から、日中台の文化・歴史などの講義を実施する。	
	中国語初級2（応用）	林 怡州	1 2 3 4		1	30	実務経験のある教員が通訳案内士としての視点から、日中台の文化・歴史などの講義を実施する。	

	授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
専門基礎 (学部共通)	公衆衛生学	横山 和仁	1	2		30	臨床および保健活動における知見を活かした講義を展開する
	救急医学	中原 公宏	2 3 4	2	1	15	臨床経験を活かした授業を展開する
	リハビリテーション概論	黒澤 和生	1	2		30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
	関連職種連携論	森田 正治	2	2		30	病院や施設等に勤務する各専門職の有資格者の臨床経験を踏まえた講義を展開する。
	関連職種連携実習	森田 正治	4		1	45	病院に勤務する各専門職の有資格者により、実習場面において臨床的な指導を展開する。
	ケースワーク論	山本 由紀	1 2 3 4		1	15	臨床現場での経験から、実践に即したソーシャルワークを解説する。
	保健医療福祉制度論	金野 充博	1	2		30	最新のニュースを素材に今日的な問題についても理解を深める。
	臨床心理学概論	戸澤 有為子	1	1		30	臨床心理士・公認心理師の臨床経験を活かした講義を展開する。
	生体情報処理概論	ゞ谷 直人	2 3 4		2	30	臨床経験を活かした授業を展開する
リスクマネジメント論	池田 俊也	1 2 3 4		2	30	臨床における経験や事例をもとにした授業を展開する	
専門基礎 専門教育科目	教職入門	鶴田 利郎	1		2	30	教員の実務経験を活かして、理論と実践をバランスよく学べるように授業を進めます。
	教育課程論	鶴田 利郎	1 2		2	30	実際に教育現場で用いていた教材や資料などを積極的に活用しながら、理論と実践をバランスよく学べるように授業を進めます。
	道德教育の理論と実践	佐久間 裕之	2 3		1	15	教育学部での指導経験を基に講義を展開する
	特別支援教育概論	宮崎 恵美	1 2		1	15	実務経験を活かして指導に当たる
	教育相談の基礎と方法	江川 知子	2 3		1	15	学校組織での教育相談の実状を鑑みながら、授業を進めたい。
	生徒指導論	鶴田 利郎	2 3		1	15	実際に教育現場で用いていた教材や資料などを積極的に活用しながら、理論と実践をバランスよく学べるように授業を進めます。
	教職実践演習(養護教諭)	宮崎 恵美	4		2	30	養護教諭の実務経験・保健科教員の実務経験・臨床経験を活かした指導をする。
	養護概説	宮崎 恵美	2 3		2	30	養護教諭の経験のあるものが授業を担当する。
	保健医療福祉行政論	渡部 瑞穂	4		1	15	経験を活かした講義を行う。
	疫学	飯室 聡	2		2	30	実務経験を活かした授業を展開する
	保健統計学Ⅱ(発展)	牧 千亜紀	4		1	15	実務経験を持つ教員が担当する。
	解剖学Ⅰ(運動器系・内臓学・循環器系)	中村 陽市	1		1	30	解剖における有資格者が実務経験を活かした講義を行う
	解剖学Ⅱ(内臓学・神経系)	中村 陽市	1		1	30	解剖における有資格者が実務経験を活かした講義を行う
	生理学Ⅰ(植物性機能)	遠藤 豊	1		1	30	大学医学部での指導経験を活かした講義を行う
	生理学Ⅱ(動物性機能、内分泌)	遠藤 豊	1		1	30	大学医学部での指導経験を活かした講義を展開する
	解剖学・生理学演習	中村 陽市	2		1	30	生理学および解剖学における有資格者が実務経験を活かした演習を行う
	栄養学	駒村 和雄	1		1	30	臨床経験を活かした講義を展開する。
	微生物学	ゞ谷 直人	1		1	30	臨床現場の経験を踏まえた講義を展開する。
	病理学	金網 友木子	2		1	30	臨床経験を活かした講義を展開する
	薬理学	長沼 美代子	2		1	30	臨床経験を活かした講義を展開する
	疾病・治療論Ⅰ(呼吸、循環、腎泌尿器系)	永嶋 善幸	2		1	30	臨床経験を活かした講義を展開する
	疾病・治療論Ⅱ(消化、代謝・内分泌系)	坂本 康成	2		1	30	臨床経験を活かした講義を展開する
	疾病・治療論Ⅲ(免疫、脳神経、運動器、精神系)	上杉 昌章	2		1	30	臨床経験を活かした講義を展開する
	疾病・治療論Ⅳ(感覚器、口腔、皮膚系)	遠藤 豊	2		1	30	臨床経験を活かした講義を展開する
	疾病・治療論Ⅴ(リプロダクティブヘルス、小児)	北林 耐	2		1	30	臨床経験を活かした講義を展開する
	地域疾病論	斎藤 照代	4		1	15	臨床経験を活かした講義を展開する。
	看護英語Ⅰ(基礎)	谷山 牧	2		1	30	専門的経験をもとに講義する。
	看護英語Ⅱ(発展)	谷山 牧	3		1	30	専門的経験をもとに講義する。
	看護学原論	熊谷 たまき	1		1	30	実務経験を活かして授業を行う。
	看護援助論Ⅰ(共通基本技術)	森下 裕子	1		1	30	担当教員は、看護師としての実務経験を活かし、より臨床に近い実践的な教育内容、演習方法の工夫を行う。
	看護援助論Ⅱ(生活援助技術)	森下 裕子	1		2	60	担当教員は、看護師としての実務経験を活かし、より臨床に近い実践的な教育内容、演習方法の工夫を行っている。
	看護過程展開論	森下 裕子	2		1	30	実務経験を活かし、より臨床に近い実践的な教育内容、演習方法の工夫を行っている。
看護過程演習	川島 悠	2		1	30	担当教員は、看護師としての実務経験やeラーニング教材を活かし、より臨床に近い実践的な教育内容、演習方法の工夫を行っている。	
治療援助論	菅嶋 美子	2		2	60	臨床経験を活かして講義・演習を行う。	
フィジカルアセスメント	川島 悠	1		1	30	実務経験を活かし、より臨床に近い実践的な教育内容、演習方法の工夫を行っている。	
基礎看護学実習Ⅰ(基礎)	菅嶋 美子	1		1	45	経験を活かして、実習指導を行う。	
基礎看護学実習Ⅱ(発展)	森下 裕子	2		2	90	実務経験を活かし、学生が臨床現場での経験を通して多くの学びや気づきを得られるよう、実習内容・指導方法の工夫を行っている。	

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
リプロダクティブヘルス看護学概論	堀金 幸栄	2	1		15	助産師の臨床経験を活かした講義を展開する。
リプロダクティブヘルス看護学方法論	松嶋 弥生	3	2		60	臨床経験および研究成果を活かした講義を展開する。
リプロダクティブヘルス看護学演習	堀金 幸栄	3	1		30	助産師の臨床経験を活かした演習を行う。
リプロダクティブヘルス看護学実習	堀金 幸栄	3	2		90	助産師の臨床経験を活かした実習指導を行う。
小児看護学概論	真田 英子	2	1		15	実務経験を活かした講義を行う。
小児看護学方法論	真田 英子	3	2		60	実務経験を活かした講義を行う。
小児看護学演習	真田 英子	3	1		30	実務経験を活かした演習を行う。
小児看護学実習	真田 英子	3	2		90	臨床経験をふまえた実習指導を行う。
成人看護学概論	富澤 栄子	2	1		15	臨床経験を活かし、成人期の人と家族への看護がイメージできるような講義を展開する。
成人看護学方法論Ⅰ（急性期、周手術期看護）	小林 淳子	2	2		60	臨床経験を活かした講義を展開する。皮膚・排泄ケア認定看護師が臨床経験を活かした講義：「ストーマ造設術を受ける患者の看護」を行う。また、BLS演習においては、BLS講習インストラクターの資格を有する看護師による実践的な演習を行う。
成人看護学方法論Ⅱ（慢性期看護）	内野 恵子	3	2		60	慢性期特有の継続看護を実践している看護師の講義：「慢性の内部環境調節障害をもつ患者の看護②」、「慢性の神経機能障害を持つ患者の看護」を行う。
成人看護学方法論Ⅲ（がん看護、終末期看護）	宮崎 裕子	3	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する。化学療法認定看護師が「外来化学療法の実際と看護」の講義を行う。がん性疼痛看護認定看護師が「がん患者の症状マネジメントの実際と看護」の講義を行う。
成人看護学実習Ⅰ（慢性期看護）	富澤 栄子	3	3		135	臨床経験を活かした実習指導を行う。
成人看護学実習Ⅱ（周手術期看護）	富澤 栄子	3	3		135	臨床経験を活かした実習指導を行う。
老年看護学概論	横島 啓子	2	1		15	臨床経験を活かした講義を展開する。
老年看護学方法論	相内 恵津子	3	2		60	臨床経験を活かした講義指導を展開する。
老年看護学演習	皆田 良子	3	1		30	病院・訪問看護・介護施設など様々な臨床経験を持つ教員により、高齢者を多面的にとらえ、生活機能を整える看護に必要な具体的に実践的な知識・技術を学ぶ。
老年看護学実習Ⅰ（病院看護）	山田 智美	3	3		135	臨床経験を活かした実習指導をする。
老年看護学実習Ⅱ（施設看護）	横島 啓子	4	1		45	臨床経験を活かした実習指導を行う。
精神看護学概論	後藤 雪絵	2	1		15	発達段階ごとの精神保健支援を活かした講義を展開する。
精神看護学方法論	藤澤 希美	2	2		60	精神看護領域の実務経験に基づく授業展開を行う。
精神看護学演習	藤澤 希美	3	1		30	精神看護領域の実務経験に基づく授業展開を行う。
精神看護学実習	後藤 雪絵	3	2		90	精神看護領域の臨床経験を踏まえた実習指導を行う。
在宅看護学概論	谷山 牧	2	1		15	臨床経験を活かした講義を展開する。
在宅看護学方法論	保母 恵	3	2		60	実務経験を活かした講義・演習を展開する。
在宅看護学演習	若林 和枝	4	1		30	実務経験を活かした講義・演習を展開する。
在宅看護学実習	保母 恵	4	2		90	臨床や地域保健福祉現場での経験を活かした実習指導を行う。
継続看護学実習	谷山 牧	4	1		45	臨床経験を活かした実習指導を行う。
国際看護論	鈴木 紀子	4	1		15	国際看護活動の経験などを活かした講義を展開する。
災害看護論	鈴木 紀子	3	1		15	東日本大震災を病院管理者として経験。患者の命、スタッフの命、医療をどのように守ったかを伝え、授業に活かしていく。
家族看護論	後藤 雪絵	2	1		15	実務経験を活かした講義を行う。
パリアティブケア	富澤 栄子	3 4	1		15	緩和ケア認定看護師が臨床経験を活かした講義（「一般病棟における緩和ケアの実際」）を行う。
看護コミュニケーション論	萱嶋 美子	2	1		15	臨床経験や臨床実習指導経験を活かし、援助的なコミュニケーションの実際が学べるよう事例を用いて講義を展開する。
統合看護演習	松嶋 弥生	4	1		30	実務経験を活かした講義・演習を行う。
統合技術演習	萱嶋 美子	4	1		30	臨床経験を活かした演習を行う。
看護研究法概説	堀金 幸栄	3	1		15	専門的経験をもとに講義する。
看護研究	熊谷 たまき	4	2		60	専門的経験をもとに講義する。
看護倫理学	横島 啓子	2 3 4	1		15	臨床経験を活かした講義を展開する。
看護管理論	鈴木 紀子	3	1		15	病棟の看護管理を経験した看護師が、臨床で起こる問題とその対処方法の思考過程を中心に講義を展開する。
看護マネジメント実習	鈴木 紀子	4	1		45	病院の看護管理を経験した看護師が、臨床経験を踏まえた実習を行う。
公衆衛生看護学実習Ⅰ（健康支援）	斎藤 照代	3	2		90	実務経験を活かし実習指導を行う。
公衆衛生看護学実習Ⅱ（活動の展開）	斎藤 照代	4	2		90	実務経験を活かし演習指導を行う。
公衆衛生看護学実習Ⅲ（管理）	斎藤 照代	4	1		45	実務経験を活かし実習指導を行う。
公衆衛生看護学概論	斎藤 照代	1	2		30	実務経験を活かし講義を展開する。
健康教育・保健指導論	牧 千亜紀	2	1		30	行政保健師経験のある教員
行政における看護活動	牧 千亜紀	2	1		30	実務経験を活かした授業・演習を行う。
コミュニティアセスメント論	渡部 瑞穂	3	1		30	実務経験を持つ教員が担当をしている
健康教育・保健指導展開論	牧 千亜紀	4	1		30	実務経験を活かし、事例を含む実践的授業・演習を行う。

専門
教育
科目

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
専門 教育 科目	専門	産業における看護活動	斎藤 照代	4	1	15	実務経験を活かし事例を活用した実践力の高い講義を展開する。
		学校における看護活動	宮崎 恵美	3	1	15	実務経験に基づいた事例展開、例示を行い、講義・演習を実施します。
		公衆衛生看護管理論	渡部 瑞穂	4	1	15	経験を活かした講義・演習を行う。
		看護実習	宮崎 恵美	4	5	150	実務経験を活かした実習指導する。

卒業要件単位数	125	単位
実務経験のある教員等による授業科目	179	単位

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目	
				必修	選択			
人間系	文学論	山内 則史	1 2 3 4		2	30	記者時代の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中の文学を意識させながら授業を展開する。	
	演劇論	山内 則史	1 2 3 4		1	15	取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。	
	心理学	戸澤 有為子	1 2 3 4		2	30	臨床心理士・公認心理師の臨床経験を活かした講義を展開する。	
	人間学	古城 慶子	1 2 3 4		2	30	病院などの診療を踏まえて講義している。	
	宗教学	戸松 義晴	1 2 3 4		2	30	ハーバード大学神学校での諸宗教の方々との出会い、全日本仏教会事務総長、日本宗教連盟事務局局長として、改正臓器移植法案、尊厳死、安楽死、生殖補助医療などについて宗教者代表として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のところに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。	
	教育学	鶴田 利郎	1 2 3 4		2	30	実際に教育現場で用いていた教材や資料などを積極的に活用しながら、理論と実践をバランスよく学べるように授業を進めます。	
	死生学-死を通して生を考える	小野 充一	1 2 3 4		2	30	小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きのびる知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。	
総合教育科目	社会系	法学	坂本 真史	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験を踏まえ、実際の裁判や事例についても紹介する。
		法と道徳・倫理	坂本 真史	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験を踏まえ、実際の裁判や事例についても紹介する。
		マスメディア論	村上 大介	1 2 3 4		2	30	新聞などを活用した具体的なマスメディア論、ジャーナリズム論を展開できる。
	経済学基礎Ⅰ（経済原論）	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
	経済学基礎Ⅱ（日本経済論）	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
	国際医療福祉論	後藤 純信	1 2 3 4		2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。	
	組織運営管理論	羽田 明浩	1 2 3 4		2	30	銀行員としての実務で培った知識等の解説	
	社会保障制度論	金野 充博	1 2 3 4		2	30	最新のニュースを素材に今日的な問題についても理解を深める。	
	ボランティア論	大石 剛史	1 2 3 4		2	30	ボランティアセンター等での支援経験を授業内で活用する（対面授業）	
	医療関連法規	坂本 真史	1		2	30	弁護士としての実務経験を踏まえて、実際の裁判や事件についても紹介する。	
	自然・情報系	生命倫理	田中 秀一	1 2 3 4		2	30	取材や研究を通じた経験や実例を適宜示し、学生の理解がより深められる講義を展開する。
総合系		黒澤 和生	1		1	15	それぞれ実務経験を活かした講義や演習を展開する。	
外国語系	総合講義	森田 正治	1 2 3		1	15	様々な理学療法の専門分野に携わった経験を活かし、時勢を達観されてきた各界の著名な講師と調整を図り、授業を展開する。	
	ドイツ語初級1（基礎）	中橋 誠	1 2 3 4		1	30	教科書として展開	
	ドイツ語初級2（応用）	中橋 誠	1 2 3 4		1	30	教科書として展開	
	中国語初級1（基礎）	林 怡州	1 2 3 4		1	30	実務経験のある教員が通訳案内士としての視点から、日中台の文化・歴史などの講義を実施する。	
中国語初級2（応用）	林 怡州	1 2 3 4		1	30	実務経験のある教員が通訳案内士としての視点から、日中台の文化・歴史などの講義を実施する。		

	授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目	
				必修	選択			
専門基礎 (学部共通)	公衆衛生学	横山 和仁	1	2		30	臨床および保健活動における知見を活かした講義を展開する	
	救急医学	中原 公宏	2 3 4	2	1	15	臨床経験を活かした授業を展開する	
	リハビリテーション概論	黒澤 和生	1	2		30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。	
	関連職種連携論	森田 正治	2	2		30	病院や施設等に勤務する各専門職の有資格者の臨床経験を踏まえた講義を展開する。	
	関連職種連携実習	森田 正治	4		1	45	病院に勤務する各専門職の有資格者により、実習場面において臨床的な指導を展開する。	
	ケースワーク論	山本 由紀	1 2 3 4		1	15	臨床現場での経験から、実践に即したソーシャルワークを解説する。	
	保健医療福祉制度論	金野 充博	1	2		30	最新のニュースを素材に今日的な問題についても理解を深める。	
	臨床心理学概論	戸澤 有為子	1	1		30	臨床心理士・公認心理師の臨床経験を活かした講義を展開する。	
	生体情報処理概論	ゞ谷 直人	2 3 4		2	30	臨床経験を活かした授業を展開する	
リスクマネジメント論	池田 俊也	1 2 3 4		2	30	臨床における経験や事例をもとにした授業を展開する		
専門教育科目	疫学・保健医療統計学	飯室 聡	2	2		30	臨床経験を活かした講義を展開する。	
	解剖学Ⅰ (運動器系、内臓器系)	中村 陽市	1	1		30	解剖における有資格者がその実務経験を活かした講義を展開する	
	解剖学Ⅱ (内臓器系、神経系)	中村 陽市	1	1		30	解剖における有資格者がその実務経験を活かした講義を展開する	
	解剖学実習Ⅰ (肉眼)	中村 陽市	1	1		45	解剖における有資格者が実務経験を活かした講義・実習を展開する	
	解剖学実習Ⅱ (組織)	中村 陽市	1	1		45	解剖における有資格者が実務経験を活かした講義・実習を展開する	
	生理学Ⅰ (植物性機能)	遠藤 豊	1	1		30	大学医学部での指導経験を活かして講義を展開する	
	生理学Ⅱ (動物性機能)	遠藤 豊	1	1		30	大学医学部での指導経験を活かして講義を展開する	
	生理学実習	遠藤 豊	1	1		45	大学医学部での指導経験を活かした演習を展開する 理学療法士が実務経験を活かして演習指導にも入る	
	運動学Ⅰ (基礎)	前田 佑輔	1	1		30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。	
	運動学Ⅱ (応用)	前田 佑輔	1	1		30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。	
	運動生理学	金子 純一朗	1	2		30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。	
	病理学	金網 友木子	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する	
	臨床医学概論	佐藤 哲夫	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する。	
	内科学Ⅰ (基礎)	山田 佳彦	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する	
	内科学Ⅱ (臨床)	山田 佳彦	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する	
	神経学Ⅰ (基礎)	後藤 順	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する	
	神経学Ⅱ (臨床)	後藤 順	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する	
	整形外科Ⅰ (基礎)	上杉 昌章	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する	
	整形外科Ⅱ (臨床)	上杉 昌章	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する	
	精神医学Ⅰ (総論・各論)	半田 聡	2	1		30	臨床経験を踏まえた講義を展開する	
	精神医学Ⅱ (各論)	半田 聡	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する	
	運動学実習Ⅰ (基礎)	大武 聖	2	1		45	臨床経験を活かした演習を行う	
	運動学実習Ⅱ (応用)	金子 純一朗	2	1		45	臨床経験を踏まえた演習を展開する。	
	人間発達学	森田 正治	2	1		30	肢体不自由児・重症心身障害児施設における実務経験を活かし、発達学的な視点で授業を展開する。	
	リハビリテーション医学	角田 亘	3	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する	
	小児科学	北林 耐	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する	
	老年学	須藤 英一	2 3 4		1	30	臨床経験を活かした講義を展開する	
	神経心理学概論	後藤 順	2 3 4		2	30	臨床経験を活かした講義を展開する	
	臨床薬理学概論	長沼 美代子	2	1		15	臨床経験を活かした講義を展開する	
	スポーツ傷害学	南 和文	2 3 4		1	15	スポーツ界の現状、および臨床医学の経験を活かした講義を展開する	
	外科学	首村 智久	2 3 4		1	15	臨床経験を活かした講義を展開する	
	脳神経外科学	中原 公宏	2 3 4		1	30	臨床経験を教育経験を活かした講義を展開する。	
	栄養学	駒村 和雄	2 3 4		1	15	臨床経験を活かした講義を展開する。	
	専門	パルペーション (運動機能)	齋藤 孝義	1		1	15	触診の経験を踏まえた講義及び実技演習を行う。
		理学療法概論	森田 正治	1	2		30	様々な理学療法の専門分野に携わった実務経験を活かし、授業を展開する。
		PTスキルⅠ 演習 (課題発表・PBL)	前田 佑輔	1	1		30	臨床経験を踏まえた演習を展開する。
		PTスキルⅡ 演習 (課題学習・口頭試問)	齋藤 孝義	2	1		30	臨床経験を踏まえた演習を展開する。
		PTスキルⅢ 演習 (課題学習)	金子 純一朗	3	1		30	臨床経験を踏まえた演習を展開する。
		PTスキルⅣ 演習 (口頭試問・OSCE・CBI)	金子 純一朗	3	2		60	臨床経験を踏まえた演習を展開する。
		病態運動学	黒澤 和生	3	2		30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
		運動解剖学	前田 佑輔	2	2		30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
		理学療法用語論	森田 正治	1 2 3 4		1	15	様々な理学療法の専門分野に携わった実務経験を活かし、授業を展開する。
		バイオメカニクス	前田 佑輔	1 2 3 4		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
運動心理学	谷 浩明	1 2 3 4		1	15	理学療法士の臨床で患者さんにみられる現象を、運動心理学的な情報処理アプローチの観点からみたときにどう解釈できるのか、またどう治療に応用できるのかを講義内容に含めている。
スポーツ心理学	谷 浩明	1 2 3 4		1	15	理学療法の臨床は患者さんに動作を学習してもらった側面がある。スポーツ心理学における教示やフィードバックの知見が、実際の臨床での学習にどのように応用することができるのかについて、講義の中に含めている。
スポーツ医科学	南 和文	1 2 3 4		1	15	スポーツ界の現状、および臨床医学の経験を活かした講義を展開する。
理学療法評価学	前田 佑輔	2		2	30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
理学療法診断学Ⅰ（基礎）	前田 佑輔	2		1	30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
理学療法診断学Ⅱ（疾患編）	齋藤 孝義	2		1	30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
理学療法診断学Ⅲ（神経・画像評価学を含む）	金子 純一郎	2		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
理学療法診断学Ⅳ（電気診断学）	大武 聖	2 3 4		1	15	臨床経験ならびに研究経験を活かした講義を行う
動作分析学	前田 佑輔	2 3 4		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
臨床動作分析学	前田 佑輔	2 3 4		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
運動負荷学	大武 聖	2 3 4		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
理学療法計測法	齋藤 孝義	2		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
クリニカルリーディング	黒澤 和生	2 3 4		1	15	IFOMPT 基準を満たす 500 時間以上の教育を受け、認定試験に合格した理学療法士（運動器徒手理学療法認定士:Orthopaedic Manual Physical Therapists : OMPT）が直接指導を行います。
高次脳機能障害学	金子 純一郎	2 3 4		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
物理療法学Ⅰ（基礎）	森田 正治	1		1	30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
物理療法学Ⅱ（応用）	森田 正治	2		1	30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
運動療法学総論	大武 聖	2		1	30	臨床経験を活かした講義を行う
癌のリハビリテーション	大武 聖	2 3		1	15	臨床経験を活かした講義を展開する
呼吸管理	大武 聖	2 3		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
生活技術学	前田 佑輔	3		1	30	臨床経験を踏まえた講義・演習を実施する
生活環境学	齋藤 孝義	3		1	30	生活環境を考慮した理学療法の経験を踏まえた講義・演習を行う。
義肢学	大武 聖	3		1	30	臨床経験を活かした講義を展開する
装具学	大武 聖	3		1	30	臨床経験を活かした講義を展開する
理学療法治療総論	金子 純一郎	3		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
運動系理学療法学Ⅰ（基礎）	齋藤 孝義	3		1	30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
運動系理学療法学Ⅱ（応用）	齋藤 孝義	3		1	30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
神経系理学療法学Ⅰ（脳血管）	金子 純一郎	3		1	30	急性期や回復期における治療プログラムの実施手順を踏まえた講義を展開する。
神経系理学療法学Ⅱ（神経筋）	金子 純一郎	3		1	30	神経難病に対する治療プログラムの実施手順を踏まえた講義を展開する。
小児理学療法学	森田 正治	3		1	30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
循環器系理学療法学	大武 聖	3		1	15	臨床経験を活かした講義を展開する
呼吸器系理学療法学	大武 聖	3		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
代謝系理学療法学	大武 聖	3		1	15	臨床経験を活かした講義を行う
地域理学療法学演習（在宅・地域）	齋藤 孝義	3		1	30	訪問・地域理学療法の臨床経験を活かした講義・演習を行う。
老人理学療法学	齋藤 孝義	2 3 4		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
急性期理学療法学	齋藤 孝義	2 3 4		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
スポーツ理学療法学	齋藤 孝義	2 3 4		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
スポーツ傷害治療学	齋藤 孝義	2 3 4		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
ヘルスプロモーション論	大武 聖	2 3 4		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
産科理学療法学	渡邊 観世子	2 3 4		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
精神科理学療法学	黒澤 和生	2 3 4		1	15	身体運動が精神機能に及ぼすエビデンスを提示しながら講義を展開する。
理学療法治療学演習Ⅰ（神経筋促進治療学）	森田 正治	2 3 4		1	15	様々な理学療法士の専門分野に携わった実務経験を活かし、授業（演習）を展開する。
理学療法治療学演習Ⅱ（神経発達学的治療学）	金子 純一郎	2 3 4		1	15	臨床経験を踏まえた演習を展開する。
理学療法治療学演習Ⅲ（マニュアルセラピー関節）	黒澤 和生	2 3 4		1	15	IFOMPT 基準を満たす 500 時間以上の教育を受け、認定試験に合格した理学療法士（運動器徒手理学療法認定士:Orthopaedic Manual Physical Therapists : OMPT）が直接指導を行います。
理学療法治療学演習Ⅳ（マニュアルセラピー脊柱）	黒澤 和生	2 3 4		1	15	IFOMPT 基準を満たす 500 時間以上の教育を受け、認定試験に合格した理学療法士（運動器徒手理学療法認定士:Orthopaedic Manual Physical Therapists : OMPT）が直接指導を行います。
基礎実習	前田 佑輔	1		1	45	臨床経験を踏まえた演習を展開する。
検査実習	齋藤 孝義	2		2	90	臨床経験を踏まえた実習指導を行う。
評価実習	金子 純一郎	3		4	180	臨床経験を踏まえた実習指導を行う
総合臨床実習	大武 聖	4		12	540	臨床経験を踏まえた実習指導を行う

専門教育科目

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
専門教育科目 専門	理学療法特論Ⅰ（基礎）	大武 聖	4	2	30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
	理学療法特論Ⅱ（応用）	大武 聖	2 3 4	2	30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
	理学療法研究法	大武 聖	2 3 4	1	15	臨床経験を活かした講義・演習を行う
	理学療法教育学	森田 正治	2 3 4	1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
	理学療法統計法	森田 正治	4	1	15	臨床及び大学院における研究指導の経験を踏まえ、講義・演習を展開する。
	理学療法管理学	森田 正治	2	2	30	臨床及びこれまでの教育経験に加え、日本理学療法士協会や都道府県理学療法士会における公職経験を踏まえた授業を展開する。
	障害者スポーツ概論	齋藤 孝義	2 3 4	1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
	ジャーナルリーディング	前田 佑輔	2 3 4	1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する
	レクリエーション概論	齋藤 孝義	2 3 4	1	15	集団で行うレクリエーションの経験を踏まえた講義・演習を行う。
	理学療法国際事情	前田 佑輔	1 2 3 4	1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
卒業研究	大武 聖	4	4	180	臨床経験を踏まえた演習を展開する。	

卒業要件単位数	126	単位
実務経験のある教員等による授業科目	188	単位

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目	
				必修	選択			
人間系	文学論	山内 則史	1 2 3 4		2	30	記者時代の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中の文学を意識させながら授業を展開する。	
	演劇論	山内 則史	1 2 3 4		1	15	取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。	
	心理学	戸澤 有為子	1 2 3 4		2	30	臨床心理士・公認心理師の臨床経験を活かした講義を展開する。	
	人間学	古城 慶子	1 2 3 4		2	30	病院などの診療を踏まえて講義している。	
	宗教学	戸松 義晴	1 2 3 4		2	30	ハーバード大学神学校での諸宗教の方々との出会い、全日本仏教会事務総長、日本宗教連盟事務局局長として、改正臓器移植法案、尊厳死、安楽死、生殖補助医療などについて宗教者代表として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のところに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。	
	教育学	鶴田 利郎	1 2 3 4		2	30	実際に教育現場で用いていた教材や資料などを積極的に活用しながら、理論と実践をバランスよく学べるように授業を進めます。	
	死生学-死を通して生を考える	小野 充一	1 2 3 4		2	30	小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きのびる知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。	
総合教育科目	社会系	法学	坂本 真史	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験を踏まえ、実際の裁判や事例についても紹介する。
		法と道徳・倫理	坂本 真史	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験を踏まえ、実際の裁判や事例についても紹介する。
	マスメディア論	村上 大介	1 2 3 4		2	30	新聞などを活用した具体的なマスメディア論、ジャーナリズム論を展開できる。	
	経済学基礎Ⅰ（経済原論）	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
	経済学基礎Ⅱ（日本経済論）	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
	国際医療福祉論	後藤 純信	1 2 3 4		2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。	
	組織運営管理論	羽田 明浩	1 2 3 4		2	30	銀行員としての実務で培った知識等の解説	
	社会保障制度論	金野 充博	1 2 3 4		2	30	最新のニュースを素材に今日的な問題についても理解を深める。	
	ボランティア論	大石 剛史	1 2 3 4		2	30	ボランティアセンター等での支援経験を授業内で活用する（対面授業）	
	医療関連法規	坂本 真史	1		2	30	弁護士としての実務経験を踏まえて、実際の裁判や事件についても紹介する。	
自然・情報系	生命倫理	田中 秀一	1 2 3 4		2	30	取材や研究を通じた経験や実例を適宜示し、学生の理解がより深められる講義を展開する。	
	総合系	黒澤 和生	1		1	15	それぞれ実務経験を活かした講義や演習を展開する。	
外国語系	総合講義	森田 正治	1 2 3		1	15	様々な理学療法専門分野に携わった経験を活かし、時勢を達観されてきた各界の著名な講師と調整を図り、授業を展開する。	
	ドイツ語初級1（基礎）	中橋 誠	1 2 3 4		1	30	教科書として展開	
	ドイツ語初級2（応用）	中橋 誠	1 2 3 4		1	30	教科書として展開	
	中国語初級1（基礎）	林 怡州	1 2 3 4		1	30	実務経験のある教員が通訳案内士としての視点から、日中台の文化・歴史などの講義を実施する。	
	中国語初級2（応用）	林 怡州	1 2 3 4		1	30	実務経験のある教員が通訳案内士としての視点から、日中台の文化・歴史などの講義を実施する。	

	授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目	
				必修	選択			
専門基礎 (学部共通)	公衆衛生学	横山 和仁	1	2		30	臨床および保健活動における知見を活かした講義を展開する	
	救急医学	中原 公宏	2 3 4	2	1	15	臨床経験を活かした授業を展開する	
	リハビリテーション概論	黒澤 和生	1	2		30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。	
	関連職種連携論	森田 正治	2	2		30	病院や施設等に勤務する各専門職の有資格者の臨床経験を踏まえた講義を展開する。	
	関連職種連携実習	森田 正治	4		1	45	病院に勤務する各専門職の有資格者により、実習場面において臨床的な指導を展開する。	
	ケースワーク論	山本 由紀	1 2 3 4		1	15	臨床現場での経験から、実践に即したソーシャルワークを解説する。	
	保健医療福祉制度論	金野 充博	1	2		30	最新のニュースを素材に今日的な問題についても理解を深める。	
	臨床心理学概論	戸澤 有為子	1	1		30	臨床心理士・公認心理師の臨床経験を活かした講義を展開する。	
	生体情報処理概論	ゞ谷 直人	2 3 4		2	30	臨床経験を活かした授業を展開する	
専門基礎 教育科目	リスクマネジメント論	池田 俊也	1 2 3 4		2	30	臨床における経験や事例をもとにした授業を展開する	
	疫学・保健医療統計学	飯室 聡	2		2	30	臨床経験を活かした講義を展開する。	
	解剖学Ⅰ（運動器系、循環器系）	中村 陽市	1	1		30	解剖における有資格者が実務経験を活かした講義・実習指導を展開する	
	解剖学Ⅱ（内臓器系、神経系、感覚器系）	中村 陽市	1	1		30	解剖における有資格者が実務経験を活かした講義を展開する	
	解剖学実習	中村 陽市	1	1		45	解剖における有資格者が実務経験を活かした講義・実習を展開する	
	生理学Ⅰ（植物性機能）	遠藤 豊	1	1		30	大学医学部での指導経験を活かした講義を行う	
	生理学Ⅱ（動物性機能）	遠藤 豊	1	1		30	大学医学部での指導経験を活かした講義を行う	
	生理学実習	遠藤 豊	1	1		45	大学医学部での指導経験を活かした演習を展開する 作業療法士が実務経験を活かして演習指導にも入る	
	運動学Ⅰ（基礎）	富永 渉	1	1		30	実務経験を踏まえたうえで臨床に必要となる運動学的知識を教授する	
	運動学Ⅱ（応用）	窪田 聡	1	1		30	実務経験を踏まえたうえで臨床に必要となるバイオメカニクス等についての知識を教授する	
	運動学実習	富永 渉	1	1		45	臨床経験を活かした講義を行う。	
	運動生理学	窪田 聡	2	1		30	実務経験を踏まえたうえで授業を展開する。	
	病理学	金網 友木子	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する	
	内科学	山田 佳彦	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する	
	神経学Ⅰ（基礎）	後藤 順	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する。	
	神経学Ⅱ（臨床）	後藤 順	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する。	
	整形外科Ⅰ（基礎）	上杉 昌章	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する。	
	整形外科Ⅱ（臨床）	上杉 昌章	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する。	
	精神医学Ⅰ（基礎）	半田 聡	2	1		30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。	
	精神医学Ⅱ（臨床）	半田 聡	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する。	
	小児科学	北林 耐	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する。	
	老年学	須藤 英一	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する。	
	リハビリテーション医学	角田 亘	3	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する。	
	人間発達学	藤本 幹	2	1		30	臨床経験を生かした演習を行う。	
	臨床薬理学概論	長沼 美代子	2	1		15	臨床経験を活かした講義を展開する	
	栄養学	駒村 和雄	2	1		15	臨床経験を活かした講義を展開する。	
	外科学	首村 智久	2	1		15	臨床経験を活かした講義を展開する。	
	脳神経外科学	中原 公宏	2	1		30	臨床経験を教育経験を活かした講義を展開する。	
	神経心理学概論	後藤 順	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する	
	レクリエーション概論	岩上 さやか	3	1		15	臨床経験を活かした演習を行う。	
	対人援助論	藤本 幹	2	1		15	第1回、第8回、臨床経験を生かした講義を展開する。 第2回～第7回、臨床経験を生かした演習を行う。	
	専門	作業療法概論	藤本 幹	1	1		15	第1回～第7回、臨床経験を生かした講義を展開する。 第8回、臨床経験を生かした演習を行う。
		作業学概論	藤本 幹	1	1		15	第1回～第4回、8回、臨床経験を生かした講義を展開する 第5回～第6回、臨床経験を生かした演習を行う
作業工程技術学・基礎論		山本 潤	1	1		30	臨床経験を踏まえた講義を行う	
作業工程技術学・応用論		出口 弦舞	3	1		30	臨床経験でのアクティビティー実施経験のある作業療法士が講義・指導を行う 臨床での経験に基づき教科書等では理解しにくい技術のデモンストラーション、解説などを実施する。	
作業分析学Ⅰ（基礎）		岩上 さやか	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する	
作業分析学Ⅱ（応用）		窪田 聡	2	1		30	実務経験に基づき必要となる動作分析の視点を考慮し、授業・演習を展開する。	
作業応用論		岩上 さやか	3	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する	
研究法概論		窪田 聡	3	1		15	臨床経験を踏まえ、エビデンスに基づく臨床実践で必要となる研究に関する技能（臨床疑問の整理、論文読解）を座学と演習を通し教授する。	
研究法演習		窪田 聡	3	1		30	臨床経験および研究活動を活かした演習を行う	

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
卒業研究	窪田 聡	4		1	30	実務経験を踏まえたうえでClinical QuestionsをResearch Questions (RQ) に変換する方法を示す。さらにそのRQ検証の方法を実践を通して教授する。
作業療法倫理・管理	牛木 彩子	4	2		30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
作業療法評価学概論	藤本 幹	2	1		30	第1, 2, 4, 8, 9, 10, 11, 12回、臨床経験を生かした講義を展開する。 第3, 5, 6, 7, 13, 14, 15回、臨床経験を生かした演習を行う。
作業療法評価学各論	岩上 さやか	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する
作業療法評価学演習	窪田 聡	2	1		30	各領域で実務経験のある作業療法士が臨床上必要となるアセスメントについて授業を展開する。
基礎運動機能評価法	岩上 さやか	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する
上肢機能評価法	出口 弦舞	2		1	15	臨床での経験に基づき教科書等では理解しにくい技術のデモンストレーション、解説などを実施する。
日常生活活動評価法	出口 弦舞	2		1	15	臨床での経験に基づき教科書等では理解しにくい技術のデモンストレーション、解説などを実施する。
認知機能評価法	山本 潤	3		1	15	作業療法士としての臨床経験を活かした講義を展開する。
作業療法諸理論	藤本 幹	4		1	15	臨床経験を生かした講義を展開する。
作業療法適用学概論	岩上 さやか	3	1		15	臨床経験を活かした講義を展開する
内科系疾患作業療法学	牛木 彩子	3	1		30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
運動器疾患作業療法学	出口 弦舞	3	1		30	頸髄損傷・整形疾患の臨床経験がある作業療法士が講義・指導を行う 臨床での経験に基づき教科書等では理解しにくい技術のデモンストレーション、解説などを実施する。
中枢神経疾患作業療法学Ⅰ（総論）	富永 渉	3		1	30	臨床経験を活かした講義を行う。
中枢神経疾患作業療法学Ⅱ（各論）	富永 渉	3		1	30	臨床経験を活かした講義を行う。
精神疾患作業療法学Ⅰ（総論）	藤本 幹	3		1	30	臨床経験を活かした講義を行う。
精神疾患作業療法学Ⅱ（各論）	藤本 幹	3		1	30	臨床経験を活かした講義を展開する
小児作業療法学Ⅰ（総論）	藤本 幹	3	1		30	第1回～第11回、15回、作業療法士が臨床経験を生かした講義を展開する。 第12回～第14回、作業療法士が臨床経験を生かした演習を行う。
小児作業療法学Ⅱ（各論）	藤本 幹	3	1		30	第1回～第10回、作業療法士が臨床経験を生かした講義を展開する。 第11回～第14回、作業療法士が臨床経験を生かした演習を行う。
老年作業療法学	窪田 聡	3	1		30	老年期領域での実務経験のある作業療法士が経験を参考にして授業を展開する。
認知障害作業療法学	武藤 真理	3	1		30	作業療法士としての臨床経験を活かした講義を展開する。
作業療法適用学特論	山本 潤	4		1	15	臨床経験を踏まえた講義を行う
作業療法応用学概論	牛木 彩子	3		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
就学・就労支援論	藤本 幹	3		1	15	第1回～第5回、第8回作業療法士が臨床経験を生かした講義を展開する 第6回～第7回、作業療法士が臨床経験を生かした演習を展開する
生活技術学Ⅰ（総論）	岩上 さやか	2		1	30	臨床経験を活かした講義を展開する
生活技術学Ⅱ（各論）	出口 弦舞	3		1	30	臨床での経験に基づき教科書等では理解しにくい技術のデモンストレーション、解説などを実施する。
コミュニケーション技術論	窪田 聡	2		1	30	臨床経験を踏まえた演習を行う
職業関連技術学	武藤 真理	3		1	30	臨床経験を踏まえた講義を行う
作業療法の諸外国事情	岩上 さやか	3		1	15	臨床経験を活かした講義を展開する
地域生活作業療法論	牛木 彩子	3	1		30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
地域ケアシステム論	牛木 彩子	3		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
障害代償学概論	牛木 彩子	3		1	30	臨床経験を踏まえた講義を行う
義肢適用論	牛木 彩子	3		1	15	臨床経験を踏まえた講義を行う
装具・副子適用論	出口 弦舞	3		1	30	装具適用の臨床経験がある作業療法士が講義・指導を行う 臨床での経験に基づき教科書等では理解しにくい技術のデモンストレーション、解説などを実施する。
自助具・福祉機器適用論	出口 弦舞	3		1	30	自助具・福祉用具の臨床経験がある作業療法士が講義・指導を行う 臨床での経験に基づき教科書等では理解しにくい技術のデモンストレーション、解説などを実施する。
住環境整備論	牛木 彩子	3		1	30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
バリアフリー論	牛木 彩子	3		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
作業療法総括論	窪田 聡	4		1	30	臨床経験を活かした講義および試験を行う
基礎実習	窪田 聡	1		1	45	臨床経験を踏まえた実習指導を行う。
検査実習	出口 弦舞	2		2	90	臨床での経験に基づき教科書等では理解しにくい技術のデモンストレーション、解説などをその都度実施する
評価実習	岩上 さやか	3		5	225	臨床経験を踏まえた実習指導を行う。

専門教育科目

専門

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
専門 教育 科目	専門	総合実習Ⅰ（基礎的介入）	窪田 聡	4	7	315	実務経験を踏まえたうえで実習指導を展開する。
		総合実習Ⅱ（応用的介入）	窪田 聡	4	7	315	実務経験を踏まえたうえで実習指導を展開する。
		臨床実習ゼミⅠ（作業療法計画立案）	岩上 さやか	3		15	臨床経験を活かした講義を展開する
		臨床実習ゼミⅡ（作業療法実践）	岩上 さやか	3		15	臨床経験を活かした講義を展開する

卒業要件単位数	126	単位
実務経験のある教員等による授業科目	160	単位

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目	
				必修	選択			
総合教育科目	人間系	文学論	山内 則史	1 2 3 4		2	30	新聞記者として文芸分野を担当。記者の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中の文学を意識させながら授業を展開する。
		死生学 一死を通して生を考える一	小野 充一	1 2 3 4		2	30	担当教員は、小児外科からがん治療、さらには緩和医療の臨床現場を経験しており、現在は在宅ケアを中心とした地域医療の実践から臨床死生学の実践を継続している。小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きのびる知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。
		演劇論	山内 則史	1 2 3 4		1	15	新聞記者として演劇を担当。取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。
		心理学	義田 俊之	1 2 3 4		2	30	公認心理師・臨床心理士の取得者であり、精神科、中学・高校での実務経験を有する。臨床経験を生かし、「心理学」の講義を展開する。
		人間学	原 富英	1 2 3 4		2	30	《資格等》 精神科医師・公認心理師 《経歴・講義について》病院等において精神科医師として(精神医学)の知識・技術に関する長年の実務経験を有する。実務経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れ足り、教養学を高めるために「人間学」の講義を展開する。
	宗教学	戸松 義晴	1 2 3 4		2	30	平成22年4月財団法人全日本仏教会事務総長(平成24年3月退任)、平成22年4月財団法人日本宗教連盟幹事、平成23年度事務局長(平成24年3月迄)、平成30年6月公益財団法人全日本仏教会事務総長(現在に至る)、平成30年6月公益財団法人日本宗教連盟幹事(現在に至る)、平成22年4月文化庁・宗教法人審議会委員(平成24年3月迄)、平成23年5月文化庁・宗教法人制度の運用等に関する調査研究の協力者会議協力者、平成23年5月文化庁・不活動宗教法人対策推進会議委員、平成23年6月文化庁・宗教法人実務研修会企画案選定委員会委員(平成25年3月迄)、平成23年10月経済産業省・平成23年度 安心と信頼のある「ライフエンディング・ステージ」の創出に向けた普及啓発に関する研究会・委員(平成24年3月迄)、平成24年4月文化庁・宗教法人等の運営に係る調査会議委員(平成27年3月迄)、平成30年4月文化庁・宗教法人審議会委員(現在に至る)、平成24年4月公益社団法人生命科学振興会 理事(現在に至る)、平成16年4月World Fellowship of Buddhist(世界仏教徒連盟)執行役員(現在に至る)ハーバード大学神学校での諸宗教の方々との出会い、全日本仏教会事務総長、日本宗教連盟事務局長として、改正臓器移植法案、尊厳死、安楽死、生殖補助医療などについて宗教者代表として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のこころに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。	

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目	
				必修	選択			
総合教育科目	社会系	経済の仕組み	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	濱本邦洋 他 オムニバス	2 3 4	1		15	《資格等》小児科医師、小児科専門医、小児循環器専門医 《経歴講義について》30年以上、福岡大学医学部・病院において小児医療（一般小児科および小児循環器）の知識・技術に関する実務経験および医学部教育を行ってきた。その後は当大学での学生教育および高木病院小児科で小児循環器外来、柳川療育センターで重症心身障碍児の実務経験を12年続けている。海外研修に関しては、国際交流委員として、海外研修での健康管理について研修前の事前教育や研修中の健康相談に対応している。また、韓国、ベトナム、モンゴル等の豊富な海外研修引率業務経験を踏まえての「海外保健福祉事情」の講義・実習を展開する。
		国際関係論	村上 大介	1 2 3 4		2	30	日本の全国紙記者として、主に海外取材部門で長年勤務経験を積んだ。海外支局に通算4回（中東・欧州）駐在したほか、各地に出張取材。本社の国際ニュース部門の責任者なども務めた。基礎知識を身につけるという授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
		ボランティア論	大石 剛史	1 2 3 4		2	30	・社会福祉士 ・自治体、地域福祉計画策定アドバイザー等 ・社会福祉協議会実践アドバイザー等 ・IUHWボランティアセンター長（ボランティアコーディネート力検定3級） ボランティアセンター等での支援経験を授業内で活用する（対面授業）
		国際医療福祉論	後藤純信 他 オムニバス	1 2 3 4		2	30	〈資格〉：日本脳神経外科学会 専門医、日本臨床神経生理学会 脳波分野および神経伝導・筋電図分野 専門医 〈経歴・講義について〉 学 歴：平成6年(1994)5月14日 米国 ロヨラ大学シカゴ校医学部大学院科学修士課程、修士（科学）取得、平成7年(1995)9月30日 九州大学大学院医学系研究科外科系専攻博士課程修了 博士（医学）取得、平成4年(1992)10月1日 米国ロヨラ大学医学部神経内科学講座客員研究員、平成20年4月より国際医療福祉大学九州地区 国際交流委員委員長、平成28年10月より国際医療福祉大学九州地区 国際研修 健康相談センター業務大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
		社会保障制度論	田島 望	1 2 3 4		2	30	資格：社会福祉士 実務経験：ソーシャルワーカーとして在日外国人生活保護世帯の相談支援業務、地域福祉（活動）計画策定、小規模多機能事業所運営推進委員、障害児福祉サービス事業所理事等、ソーシャルワーク研究に15年携わる。ソーシャルワークにおける人々の生活支援において社会保障の知識は欠かすことができない。私たちの生活における社会保障制度の活用や課題について、実例を用いながら生活とむすびついたイメージがもてるよう展開していく。
	総合系	大学入門講座Ⅰ（基礎）	永沢 善三 他 オムニバス	1		1	15	各回、専門職として活躍する教員（医師を含む）・関連職員が講義を担当する。臨床現場における自職種の役割と多職種との関わり、連携を実務経験に基づき展開する。

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目		
			必修	選択				
専門教育科目 専門基礎科目	公衆衛生学	財津 裕一	1 2 3 4		2	30	保健医療福祉行政の第一線機関である福岡県保健福祉環境事務所（保健所と福祉事務所の統合組織）や県庁各課において所属長として業務遂行行政施策の運用の実際を理解することにより、行政施策に協力し、かつ、自らの業務に十分活用できる職業人としての資質を身に付ける	
	保健医療福祉制度論	財津 裕一	1 2 3 4		2	30	保健医療福祉行政の第一線機関である福岡県保健福祉環境事務所（保健所と福祉事務所の統合組織）や県庁各課において所属長として業務遂行行政施策の運用の実際を理解することにより、行政施策に協力し、かつ、自らの業務に十分活用できる職業人としての資質を身に付ける	
	リハビリテーション概論	金子秀雄 他 オムニバス	1		2		30	理学療法士、専門理学療法士、作業療法士、言語聴覚士理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の実務経験を踏まえて、理学療法士の職能及び学術的な視点に加え、作業療法士及び言語聴覚士を含むリハビリテーション関連職種に関する職能及び学術的な視点についても授業を展開する。
	臨床心理学概論	義田 俊之	2 3 4		2		30	公認心理師・臨床心理士の取得者であり、精神科、中学・高校での実務経験を有する。臨床経験を生かし、「臨床心理学概論」の講義を展開する。
	救急医学	長谷川 雄	2		1		15	科目担当責任者は脳神経外科専門医、脳卒中治療専門医として長年臨床医学に従事している。また、基礎医学研究者として、脳疾患における生理学的・薬理学的研究成果を数多く国際誌に発表している。脳神経外科患者の治療を通して得た経験と基礎医学領域での研究から得た知見とを講義に取り入れ、学生の皆さんに分かりやすく講義を行う。
	関連職種連携論	下井 俊典 他	2		2		30	日本保健医療福祉連携教育学会常任理事（下井）
	関連職種連携実習	佐藤 信也 他		4		1	45	各職種の経験豊富な指導者が指導を担当する。実習施設の各専門職の豊富な実務経験から実習指導を受けることで、生きた学習ができる。連携論、連携ワークで学んだIPEを活かし、保健医療福祉に携わる専門職として、IPCに必要なコンピテンシーを学修する。
	解剖学実習Ⅰ（肉眼）	高野吉朗 他 オムニバス	1		1		45	《資格》理学療法士、《経歴・講義について》理学療法に関する実務経験を有している。授業においては、実務の事例など取り入れながら展開する。
	病理学	戸田 修二	2		1		30	病理学領域の専門職として活動する経験豊かな教員が講義を担当する臨床現場における病理学領域の豊富な経験を基盤にした実践的な授業を展開する
	生理学実習	森本 幸生 他	1		1		45	〈資格〉：日本脳神経外科学会 専門医、日本臨床神経生理学会 脳波分野および神経伝導・筋電図分野 専門医 〈経歴・講義について〉、大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する以下の実務経験を有している。臨床神経学の経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「生理学実習」の講義を展開する。
	臨床医学概論	長谷川 雄	1		1		30	科目担当責任者は脳神経外科専門医、脳卒中治療専門医として長年臨床医学に従事している。また、基礎医学研究者として、脳疾患における生理学的・薬理学的研究成果を数多く国際誌に発表している。脳神経外科患者の治療を通して得た経験と基礎医学領域での研究から得た知見とを講義に取り入れ、学生の皆さんに分かりやすく講義を行う。
内科学Ⅰ（基礎）	岸 拓弥	2 3		1		30	循環器内科を専門とする内科学全般の診療に23年間従事してきた。教科書に書いてあることだけではなく実務経験でのエピソードを交えながら実践的な授業内容を展開する。	
内科学Ⅱ（臨床）	岸 拓弥	2 3		1		30	循環器内科を専門とする内科学全般の診療に23年間従事してきた。教科書に書いてあることだけではなく実務経験でのエピソードを交えながら実践的な授業内容を展開する。	

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目	
			必修	選択			
専門基礎科目	神経学Ⅰ（基礎）	後藤 純信	2 3	1		30	日本脳神経外科学会 専門医, 日本臨床神経生理学会 脳波分野および神経伝導・筋電図分野 専門医 大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「神経学Ⅰ（基礎）」の講義を展開する。
	神経学Ⅱ（臨床）	後藤 純信	2 3	1		30	日本脳神経外科学会 専門医, 日本臨床神経生理学会 脳波分野および神経伝導・筋電図分野 専門医 大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「神経学Ⅱ（臨床）」の講義を展開する。
	精神医学Ⅰ（総論・各論）	原 富英	2 3	1		30	精神科医師・公認心理師病院等において精神科医師として（精神医学）の知識・技術に関する長年の実務経験を有し、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など 取り入れながら「精神医学Ⅰ」の講義を展開する。
	精神医学Ⅱ（各論）	原 富英	2 3		1	30	精神科医師・公認心理師病院等において精神科医師として（精神医学）の知識・技術に関する長年の実務経験を有し、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など 取り入れながら「精神医学Ⅱ」の講義を展開する。
	リハビリテーション医学	田中 順子	1	1		30	リハビリテーション科専門医、整形外科専門医
	小児科学	濱本 邦洋	2 3	1		30	小児科医師、小児科専門医、小児循環器専門医30年以上、福岡大学医学部・病院において小児医療（一般小児科および小児循環器）の知識・技術に関する実務経験および医学部教育の実務経験あり。その後は当大学での学生教育および高木病院小児科で小児循環器外来、柳川療育センターで重症心身障児の実務経験を10年以上続けている。以上の経験を生かし、小児科学の講義においては実際の事例などを取り入れながら「小児科学」の講義を展開する。
	老年学	岸 拓弥	2 3	1		30	循環器内科を専門とする内科学全般の高齢者診療に23年間従事してきた。教科書に書いてあることだけではなく実務経験でのエピソードを交えながら実践的な授業内容を展開する。
	臨床薬理学概論	永倉 透記	1	1		15	薬剤師、医薬品研究開発新薬研究開発の展望等を挿入する。
	栄養学	小野 美咲	1 2 3 4		1	15	資格：管理栄養士 実務経験等：管理栄養士養成校での教育研究業務医療従事者として最低限備えておくべき栄養学について講義を行う
	人間発達学	高嶋 美和	1	1		30	理学療法士、認定理学療法士（発達障害）、呼吸療法認定士 肢体不自由児・重症心身障児施設における実務経験を生かし、発達学的な視点で授業を展開する。
	運動学Ⅰ（基礎）	永井 良治	1	1		30	病院勤務において理学療法の実務経験を有する。臨床経験を生かし運動学の講義を展開する。
	運動学Ⅱ（応用）	永井 良治	1	1		30	病院勤務において理学療法の実務経験を有する。臨床経験を生かし運動学の講義を展開する。
	運動学演習Ⅰ（基礎）	高野吉朗 他 オムニバス	2	1		45	理学療法士病院における理学療法士に関する実務経験を有しており、授業においては、事務の事例など取り入れながらオムニバス担当教員と一緒に展開する。
	運動学演習Ⅱ（応用）	岡真一郎 他 オムニバス	2	1		45	理学療法士病院等において理学療法士の知識・技術に関する実務経験を有している。授業ではその経験を生かし、臨床での理学療法と実習内容を関連付けながら「運動学演習Ⅱ（応用）」を展開する。
専門科目	理学療法概論	金子秀雄 他 オムニバス	1	2		30	理学療法士、専門理学療法士様々な理学療法の専門分野に携わった実務経験を生かし、授業を展開する。
	PTスキルⅠ演習	永井 良治 他	1	1		30	資格 理学療法士病院での実務経験を有しており、その経験を活かし講義を展開する
	PTスキルⅡ演習（課題学習・口頭試問）	堀本 ゆかり 他	2	1		30	資格：理学療法士, 実務経験：理学療法士として医療機関の業務経験を有する病院、老人保健施設、訪問リハビリテーションなどの実務経験を有しており、その経験から得た知識・技術を実際の事例などを提示し「PTスキルⅡ演習」の実習を展開する。
	PTスキルⅣ演習（口頭試問・OSCE・CBT）	中原 雅美 他	3	2		60	理学療法士医療福祉の経験を基に授業を展開する。

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
病態運動学	高野 吉朗	3	1		30	理学療法士病院における理学療法士に関する実務経験を有しており、授業においては、事務の事例など取り入れながら「病態運動学」の講義を展開する。
運動解剖学	永井 良治	1	1		30	病院において実務経験を有する。臨床経験を生かし講義を展開する。
理学療法用語論	中原 雅美	1	1		15	理学療法士・専門理学療法士病院における理学療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、実例などを取り入れながら「理学療法用語論」の講義を展開する。
バイオメカニクス	金子 秀雄	1	1		15	理学療法士・専門理学療法士病院における理学療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、実例などを取り入れながら「バイオメカニクス」の講義を展開する。
理学療法評価学	鈴木 あかり	1	2		30	理学療法士病院での理学療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実例などを取り入れながら「理学療法評価学」の講義を展開する。
理学療法診断学Ⅰ（基礎）	堀本ゆかり 他 オムニバス	2	2		60	資格：理学療法士、実務経験：理学療法士として医療機関の業務経験有病院等において理学療法の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、授業においてはすべての担当教員が連携しながら講義を展開する。
理学療法診断学Ⅱ（疾患編）	永井良治 他 オムニバス	2	1		30	病院において中枢神経系の理学療法の実務経験経験を生かし、授業においては、実際の事例などを取り入れながら講義を展開する。
理学療法診断学Ⅲ（神経診断学）	永井良治 他 オムニバス	2	1		15	病院において中枢神経系の理学療法の実務経験病院での実務経験を有しており、その経験から得た知識・技術を実際の事例などを提示し「理学療法診断学Ⅲ（神経診断学）の演習を展開する。
理学療法診断学Ⅳ（電気診断学）	金子 秀雄	2 3 4		1	15	理学療法士・専門理学療法士病院における理学療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、実例などを取り入れながら「理学療法診断学Ⅳ（電気診断学）」の講義を展開する。
高次脳機能障害学	堀本 ゆかり	2 3 4		1	15	理学療法士、臨床では脳血管障害や頭部外傷、認知症の症例を多数経験している。臨床実習および国家試験に向けた高次脳機能障害の病態の理解を促すために、臨床経験も踏まえて解説する。
物理療法学Ⅰ（基礎）	松田 憲亮	2	1		30	資格：理学療法士、実務経験等：理学療法士として医療機関における物理療法業務に携わる。医療機関等において理学療法士および物理療法の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例などを取り入れながら「物理療法学Ⅰ基礎」の講義を展開する。
物理療法学Ⅱ（応用）	松田憲亮 他 オムニバス	2	1		30	資格：理学療法士、実務経験等：理学療法士として医療機関における臨床業務、物理療法業務に携わる。医療機関等にて理学療法士・物理療法の知識・技術に関する実務経験臨床経験を有しており、その経験を生かし、演習においては、実際の事例など取り入れながら「物理療法学Ⅱ応用」の演習をオムニバス担当教員と一緒に展開する。
運動療法学総論	下田 武良	2	2		30	資格：理学療法士、実務：理学療法士として医療機関の勤務経験有、病院等において理学療法士の知識・技術に関する臨床経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「運動療法学総論」の講義を展開する。
生活技術学	中原 雅美	2	2		30	理学療法士医療福祉の経験を基に授業を展開する。
生活環境学	高野 吉朗	2	2		30	理学療法士病院における理学療法士に関する実務経験を有しており、授業においては、事務の事例など取り入れながら「生活環境学」の講義を展開する。
義肢学	金子秀雄 他 オムニバス	2	2		30	理学療法士・専門理学療法士病院における理学療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、実例などを取り入れながら「義肢学」の講義を展開する。
装具学	松田 憲亮	2	2		30	資格：理学療法士、実務経験等：理学療法士として医療機関における臨床業務、装具や車いす作製に関する業務に携わる。医療機関等において理学療法士および装具の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実例や現場の課題などを取り入れながら「装具学」の講義を展開する。

専門教育科目

専門科目

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
理学療法治療総論	下井俊典 他 オムニバス	3	1		15	理学療法士病院等において理学療法士の知識・技術に関する実務経験を有している。授業ではその経験を生かし、実際の事例など取り入れながら講義を展開する。
運動系理学療法学Ⅰ (基礎)	大古場 良太	3	2		30	資格：理学療法士,実務：理学療法士として医療機関の勤務経験有 病院等において理学療法士の知識・技術に関する臨床経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の症例など取り入れながら「運動系理学療法学Ⅰ(基礎)」の講義を展開する。
運動系理学療法学Ⅱ (応用)	鈴木 あかり	3	2		30	理学療法士病院での理学療法士の知識・技術に関する臨床経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実例などを取り入れながら「運動系理学療法学Ⅱ(応用)」の講義を展開する。
神経系理学療法学Ⅰ(脳血管)	堀本 ゆかり	3	2		30	理学療法士,臨床では、脳血管障害及び脊髄損傷の症例を多数経験している。臨床実習および国家試験に向けた疾患の理解を、臨床経験も踏まえて解説する。また、脳血管障害者の疑似歩行体験装具なども取り入れ、体感的な理解を促す。
神経系理学療法学Ⅱ(神経筋)	金子 秀雄	3	2		30	理学療法士・専門理学療法士病院における理学療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、実例などを取り入れながら「神経系理学療法学Ⅱ」の講義を展開する。
小児理学療法学	高嶋 美和	2	2		30	理学療法士、認定理学療法士(発達障害)、呼吸療法認定士肢体不自由児・重症心身障害児施設における実務経験を生かし、画像・動画による実際の事例を紹介しながら授業を展開する。
呼吸器系理学療法学	金子 秀雄	3	2		30	理学療法士・専門理学療法士病院における理学療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、実例などを取り入れながら「呼吸器系理学療法学」の講義を展開する。
循環器系理学療法学	濱地 望	3	1		15	資格：理学療法士,認定理学療法士(循環)病院等において理学療法士の知識・技術に関する臨床経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「循環器系理学療法学」の講義を展開する。
代謝系理学療法学	岡 真一郎	3	1		15	理学療法士病院等において理学療法士の知識・技術に関する実務経験および大学でのメタボリックシンドローム対策研究に従事してきた。授業ではその経験を生かし、実際の事例など取り入れながら「代謝系理学療法」の講義を展開する。
地域理学療法学演習 (在宅・地域)	中原 雅美	3	2		30	理学療法士医療福祉の経験を基に授業を展開する。
老人理学療法学	中原 雅美	2	1		15	理学療法士医療福祉の経験を基に授業を展開する。
スポーツ理学療法学	大古場 良太	3 4		1	15	資格：理学療法士,実務経験等：理学療法士として医療機関における臨床業務に携わる病院等において理学療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、講義においては実際の事例などを取り入れながら「スポーツ理学療法学」の講義を展開する。
障害者スポーツⅠ(入門)	下田武良 他 オムニバス	1 2 3 4		1	15	上級障がい者スポーツ指導員、スポーツ理学療法推進協力者、《経歴・講義について》、東京2020パラリンピック 陸上競技メディカルスタッフ、全国障害者スポーツ大会 福岡県代表団(陸上コーチ)、車椅子ツインバスケットボール トレーナー、初級・中級障がい者スポーツ指導員養成講習会講師 「障がい者スポーツ分野において全般的な知識、技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、授業においては、実例や現場の課題などを題材として取り入れながら講義を展開する。」
障害者スポーツⅡ(応用)	下田武良 他 オムニバス	3 4		1	45	上級障がい者スポーツ指導員、スポーツ理学療法推進協力者、《経歴・講義について》、東京2020パラリンピック 陸上競技メディカルスタッフ、全国障害者スポーツ大会 福岡県代表団(陸上コーチ)、車椅子ツインバスケットボール トレーナー、初級・中級障がい者スポーツ指導員養成講習会講師 「障がい者スポーツ分野において全般的な知識、技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、授業においては、実例や現場の課題などを題材として取り入れながら講義を展開する。」

専門教育科目
専門科目

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目	
			必修	選択			
専門教育科目 専門科目	癌のリハビリテーション	濱地 望	2 3 4		1	15	・資格：理学療法士，3学会合同呼吸療法認定士， がんリハビリテーション研修終了病院等において理学療法士の知識・技術に関する臨床経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「癌のリハビリテーション」の講義を展開する。
	福祉住環境論	中原 雅美	3 4		1	15	理学療法士医療福祉の経験を基に授業を展開する。
	理学療法技術学	永井良治 他 オムニバス	3 4		1	30	理学療法士・専門理学療法士病院における理学療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、実例などを取り入れながら「理学療法技術学」の講義をオムニバス担当教員と一緒に展開する。
	理学療法特論Ⅰ（基礎）	金子 秀雄 他	4	1		30	理学療法士、専門理学療法士及び認定理学療法士様々な理学療法の専門分野に携わった実務経験を生かし、授業を展開する。
	理学療法特論Ⅱ（総合）	金子 秀雄 他	4	1		30	理学療法士、専門理学療法士及び認定理学療法士様々な理学療法の専門分野に携わった実務経験を生かし、授業を展開する。
	卒業研究	永井 良治 他	4		4	180	理学療法士理学療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、「卒業研究」の研究指導を展開する。
	基礎実習	堀本 ゆかり 他	1		1	45	資格：理学療法士，実務経験等：理学療法士として医療機関、介護保険領域施設における臨床業務に携わる。医療機関等において理学療法の知識、技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、実習においては、医療施設や介護保険領域施設等の課題等の題材として取り入れながら、オムニバス教員と一緒に実習を展開する。
検査実習	松田 憲亮 他	2 3		1	45	資格：理学療法士，実務経験等：理学療法士として医療機関、介護保険領域施設における臨床業務に携わる。医療機関等において理学療法の知識、技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、実習においては、医療施設や介護保険領域施設等の課題等の題材として取り入れながら、オムニバス教員と一緒に実習を展開する。	

卒業要件単位数 (2021年度入学生)	126	単位
実務経験のある教員等による授業科目	117	単位

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目	
				必修	選択			
総合教育科目	人間系	文学論	山内 則史	1 2 3 4		2	30	新聞記者として文芸分野を担当。記者の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中の文学を意識させながら授業を展開する。
		死生学 一死を通して生を考える一	小野 充一	1 2 3 4		2	30	担当教員は、小児外科からがん治療、さらには緩和医療の臨床現場を経験しており、現在は在宅ケアを中心とした地域医療の実践から臨床死生学の実践を継続している。小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きのびる知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。
		演劇論	山内 則史	1 2 3 4		1	15	新聞記者として演劇を担当。取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。
		心理学	義田 俊之	1 2 3 4		2	30	公認心理師・臨床心理士の取得者であり、精神科、中学・高校での実務経験を有する。臨床経験を生かし、「心理学」の講義を展開する。
		人間学	原 富英	1 2 3 4		2	30	《資格等》 精神科医師・公認心理師、《経歴・講義について》病院等において精神科医師として（精神医学）の知識・技術に関する長年の実務経験を有する。実務経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れ足り、教養学を高めるために「人間学」の講義を展開する。
	宗教学	戸松 義晴	1 2 3 4		2	30	平成22年4月財団法人全日本仏教会事務総長（平成24年3月退任）、平成22年4月財団法人日本宗教連盟幹事、平成23年度事務局長（平成24年3月迄）、平成30年6月公益財団法人全日本仏教会事務総長（現在に至る）、平成30年6月公益財団法人日本宗教連盟幹事（現在に至る）、平成22年4月文化庁・宗教法人審議会委員（平成24年3月迄）、平成23年5月文化庁・宗教法人制度の運用等に関する調査研究の協力者会議協力者、平成23年5月文化庁・不活動宗教法人対策推進会議委員、平成23年6月文化庁・宗教法人実務研修会企画案選定委員会委員（平成25年3月迄）、平成23年10月経済産業省・平成23年度 安心と信頼のある「ライフエンディング・ステージ」の創出に向けた普及啓発に関する研究会・委員（平成24年3月迄）、平成24年4月文化庁・宗教法人等の運営に係る調査会議委員（平成27年3月迄）、平成30年4月文化庁・宗教法人審議会委員（現在に至る）、平成24年4月公益社団法人生命科学振興会 理事（現在に至る）、平成16年4月World Fellowship of Buddhist（世界仏教徒連盟）執行役員（現在に至る）ハーバード大学神学校での諸宗教の方々との出会い、全日本仏教会事務総長、日本宗教連盟事務局長として、改正臓器移植法案、尊厳死、安楽死、生殖補助医療などについて宗教者代表として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のこころに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。	

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目	
				必修	選択			
総合教育科目	社会系	経済の仕組み	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	濱本邦洋 他 オムニバス	2 3 4	1		15	《資格等》小児科医師、小児科専門医、小児循環器専門医、《経歴講義について》30年以上、福岡大学医学部・病院において小児医療（一般小児科および小児循環器）の知識・技術に関する実務経験および医学部教育を行ってきた。その後は当大学での学生教育および高木病院小児科で小児循環器外来、柳川療育センターで重症心身障児の実務経験を12年続けている。海外研修に関しては、国際交流委員として、海外研修での健康管理について研修前の事前教育や研修中の健康相談に対応している。また、韓国、ベトナム、モンゴル等の豊富な海外研修引率業務経験を踏まえての、「海外保健福祉事情」の講義・実習を展開する。
		国際関係論	村上 大介	1 2 3 4		2	30	日本の全国紙記者として、主に海外取材部門で長年勤務経験を積んだ。海外支局に通算4回（中東・欧州）駐在したほか、各地に出張取材。本社の国際ニュース部門の責任者なども務めた。基礎知識を身につけるとい授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
		ボランティア論	大石 剛史	1 2 3 4		2	30	・社会福祉士 ・自治体、地域福祉計画策定アドバイザー等 ・社会福祉協議会実践アドバイザー等 ・IUHWボランティアセンター長（ボランティアコーディネート力検定3級） ボランティアセンター等での支援経験を授業内で活用する（対面授業）
		国際医療福祉論	後藤純信 他 オムニバス	1 2 3 4		2	30	〈資格〉：日本脳神経外科学会 専門医、日本臨床神経生理学会 脳波分野および神経伝導・筋電図分野 専門医 〈経歴・講義について〉 学 歴：平成6年(1994)5月14日 韓国 ロヨラ大学シカゴ校医学部大学院科学修士課程、修士（科学）取得、平成7年(1995)9月30日 九州大学大学院医学系研究科外科系専攻博士課程修了 博士（医学）取得、平成4年(1992)10月1日 韓国ロヨラ大学医学部神経内科学講座客員研究員、平成20年4月より国際医療福祉大学九州地区 国際交流委員委員長、平成28年10月より国際医療福祉大学九州地区 国際研修 健康相談センター業務大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
	社会保障制度論	田島 望	1 2 3 4		2	30	資格：社会福祉士 実務経験：ソーシャルワーカーとして在日外国人生活保護世帯の相談支援業務、地域福祉（活動）計画策定、小規模多機能事業所運営推進委員、障害児福祉サービス事業所理事等、ソーシャルワーク研究に15年携わる。ソーシャルワークにおける人々の生活支援において社会保障の知識は欠かすことができない。私たちの生活における社会保障制度の活用や課題について、実例を用いながら生活とむすびついたイメージがもてるよう展開していく。	
総合系	大学入門講座Ⅰ（基礎）	永沢 善三 他 オムニバス	1		1	15	各回、専門職として活躍する教員（医師を含む）・関連職員が講義を担当する。臨床現場における自職種の役割と多職種との関わり、連携を実務経験に基づき展開する。	

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
専門教育科目 専門基礎科目	公衆衛生学	財津 裕一	1	2	30	保健医療福祉行政の第一線機関である福岡県保健福祉環境事務所（保健所と福祉事務所の統合組織）や県庁各課において所属長として業務遂行行政施策の運用の実際を理解することにより、行政施策に協力し、かつ、自らの業務に十分活用できる職業人としての資質を身に付ける
	保健医療福祉制度論	財津 裕一	1 2 3 4	2	30	保健医療福祉行政の第一線機関である福岡県保健福祉環境事務所（保健所と福祉事務所の統合組織）や県庁各課において所属長として業務遂行行政施策の運用の実際を理解することにより、行政施策に協力し、かつ、自らの業務に十分活用できる職業人としての資質を身に付ける
	リハビリテーション概論	金子秀雄 他 オムニバス	1	2	30	理学療法士、専門理学療法士、作業療法士、言語聴覚士理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の実務経験を踏まえて、理学療法士の職能及び学術的な視点に加え、作業療法士及び言語聴覚士を含むリハビリテーション関連職種に関する職能及び学術的な視点についても授業を展開する。
	臨床心理学概論	義田 俊之	2	2	30	公認心理師・臨床心理士の取得者であり、精神科、中学・高校での実務経験を有する。臨床経験を生かし、「臨床心理学概論」の講義を展開する。
	救急医学	長谷川 雄	2	1	15	科目担当責任者は脳神経外科専門医、脳卒中治療専門医として長年臨床医学に従事している。また、基礎医学研究者として、脳疾患における生理学的・薬理学的研究成果を数多く国際誌に発表している。脳神経外科患者の治療を通して得た経験と基礎医学領域での研究から得た知見とを講義に取り入れ、学生の皆さんに分かりやすく講義を行う。
	関連職種連携論	下井 俊典 他	2	2	30	日本保健医療福祉連携教育学会常任理事（下井）
	関連職種連携実習	佐藤 信也 他	4	1	45	各職種の経験豊富な指導者が指導を担当する。実習施設の各専門職の豊富な実務経験から実習指導を受けることで、生きた学習ができる。連携論、連携ワークで学んだIPEを活かし、保健医療福祉に携わる専門職として、IPCに必要なコンピテンシーを学修する。
	解剖学実習	石橋 英恵	1	1	45	作業療法士作業療法士の知識・技術を有しており、その知見を活かし、作業療法に必要な解剖学の授業を展開する。
	生理学実習	森本 幸生 他	1	1	45	〈資格〉：日本脳神経外科学会 専門医、日本臨床神経生理学会 脳波分野および神経伝導・筋電図分野 専門医 〈経歴・講義について〉、大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する以下の実務経験を有している。臨床神経学の経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「生理学実習」の講義を展開する。
	病理学	戸田 修二	1	1	30	病理学領域の専門職として活動する経験豊かな教員が講義を担当する臨床現場における病理学領域の豊富な経験を基盤にした実践的な授業を展開する
	臨床医学概論	長谷川 雄	1 2 3 4	1	30	科目担当責任者は脳神経外科専門医、脳卒中治療専門医として長年臨床医学に従事している。また、基礎医学研究者として、脳疾患における生理学的・薬理学的研究成果を数多く国際誌に発表している。脳神経外科患者の治療を通して得た経験と基礎医学領域での研究から得た知見とを講義に取り入れ、学生の皆さんに分かりやすく講義を行う。
	内科学Ⅰ（基礎）	岸 拓弥	2 3	1	30	循環器内科を専門とする内科学全般の診療に23年間従事してきた。教科書に書いてあることだけではなく実務経験でのエピソードを交えながら実践的な授業内容を展開する。
内科学Ⅱ（臨床）	岸 拓弥	2 3	1	30	循環器内科を専門とする内科学全般の診療に23年間従事してきた。教科書に書いてあることだけではなく実務経験でのエピソードを交えながら実践的な授業内容を展開する。	

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
専門基礎科目	神経学Ⅰ（基礎）	後藤 純信	2 3	1	30	日本脳神経外科学会 専門医 日本臨床神経生理学会 脳波分野および神経伝導・筋電図分野 専門医 大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「神経学Ⅰ（基礎）」の講義を展開する。
	神経学Ⅱ（臨床）	後藤 純信	2 3	1	30	日本脳神経外科学会 専門医 日本臨床神経生理学会 脳波分野および神経伝導・筋電図分野 専門医 大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「神経学Ⅱ（臨床）」の講義を展開する。
	精神医学Ⅰ（総論・各論）	原 富英	2 3	1	30	精神科医師・公認心理師病院等において精神科医師として（精神医学）の知識・技術に関する長年の実務経験を有し、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など 取り入れながら「精神医学Ⅰ」の講義を展開する。
	精神医学Ⅱ（臨床）	原 富英	2 3	1	30	精神科医師・公認心理師病院等において精神科医師として（精神医学）の知識・技術に関する長年の実務経験を有し、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など 取り入れながら「精神医学Ⅱ」の講義を展開する。
	リハビリテーション医学	田中 順子	1	1	30	リハビリテーション科専門医、整形外科専門医
	小児科学	濱本 邦洋	2 3	1	30	小児科医師、小児科専門医、小児循環器専門医30年以上、福岡大学医学部・病院において小児医療（一般小児科および小児循環器）の知識・技術に関する実務経験および医学部教育の実務経験あり。その後は当大学での学生教育および高木病院小児科で小児循環器外来、柳川療育センターで重症心身障害児の実務経験を10年以上続けている。 以上の経験を生かし、小児科学の講義においては実際の事例などを取り入れながら「小児科学」の講義を展開する。
	老年学	岸 拓弥	2 3	1	30	循環器内科を専門とする内科学全般の高齢者診療に23年間従事してきた。教科書に書いてあることだけではなく実務経験でのエピソードを交えながら実践的な授業内容を展開する。
	臨床薬理学概論	永倉 透記	1	1	15	薬剤師、医薬品研究開発新薬研究開発の展望等を挿入する。
	栄養学	小野 美咲	1 2 3 4	1	15	資格：管理栄養士 実務経験等：管理栄養士養成校での教育研究業務医療従事者として最低限備えておくべき栄養学について講義を行う
	人間発達学	日田 勝子	1	1	30	理学療法士、認定理学療法士（発達障害）、呼吸療法認定士 肢体不自由児・重症心身障害児施設における実務経験を生かし、発達学的な視点で授業を展開する。
	運動学Ⅰ（基礎）	有久 勝彦	1	1	30	病院勤務において理学療法の実務経験を有する。臨床経験を生かし運動学の講義を展開する。
	運動学Ⅱ（応用）	有久 勝彦	1	1	30	病院勤務において理学療法の実務経験を有する。臨床経験を生かし運動学の講義を展開する。
	運動生理学	松野 豊	2	1	30	作業療法士急性期から回復期の病院における作業療法士の知識・技術に関する実務経験臨床経験を有しており、その経験を活かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「運動生理学」の講義を展開する。
	専門科目	作業療法概論	新川 寿子	1	1	15
作業学概論		木下 栄子	1	1	15	作業療法学科精神科臨床において作業療法士として知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、授業においては実例等を挙げながら講義を展開する。
作業工程技術学		石橋 英恵	1	1	45	作業療法士作業療法士の知識・技術を有しており、その知見を活かし、作業療法で頻度が高く用いられる手工芸の特徴と、集団をリードする際の準備と実施について、演習を通じて授業展開する。
作業分析学		石橋 英恵	2	1	45	作業療法士作業療法士の知識・技術を有しており、その知見を活かし、作業療法に必要な分析学の授業を展開する。
作業応用論		石橋 英恵	2 3 4	1	30	作業療法士作業療法士としての知識と技術を有しており、その知見を基に「生活の中の作業」・「治療としての作業」の講義を展開する。

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
研究法概論	後藤 純信	3	1		15	日本脳神経外科学会 専門医 日本臨床神経生理学会 脳波分野および神経伝導・筋電図分野 専門医大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「研究法概論」の講義を展開する。
卒業研究	日田 勝子 他	4		4	120	作業療法士作業療法の実務経験を有しており、その経験を活かし教授する。
作業療法倫理・管理	日田勝子 他 オムニバス	4	1		15	作業療法士作業療法の実務経験を有しており、その経験を活かし教授する。
作業療法評価学概論	原 麻理子	2	1		15	資格：認定作業療法士 高次脳機能障害専門作業療法士 臨床経験：医療機関にて作業療法の実務経験あり実務経験を活かし、事例を含めた授業を展開する。
作業療法評価学各論	原 麻理子	2	1		30	資格：認定作業療法士 高次脳機能障害専門作業療法士 臨床経験：病院にて身体障害領域に対する作業療法の実務経験あり講義：実務経験を生かし、事例を含めた授業を展開する。
作業療法評価学演習	木下栄子 他 オムニバス	2	1		30	作業療法士病院において作業療法士として知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実例等を挙げながらオムニバス担当教員が講義を展開する。
基礎運動機能評価法	松野豊 他 オムニバス	2	1		30	作業療法士急性期から回復期の病院、訪問リハ等にて作業療法士の知識・技術に関する実務経験臨床経験を有しており、その経験を活かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「基礎運動機能評価法」の講義を展開する。
生活機能評価法	長谷 麻由	2	1		30	作業療法士・相談支援専門員急性期病院・行政において作業療法士および相談支援専門員の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、授業においては、実際の事例などを取り入れながら「生活機能評価法」の講義を展開する。
上肢機能評価法	松野豊 他 オムニバス	2	1		15	作業療法士急性期から回復期の病院、訪問リハ等にて作業療法士の知識・技術に関する実務経験臨床経験を有しており、その経験を活かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「上肢機能評価法」の講義を展開する。
高次脳機能評価法	原 麻理子	2	1		15	資格：認定作業療法士 高次脳機能障害専門作業療法士 臨床経験：病院にて高次脳機能障害に対する作業療法の実務経験あり実務経験を生かし、事例を含めた授業を展開する。
作業療法諸理論	石橋 英恵	2 3 4		1	15	作業療法士 作業療法士の知識・技術を有しており、その知見を活かし、各分野で使用される理論の背景と臨床との関係について授業を展開する。
作業療法適応学概論	新川 寿子	2	1		15	資格：認定作業療法士 高次脳機能障害専門作業療法士 臨床経験：病院にて身体障害領域に対する作業療法の実務経験あり実務経験を生かし、事例を含めた授業を展開する。
内科系疾患作業療法学	松野 豊	3	1		30	資格：作業療法士急性期から回復期の病院、訪問リハ等にて作業療法士の知識・技術に関する実務経験臨床経験を有しており、その経験を活かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「内科系作業療法学」の講義を展開する。
運動器疾患作業療法学	長谷 麻由	3	1		30	作業療法士・相談支援専門員急性期病院・行政において作業療法士および相談支援専門員の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、授業においては、実際の事例などを取り入れながら「運動器疾患作業治療学」の講義を展開する。
中枢神経疾患作業療法学Ⅰ（総論）	原 麻理子	3	1		30	資格：認定作業療法士 高次脳機能障害専門作業療法士 臨床経験：病院にて中枢神経疾患に対する作業療法の実務経験あり実務経験を生かし、事例を含めた授業を展開する。
中枢神経疾患作業療法学Ⅱ（各論）	松野豊 他 オムニバス	3	1		30	作業療法士急性期から回復期の病院、訪問リハ等にて作業療法士の知識・技術に関する実務経験臨床経験を有しており、その経験を活かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「中枢神経障害作業治療学Ⅱ（応用論）」の講義をオムニバス担当教員と一緒に展開する。
中枢神経障害作業療法学Ⅲ（特論）	原 麻理子	3 4		1	15	資格：認定作業療法士 高次脳機能障害専門作業療法士 臨床経験：病院にて脳損傷者に対する作業療法の実務経験あり実務経験を生かし、事例を含めた授業を展開する。

専門教育科目

専門科目

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
精神疾患作業療法学Ⅰ（総論）	木下 栄子	3	1		30	作業療法士精神科病院において作業療法士として知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実例等を挙げながら講義を展開する。
精神疾患作業療法学Ⅱ（各論）	木下 栄子	3	1		30	作業療法士精神科病院において作業療法士として知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実例等を挙げながら講義を展開する。
精神疾患作業療法学Ⅲ（特論）	木下 栄子	3 4		1	15	作業療法士病院において作業療法士として知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実例等を挙げながら講義を展開する。
小児作業療法学Ⅰ（総論）	日田 勝子	3	1		30	作業療法士として小児領域における施設・医療機関・教育機関などの業務、研究に携わる。発達障害に関する作業療法の実務経験を有しており、その経験を活かし、発達障害の基礎的知識を教授する。
小児作業療法学Ⅱ（各論）	日田 勝子	3	1		30	作業療法士として小児領域における施設・医療機関・教育機関などの業務、研究に携わる。発達障害に対する作業療法の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、発達障害の作業療法について教授する。
小児作業療法学Ⅲ（特論）	日田 勝子	3 4		1	15	作業療法士として小児領域における施設・医療機関・教育機関などの業務、研究に携わる。発達障害に対する作業療法の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、発達障害の作業療法について教授する。
老年作業療法学	平賀 勇貴	3	1		30	作業療法士病院において作業療法士として知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実例等を挙げながら講義を展開する。
認知障害作業療法学	原 麻理子	3	1		30	資格：認定作業療法士 高次脳機能障害専門作業療法士 臨床経験：病院にて高次脳機能障害に対する作業療法の実務経験あり実務経験を生かし、事例を含めた授業を展開する。
作業療法応用学概論	松野豊 他 オムニバス	4	1		15	資格：作業療法士 臨床経験：病院にて身体障害領域に対する作業療法の実務経験あり 実務経験を生かし、他教員と共に臨床的応用技術を含めた指導を展開する。
就学・就労支援論	多賀 誠	3	1		15	作業療法士病院、就労支援施設において作業療法士として知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実例等を挙げながら講義を展開する。
生活技術学Ⅰ（総論）	長谷麻由 他 オムニバス	3	1		30	作業療法士・相談支援専門員急性期病院・行政において作業療法士および相談支援専門員の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、授業においては、実際の事例などを取り入れながら「生活技術学Ⅰ」の講義を展開する。
生活技術学Ⅱ（各論）	長谷 麻由	3	1		30	作業療法士・相談支援専門員急性期病院・行政において作業療法士および相談支援専門員の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、授業においては、実際の事例などを取り入れながら「生活技術学Ⅱ」の講義を展開する。
コミュニケーション技術論	木下 栄子 他 オムニバス	3	1		30	精神科作業療法士精神科臨床において作業療法士として知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、授業においては実例等を挙げながら講義を展開する。
職業関連技術学	多賀誠 他 オムニバス	3	1		30	作業療法士病院、就労支援施設において作業療法士として知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実例等を挙げながら講義を展開する。
地域生活作業療法論	新川 寿子	3	1		15	作業療法士障害児・高齢者施設等での作業療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし事例等を取り入れながら、オムニバス担当教員と共に講義を展開する。
地域ケアシステム論	新川 寿子	3	1		15	作業療法士、介護支援専門員介護保険関連施設にて作業療法士および介護支援専門員の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、事例等を取り入れながら講義を展開する。
地域生活支援論	新川 寿子	3 4		1	15	作業療法士、介護支援専門員介護保険関連施設にて作業療法士および介護支援専門員の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、事例等を取り入れながら講義を展開する。
障害代償学概論	新川 寿子	2	1		15	作業療法士 障害児・高齢者施設等での作業療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし事例等を取り入れながら、講義を展開する。

専門教育科目

専門科目

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
専門教育科目	義肢適用論	平賀 勇貴	3	1	15	作業療法士病院での作業療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし事例等を取り入れながら、講義を展開する
	装具・副子適用論	平賀 勇貴	3	1	30	作業療法士病院での作業療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし事例等を取り入れながら、講義を展開する
	自助具・福祉機器適用論	新川 寿子	3	1	30	作業療法士障害児・高齢者施設等での作業療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし事例等を取り入れながら、講義を展開する
	住環境整備論	平賀 勇貴	3	1	15	作業療法士病院での作業療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし事例等を取り入れながら、講義を展開する
	バリアフリー論	平賀 勇貴	2 3		15	作業療法士病院での作業療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし事例等を取り入れながら、講義を展開する
	作業療法総括論	新川寿子 他 オムニバス	4	1	30	作業療法士施設等において作業療法士として知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実例等を挙げながらオムニバス担当教員と講義を展開する。
	基礎実習	石橋英恵 他 オムニバス	1	1	45	作業療法士地域施設での作業療法士の知識・技術を有しており、その経験を活かし、医療・福祉施設や地域社会における作業療法の実践について実習を企画する。
	検査実習	松野豊 他 オムニバス	2	1	45	資格：作業療法士 臨床経験：病院にて身体障害領域に対する作業療法の実務経験あり実務経験を生かし、他教員と共に臨床的応用技術を含めた指導を展開する。
	地域生活支援実習	有久勝彦 他 オムニバス	3	2	90	作業療法士地域施設での作業療法士の知識・技術を有しており、その経験を活かし、地域における作業療法の実践について実習を企画する。
	評価実習	原麻理子 他 オムニバス	3	3	135	作業療法士病院等での作業療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、事例に対する作業療法評価や計画の実践について、他の科目担当教員とともに実習を展開する
総合実習	長谷麻由 他 オムニバス	4	16	720	急性期病院・行政において作業療法士および相談支援専門員の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、「総合実習」の講義を展開する。病院において作業療法士として知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし実習指導においては実例等を挙げながらオムニバス担当教員が指導を展開する。	

卒業要件単位数 (2020年度入学生)	126	単位
実務経験のある教員等による授業科目	126	単位

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目	
				必修	選択			
総合教育科目	人間系	文学論	山内 則史	1 2 3 4		2	30	新聞記者として文芸分野を担当。記者の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中の文学を意識させながら授業を展開する。
		死生学 一死を通して生を考える一	小野 充一	1 2 3 4		2	30	担当教員は、小児外科からがん治療、さらには緩和医療の臨床現場を経験しており、現在は在宅ケアを中心とした地域医療の実践から臨床死生学の実践を継続している。小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きのびる知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。
		演劇論	山内 則史	1 2 3 4		1	15	新聞記者として演劇を担当。取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。
		心理学	義田 俊之	1 2 3 4		2	30	公認心理師・臨床心理士の取得者であり、精神科、中学・高校での実務経験を有する。臨床経験を生かし、「心理学」の講義を展開する。
		人間学	原 富英	1 2 3 4		2	30	《資格等》 精神科医師・公認心理師 《経歴・講義について》病院等において精神科医師として（精神医学）の知識・技術に関する長年の実務経験を有する。実務経験を生かし、授業においては、実際の事例など 取り入れ足り、教養学を高めるために「人間学」の講義を展開する。
	宗教学	戸松 義晴	1 2 3 4		2	30	平成22年4月財団法人全日本仏教会事務総長（平成24年3月退任）、平成22年4月財団法人日本宗教連盟幹事、平成23年度事務局長（平成24年3月迄）、平成30年6月公益財団法人全日本仏教会事務総長（現在に至る）、平成30年6月公益財団法人日本宗教連盟幹事（現在に至る）、平成22年4月文化庁・宗教法人審議会委員（平成24年3月迄）、平成23年5月文化庁・宗教法人制度の運用等に関する調査研究の協力者会議協力者、平成23年5月文化庁・不活動宗教法人対策推進会議委員、平成23年6月文化庁・宗教法人実務研修会企画案選定委員会委員（平成25年3月迄）、平成23年10月経済産業省・平成23年度 安心と信頼のある「ライフエンディング・ステージ」の創出に向けた普及啓発に関する研究会・委員（平成24年3月迄）、平成24年4月文化庁・宗教法人等の運営に係る調査会議委員（平成27年3月迄）、平成30年4月文化庁・宗教法人審議会委員（現在に至る）、平成24年4月公益社団法人生命科学振興会 理事（現在に至る）、平成16年4月World Fellowship of Buddhist（世界仏教徒連盟）執行役員（現在に至る）ハーバード大学神学校での諸宗教の方々との出会い、全日本仏教会事務総長、日本宗教連盟事務局長として、改正臓器移植法案、尊厳死、安楽死、生殖補助医療などについて宗教者代表として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のこころに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。	

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目	
				必修	選択			
総合教育科目	社会系	経済の仕組み	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	濱本邦洋 他 オムニバス	2 3 4	1		15	《資格等》小児科医師、小児科専門医、小児循環器専門医 《経歴講義について》30年以上、福岡大学医学部・病院において小児医療（一般小児科および小児循環器）の知識・技術に関する実務経験および医学部教育を行ってきた。その後は当大学での学生教育および高木病院小児科で小児循環器外来、柳川療育センターで重症心身障碍児の実務経験を12年続けている。海外研修に関しては、国際交流委員として、海外研修での健康管理について研修前の事前教育や研修中の健康相談に対応している。また、韓国、ベトナム、モンゴル等の豊富な海外研修引率業務経験を踏まえての「海外保健福祉事情」の講義・実習を展開する。
		国際関係論	村上 大介	1 2 3 4		2	30	日本の全国紙記者として、主に海外取材部門で長年勤務経験を積んだ。海外支局に通算4回（中東・欧州）駐在したほか、各地に出張取材。本社の国際ニュース部門の責任者なども務めた。基礎知識を身につけるという授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
		ボランティア論	大石 剛史	1 2 3 4		2	30	・社会福祉士 ・自治体、地域福祉計画策定アドバイザー等 ・社会福祉協議会実践アドバイザー等 ・IUHWボランティアセンター長（ボランティアコーディネート力検定3級） ボランティアセンター等での支援経験を授業内で活用する（対面授業）
		国際医療福祉論	後藤純信 他 オムニバス	1 2 3 4		2	30	〈資格〉：日本脳神経外科学会 専門医、日本臨床神経生理学会 脳波分野および神経伝導・筋電図分野 専門医 〈経歴・講義について〉 学 歴：平成6年(1994)5月14日 米国 ロヨラ大学シカゴ校医学部大学院科学修士課程、修士（科学）取得、平成7年(1995)9月30日 九州大学大学院医学系研究科外科系専攻博士課程修了 博士（医学）取得、平成4年(1992)10月1日 米国ロヨラ大学医学部神経内科学講座客員研究員、平成20年4月より国際医療福祉大学九州地区 国際交流委員委員長、平成28年10月より国際医療福祉大学九州地区 国際研修 健康相談センター業務大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
	社会保障制度論	田島 望	1 2 3 4		2	30	資格：社会福祉士 実務経験：ソーシャルワーカーとして在日外国人生活保護世帯の相談支援業務、地域福祉（活動）計画策定、小規模多機能事業所運営推進委員、障害児福祉サービス事業所理事等、ソーシャルワーク研究に15年携わる。ソーシャルワークにおける人々の生活支援において社会保障の知識は欠かすことができない。私たちの生活における社会保障制度の活用や課題について、実例を用いながら生活とむすびついたイメージがもてるよう展開していく。	
総合系	大学入門講座Ⅰ（基礎）	永沢 善三 他 オムニバス	1		1	15	各回、専門職として活躍する教員（医師を含む）・関連職員が講義を担当する。臨床現場における自職種の役割と多職種との関わり、連携を実務経験に基づき展開する。	

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
保健医療福祉制度論	財津 裕一	1	2		30	保健医療福祉行政の第一線機関である福岡県保健福祉環境事務所（保健所と福祉事務所の統合組織）や県庁各課において所属長として業務遂行行政施策の運用の実際を理解することにより、行政施策に協力し、かつ、自らの業務に十分活用できる職業人としての資質を身に付ける
臨床心理学概論	義田 俊之	2 3 4	2		30	公認心理師・臨床心理士の取得者であり、精神科、中学・高校での実務経験を有する。臨床経験を生かし、「臨床心理学概論」の講義を展開する。
公衆衛生学	財津 裕一	1 2 3 4	2		30	保健医療福祉行政の第一線機関である福岡県保健福祉環境事務所（保健所と福祉事務所の統合組織）や県庁各課において所属長として業務遂行行政施策の運用の実際を理解することにより、行政施策に協力し、かつ、自らの業務に十分活用できる職業人としての資質を身に付ける
救急医学	長谷川 雄	2 3 4	1		15	科目担当責任者は脳神経外科専門医、脳卒中治療専門医として長年臨床医学に従事している。また、基礎医学研究者として、脳疾患における生理学的・薬理学的研究成果を数多く国際誌に発表している。脳神経外科患者の治療を通して得た経験と基礎医学領域での研究から得た知見とを講義に取り入れ、学生の皆さんに分かりやすく講義を行う。
リハビリテーション概論	為数哲司 他 オムニバス	1	2		30	理学療法士、専門理学療法士、作業療法士、言語聴覚士理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の実務経験を踏まえて、理学療法士の職能及び学術的な視点に加え、作業療法士及び言語聴覚士を含むリハビリテーション関連職種に関する職能及び学術的な視点についても授業を展開する。
関連職種連携論	下井 俊典 他	2	2		30	日本保健医療福祉連携教育学会常任理事（下井）
関連職種連携実習	佐藤 信也 他	4	1		45	各職種の経験豊富な指導者が指導を担当する。実習施設の各専門職の豊富な実務経験から実習指導を受けることで、生きた学習ができる。連携論、連携ワークで学んだIPEを活かし、保健医療福祉に携わる専門職として、IPCに必要なコンピテンシーを学修する。
病理学	戸田 修二	1	1		30	病理学領域の専門職として活動する経験豊かな教員が講義を担当する臨床現場における病理学領域の豊富な経験を基盤にした実践的な授業を展開する
臨床医学概論	長谷川 雄	1	1		30	科目担当責任者は脳神経外科専門医、脳卒中治療専門医として長年臨床医学に従事している。また、基礎医学研究者として、脳疾患における生理学的・薬理学的研究成果を数多く国際誌に発表している。脳神経外科患者の治療を通して得た経験と基礎医学領域での研究から得た知見とを講義に取り入れ、学生の皆さんに分かりやすく講義を行う。
内科学Ⅰ（基礎）	岸 拓弥	2 3	1		30	循環器内科を専門とする内科学全般の診療に23年間従事してきた。教科書に書いてあることだけではなく実務経験でのエピソードを交えながら実践的な授業内容を展開する。
内科学Ⅱ（臨床）	岸 拓弥	2 3	1		30	循環器内科を専門とする内科学全般の診療に23年間従事してきた。教科書に書いてあることだけではなく実務経験でのエピソードを交えながら実践的な授業内容を展開する。
中枢神経機能学	緒方 勝也	2 3	1		30	脳神経内科医病院等において脳神経内科医の知識・実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例などを取り入れながら「中枢神経機能学」の講義を展開する。
臨床神経学	緒方 勝也	2 3	1		30	脳神経内科医臨床経験を踏まえ症例を提示しながら包括的な内容の理解に務める
精神医学	原 富英	3	1		30	精神科医師・公認心理師病院等において精神科医師として（精神医学）の知識・技術に関する長年の実務経験を有し、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「精神医学」の講義を展開する。
リハビリテーション医学	田中 順子	1	1		30	リハビリテーション科専門医、整形外科専門医

専門教育科目

専門基礎科目

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
小児科学	濱本 邦洋	2 3	1		30	小児科医師、小児科専門医、小児循環器専門医30年以上、福岡大学医学部・病院において小児医療（一般小児科および小児循環器）の知識・技術に関する実務経験および医学部教育の実務経験あり。その後は当大学での学生教育および高木病院小児科で小児循環器外来、柳川療育センターで重症心身障児の実務経験を10年以上続けている。 以上の経験を生かし、小児科学の講義においては実際の事例などを取り入れながら「小児科学」の講義を展開する。
老年学	岸 拓弥	2 3 4		1	30	循環器内科を専門とする内科学全般の高齢者診療に23年間従事してきた。教科書に書いてあることだけでなく実務経験でのエピソードを交えながら実践的な授業内容を展開する。
薬理学	永倉 透記	1 2 3 4		1	15	薬剤師、医薬品研究開発新薬研究開発の展望等を挿入する。
栄養学	小野 美咲	1 2 3 4		1	15	資格：管理栄養士 実務経験等：管理栄養士養成校での教育研究業務医療従事者として最低限備えておくべき栄養学について講義を行う
耳鼻咽喉科学	岩永康成 他 オムニバス	3	1		30	平成3年4月日本耳鼻咽喉科学会専門医取得授業においては、実際の事例など取り入れながら「耳鼻咽喉科学」の講義を展開する。 平成29年から大川看護学校にて講義を受け持ち、令和1年より当大学にて講義を担当
形成外科学	衛藤 明子	3	1		15	関連する専門職として活躍する教員が講義を担当する。言語聴覚障害に関連する先天的あるいは後天的に生じる身体部分の欠損、変形、機能障害の病態について、実務経験に基づき展開する。
臨床歯科医学	楠川仁悟 他 オムニバス	2	1		15	各回、関連する専門職として活躍する教員が講義を担当する。臨床現場における自職種の役割と多職種との関わり、連携を実務経験に基づき展開する。
口腔外科学	楠川仁悟 他 オムニバス	3	1		15	各回、関連する専門職として活躍する教員が講義を担当する。臨床現場における自職種の役割と多職種との関わり、連携を実務経験に基づき展開する。
音声言語医学	大内田博文 他 オムニバス	2	1		30	言語聴覚士免許の取得者であり、病院等の実務経験を有する。臨床経験を生かし、オムニバス教員と一緒に「音声言語医学」の講義を展開する。
聴覚医学	福井 恵子	2	1		30	担当教員は言語聴覚士免許の取得者であり、病院の耳鼻咽喉科に所属している。病院での実務経験を有し、その経験を生かし、聴覚医学の講義を展開する。
児童精神医学	原 富英	2 3 4		1	15	精神科医師・公認心理師病院等において精神科医師として（精神医学）の知識・技術に関する長年の実務経験を有し、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「児童精神医学」の講義を展開する。
臨床心理学	義田 俊之	2	1		30	公認心理師・臨床心理士の取得者であり、精神科、中学・高校での実務経験を有する。臨床経験を生かし、「臨床心理学」の講義を展開する。
生涯発達心理学	義田 俊之	1	1		30	公認心理師・臨床心理士の取得者であり、精神科、中学・高校での実務経験を有する。臨床経験を生かし、「生涯発達心理学」の講義を展開する。
学習心理学	義田 俊之	2	1		30	公認心理師・臨床心理士の取得者であり、精神科、中学・高校での実務経験を有する。臨床経験を生かし、「学習心理学」の講義を展開する。
神経心理学	石川 幸伸	2	1		30	言語聴覚士病院等において言語聴覚士の知識・実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例などを取り入れながら「神経心理学」の講義を展開する。
認知心理学	義田 俊之	1	1		30	公認心理師・臨床心理士の取得者であり、精神科、中学・高校での実務経験を有する。臨床経験を生かし、「認知心理学」の講義を展開する。
心理測定法	義田 俊之	2	1		30	公認心理師・臨床心理士の取得者であり、精神科、中学・高校での実務経験を有する。臨床経験を生かし、「心理測定法」の講義を展開する。
心理測定法演習	義田 俊之	2	1		30	公認心理師・臨床心理士の取得者であり、精神科、中学・高校での実務経験を有する。臨床経験を生かし、「心理測定法演習」の講義・演習を展開する。

専門教育科目

専門基礎科目

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
専門基礎科目	言語学	岡田 理恵子	1	1		30	理論言語学、神経言語学分野での研究業務、および言語聴覚士の臨床業務の経験を有している。言語学の研究業務、言語聴覚士の臨床業務の経験を活かし、言語学の基礎知識の習得を目指して講義を展開する。
	言語心理学	岡田 理恵子	2	1		30	言語聴覚士言語聴覚士としての病院実務経験および大学での言語研究の経験を有しており、その経験を活かし、症例等を取り入れながら、オムニバス教員と一緒に言語の処理過程について説明する。
	言語発達学	福永 陽平	2	1		30	言語聴覚士免許の取得者であり、病院等での実務経験を有する。臨床経験を生かし、事例を取り入れながら「言語発達学」の講義を展開する。
	基礎音声学	増田正彦 他 オムニバス	1	1		30	資格：言語聴覚士、言語聴覚療法の分野での実務経験33年、発声発語障害に関して幼児、学童、成人期にわたり臨床経験を有す。実際の訓練場面を紹介し、音声学の基礎と臨床とのつながりについて考察する
	音声学	岡田 理恵子	2	1		30	資格：言語聴覚士、言語聴覚療法の分野での実務経験33年、発声発語障害に関して幼児、学童、成人期にわたり臨床経験を有す実際の訓練場面を紹介し、音声学の基礎と臨床とのつながりについて考察する
専門教育科目	言語聴覚障害学概論	福永 陽平	1	1		30	病院等にて言語聴覚士の知識・技術に関する実務経験臨床経験を有している。経験を生かし、授業においては実際の事例など取り入れながら「言語聴覚障害学概論」の講義を展開する。
	コミュニケーション障害演習	福永陽平 他 オムニバス	1	1		15	言語聴覚士・認定言語聴覚士（失語・高次脳機能障害領域）病院等において言語聴覚士の実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例などを取り入れながら言語聴覚療法についての演習をオムニバス教員と一緒に展開する。
	コミュニケーション技能演習	大内田博文 他 オムニバス	2	1		30	言語聴覚士免許の取得者であり、病院や介護老人保健施設等の実務経験を有する。臨床経験を生かし、オムニバス教員と一緒に「コミュニケーション技能演習」の講義を展開する。
	言語聴覚障害診断学	大内田博文 他 オムニバス	3	1		30	言語聴覚士免許の取得者であり、病院等の実務経験を有する。病院等で言語聴覚士の実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例などを取り入れながら、オムニバス教員と一緒に「言語聴覚障害診断学」の講義を展開する。
	失語症・高次脳機能障害学総論Ⅰ	岡田 理恵子	2	1		30	言語聴覚士言語聴覚士としての病院実務経験および大学での言語研究の経験を有しており、その経験を活かし、事例を取り上げながら失語症についての講義を展開する。
	失語症・高次脳機能障害学総論Ⅱ	岡田 理恵子	2	1		30	言語聴覚士言語聴覚士としての病院実務経験および大学での言語研究の経験を有しており、その経験を活かし、事例を取り上げながら失語症についての講義を展開する。
	失語症学Ⅰ（評価・診断）	岡田理恵子 他 オムニバス	3	1		30	言語聴覚士言語聴覚士としての病院実務経験および大学での言語研究の経験を有しており、その経験を活かし、事例を取り上げながら失語症についての講義をオムニバス教員と一緒に展開する。
	失語症学Ⅱ（治療）	岡田理恵子 他 オムニバス	3	1		30	言語聴覚士言語聴覚士としての病院実務経験および大学での言語研究の経験を有しており、その経験を活かし、事例を取り上げながら失語症についての講義をオムニバス教員と一緒に展開する。
	失語症・高次脳機能障害学演習	石川幸伸 他 オムニバス	3	1		30	言語聴覚士病院等において言語聴覚士の知識・実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例などを取り入れながら「高次脳機能障害学演習」の講義をオムニバス担当教員と一緒に展開する。
	高次脳機能障害学	石川 幸伸	3	1		30	理学療法士 臨床では脳血管障害や頭部外傷、認知症の症例を多数経験している。臨床実習および国家試験に向けた高次脳機能障害の病態の理解を促すために、臨床経験も踏まえて解説する。
	言語発達障害学総論	松尾 朗	2	1		30	言語聴覚士免許の取得者であり、病院等での実務経験を有する。臨床経験を活かし、事例を取り入れながらオムニバス教員と一緒に「言語発達障害学総論」の講義を展開する。
	言語発達障害学各論	松尾 朗	2	1		30	言語聴覚士免許の取得者であり、病院等での実務経験を有する。臨床経験を活かし、事例を取り入れながら「言語発達障害学各論」の講義をオムニバス担当教員と一緒に展開する。

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
言語発達障害学Ⅰ（評価・診断）	松尾 朗 他 オムニバス	3	1		30	言語聴覚士免許の取得者であり、病院等での実務経験を有する。臨床経験を活かし、事例を取り入れながら「言語発達障害学Ⅰ（評価・診断）」の講義をオムニバス担当教員と一緒に展開する。
言語発達障害学Ⅰ演習（評価・診断）	松尾 朗 他 オムニバス	3	1		30	言語聴覚士免許の取得者であり、病院等での実務経験を有する。病院等において言語聴覚士の知識・実務経験を有しており、その経験を活かし、授業においては実際の事例などを取り入れながらオムニバス教員と一緒に「言語発達障害学Ⅰ演習（評価・診断）」の講義を展開する
言語発達障害学Ⅱ（指導）	福永陽平 他 オムニバス	3	1		30	言語聴覚士免許の取得者であり、病院等での実務経験を有する。その臨床経験を生かし、事例などを取り入れながら「言語発達障害学Ⅱ（指導）」の講義をオムニバス担当教員と一緒に展開する。
言語発達障害学Ⅱ演習（指導）	松尾 朗 他 オムニバス	3	1		30	言語聴覚士免許の取得者であり、病院等での実務経験を有する。その臨床経験を生かし、事例などを取り入れながら「言語発達障害学Ⅱ（指導）」の講義をオムニバス担当教員と一緒に展開する。
聴覚障害学総論	外山 稔	2	1		30	言語聴覚士免許の取得者、医療機関において10年以上の実務経験を有する。臨床経験を生かし、事例を取り入れながら「聴覚障害学総論」の講義を展開する。
聴覚機能評価学	外山 稔 他 オムニバス	2	2		60	言語聴覚士免許の取得者であり、医療機関での実務経験を有する。臨床経験を生かし、事例を取り入れながら「聴覚機能評価学」の講義をオムニバス教員と一緒に展開する。
聴覚補償論（補聴器・人工内耳など）	外山 稔 他 オムニバス	3	1		30	言語聴覚士免許の取得者であり、医療機関での実務経験を有する。臨床経験を生かし、事例を取り入れながら「聴覚補償論（補聴器・人工内耳など）」の講義をオムニバス教員と一緒に展開する。
小児聴覚障害学Ⅰ（評価・診断）	外山 稔 他 オムニバス	3	1		30	言語聴覚士免許の取得者、医療機関において10年以上の実務経験を有する。臨床経験を生かし、事例を取り入れながら「小児聴覚障害学Ⅰ（評価・診断）」の講義をオムニバス教員と一緒に展開する。
小児聴覚障害学Ⅱ（指導）	外山 稔 他 オムニバス	3	1		30	言語聴覚士免許の取得者であり、医療機関での実務経験を有する。臨床経験を生かし、事例を取り入れながら「小児聴覚障害学Ⅱ（指導）」の講義をオムニバス教員と一緒に展開する。
成人聴覚障害学（二重障害を含む）	外山 稔 他 オムニバス	3	1		30	言語聴覚士免許の取得者であり、医療機関での実務経験を有する。臨床経験を生かし、事例を取り入れながら「成人聴覚障害学」の講義をオムニバス教員と一緒に展開する。
発声発語障害学総論	為数哲司 他 オムニバス	2	2		60	言語聴覚士免許の取得者であり、病院等の実務経験を有する。臨床経験を生かし、事例を取り入れながら講義を展開する。
構音障害学Ⅰ（理論）	中西 恵利菜	2	1		30	言語聴覚士免許取得者であり、病院等での実務経験を有している。経験を活かし、事例を取り入れながら「構音障害学Ⅰ（理論）」の講義を展開する。
構音障害学Ⅱ（評価・診断）	中西 恵利菜	3	1		30	言語聴覚士免許の取得者であり、病院等での実務経験を有する。臨床経験を活かし、事例を取り入れながら「構音障害学Ⅱ（評価・診断）」の講義を展開する。
構音障害学演習（治療）	為数哲司 他 オムニバス	3	1		45	言語聴覚士免許の取得者であり、病院等の実務経験を有する。臨床経験を生かし「構音障害学」の講義演習を展開する。
流暢性障害学	松尾 朗 他 オムニバス	2	1		30	言語聴覚士免許の取得者であり、病院等での実務経験を有する。臨床経験を生かし、事例を取り入れながらオムニバス教員と一緒に「流暢性構音障害」の講義を展開する。
音声障害学	石川幸伸 他 オムニバス	3	1		30	言語聴覚士病院等において言語聴覚士の知識・実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例などを取り入れながら「音声障害学」の講義をオムニバス担当教員と一緒に展開する。
摂食・嚥下障害学Ⅰ（理論・評価診断）	大内田博文 他 オムニバス	3	1		30	言語聴覚士免許の取得者であり、病院等の実務経験を有する。臨床経験を生かし、オムニバス教員とともに「摂食・嚥下障害学Ⅰ（理論・評価診断）」の講義を展開する。
摂食・嚥下障害学Ⅱ（治療）	大内田博文 他 オムニバス	3	1		30	言語聴覚士免許の取得者であり、病院等の実務経験を有する。臨床経験を生かし「摂食・嚥下障害学Ⅱ（治療）」の講義を展開する。

専門教育科目

専門教育科目

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目	
				必修	選択			
専門教育科目	専門教育科目	言語聴覚障害学研究法	為数哲司 他 オムニバス	3	4	2	60	資格：言語聴覚士 実務経験等：言語聴覚士として医療機関における言語聴覚障害のリハビリテーションや研究に携わる医療機関等において言語聴覚士の知識、技術に関する実務経験を有し研究を 実践しており、その経験を 生かし、授業においては、アップデートな研究内容を紹介しながら講義を展開する。
		言語聴覚障害基礎演習	石川幸伸 他 オムニバス	3		1	15	言語聴覚士病院等において言語聴覚士の実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例などを取り入れながら言語聴覚療法についての演習をオムニバス教員と一緒に展開する。
		卒業研究	為数 哲司 他	4		4	60	資格：言語聴覚士 実務経験等：言語聴覚士として医療機関における言語聴覚障害のリハビリテーションや研究に携わる医療機関等において言語聴覚士の知識、技術に関する実務経験を有し研究を 実践しており、その経験を生かし、研究を指導していく。
		臨床実習Ⅰ（基礎）	大内田 博文	3		2	60	実習指導者は言語聴覚士免許の取得者であり、病院等で臨床5年以上の経験を有する
		臨床実習Ⅱ（総合）	福永 陽平	4	10		400	実習指導者は言語聴覚士免許の取得者であり、病院等で臨床5年以上の経験を有する

卒業要件単位数 (2017年度以降入学生)	124	単位
実務経験のある教員等による授業科目	117	単位

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目	
				必修	選択			
総合教育科目	人間系	文学論	山内 則史	1 2 3 4		2	30	新聞記者として文芸分野を担当。記者の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中の文学を意識させながら授業を展開する。
		死生学 一死を通して生を考える一	小野 充一	1 2 3 4		2	30	担当教員は、小児外科からがん治療、さらには緩和医療の臨床現場を経験しており、現在は在宅ケアを中心とした地域医療の実践から臨床死生学の実践を継続している。小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きのびる知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。
		演劇論	山内 則史	1 2 3 4		1	15	新聞記者として演劇を担当。取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。
		心理学	義田 俊之	1 2 3 4		2	30	公認心理師・臨床心理士の取得者であり、精神科、中学・高校での実務経験を有する。臨床経験を生かし、「心理学」の講義を展開する。
		人間学	原 富英	1 2 3 4		2	30	《資格等》 精神科医師・公認心理師 《経歴・講義について》 病院等において精神科医師として（精神医学）の知識・技術に関する長年の実務経験を有する。実務経験を生かし、授業においては、実際の事例など 取り入れ足り、教養学を高めるために「人間学」の講義を展開する。
	宗教学	戸松 義晴	1 2 3 4		2	30	平成22年4月財団法人全日本仏教会事務総長（平成24年3月退任）、平成22年4月財団法人日本宗教連盟幹事、平成23年度事務局長（平成24年3月迄）、平成30年6月公益財団法人全日本仏教会事務総長（現在に至る）、平成30年6月公益財団法人日本宗教連盟幹事（現在に至る）、平成22年4月文化庁・宗教法人審議会委員（平成24年3月迄）、平成23年5月文化庁・宗教法人制度の運用等に関する調査研究の協力者会議協力者、平成23年5月文化庁・不活動宗教法人対策推進会議委員、平成23年6月文化庁・宗教法人実務研修会企画案選定委員会委員（平成25年3月迄）、平成23年10月経済産業省・平成23年度 安心と信頼のある「ライフエンディング・ステージ」の創出に向けた普及啓発に関する研究会・委員（平成24年3月迄）、平成24年4月文化庁・宗教法人等の運営に係る調査会議委員（平成27年3月迄）、平成30年4月文化庁・宗教法人審議会委員（現在に至る）、平成24年4月公益社団法人生命科学振興会 理事（現在に至る）、平成16年4月World Fellowship of Buddhist（世界仏教徒連盟）執行役員（現在に至る）ハーバード大学神学校での諸宗教の方々との出会い、全日本仏教会事務総長、日本宗教連盟事務局長として、改正臓器移植法案、尊厳死、安楽死、生殖補助医療などについて宗教者代表として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のこころに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。	

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目	
				必修	選択			
総合教育科目	社会系	経済の仕組み	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	濱本邦洋 他 オムニバス	2 3 4	1		15	《資格等》小児科医師、小児科専門医、小児循環器専門医 《経歴講義について》30年以上、福岡大学医学部・病院において小児医療（一般小児科および小児循環器）の知識・技術に関する実務経験および医学部教育を行ってきた。その後は当大学の学生教育および高木病院小児科で小児循環器外来、柳川療育センターで重症心身障碍児の実務経験を12年続けている。海外研修に関しては、国際交流委員として、海外研修での健康管理について研修前の事前教育や研修中の健康相談に対応している。また、韓国、ベトナム、モンゴル等の豊富な海外研修引率業務経験を踏まえての「海外保健福祉事情」の講義・実習を展開する。
		国際関係論	村上 大介	1 2 3 4		2	30	日本の全国紙記者として、主に海外取材部門で長年勤務経験を積んだ。海外支局に通算4回（中東・欧州）駐在したほか、各地に出張取材。本社の国際ニュース部門の責任者なども務めた。基礎知識を身につけるという授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
		ボランティア論	大石 剛史	1 2 3 4		2	30	・社会福祉士 ・自治体、地域福祉計画策定アドバイザー等 ・社会福祉協議会実践アドバイザー等 ・IUHWボランティアセンター長（ボランティアコーディネート力検定3級） ボランティアセンター等での支援経験を授業内で活用する（対面授業）
		国際医療福祉論	後藤純信 他 オムニバス	1 2 3 4		2	30	〈資格〉：日本脳神経外科学会 専門医、日本臨床神経生理学会 脳波分野および神経伝導・筋電図分野 専門医 〈経歴・講義について〉 学 歴：平成6年(1994)5月14日 米国 ロヨラ大学シカゴ校医学部大学院科学修士課程、修士（科学）取得、平成7年(1995)9月30日 九州大学大学院医学系研究科外科系専攻博士課程修了 博士（医学）取得、平成4年(1992)10月1日 米国ロヨラ大学医学部神経内科学講座客員研究員、平成20年4月より国際医療福祉大学九州地区 国際交流委員委員長、平成28年10月より国際医療福祉大学九州地区 国際研修 健康相談センター業務大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
		社会保障制度論	田島 望	1		2	30	資格：社会福祉士 実務経験：ソーシャルワーカーとして在日外国人生活保護世帯の相談支援業務、地域福祉（活動）計画策定、小規模多機能事業所運営推進委員、障害児福祉サービス事業所理事等、ソーシャルワーク研究に15年携わる。ソーシャルワークにおける人々の生活支援において社会保障の知識は欠かすことができない。私たちの生活における社会保障制度の活用や課題について、実例を用いながら生活とむすびついたイメージがもてるよう展開していく。
	総合系	大学入門講座Ⅰ（基礎）	永沢 善三 他 オムニバス	1		1	15	各回、専門職として活躍する教員（医師を含む）・関連職員が講義を担当する。臨床現場における自職種の役割と多職種との関わり、連携を実務経験に基づき展開する。

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目	
			必修	選択			
保健医療福祉制度論	財津 裕一	1	2		30	保健医療福祉行政の第一線機関である福岡県保健福祉環境事務所（保健所と福祉事務所の統合組織）や県庁各課において所属長として業務遂行行政施策の運用の実感を理解することにより、行政施策に協力し、かつ、自らの業務に十分活用できる職業人としての資質を身に付ける	
臨床心理学概論	義田 俊之	1 2 3 4		2	30	公認心理師・臨床心理士の取得者であり、精神科、中学・高校での実務経験を有する。臨床経験を生かし、「臨床心理学概論」の講義を展開する。	
公衆衛生学	富安 聡	2	1		30	臨床検査技師・国際細胞検査士病院等において臨床検査技師および国際細胞検査士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「公衆衛生学」の講義を展開する。	
救急医学	長谷川 雄	1 2 3 4		1	15	科目担当責任者は脳神経外科専門医、脳卒中治療専門医として長年臨床医学に従事している。また、基礎医学研究者として、脳疾患における生理学的・薬理学的研究成果を数多く国際誌に発表している。脳神経外科患者の治療を通して得た経験と基礎医学領域での研究から得た知見とを講義に取り入れ、学生の皆さんに分かりやすく講義を行う。	
リハビリテーション概論	金子秀雄 他 オムニバス	1 2 3 4		2	30	理学療法士、専門理学療法士、作業療法士、言語聴覚士理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の実務経験を踏まえて、理学療法士の職能及び学術的な視点に加え、作業療法士及び言語聴覚士を含むリハビリテーション関連職種に関する職能及び学術的な視点についても授業を展開する。	
関連職種連携論	下井 俊典 他	2	2		30	日本保健医療福祉連携教育学会常任理事（下井）	
関連職種連携実習	佐藤 信也 他			4	1	45	各職種の経験豊富な指導者が指導を担当する。実習施設の各専門職の豊富な実務経験から実習指導を受けることで、生きた学習ができる。連携論、連携ワークで学んだIPEを活かし、保健医療福祉に携わる専門職として、IPCに必要なコンピテンシーを学修する。
解剖学Ⅱ（各論）	富安 聡	1	1		30	臨床検査技師・国際細胞検査士病院等において臨床検査技師および国際細胞検査士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「解剖学Ⅱ（各論）」の講義を展開する。	
解剖組織学実習	富安聡 他 オムニバス	1	1		45	臨床検査技師・国際細胞検査士病院等において臨床検査技師および国際細胞検査士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「解剖組織学実習」の講義を展開する。	
病理学	戸田修二 他 オムニバス	1	1		30	病理学領域の専門職として活動する経験豊かな教員が講義を担当する臨床現場における病理学領域の豊富な経験を基盤にした実践的な授業を展開する	
臨床医学概論	長谷川 雄	1 2 3 4		1	30	科目担当責任者は脳神経外科専門医、脳卒中治療専門医として長年臨床医学に従事している。また、基礎医学研究者として、脳疾患における生理学的・薬理学的研究成果を数多く国際誌に発表している。脳神経外科患者の治療を通して得た経験と基礎医学領域での研究から得た知見とを講義に取り入れ、学生の皆さんに分かりやすく講義を行う。	
内科学Ⅰ	廣岡 良隆 他 オムニバス	2 3	1		30	九州大学病院、高木病院等において内科学・循環器内科学の知識・技術に関する実務経験を有している。実務経験を生かし、授業においては、実際の症例の重要点など取り入れながら「内科学Ⅰ」の講義を展開する。	
内科学Ⅱ	廣岡 良隆 他 オムニバス	2 3	1		30	九州大学病院、高木病院等において内科学・循環器内科学の知識・技術に関する実務経験を有している。実務経験を生かし、授業においては、実際の症例の重要点など取り入れながら「内科学Ⅱ」の講義を展開する。	
臨床神経学	緒方 勝也	2 3	1		30	脳神経内科医臨床経験を踏まえ症例を提示しながら包括的な内容の理解に務める	

専門教育科目

専門基礎科目

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目	
			必修	選択			
専門基礎科目	精神医学	原 富英	2 3 4		1	30	精神科医師・公認心理師病院等において精神科医師として（精神医学）の知識・技術に関する長年の実務経験を有し、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など 取り入れながら「精神医学」の講義を展開する。
	小児科学	濱本 邦洋	2 3 4		1	30	小児科医師、小児科専門医、小児循環器専門医30年以上、福岡大学医学部・病院において小児医療（一般小児科および小児循環器）の知識・技術に関する実務経験および医学部教育の実務経験あり。その後は当大学での学生教育および高木病院小児科で小児循環器外来、柳川療育センターで重症心身障碍児の実務経験を10年以上続けている。 以上の経験を生かし、小児科学の講義においては実際の事例などを取り入れながら「小児科学」の講義を展開する。
	老年学	岸 拓弥	2 3 4		1	30	循環器内科を専門とする内科学全般の高齢者診療に23年間従事してきた。教科書に書いてあることだけではなく実務経験でのエピソードを交えながら実践的な授業内容を展開する。
	薬理学	永倉 透記	1 2 3 4		1	15	薬剤師、医薬品研究開発新薬研究開発の展望等を挿入する。
	栄養学	小野 美咲	1 2 3 4		1	15	資格：管理栄養士 実務経験等：管理栄養士養成校での教育研究業務医療従事者として最低限備えておくべき栄養学について講義を行う
	遺伝学	佐藤 謙一	1		1	30	臨床検査技師、一級遺伝子分析化学認定士、認定臨床染色体遺伝子検査師大学病院の遺伝子検査部門にて10年間担当していた。また、一級遺伝子分析科学認定士の知識・技術を有している。これらの背景をもとに講義を進行していく。
	分析化学	矢口 貴博	3		1	30	薬剤師・保険薬剤師 薬剤師としての実務経験を有している。授業においては、実例や現場の課題などを題材として取り入れながら講義 を展開する。
	生化学	文室 知之	1		1	30	資格：臨床検査技師 実務経験等：臨床検査技師として医療機関における生化学検査を含む検体検査業務に5年携わる 病院等において臨床検査技師の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例などを取り入れながら「生化学」の講義を展開する。
	生化学実習	矢口 貴博 他 オムニバス	1		1	45	薬剤師・保険薬剤師 薬剤師として実務経験を有している実習においては、実例や現場の課題などを題材として取り入れながら展開する。
	医用工学・情報概論	佐藤 謙一	1		1	30	臨床検査技師、修士（工学） 修士（工学）をバックグラウンドとし、授業はその経験をもとに実施する。医用工学の担当歴は6年になる。
医用工学・情報実習	佐藤 謙一	2		1	45	臨床検査技師、修士（工学）修士（工学）をバックグラウンドとし、授業はその経験をもとに実施する。医用工学の担当歴は8年になる。	
化学	文室 知之	1		1	30	資格：臨床検査技師 実務経験等：臨床検査技師として医療機関における生化学検査を含む検体検査業務に5年携わる病院等において臨床検査技師の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例などを取り入れながら「化学」の講義を展開する。	
専門科目	病理検査学	佐藤 信也	1		1	30	臨床検査技師・国際細胞検査士病院等において病理細胞診検査の実務経験を持っており、その経験を活かし、授業においては、実際の事例などを取り入れながら、「病理検査学」の講義を展開する。
	病理検査学実習Ⅰ（基礎）	佐藤信也 他 オムニバス	2		1	45	臨床検査技師・国際細胞検査士病院等において病理細胞診検査の実務経験を持っており、その経験を活かし、授業においては、実際の臨床現場の知識や技術などを取り入れながら、「病理検査学実習Ⅰ」の講義・実習を展開する。
	病理検査学実習Ⅱ（応用）	佐藤信也 他 オムニバス	3		1	45	臨床検査技師・国際細胞検査士病院等において病理細胞診検査の実務経験を持っており、その経験を活かし、授業においては、実際の臨床現場の知識や技術などを取り入れながら、「病理検査学実習Ⅱ（応用）」の実習を展開する。

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
細胞診断検査学	佐藤信也 他 オムニバス	2	1		30	臨床検査技師・国際細胞検査士病院等において病理組織診・細胞診検査の実務経験を持っており、その経験を活かし、授業においては、実際の事例などを取り入れながら、「細胞診断検査学」の講義を展開する。
細胞検査学実習	佐藤信也 他 オムニバス	2	1		45	臨床検査技師・国際細胞検査士病院等において病理細胞診検査の実務経験を持っており、その経験を活かし、授業においては、実際の臨床現場の知識や技術などを取り入れながら、「細胞検査学実習」の講義・実習を展開する。
血液検査学Ⅰ（基礎）	澁田 樹	1		1	30	臨床検査技師病院等において臨床検査技師およびの知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例など取り入れながら「血液検査学Ⅰ（基礎）」の講義を展開する。
血液検査学Ⅱ（臨床）	澁田 樹	1		1	30	臨床検査技師病院等において臨床検査技師およびの知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例など取り入れながら「血液検査学Ⅱ（臨床）」の講義を展開する。
血液検査学実習Ⅰ（形態検査）	澁田樹 他 オムニバス	1		1	45	臨床検査技師病院等において臨床検査技師およびの知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例など取り入れながら「血液検査学実習Ⅰ（形態検査）」の実習を展開する。
血液検査学実習Ⅱ（分析検査）	澁田樹 他 オムニバス	2		1	45	臨床検査技師病院等において臨床検査技師およびの知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例など取り入れながら「血液検査学実習Ⅱ（分析検査）」の実習を展開する。
一般検査学Ⅰ（分析）	宿谷 賢一	1		1	30	臨床検査技師 認定一般検査技師大学病院にて臨床経験を有しており、その経験を生かして授業においては実際の事例などを取り入れながら講義する。
一般検査学Ⅱ（形態）	宿谷 賢一	2		1	30	臨床検査技師 認定一般検査技師大学病院にて臨床経験を有しており、その経験を生かして授業においては実際の事例などを取り入れながら講義する。
一般検査学実習Ⅰ（分析）	宿谷賢一 他 オムニバス	2		1	45	臨床検査技師 認定一般検査技師大学病院にて臨床経験を有しており、その経験を生かして授業においては実際の事例などを取り入れながら講義実習する。
一般検査学実習Ⅱ（形態）	宿谷賢一 他 オムニバス	2		1	45	臨床検査技師 認定一般検査技師大学病院にて臨床経験を有しており、その経験を生かして授業においては実際の事例などを取り入れながら講義実習する。
臨床化学検査学Ⅰ（総論）	矢口 貴博	1		1	30	薬剤師・保険薬剤師 薬剤師としての実務経験を有している授業においては、実例や現場の課題などを題材として取り入れながら講義を展開する。
臨床化学検査学Ⅱ（各論）	矢口 貴博	2		1	30	薬剤師・保険薬剤師 薬剤師としての実務経験を有している授業においては、実例や現場の課題などを題材として取り入れながら講義を展開する。
臨床化学検査学実習Ⅰ（基礎）	矢口貴博 他 オムニバス	3		1	45	薬剤師・保険薬剤師 薬剤師としての実務経験を有している。実習においては、実例や現場の課題などを題材として取り入れながら展開する。
臨床化学検査学実習Ⅱ（応用）	矢口貴博 他 オムニバス	3		1	45	薬剤師・保険薬剤師 薬剤師としての実務経験を有している実習においては、実例や現場の課題などを題材として取り入れながら展開する。
遺伝子検査学	佐藤 謙一	2		1	30	臨床検査技師、一級遺伝子分析化学認定士、認定臨床染色体遺伝子検査師大学病院の遺伝子検査部門にて10年間担当していた。また、一級遺伝子分析科学認定士および認定臨床染色体遺伝子検査師の知識・技術を有している。これらの背景をもとに講義を進行していく。
遺伝子検査学実習	佐藤謙一 他 オムニバス	3		1	45	臨床検査技師、一級遺伝子分析化学認定士、認定臨床染色体遺伝子検査師大学病院の遺伝子検査部門にて10年間担当していた。また、一級遺伝子分析科学認定士および認定臨床染色体遺伝子検査師の知識・技術を有している。これらの背景をもとに実習を進行していく。

専門教育科目

専門科目

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
分子病態検査学演習	佐藤謙一 他 オムニバス	3 4		1	30	臨床検査技師、一級遺伝子分析科学認定士、認定臨床染色体遺伝子検査師臨床検査技師として病院において臨床検査に関する実務経験を有している。また一級遺伝子分析科学認定士および認定臨床染色体遺伝子検査師の資格を有している。大学において遺伝学、遺伝子染色体検査学の研究実績が豊富である。その経験を生かし、授業においては、実際の事例を取り入れながら講義を展開する。
放射性同位元素検査技術学	太田昭一郎他 オムニバス	3	1		30	資格： 医師・臨床検査専門医 実務経験等： 医師として27年間の診療および25年間の基礎研究に携わる。臨床検査専門医としての知識があり、かつ病院において臨床検査や放射線医学に関する実務経験を有している。その経験を生かし、授業においては、実際の事例を取り入れながら他の担当教員と共に講義を展開する。
微生物学Ⅰ（総論）	永沢 善三	1	1		30	臨床検査技師・一級臨床病理技術士（細菌学）病院等において臨床検査技師および一級臨床病理技術士（細菌学）の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「微生物学Ⅰ」の講義を展開する。
微生物学Ⅱ（各論）	永沢 善三	1	1		30	臨床検査技師・一級臨床病理技術士（細菌学）病院等において臨床検査技師および一級臨床病理技術士（細菌学）の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「微生物学Ⅱ」の講義を展開する。
微生物学実習Ⅰ（基礎）	永沢 善三	2	1		45	臨床検査技師・一級臨床病理技術士（細菌学）病院等において臨床検査技師および一級臨床病理技術士（細菌学）の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「微生物学実習Ⅰ」の講義・実習をオムニバス担当教員と一緒に展開する。
微生物学実習Ⅱ（応用）	オムニバス	2	1		45	臨床検査技師・一級臨床病理技術士（細菌学）病院等において臨床検査技師および一級臨床病理技術士（細菌学）の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「微生物学実習Ⅱ」の講義・実習をオムニバス担当教員と一緒に展開する。
医動物検査学演習	船島由美子 他 オムニバス	3	1		30	臨床検査技師・二級臨床病理技術士（細菌学）病院等において臨床検査技師および二級臨床病理技術士（細菌学）の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「寄生虫検査学」の講義をオムニバス担当教員と一緒に展開する。
免疫輸血検査学Ⅰ（総論）	太田 昭一郎	2	1		30	資格： 医師・臨床検査専門医 実務経験等： 医師として28年間の診療および26年間の基礎研究に携わる。臨床検査専門医としての知識、および診療と免疫学研究の実務経験を生かし、実例や最新の知見を取り入れながら講義を展開する。
免疫輸血検査学Ⅱ（各論・輸血）	森山 良太	2	1		30	臨床検査技師・緊急臨床検査士（5年間）、免疫輸血検査学に関する研究（5年間）臨床検査技師および緊急臨床検査士の知識・技術に関する実務経験を生かし、授業においては実際の事例など取り入れながら輸血検査に関する講義を展開する。
免疫輸血検査学実習Ⅰ（総論）	太田昭一郎他 オムニバス	2	1		45	資格： 医師・臨床検査専門医 実務経験等： 医師として28年間の診療および26年間の基礎研究に携わる。臨床検査専門医としての知識、および診療と免疫学研究の実務経験を生かし、実例や最新の知見を取り入れながら講義を展開する。
免疫輸血検査学実習Ⅱ（各論）	森山良太他 オムニバス	3	1		45	臨床検査技師・緊急臨床検査士（5年間）、免疫輸血検査学に関する研究（5年間）臨床検査技師および緊急臨床検査士の知識・技術に関する実務経験を生かし、授業においては実際の事例など取り入れながら輸血検査に関する講義を展開する。

専門教育科目

専門科目

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
専門教育科目 専門科目	生理検査学Ⅰ（総論）	安田 聖子	1	1	30	資格：臨床検査技師 実務経験等：臨床検査技師として医療機関における検査業務、研究に5年携わる。病院等において臨床検査技師の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、授業においては、実際の事例など取り入れながらオムニバス教員と一緒に「生理検査学Ⅰ（総論）」の講義を展開する。
	生理検査学Ⅱ（各論）	安田聖子他 オムニバス	2	1	30	資格：臨床検査技師 実務経験等：臨床検査技師として医療機関における検査業務、研究に5年携わる。病院等において臨床検査技師の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、授業においては、実際の事例など取り入れながらオムニバス教員と一緒に「生理検査学Ⅱ（各論）」の講義を展開する。
	生理検査学実習Ⅰ（基礎）	安田聖子他	2	1	45	資格：臨床検査技師 実務経験等：臨床検査技師として医療機関における検査業務、研究に5年携わる。臨床検査技師としての経験を活かし、実習においては、実例など取り入れながらオムニバス教員と一緒に「生理検査学実習Ⅰ（基礎）」の実習を展開する。
	生理検査学実習Ⅱ（応用）	文室知之 他	2	1	45	資格：臨床検査技師・日本臨床神経生理学会認定技術師（脳波分野/神経伝導分野） 実務経験：臨床検査技師として医療機関における脳波検査の業務・研究に15年携わる医療機関等において、臨床検査技師の知識・技術に関連する実務経験を有しており、実習においてその経験を生かし、実例や現場の課題などを題材として取り入れながら、オムニバス教員と一緒に講義を展開する。
	超音波画像検査学	安田聖子 他 オムニバス	3	1	30	資格：臨床検査技師 実務経験等：臨床検査技師として医療機関における検査業務、研究に5年携わる。病院等において臨床検査技師の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、授業においては、実際の事例など取り入れながらオムニバス教員と一緒に「超音波画像検査学」の講義を展開する。
	超音波検査学実習	安田聖子 他 オムニバス	3	1	45	資格：臨床検査技師 実務経験等：臨床検査技師として医療機関における検査業務、研究に5年携わる。病院等において臨床検査技師の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、実習においては、実際の事例など取り入れながら「超音波検査学実習」の実習を他担当教員と一緒に展開する。
	救急処置法	富安 聡	1 2 3 4	1	15	臨床検査技師・国際細胞検査士病院等において臨床検査技師および国際細胞検査士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「救急処置法」の講義を展開する。
	検査学入門	富安聡 他 オムニバス	1	1	15	臨床検査技師・国際細胞検査士病院等において臨床検査技師および国際細胞検査士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「検査学入門」の講義を展開する。
	精度管理学	安田 聖子	3	1	15	資格：臨床検査技師 実務経験等：臨床検査技師として医療機関における検査業務、研究に5年携わる。病院等において臨床検査技師の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「精度管理学」の講義を展開する。
	検査機器・医用機器学総論	安田 聖子	3	1	15	資格：臨床検査技師 実務経験等：臨床検査技師として医療機関における検査業務、研究に5年携わる。病院等において臨床検査技師の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「検査機器・医用機器学総論」の講義を展開する。
	検査情報システム学	佐藤 謙一	4	1	15	臨床検査技師、修士（工学）大学病院の臨床検査部門にて10年間業務をしていた。また、修士（工学）の知識・技術を有している。これらの背景をもとに講義を進行していく。
臨床診断学	太田 昭一郎	3	1	15	資格：医師・臨床検査専門医 実務経験等：医師として28年間の診療および26年間の基礎研究に携わる。臨床検査専門医としての知識、および診療と免疫学研究の実務経験を生かし、実例や最新の知見を取り入れながら講義を展開する。	

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
専門教育科目 専門科目	検査管理運営学	大田 喜孝	4	1	15	①臨床検査室の管理・運営（ヒト・モノ・カネのマネジメント） ②ISO15189認定によるフレームワーク授業の概要（主題）を参照。
	臨床検査医学総論	太田 昭一郎	2	1	15	資格：医師・臨床検査専門医 実務経験等：医師として28年間の診療および26年間の基礎研究に携わる。臨床検査専門医としての知識、および診療と免疫学研究の実務経験を生かし、実例や最新の知見を取り入れながら講義を展開する。
	食品衛生学	船島由美子 他 オムニバス	4	2	30	臨床検査技師・二級臨床病理技術士（細菌学）病院等において臨床検査技師および二級臨床病理技術士（細菌学）の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「食品衛生学」の講義をオムニバス担当教員と一緒に展開する。
	健康食品学	佐藤 信也	4	2	30	臨床検査技師・上級健康食品管理士・健康食品管理士会九州支部長毎年研修会等の企画・運営において知識を習得し、その経験を活かし、授業においては、実際の事例などを取り入れながら、「健康食品学」の講義を展開する。
	食品衛生管理学	佐藤 信也	3	1	15	臨床検査技師・上級健康食品管理士・健康食品管理士会九州支部長病院等において臨床検査技師の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験とともに健康食品管理士の知識を活かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「食品衛生管理学」の講義を展開する。
	食品関係法規	安田 聖子	3	1	15	資格：臨床検査技師・健康食品管理士 実務経験等：臨床検査技師として医療機関における検査業務、研究に5年携わる。臨床検査技師・健康食品管理士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、授業においては、実例など取り入れながら「食品関係法規」の講義を展開する。
	医療安全管理学	船島由美子 他 オムニバス	4	1	15	臨床検査技師・二級臨床病理技術士（細菌学）病院等において臨床検査技師および二級臨床病理技術士（細菌学）の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「医療安全管理学」の講義をオムニバス担当教員と一緒に展開する。
	医学検査特論Ⅰ（応用）	文室知之 他 オムニバス	4	1	30	資格：臨床検査技師病院等において臨床検査技師の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例などを取り入れながら「医学検査特論Ⅰ」の講義・演習をオムニバス担当教員と一緒に展開する。
	医学検査特論Ⅱ（発展）	文室知之 他 オムニバス	4	2	60	資格：臨床検査技師病院等において臨床検査技師の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例などを取り入れながら「医学検査特論Ⅱ」の講義・演習をオムニバス担当教員と一緒に展開する。
	卒業研究Ⅰ（基礎）	佐藤 信也 他	3	2	60	臨床検査技師各専門分野の教員の指導を受けながら、文献検索、プレゼンテーション手法を学び、卒業研究Ⅱに繋がる基礎的研究態度を修得する。
卒業研究Ⅱ（応用）	永沢善三 他	4	4	120	臨床検査技師・一級臨床病理技術士（細菌学）病院等において臨床検査技師および一級臨床病理技術士（細菌学）の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「卒業研究テーマ①」の講義・実習をオムニバス担当教員と一緒に展開する。	

卒業要件単位数 (2017年度以降入学生)	124	単位
実務経験のある教員等による授業科目	113	単位

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目	
				必修	選択			
人間系	文学論	山内 則史	1 2 3 4 5 6		2	30	新聞記者として文芸分野を担当。記者の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中の文学を意識させながら授業を展開する。	
	死生学 一死を通して生を考える一	小野 充一	1 2 3 4 5 6		2	30	担当教員は、小児外科からがん治療、さらには緩和医療の臨床現場を経験しており、現在は在宅ケアを中心とした地域医療の実践から臨床死生学の実践を継続している。小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きのびる知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。	
	演劇論	山内 則史	1 2 3 4 5 6		1	15	新聞記者として演劇を担当。取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。	
	心理学	義田 俊之	1 2 3 4 5 6	2		30	公認心理師・臨床心理士の取得者であり、精神科、中学・高校での実務経験を有する。臨床経験を生かし、「心理学」の講義を展開する。	
	人間学	原 富英	1 2 3 4 5 6		2	30	《資格等》 精神科医師・公認心理師 《経歴・講義について》病院等において精神科医師として（精神医学）の知識・技術に関する長年の実務経験を有する。実務経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れ足り、教養学を高めるために「人間学」の講義を展開する。	
総合教育科目	社会学	宗教学	戸松 義晴	1 2 3 4 5 6		2	30	平成22年4月財団法人全日本仏教会事務総長（平成24年3月退任）、平成22年4月財団法人日本宗教連盟幹事、平成23年度事務局長（平成24年3月迄）、平成30年6月公益財団法人全日本仏教会事務総長（現在に至る）、平成30年6月公益財団法人日本宗教連盟幹事（現在に至る）、平成22年4月文化庁・宗教法人審議会委員（平成24年3月迄）、平成23年5月文化庁・宗教法人制度の運用等に関する調査研究の協力者会議協力者、平成23年5月文化庁・不活動宗教法人対策推進会議委員、平成23年6月文化庁・宗教法人実務研修会企画案選定委員会委員（平成25年3月迄）、平成23年10月経済産業省・平成23年度「安心と信頼のある「ライフエンディング・ステージ」の創出に向けた普及啓発に関する研究会・委員（平成24年3月迄）、平成24年4月文化庁・宗教法人等の運営に係る調査会議委員（平成27年3月迄）、平成30年4月文化庁・宗教法人審議会委員（現在に至る）、平成24年4月公益社団法人生命科学振興会 理事（現在に至る）、平成16年4月World Fellowship of Buddhist（世界仏教徒連盟）執行役員（現在に至る）ハーバード大学神学校での諸宗教の方々との出会い、全日本仏教会事務総長、日本宗教連盟事務局長として、改正臓器移植法案、尊厳死、安楽死、生殖補助医療などについて宗教者代表として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のところに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
			必修	選択		
海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	濱本邦洋 他 オムニバス	2	1		15	《資格等》小児科医師、小児科専門医、小児循環器専門医 《経歴講義について》30年以上、福岡大学医学部・病院において小児医療（一般小児科および小児循環器）の知識・技術に関する実務経験および医学部教育を行ってきた。その後は当大学での学生教育および高木病院小児科で小児循環器外来、柳川療育センターで重症心身障児の実務経験を12年続けている。海外研修に関しては、国際交流委員として、海外研修での健康管理について研修前の事前教育や研修中の健康相談に対応している。また、韓国、ベトナム、モンゴル等の豊富な海外研修引率業務経験を踏まえての「海外保健福祉事情」の講義・実習を展開する。
国際関係論	村上 大介	1 2 3 4 5 6			2 30	日本の全国紙記者として、主に海外取材部門で長年勤務経験を積んだ。海外支局に通算4回（中東・欧州）駐在したほか、各地に出張取材。本社の国際ニュース部門の責任者なども務めた。基礎知識を身につけるといふ授業目標の基本に加えて、長年の海外取材の実体験から、書物から得られる知識だけでなく、より具体的かつ生々しい事例を加味して講義を進める。
国際医療福祉論	後藤純信 他 オムニバス	1 2 3 4 5 6			2 30	〈資格〉：日本脳神経外科学会 専門医、日本臨床神経生理学会 脳波分野および神経伝導・筋電図分野 専門医 〈経歴・講義について〉 学 歴：平成6年(1994)5月14日 困国 ロヨラ大学シカゴ校医学部大学院科学修士課程、修士（科学）取得、平成7年(1995)9月30日 四州大学大学院医学系研究科外科系専攻博士課程修了 博士（医学）取得、平成4年(1992)10月1日 米国ロヨラ大学医学部神経内科学講座客員研究員、平成20年4月より国際医療福祉大学九州地区 国際交流委員委員長、平成28年10月より国際医療福祉大学九州地区 国際研修 健康相談センター業務大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
社会保障制度論	田島 望	1 2 3 4 5 6			2 30	資格：社会福祉士 実務経験：ソーシャルワーカーとして在日外国人生活保護世帯の相談支援業務、地域福祉（活動）計画策定、小規模多機能事業所運営推進委員、障害児福祉サービス事業所理事等、ソーシャルワーク研究に15年携わる。 ソーシャルワークにおける人々の生活支援において社会保障の知識は欠かすことができない。私たちの生活における社会保障制度の活用や課題について、実例を用いながら生活とむすびついたイメージがもてるよう展開していく。
ボランティア論	大石 剛史	1 2 3 4 5 6			2 30	・社会福祉士 ・自治体、地域福祉計画策定アドバイザー等 ・社会福祉協議会実践アドバイザー等 ・IUHWボランティアセンター長（ボランティアコーディネータ検定3級） ボランティアセンター等での支援経験を授業内で活用する（対面授業）

総合教育科目

社会系

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目		
				必修	選択				
総合教育科目	社会系	経済の仕組み	光山 奈保子	1 2 3 4 5 6		2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現することに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
	総合系	大学入門講座Ⅰ（基礎）	永沢 善三 他 オムニバス	1		1	15	各回、専門職として活躍する教員（医師を含む）・関連職員が講義を担当する。臨床現場における自職種の役割と多職種との関わり、連携を実務経験に基づき展開する。	
専門教育科目	専門基礎科目	救急医学（救命救急を含む）	長谷川 雄		2 3		1	15	科目担当責任者は脳神経外科専門医、脳卒中治療専門医として長年臨床医学に従事している。また、基礎医学研究者として、脳疾患における生理学的・薬理学的研究成果を数多く国際誌に発表している。脳神経外科患者の治療を通して得た経験と基礎医学領域での研究から得た知見とを講義に取り入れ、学生の皆さんに分かりやすく講義を行う。
		臨床心理学概論	義田 俊之	1		2		30	公認心理師・臨床心理士の取得者であり、精神科、中学・高校での実務経験を有する。臨床経験を生かし、「臨床心理学概論」の講義を展開する。
		リハビリテーション概論	金子秀雄 他 オムニバス	1 2 3 4 5 6		2		30	理学療法士、専門理学療法士、作業療法士、言語聴覚士理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の実務経験を踏まえて、理学療法士の職能及び学術的な視点に加え、作業療法士及び言語聴覚士を含むリハビリテーション関連職種に関する職能及び学術的な視点についても授業を展開する。
		関連職種連携論	下井 俊典 他	1 2 3 4 5 6		2		30	日本保健医療福祉連携教育学会常任理事（下井）
		保健医療福祉制度論	財津 裕一	1 2 3 4 5 6		2		30	保健医療福祉行政の第一線機関である福岡県保健福祉環境事務所（保健所と福祉事務所の統合組織）や県庁各課において所属長として業務遂行行政施策の運用の実際を理解することにより、行政施策に協力し、かつ、自らの業務に十分活用できる職業人としての資質を身に付ける
		コミュニケーション実習	神野 康弘 他	2		1		45	主に薬剤師として臨床に携わる教員が、講義および演習を担当する。臨床現場における実務経験に基づき、薬剤師に必要とされるコミュニケーション技能に関する講義および演習を展開する。
	専門科目	解剖生理学Ⅱ（神経系、内分泌系）	緒方 勝也 他	2		2		30	脳神経内科医 臨床神経生理学教室にて脳波など神経系の研究に携わってきた臨床経験を踏まえ、包括的な内容の理解に務める。
	解剖生理学Ⅲ（消化器系、呼吸器系、泌尿器系）	梶岡 俊一	2		2		30	医師、歯科医師として、臨床経験30年以上、消化器、呼吸器、泌尿器を形成する重要な細胞である平滑筋研究に30年以上医療機関等において臨床処方知識、処方技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かすこと、また、研究においては、創薬、また新薬の薬剤機序の解明に努めており、授業においては、実例や現場の課題、研究経験などを題材として取り入れながら講義を展開する。	

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
専門教育科目	免疫学	猪部 学 他	2	2		30	太田昭一郎： 資格：医師・臨床検査専門医 実務経験等：医師として28年間の診療および26年間の基礎研究に携わる。太田昭一郎： 診療と免疫学研究の実務経験を生かし、実例や最新の知見を取り入れながら講義を展開する。
	疾病と病態生理学Ⅰ (内分泌系、神経精神系疾患等)	長谷川 雄	2	2		30	科目担当責任者は脳神経外科専門医、脳卒中治療専門医として長年臨床医学に従事している。また、基礎医学研究者として、脳疾患における生理学的・薬理学的研究成果を数多く国際誌に発表している。脳神経外科患者の治療を通して得た経験と基礎医学領域での研究から得た知見とを講義に取り入れ、学生の皆さんに分かりやすく講義を行う。
	早期体験実習	西村 信弘	1	1		45	【主担当教員】資格：薬剤師 実務経験：薬剤師として医療機関における臨床業務に携わる。医療機関等において薬剤師の知識、技術に関する実務経験を有している。その経験を生かし、実習においては、医療施設の課題等を題材として取り入れながら、オムニバス教員と一緒に実習を展開する。

卒業要件単位数 (2020年度以降入学生)	190	単位
実務経験のある教員等による授業科目	42	単位